

翻刻『論語義疏』(大槻本)

—季氏篇・陽貨篇・微子篇・子張篇・堯曰篇—

影山輝國
齋藤建太
相原健右
洲脇武志

前回の顔淵篇・子路篇・憲問篇・衛靈公篇(『年報』第三十三号 平成二十六年三月)に引き続き、今回は季氏・陽貨・微子・子張・堯曰五篇の翻刻を掲載発表する。これで『論語義疏』(大槻本)全篇を翻刻・訓読したことになる。今回の五篇のうち、季氏篇・陽貨篇は影山が、微子篇は麻布大学付属高等学校教諭 齋藤建太が、子張篇は神奈川県立湘南高等学校教諭 相原健右が、堯曰篇は大東文化大学講師 洲脇武志が担当した。原稿は、東洋大学准教授 中田妙葉を加えた研究会のメンバー全員で検討したが、最終的にまとめたのは前に掲げた各人である。有力なメンバーである二松学舎大学大学院生 下村泰三、元実践女子大学大学院生 玉嶋の両君は、中国滞在中で参加できなかった。

影山は二松学舎大学大学院、大東文化大学大学院、実践女子大学大学院において、『論語義疏』(大槻本)を読み解く授業を長く行ってきた。多くの院生たちが順番に原稿をつくり、それを皆で点検・訂正していく作業は、実りある楽しいものであった。その成果はこれまで影山が担当した各篇に表れている。院生の名前はいちいち挙げないが、深甚なる感謝の意を表したい。

『論語義疏』研究会は平成十八年四月十四日に誕生し、平成二十六年五月三十一日まで、八年間、一三五回の会合をもった。なかならずく嬌恋や石和温泉での合宿は思い出深いものである。

機会があれば、これまで発表した翻刻を合わせて、一冊の本にしたいと考えている。

凡例

一、本訓読文は慶応義塾大学附属研究所斯道文庫に蔵せられる文明十九年鈔本『論語義疏』（いわゆる「大槻本」）を、原文に附せられた訓点に従って読み下したものである。

一、原文は毎半葉九行、毎行二十字、疏文小字双行であるが、翻刻に際してはこれにこだわらなかつた。

一、使用する漢字は、コンピュータ処理の上で可能な限り旧字体とした。

一、原文の異体字は、原則として正字に改めた。また、繰り返し符号で表記されているものは、相当する漢字に改めた。

一、原文にはカタカナで振仮名や送仮名が附せられているので、それらはみなカタカナを用いて表記した。その際、「メ」「ㄣ」「寸」「云」「子」などは、それぞれ「シテ」「コト」「トキ」「イフ」「ネ」などに改めた。また、繰り返し符号で表記されているものは、相当するカタカナに改めた。

一、振仮名、送仮名には若干の例外を除き濁音符がないの

で、例外箇所を除き濁音符を付けることはしていない。

一、振仮名と送仮名は、なるべく原書に忠実に従うことに努めたが、両者の判別が困難な場合、原則として活用語は語幹を振仮名と見做して漢字の脇に、活用語尾を送仮名と見做して漢字の下に表記した。その他の語もなるべく読みやすい形で表記した。

一、カタカナが、読み的一部分だけしか示していない場合は、残りの読みを推定し、ひらがなを用いて補った。その際、原則として歴史的仮名遣いに則り、音便形を用いていない。

一、頻繁に用いられる「日^ノ」「則^ハ」は、それぞれ「ノたうはク」、「ときハ」とも読めるが、ここでは「ノたまはク」、「ときんハ」と訓じた。また、「欲」、「雖」は、「ほりす」、「いふとも」ではなく、「ほつす」、「いへと」と訓じた。

一、漢字の左右に二通りの訓がある場合は、右傍訓を優先して表記し、左傍訓は括弧に入れて表記した。間々、漢字の右側に二通りの訓がある事があるが、その場合はより漢字に近接する訓を優先して表記し、遠い訓は括弧に入れた。

一、漢字の右側に附せられた振仮名は右側に、左側に附せ

られた振仮名は左側に附した。

推定して補った読みも、右側にあるべきものは右側に、左側にあるべきものは左側に附した。

一、訓読文中では不読字（置き字）はすべて省略した。どの文字を省略したかは、訓読文の前に示した白文（読点付き）から判断願いたい。

一、訓読文中では再読文字はその文字を再度表出して、あたかもその文字が二度使用されているかのごとく表記してある。その際、一々再読であることを示していないので、どの文字を再読したかについても、訓読文の前に示した白文から判断願いたい。

一、地名・人名・官名・書名などを示す朱引は、すべて省略した。

一、原文では句点と読点の区別がなく、すべて行の中央に朱点が附せられているので、ここでは句点を用いず、すべて読点を用いた。朱点はなるべく忠実に表示したが、明らかに誤り附けたと思われるものは訂正した。また、附け落しと思われる個所には、読みやすさに資する最少の範囲で白抜き読点を補った。

一、原文には墨筆の縦線で、漢字の右脇に音読符、漢字間の中央に音合符、左側に訓合符が附せられている。これらはすべて忠実に再現するように努めたが、明らか

に誤りのあるものは訂正して読んだ。その際、一々注記することはしていない。

一、原文に書き入れられている心覚えのためと思われる文字や記号は省略した。

一、一部に書き加えられている邢昺の疏は、省略した。

一、各章末に、武内義雄刊『論語義疏』（大正十三年一月懷徳堂記念会発行「武内本」と略称する）との文字の異同を記した。武内本は誤植が少なからずあり、必ずしも拠るべき最善のテキストとは言えないが、多くの方が参考にすると思われるからである。

翻刻掲載にあたっては、大槻本を所蔵する慶応義塾大学附属研究所斯道文庫の承諾を得た。特に記して感謝の意を表す。

論語季氏十六 疏

(一) 「十」上、武内本有「第」字。

(二) 「六」下、武内本有「何晏集解」四字、「凡十四章」四字(小字單行)。

(三) 「疏」、武内本別行跳格。

【疏】

季氏者、魯國上卿、豪強僭濫者也、所以次前者、既明君惡、故據臣凶、故以季氏次衛靈公也、

季氏ハ、魯國ノ上卿、豪強僭濫ナル者ナリ、前二次ツル所以ハ、既ニ君ノ惡ハ故ニ臣ノ凶ニ據ルコトヲ明ス、故ニ季氏ヲ以テ衛ノ靈公ニ次ツ、

【經】

季氏將伐顓臾、

季氏將ニ顓臾ヲ伐タント將、

【疏】

此章明季氏專征濫伐之惡也、顓臾魯之附庸也、其地與季氏

莒邑相近、故季氏將伐而并之也、故云、季氏將伐顓臾也、

此ノ章ニハ季氏カ專征濫伐ノ惡ヲ明ス、顓臾ハ魯ノ附庸ナリ、其ノ地季氏カ莒邑與相ヒ近シ、故ニ季氏將ニ伐テ之ヲ并セント將、故ニ云ク、季氏將ニ顓臾ヲ伐ント將、

【經】

冉有季路見於孔子

冉有季路孔子ニ見テ

【疏】

二人時仕季氏爲臣、見季氏欲濫伐、故來見孔子告道之也、

二人時ニ季氏ニ仕テ臣爲リ、季氏カ濫リニ伐ント欲スルヲ見ル、故ニ來テ孔子ニ見テ告テ之ヲ道フ、

【經】

曰。季氏將有事於顓臾、

曰ク。季氏將ニ顓臾ニ事有ラント將、

【疏】

此冉有告孔子之辭也、有事、謂有征伐之事也、

此ハ冉有カ孔子ニ告ルノ辭ナリ、事有リトハ、謂ル征伐ノ事有ルソ、

【注】

孔安國曰、顓臾宓犧之後、風姓之國、本魯之附庸、當時臣屬魯、季氏貪其地、欲滅而有之、冉有與季路爲季氏臣、來告孔子也、

孔安國カ曰ク、顓臾(宓)犧ノ後、風姓ノ國ナリ、本魯ノ附庸ナリ、當時臣トシテ魯ニ屬ス、季氏其ノ地ヲ貪テ、滅シテ之ヲ有クント欲ス、冉有ト季路與季氏カ臣爲リ、來テ孔子ニ告ク、

【經】

孔子曰、求無乃爾是過與、

孔子ノ曰ク、求無乃爾是レ過テル與、

【疏】

求冉有名也、爾汝也、雖二人俱來而告、冉有獨告嫌冉有又爲季氏有聚斂之失、故孔子獨呼其名而問云、此征伐之事、無乃是汝之罪過與、言是其教導季氏、爲之也、

求ハ冉有カ名ナリ、爾ハ汝ナリ、二人俱ニ來テ告クト雖モ、冉有獨リ告クルコトハ冉有又季氏カ爲ニ聚斂ノ失有ルコトヲ嫌ツテナリ、故ニ孔子獨リ其ノ名ヲ呼テ問テ云ク、此ノ征伐ノ事ハ、無乃是レ汝ノ罪過與、言ハ是レ其レ季氏ヲ教ヘ導テ、之ヲ爲サシム、

【注】

孔安國曰、冉求爲季氏宰、相其室爲之聚斂、故孔子獨疑求教也、

孔安國カ曰ク、冉求季氏カ宰ト爲テ、其ノ室ヲ相ケテ之カ爲ニ聚斂ス、故ニ孔子獨リ求教ヘケント疑フ、

【經】

夫顓臾昔者先王以爲東蒙主、

夫レ顓臾ハ昔先王以テ東蒙ノ主ト爲、

【疏】

孔子拒冉有不聽伐之也、言顓臾是昔先王聖人之所立、以主蒙山之祭、蒙山在東、故云東蒙主也、既是先王所立、又爲祭祀之主、故不可伐也、

孔子冉有ヲ拒テ之ヲ伐ンコトヲ聽サ不、言ハ顓臾ハ是レ昔先王聖人ノ立ル所ナリ、以テ蒙山ノ祭ニ主タラシム、蒙山ハ東ニ在リ、故ニ云ク東蒙ノ主ナリ、既ニ是レ先王ノ立ツル所ナリ、又タ祭祀ノ主爲ラシム、故ニ伐ツ可不、

【注】

孔安國曰、使主祭蒙山也、

孔安國カ曰ク、蒙山ヲ祭ルニ主タラ使ム、

【經】

且在邦域之中矣、

且ツ邦域ノ中ニ在リ、

【疏】

言且顓臾在魯七百里封内、故云、在邦域中之也、
言ハ且タ顓臾ハ魯七百里ノ封内ニ在リ、故ニ云ク、邦域ノ中ニ在リト、

【注】

孔安國曰、魯七百里之邦、顓臾爲附庸、在其域中也、

孔安國カ曰ク、魯ハ七百里ノ邦、顓臾ハ附庸ト爲テ、其ノ域ノ中ニ在リ、

【經】

是社稷之臣也、

是レ社稷ノ臣ナリ、

【疏】

國主社稷、顓臾既屬魯國、故是社稷之臣也、

國ハ社稷ヲ主トス、顓臾ハ既ニ魯國ニ屬ス、故ニ是レ社稷ノ臣ナリ、

【經】
何以爲伐也、

何ヲ以テカ伐ツコトヲ爲ン、

【疏】

既歴陳不可伐之事、而此改問、其何以用伐滅之爲也、

既ニ伐ツ可^{へからざる}不^レノ事ヲ歴^へ陳^へテ、而シテ此レハ改メテ問
フ、其レ何ヲ以テカ用テ之ヲ伐チ滅スコトヲ爲ン、

【注】

孔安國曰、已屬魯爲社稷之臣、何用滅之爲也、

孔安國カ曰ク、已ニ魯ニ屬シテ社稷ノ臣爲リ、何ヲ用テ
カ之ヲ滅スコトヲ爲ン、

【疏】

鄭注詩曰、諸侯不臣附庸、而此云是社稷臣者、當爾時、已
臣屬魯故也、

鄭カ注ノ詩ニ曰ク、諸侯ハ附庸ヲ臣トセ不^ス、而ルヲ此ニ

是レ社稷ノ臣ト云コトハ、爾ノ時ニ當テ、已ニ臣トシテ
魯ニ屬スル故ナリ、

【經】

冉有曰、夫子欲之、

冉有カ曰ク、夫子之ヲ欲ス、

【疏】

夫子指季氏也、冉有言、伐顛與之事、是季氏所欲、故云夫
子欲之也、

夫一子トハ季氏ヲ指ス、冉有カ言ク、顛與ヲ伐ツノ事ハ、
是レ季氏カ欲スル所ナリ、故ニ云ク夫子之ヲ欲スト、

【經】

吾二臣者、皆不欲也、

吾二臣ハ、皆欲セ不^ス、

【疏】

稱吾二臣、是冉有自謂及子路也、言我二臣、皆不欲伐之

也、冉有恐孔子不獨信己、故引子路爲儔證也、

吾^{わし}二^に臣^{しん}ト稱^{せう}スルコトハ、是レ冉有^{まんとく}自^{みづか}謂^いテ子路^{しりく}ニ及^{およ}ス、
言^{いひ}ハ我^{われ}二^に臣^{しん}ハ、皆^{みな}之^のヲ伐^たシコトヲ欲^ほセ不^く、冉有^{まんとく}孔子^{こうし}ノ
獨^{ひとり}己^{おのれ}ヲ信^{まを}セ不^くコトヲ恐^{おそ}ル、故^{ゆゑ}ニ子路^{しりく}ヲ引^ひテ儔^とト爲^なシテ證^{あか}
ス、

【注】

孔安國曰、歸咎於季氏、

孔安國カ曰ク、咎^{とが}ヲ季氏^{きし}ニ歸^{かへ}ス、

【經】

孔子曰求、

孔子ノ曰ク求、

【疏】

孔子不許冉有歸咎於季氏、故云又呼求名而語之也、

孔子冉有カ咎^{とが}ヲ季氏^{きし}ニ歸^{かへ}スルコトヲ許^{あづか}サ不^く、故^{ゆゑ}ニ云^いク又^{また}
求^{もと}カ名^なヲ呼^よテ之^のニ語^{かた}ル、

【經】

周任有言、曰陳力就列、不能者止、

周任言ヘルコト有リ曰ク、カヲ陳^くテ列^れニ就^きク、能^よハ不^きルト
キハ止ム、

【疏】

此語之辭也、周任古之良史也、周任有言云、人生事君、當
先量後入、若計陳我才力所堪、乃後就其列次、治其職任
耳、若自量才不堪、則當止而不爲也、

此レハ語ルノ辭ナリ、周任古ノ良史ナリ、周任言ヘルコ
ト有リ云ク、人一生君ニ事^{つかうまつ}ルコト、當ニ先ツ量テ後ニ入
ル當シ、若シ我カ才力ノ堪フル所ヲ計リ陳^{のへ}テ、乃チ後ニ
其ノ列^へ次ニ就テ、其ノ職任ヲ治ムル耳、若シ自^{みづか}才ヲ量
テ堪^まヘ不^きキ、則^{すなは}チハ當ニ止^{とど}メテ爲^なスル當シ、

【注】

馬融曰、周任古之良史也、言當陳其才力、度己所任、以就
其位、不能則當止也、

馬融カ曰ク、周任ハ古ノ良史ナリ、言^{いひ}ハ當ニ其ノ才^{たう}

力ヲ陳ヘテ、己カ任スル所ヲ度ツテ、其ノ位ニ就ク當シ、能ハ不ル則ハ當ニ止ム當シ、

【經】

危而不持、顛而不扶、則將焉用彼相矣、

アヤフ 危レドモ持タ不、顛レ而扶ケ不シハ、將ニ焉ソ彼ノ相ヲ用シ、

【疏】

既量而就、汝今爲人之臣、臣之爲用、正至匡弼、持危扶顛、今假季氏欲爲濫伐、此是危顛之事、汝宜諫止、而汝不諫止、乃云夫子欲之、吾等不欲則、何用汝爲彼之輔相乎、若必不能、是不量而就之也、

既ニ量テ就テ、汝今人ノ臣爲リ、臣ノ用爲ルコト、正ニ匡弼シテ（匡シ弼ク）、危ヲ持チ顛ヲ扶クルニ至ル、今假ニ季氏濫伐ヲ爲ント欲、此レハ是レ危顛ノ事ナリ、汝宜ク諫メ止ム宜シ、而ルヲ汝諫メ止メ不、乃チ云ク夫子之ヲ欲ス、吾等欲セ不トイフ則ハ、何ソ汝ヲ用テ彼カ輔相ト爲シ乎、若シ必ス能クセ不シハ、是レ量ラ不シテ

之二就クナリ、

【注】

苞氏曰、言輔相人者、當能持危扶顛、若不能、何用相爲也、

苞氏カ曰ク、言ハ人ヲ輔ケ相クル者ハ、當ニ能ク危ヲ持チ顛ルヲ扶ク當シ、若シ能ハ不シハ、何ヲ用テカ相クルコトヲ爲シ、

【經】

且爾言過矣、虎、兕出柙、龜、玉毀櫝中、是誰之過與、

且ツ爾カ言過テリ、虎、兕柙ヲ出テ、龜、玉櫝ノ中ニ毀レナハ、是レ誰カ過チソ與、

【疏】

又罵之而設譬也、兕如牛而色青、柙檻也、檻貯於虎兕之器也、櫝函、貯龜玉之匣也、言汝云吾二臣皆不欲也、此是汝之罪也、汝爲人輔相、當主諫君失、譬如爲人掌虎兕龜玉、若使虎兕破檻而逸出、及龜玉毀碎於函置之中、此是誰過、則豈非守檻函者過乎、今季氏濫伐、此是誰過、則豈非汝輔

相之過乎、何得言吾二臣不欲耶、

又之ヲ罵テ譬ヲ設ク、兕ハ牛ノ如ニシテ色青シ、柙ハ檻ナリ、檻ハ虎兕ヲ貯ウルノ器ナリ、檻ハ函ナリ、龜玉ヲ貯ルノ匣ナリ、言ハ汝吾二臣ハ皆欲セ不ト云フ、此レハ是レ汝カ罪ナリ、汝人ノ輔相ト爲テハ、當ニ君ノ失ヲ諫ムルコトヲ主トス當シ。譬ハ人ノ爲ニ虎兕龜玉ヲ掌ルカ如シ、若シ虎兕ヲ使テ檻ヲ破テ逸出シ、及ヒ龜玉ヲ函置ノ中ニ毀碎セ使メハ、此レハ誰カ過チンヤ、則チ豈ニ檻函ヲ守ル者ノ過ニ非スヤ、今季氏濫伐ス、此レハ是レ誰カ過チンヤ、則チ豈ニ汝輔相ノ過ニ非スヤ、何ソ言フコトヲ得ン吾二臣ハ欲セ不ト耶、

【注】

馬融曰、柙檻也、犢檻也、失毀非典守者之過耶也、

馬融カ曰ク、柙ハ檻、犢ハ檻、失毀典リ守ル者ノ過チニ非ス耶、

【疏】

檻即函也、樂肇云、陽虎家臣而外叛、是出虎兕於檻也、伐

顛與於邦内、是毀龜玉於犢中也、張憑云、虎兕出於柙、喻兵擅用於外也、龜玉毀於犢中、喻仁義廢於内之也、

檻ハ即チ函ナリ。樂肇カ云ク、陽虎家臣トシテ叛ク、是レ虎兕ヲ檻ヨリ出スナリ、顛與ヲ邦内ニ伐ツ、是レ龜玉ヲ犢中ニ毀ルナリ。張憑カ云ク、虎兕ノ柙ヨリ出ルハ、兵ヲ擅ニ外ニ用ルニ喻フ、龜玉ノ犢中ニ毀ルヲハ、仁義ノ内ニ廢レルニ喻フ、

【經】

再有曰、今夫顛與固而近於費、

再有カ曰ク、今夫ノ顛與ハ固シテ費ニ近シ、

【疏】

固謂城郭甲兵堅利、費季氏菜邑名也、再有既得孔子罵及譬喻、而輸城服罪、更說顛與宜伐之意也、言所以伐顛與者、城郭甲兵堅利、復與季氏邑、相近之也、

固トハ城郭甲兵ノ堅利ナルヲ謂フ、費ハ季氏カ菜邑ノ名ナリ、再有既ニ孔子ノ罵リ及ヒ譬喻スルヲ得テ、城ヲ輸シテ罪ニ服ス、更ニ顛與カ宜ク伐ツ宜キノ意ヲ説ク、

言ハ顛與ヲ伐ツ所以ハ、城郭甲兵堅利ニシテ、復季氏カ邑與、相近シ、

【注】

馬融曰、固謂城郭完堅、兵甲利也、費季氏之邑也、

馬融カ曰ク、固トハ城郭ノ完ク堅ク、兵甲ノ利ナルヲ謂フ、費ハ季氏カ邑ナリ、

【疏】

兵刃也、甲鎧也、

兵ハ刃、甲ハ鎧、

【經】

今不取、後世必爲子孫憂、

今取ラ不ハ、後世必子孫ノ憂ヲ爲サン、

【疏】

子孫、季氏之子孫也、冉有又言、顛與既城郭堅、甲兵利、又與費邑相近、其勢力方豪、及其今日、猶可撲滅、若今日

不伐取、則其後世、必伐於費所以爲後世子孫之憂也、

子孫トハ、季氏カ子孫ナリ、冉有又言ク、顛與既二城郭堅ク、甲兵利ニシテ、又費ノ邑與相近シ、其ノ勢力方ニ豪ナリ、其レ今日ニ及テハ、猶ヲ撲チ滅ス可シ、若シ今日伐テ取ラ不ハ、其レ後世ニ、必ス費ヲ伐テ後世子孫ノ憂ヲ爲サン所以ナリ、

【經】

孔子曰、求。君子疾夫、

孔子ノ曰ク、求。君子ハ夫ヲ疾ム、

【疏】

孔子聞冉有言、知其虛妄、故更呼而語之也、夫冉有之言也、季氏欲伐實是貪顛與之地、今汝不言季孫是貪顛與、欲伐取之、而假云顛與固而近費、恐爲子孫憂、如汝此言、是君子之所謂疾也。故云、君子疾夫也、

孔子冉有カ言ヲ聞テ、其ノ虚妄ナルコトヲ知ル、故ニ更ニ呼テ之ニ語ル、夫トハ冉有カ言ニ夫ソ、季氏カ伐ント欲スルハ實ハ是レ顛與ノ地ヲ貪ル、今ニ汝季孫是レ顛與

ヲ貪テ、伐テ之ヲ取ント欲スト言ハ不シテ、而シテ假ニ云ク顓臾カ固シテ費ニ近シ、子孫ノ憂ヲ爲サンコトヲ恐ルト、汝カ此ノ言ノ如キンハ、是レ君子ノ謂テ疾ム所ナリ。故ニ云ク、君子ハ夫ヲ疾ムト、

【注】

孔安國曰、疾如汝之言也、

孔安國カ曰ク、汝カ言ノ如クナルヲ疾ム、

【經】

捨曰欲之而必更爲之辭、

欲スト曰フヲ捨テテ必ス更ニ辭ヲ爲ル、

【疏】

此是君子所疾者也、捨猶除也、冉有不道季氏貪欲濫伐、是捨曰欲、之而假稱顓臾固近費、是是而必爲之辭、

此レハ是レ君子ノ疾ム所ノ者ナリ、捨ハ除ノ猶シ、冉有季氏貪欲シテ濫伐スト道ハ不シテ、是レ欲スト曰フヲ捨テテ、而シテ假ニ顓臾固フシテ費ニ近シト稱ス、是レヲ是

トシテ必ス之ノ辭ヲ爲ス、

【注】

孔安國曰、捨其貪利之說、而更作他辭、是所疾也、

孔安國カ曰ク、其ノ貪利ノ說ヲ捨テテ、更ニ他ノ辭ヲ作ル、是レ疾ム所ナリ、

【經】

丘也聞、有國有家者、不患寡、而患不均、

丘聞ク、國ヲ有チ家ヲ有ツ者ハ、寡キコトヲ患ヘ不、均シカラ不ルコトヲ患フ、

【疏】

孔子罵冉有既竟、而更自稱名、爲其說季氏子孫之憂不顓臾也、將欲言之、故先廣陳其理也、不敢云出己、故曰聞也、有國、謂諸侯也、有家謂卿大夫也、言夫爲諸侯及卿大夫者、不患土地人民寡少、所患政之不能均耳、今季氏爲政不能均平、則何用濫伐、欲多土地人民爲耶、

孔子冉有ヲ罵ルコト既ニ竟テ、而シテ更ニ自名ヲ稱シ

テ、其ノ爲ニ季氏カ子一孫ノ憂ヘ顛輿ニ不ランコトヲ説ク、將ニ之ヲ言ハント欲ス、故ニ先ツ廣ク其ノ理ヲ陳フ、敢テ己ヨリ出ツト云ハ不、故ニ聞クト曰フ、國ヲ有ツトハ、諸侯ヲ謂フ、家ヲ有ツトハ卿大夫ヲ謂フ、言ハ夫レ諸侯及ヒ卿大夫爲ル者ハ、土地人ノ寡少ナルコトヲ患ヘ不、患ル所ハ政ノ均平ナルコト能ハ不耳、今季氏政ヲ爲ルコト均平ナルコト能ハ不、則チ何ソ濫伐ヲ用テ、土地人ノ民ヲ多ランコトヲ欲シテ爲ルヤ、

【注】

孔安國曰、國諸侯也、家卿大夫也、不患土地人民之寡少、患政治之不均平也、

孔安國カ曰ク、國トハ諸侯ソ、家トハ卿大夫ソ、土地人ノ寡少ナルコトヲ患ヘ不、政ノ均平ナラ不ルコトヲ患フ、

【經】

不患貧而患不安、

貧シキコトヲ患ヘ不安ンセ不ルコトヲ患フ、

【疏】

爲國家者、何患民貧乏耶、政患不能使民安、

國一_ヲ家ヲ爲ムル者ハ、何ソ民ノ貧乏ヲ患ヘンヤ、政ノ民ヲ使テ安セシムルコト能ハ不ルコトヲ患フ、

【注】

孔安國曰、憂不能安民耳、民安則國富、

孔安國カ曰ク、民ヲ安ニスルコト能ハ不ルコトヲ憂ル耳、民安キ則ハ國富メリ、

【疏】

百姓足、君孰與不足、是也、

百姓足_ヲンナハ、君孰_ト與_トニカ足ラ不ントイフ、是ナリ、

【經】

蓋均無貧、

蓋シ均シキトキハ貧シキコト無シ、

【疏】

結前事也、此結前不貧之事也、若爲政均平則、國家自富、故無貧乏也、

前ノ事ヲ結ス、此ハ前ノ貧シカラ不ルノ事ヲ結ス、若シ政ヲ爲ルコト均平ナル則ハ、國家自富ム、故ニ貧乏無シ、

【經】

和無寡、

和スルトキハ寡キコト無シ、

【疏】

此結不寡也、言政若能和則、四方來至、故土地民人不寡少也、

此レ寡カ不ルヲ結ス、言ハ政若シ能ク和ナル則ハ、四方ヨリ來リ至ル、故ニ土地民人寡少ナラ不ス、

【經】

安無傾、

安ンスルトキハ傾クコト無シ、

【疏】

若能安民則、君不傾危也。然上云、不患寡、患不均、不患貧、患不安、則下應云均無寡、安無貧、今云、均無貧、和無寡、又長云、安無傾者、竝相互爲義、由均和、故安無傾之也、

若シ能ク民ヲ安スル則ハ、君傾キ危カラ不。然ルニ上ニ云ク、寡コトヲ患ヘ不、均シカラ不ルコトヲ患フ、貧キコト患ヘ不、安ンセ不ルコトヲ患フト云フ、則ハ下ニ均キトキハ寡キコト無シ、安ンスルトキハ貧キコト無シト云フ應シ、今云ク、均キトキハ貧シキコト無シ、和ナルトキハ寡キコト無シ、又長シテ（長シテ）云ク、安スルトキハ傾クコト無シトハ、竝ニ相ヒ互ヘテ義ヲ爲ス、均和二由ル、故ニ云ク安スルトキハ傾クコト無シト、

【注】

苞氏曰、政教均平則、不患貧矣、上下和同、不患寡矣、小大安寧。不傾危也、

苞氏カ曰ク、政教均平ナル則ハ、貧シキコトヲ患ヘ不、

上_一下和_一同スルトキハ、寡キコトヲ患ヘ不_ス、小_一大安寧ナ
ルトキハ、傾キ_一危カラ不_ス、

【經】

夫如是故、遠人不服則、修文德以來之、^(一〇)

夫レ是ノ如ナル故ニ、遠_一人服セ不_ル則ハ、文_一德ヲ修メ
テ以テ之ヲ來タス、

【疏】

此明不患寡少之由也、如是猶如此也、若國家之政能如此、
安不傾者、若遠人猶有不服化者、則我廣修文德於朝、使彼
慕德而來至也、故舜舞干羽於兩階、而苗民至也、^(一一)

此レハ寡_一少ナルコトヲ患ヘ不_ルノ由ヲ明ス、如_一是ハ如_一
此ノ猶シ、若シ國_一家ノ政_一能ク此ノ如ク、安スルトキハ
傾力不_ル者ナリ、若シ遠_一人猶ヲ化ニ服セ不_ル者有_ラハ、
我廣ク文_一德ヲ朝ニ修メテ、彼ヲ使_シテ德ヲ慕テ來リ至_ラ使
ム、故ニ舜干_一羽ヲ兩階ニ舞シテ、苗_一民至ル、

【經】

既來之則安之、

既ニ來タル則ハ之ヲ安シス、

【疏】

遠方既至則、又用德澤、撫安之、

遠_一方既ニ至_ル則ハ、又德_一澤ヲ用テ、之ヲ撫安ス、

【經】

今由與求也相夫子、

今由ト求與ハ夫_一子ヲ相ケテ、

【疏】

夫子季氏也、言今汝及由二人相於季氏、無恩德也、

夫_一子トハ季氏ナリ、言_一ハ今汝及ヒ由_一二人季氏ヲ相
テ、恩_一德無シ、

【經】

遠人不服、而不能來也、

遠_一人服セ不_レトモ、來タスコト能ハ_ス不_ス、

【疏】

言汝二人爲季氏相、不能修文德、以來服遠人也、

言ハ汝二人季氏カ相ト爲テ、文徳ヲ修メテ、遠人
ヲ來服スルコト能ハ不、

【經】

邦分崩離析而不能守也、

邦分崩離析スレトモ守ルコト能ハ不、

【疏】

言汝二人相季氏、季氏治魯、既外不來遠人、而内又離析、
不能守國也

言ハ汝二人季氏ヲ相ク、季氏魯ヲ治ム、既ニ外遠人
ヲ來タ不、内又離析ス、國ヲ守ルコト能ハ不

【注】

孔安國曰、民有異心曰分、欲去曰崩、不可會聚曰離析、

孔安國カ曰ク、民ノ異心有ルヲ分ト曰フ、去ラマク欲ス

ルヲ崩ト曰フ、會聚ス可ラ不ルヲ離析ト曰フ、

【經】

而謀動干戈於邦内、

干戈ヲ邦内ニ動サンコトヲ謀ル、

【疏】

汝二人既不能來遠安近、而唯知與動干戈、以自伐邦國內
地、何也、

汝二人既ニ遠キヲ來タシ近ヲ安スルコト能ハ不シテ、唯
タ與ニ干戈ヲ動シテ、以テ自邦國内ノ地ヲ伐ツコト
ヲ知ルコトハ、何ソヤ、

【注】

孔安國曰、干楯也、戈戟也、

孔安國カ曰ク、干ハ楯也、戈ハ戟也、

【經】

吾恐、季孫之憂不在顛輿、

吾^{われ}恐^{おそ}クハ、季孫カ憂^{うれひ}顓^あ與^ひニ在^あラ不^すシテ、

【疏】

冉有云、顓與近費、恐爲後世子孫憂、孔子廣陳事理已竟^(二五)、故此改答也、言我之所思、恐異於汝也、汝恐顓與、而我恐季孫後世之憂不在^(二六)顓與也、

冉有カ云ク、顓與ハ費ニ近シ、後世ニ子孫ノ憂ヲ爲^ナサンコトヲ恐ルトハ、孔子廣ク事理ヲ陳フルコト已ニ竟ル、故^{コト}ニ改メ答フ、言ハ我カ思フ所ハ、恐ラクハ汝ニ異ナリ、汝ハ顓與ヲ恐ル、而ルヲ我ハ季孫カ後世ノ憂ハ顓與ニ在^スラ不^スランコトヲ恐ル、

【經】

而在蕭牆之内也、

蕭牆ノ内ニ在^スランコトヲ、

【疏】

此季孫所憂者也、蕭肅也、牆屏也、人君於門樹屏、臣來至屏而起肅敬、故謂屏爲蕭牆也、臣朝君之位、在蕭牆之内也、今云、季孫憂在蕭牆内、謂季孫之臣必作亂也。然天子

外屏、諸侯内屏、大夫以簾、士以帷、季氏是大夫應無屏、而云蕭牆者、季氏皆僭爲之也、蔡謨云、冉有季路竝以王佐之姿、處彼家相之任、豈有不諫季孫以成其惡、所以同其謀、者將有以也、量已揆勢^(二七)、不能制其悖心於外、順其意、以告夫子、實欲致大聖之言、以救斯弊、是以夫子發明大義、以酬來感、弘舉治體、自救時難、引喻虎兕、爲以罪相者、雖文譏二子、而旨在季孫、既示安危之理、又抑強臣擅命、二者兼著、以寧社稷、斯乃聖賢同符、相爲表裏者也、然守文者衆、達微者寡也、觀其見軌、而昧其玄致、但釋其辭、不釋所以辭、懼二子之見幽、將長淪於腐學、是以正之、以蒞來旨也、

此レハ季孫カ憂ル所ノ者ナリ、蕭ハ肅、牆ハ屏ナリ、人君ハ門ニ於テ樹一屏ス（屏ヲ樹ツ）、臣來テ屏ニ至テ肅敬ヲ起ス、故ニ屏ヲ謂テ蕭牆ト爲、臣君ニ朝スルノ位、蕭牆ノ内ニ在リ、今云ク、季孫カ憂蕭牆ノ内ニ在ラントハ、季孫カ臣ノ必ス亂ヲ作^スンコトヲ謂フ。然ルニ天子ハ外一屏、諸侯ハ内一屏、大夫ハ簾ヲ以シ、士ハ帷ヲ以テス、季氏ハ是レ大夫ニシテ屏無カル應シ、而ルヲ蕭牆ト云フコトハ、季氏皆僭シテ之ヲ爲ス、蔡謨カ云ク、冉有季路竝ニ王ノ佐ノ姿（姿）ヲ以テ、彼ノ家ノ相ノ任ニ處ル、豈ニ季孫ヲ諫メ不^スシテ其ノ惡ヲ成サシムルコト有ンヤ、其ノ謀

二同シキ所^{ゆゑん}以ハ、將^ス二以有ラント將^{おのレ}、己^ヲ量リ勢ヲ揆^{ハカ}ル
 二、其ノ悖^{ハイ}心ヲ外ニ制スルコト能ハ^ス不^ス、其ノ意ニ順テ、
 夫^子子ニ告ク、實ハ大^一聖ノ言ヲ致シテ、斯ノ^一弊ヲ救ハ^ン
 ト欲ス、是ヲ^一以テ夫^子子大義ヲ發^ミ明シテ、來感ニ酬^ムヒ、
 弘ク治^リ體ヲ舉テ、自^ミ時ノ難ヲ救ヒ、喻ヲ虎兕^シニ引テ、
 以テ相ヲ罪スルコトヲ爲ルコトハ、文^二子ヲ譏ルト雖^ト
 モ、而トモ旨^{むね}季孫^ニ在リ、既ニ安^一危ノ理ヲ示シ、又強臣
 ノ命ヲ擅^ハニスルコトヲ抑フ、二ノ者兼ネ^一著シテ、社^一
 稷ヲ寧^ヤス、斯レ乃チ聖^一賢符ヲ同シテ、相ヒ表^裏爲^ル者
 ナリ、然トモ文ヲ守ル者ハ衆ク、微ニ達スル者ハ寡シ、
 其ノ見^一軌ヲ觀^ミテ、其ノ玄^一致ヲ味シ、但タ其ノ^一辭ヲ釋シ
 テ、辭^{コト}スル所以^{ゆゑん}ヲ釋セ^ス不^ス、二^一子ノ幽^セ見^レテ^二子ノ
 見^一幽クシテ、將^二長ク腐^レ學^ニ淪^シマンコトヲ懼ル、是ヲ^一
 以テ之ヲ正シテ、來^旨二^苾苾^ム、

【注】

鄭玄曰、蕭之言肅也、蕭牆謂屏、君臣相見之禮、至屏而加
 肅敬焉、是以謂之蕭牆、後季氏之家臣陽虎果囚季桓子也、

鄭玄カ曰ク、蕭カ言ハ肅、蕭牆ハ屏ヲ謂フ、君臣相ヒ
 見ルノ禮、屏ニ至テ肅敬ヲ加フ、是ヲ以テ之ヲ蕭牆ト
 謂フ、後ニ季氏カ家臣陽虎果シテ季桓子ヲ囚フ、

【疏】

證是在蕭牆也、

是ハ蕭牆ニ在ランコトヲ證ス、

- (一) 「菜」、武内本作「采」。
- (二) 「將」、武内本作「欲」。
- (三) 「也」、武内本無此字。
- (四) 「地」上、武内本有「土」字。
- (五) 「導」、武内本作「道」。
- (六) 「曰」、武内本作「云」。
- (七) 「氏」下、武内本有「也」字。
- (八) 「而」、武内本無此字。
- (九) 「函」下、武内本有「也」字。
- (一〇) 「耶」、武内本作「邪」、下同。
- (一一) 「云」、武内本作「曰」。
- (一二) 「於」、武内本無此字。
- (一三) 「菜」、武内本作「采」。
- (一四) 「城」、武内本作「誠」。
- (一五) 「捨」、武内本作「舍」。
- (一六) 「捨」、武内本作「舍」。
- (一七) 「耶」、武内本作「也」。

(一八) 「下」、武内本無此字。

(一九) 「貧」、武内本作「傾」。

(二〇) 「之」、武内本作「也」。

(二一) 「也」、武内本無此字。

(二二) 「折」、武内本作「折」。

(二三) 「折」、武内本作「折」。

(二四) 「折」、武内本作「折也」。

(二五) 「理」下、武内本有「也」字。

(二六) 「在」下、武内本有「於」字。

(二七) 「撥」、武内本作「撥」。

(二八) 「之」、武内本無此字。

【經】

孔子曰、天下有道則、禮樂征伐自天子出、

孔子ノ曰ノ曰ク、天下有道有ル則ハ、禮樂征伐自天子自り出ツ、

【疏】

禮樂先王所以飾喜、鈇鉞先王所以飾怒、故有道世則禮樂征伐、竝由天子出也、

禮樂ハ先王ノ喜ヲ飾ル所以ナリ、鈇鉞ハ先王ノ怒ヲ飾ル所以ナリ、故ニ有道ノ世ニハ禮樂征伐、竝ニ天子ニ由テ出ツ、

【經】

天下無道則、禮樂征伐自諸侯出、

天下無道無キ則ハ、禮樂征伐諸侯自り出ツ、

【疏】

若天下無道、天子微弱、不得任自由、故禮樂征伐從諸侯出也、

若シ天下無道ニシテ、天子微弱ナルトキハ、任スルコト自由ナルコトヲ得不、故ニ禮樂征伐諸侯從り出ツ、

【經】

自諸侯出、蓋十世希不失矣、

諸侯自り出テテハ、蓋シ十世ニシテ失セ不ルハ希ナシ、

【疏】希少也、若禮樂征伐、從諸侯出、非其所、故僭濫之國、十世少有不失國者也、諸侯是南面之君、故至全數之年、而失也、

希ハ少ナリ、若シ禮樂征伐、諸侯從リ出ルハ、其ノ所ニ非ス、故ニ僭濫ノ國ハ、十一世ニシテ國ヲ失セ不トイフ者有ルコト少シ、諸侯ハ是レ南面ノ君ナリ、故ニ全數ノ年ニ至テ、失ス、

【注】

孔安國曰、希少也、周幽王爲犬戎所殺、平王東遷周始微弱、諸侯自作禮樂、專征伐、始於隱公至昭公十世失政、死乾侯、

孔安國カ曰ク、希ハ少、周ノ幽王犬戎ノ爲ニ殺サ所、平王東遷シテ周始メテ微弱ナリ、諸侯自禮樂ヲ作り、征伐ヲ專ニス、隱公ニ始メテ昭公ニ至ルマテ十一世ニシテ政ヲ失シテ、乾侯ニ死ス、

【疏】

證十世爲濫失國之君也、周幽王無道、爲犬戎所殺、其子平

王東遷維三、於是周始微弱、不能制諸侯、故于時魯隱公始專征濫伐、至昭公十世、而昭公爲季氏所出、死於乾侯之地也、十世者、隱一、桓二、莊三、閔四、僖五、文六、宣七、成八、襄九、昭十也

十一世ニシテ濫ヲ爲シテ國ヲ失スルノ君ヲ證ス、周ノ幽王無道ニシテ、犬戎ノ爲ニ殺サ所、其ノ子平王東カ三維三邕ニ遷ル、是ニ於テ周始メテ微弱ニシテ、諸侯ヲ制スルコト能ハ不、故ニ時于魯ノ隱公始テ專征濫伐ス、昭公ニ至テ十一世ニシテ、昭公季氏カ爲ニ出サ所、乾侯ノ地ニ死ス、十一世トハ、隱一、桓二、莊三、閔四、僖五、文六、宣七、成八、襄九、昭十

【經】

自大夫出、五世希不失矣、

大夫自リ出テテハ、五世ニシテ失セ不ルハ希ナシ、

【疏】

若禮樂征伐、從大夫而專濫則、五世此大夫少有不失政者也、其非南面之君、道從勢短、故半諸侯之年、所以五世而失之也、

若シ禮樂征伐、大夫從リ專濫ナル則ハ、五一世ニシテ此ノ大夫政ヲ失セトイフ者有ルコト少シ、其レ南面ノ君ニ非ス、道從テ勢ヒ短シ、故ニ諸侯ノ年ニ半ハシテ、五世ニシテ失スル所以ナリ、

【注】

孔安國曰、季文子初得政、至桓子五世、爲家臣陽虎所囚也
孔安國カ曰ク、季文子初メテ政ヲ得テ、桓子ニ至テ五世ニシテ、家臣陽虎カ爲ニ囚ハ所

【疏】

此證大夫專濫五世而失家者。季文子始得政而專濫至五世桓子爲臣所囚也、五世者、文子一、武子二、悼子三、平子四、桓子五也、

此レハ大夫專濫シテ五世ニシテ家ヲ失スル者ヲ證ス。季文子始メテ政ヲ得テ專濫ニシテ五世ニ至テ桓子臣ノ爲ニ囚ハ所タリ、五世トハ、文子一、武子二、悼子三、平子四、桓子五、

【經】

陪臣執國命、三世希不失矣、

陪臣國命ヲ執テハ、三世ニシテ失セ不ルハ希ナシ、

【疏】

陪重也、其爲臣之臣、故云重也、是大夫家臣、僭執邦國教令也、此至三世必失、既卑故不至五也、則半十而五、三亦半五、大者難傾、故至十、十極數也、小者易危、故轉相半、理勢使然、亡國喪家、其數皆然、未有過此而不失者也、按此但云執國命、不云禮樂征伐出者、其未能僭禮樂征伐也、繆播云、大夫五世、陪臣三世者、苟得之有由、則失之有漸、大者難傾、小者易滅、近本罪輕、彌遠罪重、輕故禍遲、重則敗速、二理同致自然之差也、

陪ハ重ナリ、其レ臣ノ臣爲リ、故ニ重ト云フ、是レ大夫ノ家臣ナリ、僭シテ邦國ノ教令ヲ執ル、此レ三世ニ至ルトキハ必ス失ス、既ニ卑シ故ニ五ニ至ラ不、則チ十二半ハシテ五ツ、三モ亦五ニ半ナリ、大ナル者ハ傾キ難シ、故ニ十二至ル、十八極數ナリ、小ナル者ハ危カリ易シ、故ニ轉タ相ヒ半ス、理ノ勢ヒ然カラ使ム、國ヲ亡シ家ヲ喪ス、其ノ數皆然リ、未タ此ヲ過テ失セ不ル者有ラ未、此

ヲ按スルニ但タ國命ヲ執ルト云テ、禮樂征伐出ツト云ハ不ルコトハ、其レ未タ禮樂征伐ヲ僭スルコト能ハ未、繆播カ云ク、大夫ハ五世、陪臣ハ三世トハ、苟ニ之ヲ得ルニ由リ、則チ之ヲ失スルニ漸有リ、大ナル者ハ傾キ難シ、小ナル者ハ滅ヒ易シ、本ニ近キハ罪輕シ、彌遠キハ罪重シ、輕キ故ニ禍ヒ遲シ、重キ則ハ敗レ速ナリ、二理致ヲ同スルハ自然ノ差ナリ、

【注】

馬融曰、陪重也、謂家臣也、陽氏爲季氏家臣、至虎三世而出奔齊也、

馬融カ曰ク、陪ハ重、家臣ヲ謂フ、陽氏季氏カ家臣ト爲テ、虎ニ至ルマテ三世ニシテ齊ニ出奔ス、

【疏】

證陪臣執政、三世而失者也、

陪臣政ヲ執テ、三世ニシテ失スル者ヲ證ス、

【經】

天下有道則、政不在大夫、

天下道有ル則ハ、政大夫ニ在ラ不、

【疏】

政由於君、故不在大夫、在大夫、由天下失道故也、

政ハ君ニ由ル、故ニ大夫ニ在ラ不、大夫ニ在ルハ、天道ヲ失スルニ由ルカ故ナリ、

【注】

孔安國曰、制之由君也、

孔安國カ曰ク、之ヲ制スルコト君ニ由ル、

【經】

天下有道則、庶人不議、

天下道有ル則ハ、庶人議ラ不、

【疏】

君有道、頌之聲興、載路有時雍之義則、庶人民下無所街群巷聚、以評議天下四方之得失也、若無道則、庶人共有所非議也、

君道有ルトキハ、頌ノ聲興テ、載チ路イニ時ニ雍クノ義有ル則ハ、庶人民一ト街ト群巷聚シテ、天ト下ト四ト方ト得失ヲ評ト議スル所無シ、若シ道無キ則ハ、庶人共ニ非議スル所有リ、

【注】

孔安國曰、無所非議也、

孔安國カ曰ク、非議スル所無キノ、

【疏】

非猶鄙也、鄙議風政之不是、

非ハ鄙ノ猶シ、風政ノ是ナラズルコトヲ鄙議ス、

- (一) 「失」下、武内本有「之」字。
- (二) 「專」下、武内本有「行」字。
- (三) 「邕」、武内本作「邑」。
- (四) 「也」上、武内本有「是」字。
- (五) 「失」下、武内本有「也」字。
- (六) 「者」、武内本作「夫」。
- (七) 「也」、武内本無此字。

- (八) 「未」、武内本作「不」。
- (九) 「家」、武内本無此字。
- (一〇) 「道」下、武内本有「則」字。
- (一一) 「是」下、武内本有「也」字。

【經】

孔子曰、祿之去公室五世矣、

孔子ノ曰ク、祿ノ公ト室ヲ去ルコト五世、

【疏】

禮樂征伐自大夫出、五世希有不失、于時孔子見其數將爾知季氏必亡、故發斯旨也、公君也、祿去君室、謂制爵祿出於大夫、不復關君也、制爵祿不關君、于時已五世也、故云去公室五世、

禮樂征伐自大夫自出テ、五世ニシテ失セズトイフコト有ルコト希シ、于時孔子其ノ數ノ將ニ爾ヲ見テ季氏必ス亡ンコトヲ知ル、故ニ斯ノ旨ヲ發ス、公ハ君ナリ、祿君ト室ヲ去ルトハ、爵祿ヲ制スルコト大夫ヨリ出テ、復君ニ關ラズラ謂フ、爵祿ヲ制スルコト君ニ關ラズラコト、于時已ニ五世ナリ、故ニ云ク公ト室ヲ去ル

コト五十世ト、

【注】

鄭玄曰、言此之時、魯定公之初也、魯自東門襄仲殺文公之子赤、而立宣公、於是政在大夫、爵祿不從君出、至定公爲五世、

鄭玄カ曰ク、此ヲ言フノ時ハ、魯ノ定公ノ初ソ、魯ハ東門ノ襄仲カ文公ノ子赤ヲ殺シテ、宣公ヲ立テシ自リ、是ニ於テ政コト大夫ニ在リ、爵祿君從リ出テ不、定公ニ至ルマテ五十世爲リ、

【疏】

襄仲既殺赤立宣公、宣公雖立而微弱、不敢自專、故爵祿不復關己也、宣公一、成二、襄三、昭四、定五也、

襄仲既ニ赤ヲ殺シテ宣公ヲ立ツ、宣公立ツト雖モ微弱ナリ、敢テ自專ラセ不、故ニ爵祿復タ己ニ關ラ不、宣公一、成二、襄三、昭四、定五、

【經】

政逮於大夫四世矣、

政大夫ニ逮フコト四世、

【疏】

逮及也、制祿不由君、故及大夫也、季文子初得政、至武子悼子平子四世、是孔子時所見、故云四世、

逮ハ及ナリ、祿ヲ制スルコト君ニ由ラ不、故ニ大夫ニ及フ、季文子初メテ政ヲ得テ、武子悼子平子ニ至マテ四世、是レ孔子ノ時ニ見所ナリ、故ニ四世ト云フ、

【注】

鄭玄曰、文子武子悼子平子也

鄭玄カ曰ク、文子武子悼子平子

【經】

故夫三桓之子孫微矣、

故二夫ノ三桓ノ子孫微ナリ、

【疏】

大夫執政五世必失、而季氏已四世、故三桓子孫轉以弱也、

謂爲三桓者、仲孫叔孫季孫、三家同出桓公、故云三桓也、
初三家皆豪濫、至爾時、竝衰、故云微也、

大夫政ヲ執ルコト五_一世ニシテ必ス失ス、而ルヲ季氏巳ニ
四_一世ナリ、故ニ三_一桓ノ子_一孫轉_{ツタ}タ弱ナリ、謂テ三_一桓ト爲_ス
ルコトハ、仲孫叔孫季孫ノ、三_一家同_おク桓公ヨリ出ツ、故
ニ三_一桓ト云フ、初メ三_一家皆ナ豪濫ナリ、爾_そノ時ニ至
テ、竝_{なら}ニ衰_おタリ、故ニ微ナリト云フ、

【注】

孔安國曰、三桓者、謂仲孫叔孫季孫也、三卿皆出桓公、故
曰三桓也、仲孫氏改其氏稱孟氏、至哀公皆衰也、

孔安國カ曰ク、三_一桓トハ、仲孫叔孫季孫ヲ謂フ、三_一卿ハ
皆桓公ヨリ出タリ、故ニ三_一桓ト曰フ、仲孫氏其ノ氏ヲ改
メテ孟氏ト稱ス、哀公ニ至テ皆衰ヘタリ、

【疏】

又後改仲孫稱孟氏、故多云孟孫氏也、

又後ニ仲孫ヲ改テ孟氏ト稱ス、故ニ多ク孟孫氏ト云フ、

(一) 「世」下、武内本有「也」字。

(二) 「世」下、武内本有「矣」字。

(三) 「哀」、武内本作「襄」。

(四) 「又」、武内本無此字。

(五) 「孫」下、武内本有「氏」字。

【經】

孔子曰、益者三友、

孔子ノ曰ク、益者三_一友、

【疏】

明與朋友、益者有三事、故云益者三友、

朋_ト友ニ與_ユシテ、益スル_者三_事有ルコトヲ明ス、故ニ益
者三_一友ト云フ、

【經】

損者三友、

損_一者三_一友、

【疏】

又明與朋友、損者只有三事、故云損者三友也、

又朋一友二與シテ、損スル者只夕三事有ルコトヲ明ス、
故二云ク損一者三友ト、

【經】

友直、

直ヲ友トシ、

【疏】

一益也、所友得正直之人也、

一ノ益ナリ、友トスル所正直ノ人ヲ得、

【經】

友諒、

諒ヲ友トシ、

【疏】

二益也、所友得有信之人也、諒信也、

二ノ益ナリ、友トスル所信有ルノ人ヲ得、諒ハ信ナリ、

【經】

友多聞益矣、

多聞ヲ友トスルハ益ナリ、

【疏】

三益也、所友得能多所聞解之人也、益矣、上所言三事、皆
是有益之朋友、

三ノ益ナリ、友トスル所能ク聞解スル所多キノ人ヲ得ル

ハ、益ナリ、

【經】

友便辟、

便辟ヲ友トシ、

【疏】

此一損也、謂與便辟之人、爲朋友者也、

此レ一ノ損ナリ、便_レ辟ノ人與、朋_レ友爲ルヲ謂フ、

【注】

馬融曰、便_レ僻、巧避人所忌、以求容媚者也、

馬融カ曰ク、便_レ僻ハ、巧ニ人ノ忌ム所ヲ避ケテ、媚ヲ容
レ_レンコトヲ求ムル者ナリ、

【疏】

謂語巧能爲人所忌者、爲便辟也、

謂_レル語巧ニシテ能ク人ノ爲ニ忌ム所_ト者ヲ、便_レ辟ト爲_ス、

【經】

友善柔、

善_レ柔ヲ友トシ、

【疏】

二損也、謂所友者、善柔者也、善柔謂面從而背毀者也、

二ノ損ナリ、謂_レル友トスル所ノ者、善_レ柔ナル者ナリ、
善_レ柔トハ面_レ從テ而背_レ毀ル者ヲ謂フ、

【注】

馬融曰、面柔者也、

馬融カ曰ク、面_レ柔ナル者ソ、

【經】

友便佞、

便_レ佞ヲ友トスルハ、

【疏】

三損也、謂與便佞爲友也、便佞、謂辨而佞者也、

三ノ損ナリ、便_レ佞與友爲ルヲ謂フ、便_レ佞トハ、辨ニシテ
佞アル者ヲ謂フ、

【經】
損也、

損ナリ、

【疏】

上三事、皆是爲損之朋友也、

上ノ三事ハ、皆是^{ミナ}レ損ヲ爲スノ朋友ナリ、

【注】

鄭玄曰、便辨也、謂佞而辨也、

鄭玄カ曰ク、便ハ辨ナリ、佞ニシテ辨ナルヲ謂フ、

(一) 「之人」、武内本作「人之」。

(二) 「友」下、武内本有「也」字。

(三) 「僻」、武内本作「辟」。

(四) 「人」下、武内本有「之」字。

(五) 「爲」、武内本作「辟」。

(六) 「謂」、武内本無此字。

(七) 「也」、武内本作「矣」。

【經】

孔子曰、益者三樂

孔子ノ曰ク、益者三樂^{ガク}

【疏】

謂以、心中有所愛樂之事、三者爲益人者也、

謂^{イハユ}ル以テ、心中愛^{ガウ}樂スル所ノ事有リ、三ノ者ハ人ノ益

爲ル者ナリ、

【經】

損者三樂、

損者三樂、

【疏】

又謂以、心中所愛樂、有三事爲損人者也、

又謂^{イハユ}ル以、心中ニ愛^{ガウ}樂スル所^{トコロ}、三事有テ人ヲ損スル

コトヲ爲ル者ナリ、

【經】
樂節禮樂、

禮^レ樂ヲ節スルコトヲ樂^{ネカ}ヒ、

【經】
樂道人之善、

人ノ善ヲ道^イフコトヲ樂^{ネカ}ヒ、

【疏】

一益也、謂心中所愛樂、樂得於禮樂之節也、

【疏】

二益也、心中所愛樂、愛樂道說揚人之善事也、

一ノ益ナリ、謂ル心^レ中愛^レ樂スル所、禮^レ樂ノ節ヲ得ルコトヲ樂フ、

二ノ益ナリ、心^レ中ニ愛^レ樂スル所、道^レ（道）^レ說^レ（說）^レシテ人ノ善^レ事ヲ揚ルコトヲ愛^レ樂ス、

【注】

動靜得於禮樂之節也、

【經】

樂多賢友、

動^レ靜禮^レ樂ノ節ヲ得ルソ、

賢^レ友^{おほか}多ランコトヲ樂フハ、

【疏】

動靜樂得禮樂之節也、

【疏】

三益也、心中所愛樂、樂得多賢爲朋友也、

動^レ靜禮^レ樂ノ節ヲ得ンコトヲ樂フ、

三ノ益ナリ、心^レ中愛^レ樂スル所、多ク賢ヲ得テ朋友爲ラシコトヲ樂フ、

【經】
益矣、

益ナリ、

【疏】
此上三樂、皆是爲益之樂也、

此ノ上ノ三樂ハ、皆是レ益爲ルノ樂（樂）ナリ、

【經】
樂驕樂、

驕^{ラフ}樂^{ネカ}ヲ樂イ、

【疏】
此明一損也、心中所愛樂、爲驕傲、以自樂也、

此レハ一ノ損ヲ明ス、心一中愛^{カフ}樂スル所、驕（驕）^{ワコリ}傲^{ガフ}（傲）ヲ爲シテ、自^{ミツカ}ラ樂ム、

【注】
孔安國曰、恃尊貴以自恣也、

孔安國カ曰ク、尊貴ヲ恃^{タツ}ムテ以テ自^{ミツカ}ラ恣^{ホしいままにする}ナリ、

【經】
樂佚遊、

佚^{イツ}遊^{ネカ}ヲ樂イ、

【疏】
此二損也、心中所愛樂、恣於自逸、恣^ミ而遊^ミ不用節度也、

此レ二ノ損ナリ、心一中ニ愛^{カフ}樂スル所、自^{ミツカ}ラ逸（逸）^{スクル}恣^ヨ（恣）ヲ恣^{ホシイママ}ニシテ、恣^{ほしいまま}二遊^{ガフ}（遊）^{ワコリ}遊シテ節^マ度^トヲ用ヒ不^ス、

【注】
王肅曰、佚遊出入不知節^節、

王肅カ曰ク、佚^イ遊トハ出^イ入節ヲ知ラ不^スルソ、

【經】

樂宴樂、

宴^{ラフ}樂ヲ樂^{ホカ}フハ、

【疏】

三損也、心中所愛樂、宴飲^五酖^ウ、以爲樂也、

三ノ損ナリ、心^ナ中愛樂スル所、宴^{ガフ}飲^ウ酖^ウシテ、樂^{タノしみ}ヲ爲ス、

【經】

損矣、

損ナリ、

【疏】

此上三樂、皆是爲損之樂也、

此ノ上ノ三^{ガフ}樂^ハ、皆^{ミナ}是^ニレ損^{ガフ}ノ樂^ト（樂）ト爲^ス、

【注】

孔安國曰、宴樂沉荒淫瀆也、三者自損之道也、

孔安國曰ク、宴^{ラフ}樂^ハ沉^ト荒^ト淫^ト瀆^トソ、三ツノ^モ者^ミハ自^ミ損^ススルノ道ナリ、

(一) 「愛」、武内本作「受」。

(二) 「愛」、武内本無此字。

(三) 「念」、武内本無此字。

(四) 「節」下、武内本有「也」字。

(五) 「酖」、武内本作「酤」。

【經】

孔子曰、侍於君子有三愆、

孔子ノ曰ク、君子ニ侍^{ハンベ}ルニ三ノ^{アヤマチ}愆^ク有リ、

【疏】

愆過也、卑侍於尊、有三事爲過失也、

愆^{ケン}ハ過ナリ、卑^{イやしき}カ尊^{たふとき}ニ侍^{はん}ルニ、三事有テ過^ス失ト爲^ス、

【注】
孔安國曰、愆過也、

孔安國カ曰ク、愆ケハ過、

【經】
言未及之而言、謂之躁、

コト言未タ及ハ未ルニ言フ、之レヲ躁ト謂フ、

【疏】
一過也、侍君子之坐、君子言語次第承之、未及其、抄次而言、此是輕動、將躁之者也、

一ノ過アやまちナリ、君一子ノ坐ニ侍ルトキニ、君一子ノ言一語次一第二之ヲ承リ、未タ其レニ及ハ未ルニ、次ヲ抄ツイテテ言フ、此レハ是レ輕動シテ、將ニ躁サハカシカラント將ル者ナリ、

【注】
鄭玄曰、躁不安靜也、

鄭玄カ曰ク、躁ハ安一靜ナラ不スルソ、

【經】
言及之不言、謂之隱、

コト言及ヘトモ言ハ不スル、之ヲ隱ト謂フ、

【疏】
二過也、言語次第、已應及其人、忽君之不肯出言、此是情心不盡、有所隱匿之者也、

二ノ過アやまちナリ、言一語次一第シテ、已ニ其ノ一人ニ及應シ、君ヲ忽ナイカシロニシテ肯アヘテ言ヲ出サ不スル、此ハ是レ情心盡サ不ス、隱シカク匿ス所有ルノ者ナリ、

【注】
孔安國曰、隱匿、不盡情實也、

孔安國カ曰ク、隱ハ匿トク、情一實ヲ盡サ不スルソ、

【經】
未見顔色而言、謂之瞽、

未タ顔一色ヲ見未シテ言フ、瞽ト謂フ、

【疏】

瞽者盲人也、盲人目不見人顔色、而只言人之是非、今若
盲侍坐、未見君子顔色趣向、而使逆言之、此是與盲者無異
質、故謂之爲瞽也、

瞽トハ盲一人ナリ、盲一人目二人ノ顔一色ヲ見不シテ、只人
ノ是非ヲ言フ、今若シ盲不シテ坐ニ侍テ、未タ君子ノ
顔一色ノ趣向ヲ見未シテ、便チ逆ツテ之ヲ言フ、此レハ是
レ盲一者與異質無シ、故ニ之ヲ謂テ瞽ト爲ス、

【注】

周生烈曰、未見君子顔色所趣向、而使逆先意語者、猶瞽者
也、

周生烈カ曰ク、未タ君子ノ顔一色ノ趣向スル所ヲ見未シ
テ、便チ逆メ（逆ツテ）意ニ先テ語ルハ、瞽一者ノ猶
シ、

(一) 「也」、武内本無此字。

- (二) 「之」下、武内本有「而」字。
- (三) 「者」、武内本無此字。

【經】

孔子曰、君子有三戒、

孔子ノ曰ク、君子ニ三ノ戒メ有リ、

【疏】

君子自戒、其事有三、故云有三戒也、

君子ノ自戒ムルコト、其ノ事三ツ有リ、故ニ云ク
三ノ戒メ有リト、

【經】

少之時血氣未定、戒之在色、

少キ時ハ血一氣未タ定ラ未、戒メ色ニ在リ、

【疏】

一戒也、少謂三十以前也、爾時血氣猶自薄、少不可過欲、
過欲則爲自損、故戒之也、

一ノ戒ナリ、少トハ三十一以前ヲ謂フ、爾ノ時血氣猶ヲ自薄シ、少フシテ欲ヲ過ス可^ヘ不^ス、欲ヲ過ス則ハ自損ヲ爲ス、故ニ之ヲ戒ム、

【經】

及其壯也血氣方剛、戒之在鬪、

其ノ壯ナルニ及テハ血氣方剛シ、戒メ鬪フニ在リ、

【疏】

二戒也、壯謂三十以上也、禮三十壯而爲室、故不復戒色也、但年齒已壯、血氣方剛、性力雄猛、無所與讓、好爲鬪爭、故戒之也、

二ノ戒ナリ、壯トハ三十一以上ヲ謂フ、禮三十二ニシテ壯ニシテ室ヲ爲ス、故ニ復色ヲ戒メ不^ス、但夕年齒已ニ壯ニシテ、血氣方ニ剛シ、性力雄猛ニシテ、與ニ讓ル所無シ、好テ鬪爭ヲ爲ス、故ニ之ヲ戒ム、

【經】

及其老也血氣既衰、戒之在得、

其ノ老スルニ及テハ血氣既ニ衰フ、戒メ得ルニ在リ、

【疏】

三戒也、老謂年五十以上、年五十始衰、無復鬪爭之勢、而戒之在得也、得貪得也、老人好貪、故戒之也、老人所以好貪者、夫年少象春夏、春夏爲陽、陽法主施、故少年明怡也、年老象秋冬、秋冬爲陰、陰體斂藏、故老者好斂聚多貪、

三ノ戒ナリ、老トハ年五十以上ヲ謂フ、年五十二ニシテ始メテ衰フ、復タ鬪爭ノ勢ヒ無シ、而ルヲ之ヲ戒ムルコト得ルニ在リ、得ハ貪得ナリ、老人ハ貪ヲ好ム、故ニ之ヲ戒ム、老人貪ヲ好ム所以ハ、夫レ年少ヲハ春夏ニ象ル、春夏ヲ陽ト爲ス、陽ノ法施ヲ主トス、故ニ少年ハ明怡ナリ、年老ヲハ秋冬ニ象ル、秋冬ヲ陰ト爲ス、陰ノ體ハ斂藏ス（斂メ藏ス）、故ニ老者ハ斂聚多貪ナルコトヲ好ム、

【注】

孔安國曰、得貪得也、

孔安國カ曰ク、得ハ貪得、

(一) 「三十」、武内本作「卅」字。

(二) 「三十」、武内本作「卅」字。

(三) 「無」上、武内本有「有」字。

(四) 「争」、武内本無此字。

(五) 「上」下、武内本有「也」字。

(六) 「貧」下、武内本有「也」字。

【經】

孔子曰、君子有三畏、

孔子ノ曰ク、君_レ子_ニ三_ノ畏_{有リ}、

【疏】

心服曰畏、君子所畏、有三事也、

心ニ服スルヲ畏ト曰フ、君_レ子_ノ畏_{ルル}所、三_ノ事_{有リ}、

【經】

畏天命、

天_レ命ヲ畏_リ、

【疏】

一畏也、天命、謂作善降百祥、作不善不善降百殃、從吉逆凶、是天之命、故君子畏之、不敢逆之也、

一ノ畏ナリ、天_レ命トハ、謂_ル善ヲ作ストキハ百_ノ祥ヲ降シ、不_レ善ヲ作ストキハ不善ニシテ百_ノ殃(殃)ヲ降ス、吉_ニ從_テ凶_ニ逆クハ、是_レ天_ノ命ナリ、故_ニ君_レ子_ハ之ヲ畏テ、敢_テ之_ニ逆ハ_ス不_ス、

【注】

順吉、逆凶、天之命也、

順ナルトキハ吉ニ、逆ナルトキハ凶ナルハ、天_ノ命ナリ、

【經】

畏大人、

大_レ人ヲ畏_リ、

【疏】

二畏也、大人聖人也、見其含容、而曰大人也、見其作教正物、而曰聖人也、今云畏大人、謂居位爲君者也、聖人在

上、含容覆燾、一雖不察察、而君子畏之也、

二ノ畏ナリ、大人トハ聖人ナリ、其ノ含容スルヲ見テ、大人ト曰フ、其ノ教ヲ作シテ物ヲ正スルヲ見テ、聖人ト曰フ、今大人ヲ畏ルルト云フハ、位ニ居テ君爲ル者ヲ謂フ、聖人ハ上ニ在テ、含容覆燾（燾）シテ、一ヲ察察ナラ不ト雖、君子ハ之ヲ畏ル、

【注】

大人即聖人、與天地合其德者也、

大人ハ即チ聖人ナリ、天地與其ノ德ヲ合ル者ナリ、

【經】

畏聖人言、

聖人ノ言ヲ畏ル、

【疏】

三畏也、聖人之言、謂五經典籍聖人遺文也、其理深遠、故君子畏也、

三ノ畏ナリ、聖人ノ言ハ、五經典籍聖人ノ遺文ヲ謂フ、其ノ理深遠ナリ、故ニ君子ハ畏ル、

【注】

深遠不可易知、則聖人之言也、

深遠ニシテ知り易カル可カラ不ルハ、聖人ノ言ナリ、

【疏】

理皆深遠、不可改易也、

理皆深遠ニシテ、改メ易フ可ラス、

【經】

小人不知天命、而不畏也、

小人ハ天命ヲ知不シテ、畏レ不、

【疏】

既小人與君子反、竝不^(五)畏君子之所畏者也、小人見天道恢疏、而不信從吉逆凶、故不畏之、而造爲惡逆也、

既二小人ハ君子與反ス、竝ニ君子ノ畏ルル所ノ者ヲ畏レ不、小人ハ天道ノ恢クワイ(恢)一疏ソ(疏)ナルヲ見テ、吉ニ從ヒ凶ニ逆コトヲ信セ不、故ニ之ヲ畏レ不シテ、而シテ惡ニ逆ヲ造ナ爲スナ(造シ爲ス)、

【注】

恢疏、故不知畏也、

恢クワイ一疏ソナリヲ(恢クワイニソ疏ソナリ)、故ニ畏ルルコトヲ知ラ不、

【疏】

天網恢疏而不失、小人見天命不切切之急、謂之不足畏也、

天一網恢一恢疏ニシテ失セ不、小人ハ天命ノ切一切ノ急ニ切ナラ不ルヲ見テ、之ヲ畏ルルニ足ラ不ト謂フ、

【經】

狎大人、

大人ニ狎レ、

【疏】

見大人含容、故褻狎慢而不敬也、江熙云、小人不懼德、故媒慢也、

【注】

直而不肆、故狎之也、

直ニシテ肆ホシイママナラ不、故ニ狎ル、

【疏】

肆猶經威毒也、大人但用行不邪、而不私威毒也、

肆ハ威一毒ヲ經ルカ猶シ、大人ハ但タ行ヲ用ルコト邪ナラ不シテ、私ニ威一毒セ不、

【經】

侮聖人之言、

聖一人ノ言ヲ侮ル、

【疏】

謂經籍爲虛妄、故輕侮之也、江熙云、以典籍爲妄作也、

經籍ヲ謂テ虛妄ト爲、故ニ之ヲ輕シシアヤト侮ル、江熙力云ク、典ノ籍ヲ以テ妄ト作ト爲、

【注】

不可小知、故侮之也、

小ヘカ知ス可ラ不ス、故ニ侮ル、

【疏】

經籍深妙非小人所知、故云不可小知也、

經籍ハ深ヘカ妙ニシテ小人ノ知ル所ニ非ス、故ニ云ク小イハ知ス可ラ不スト、

(一) 「不善」、武内本無此二字。

(二) 「也」、武内本無此字。

(三) 「燾」、武内本作「幃」。

(四) 「人」下、武内本有「之」字。

(五) 「竝」、武内本作「故」。

(六) 「逆」下、武内本有「之」字。

(七) 「切」、武内本無此字。

(八) 「狎」、武内本無此字。

【經】

孔子曰、生而知之者上也、

孔子ノ曰ク、ノ生ムニシテ知ルハ上ナリ、

【疏】

此章勸學也、故先從聖人始也、若生而自有知識者、此明是上智聖人、故云上也、

此ノ章ニハ學ヲ勸ム、故ニ先ツ聖人從リ始マル、若シム生ムニシテ自ラ知ル識チ有ル者ハ、此レハ是レ上智ノ聖人ヲ明ス、故ニ云ク上ナリト、

【經】

學而知之者次也、

學テ知ルハ次ナリ、

【疏】

謂上賢也、上賢既不知、資學以滿分、故次生知者也、

上賢ヲ謂フ、上賢ハ既ニ生ニシテ知ラ不、學ニ資リテ分ヲ滿ツ、故ニ生むまれながらニシテ知ル者ニ次ク、

【經】

困而學之、又其次也、

困スレシ而學フハ、又其ノ次ナリ、

【疏】

謂中賢以下也、本不好學、特以己有所用於理困憤不通、故憤而學之、只此次前上賢人也、

中賢以下ヲ謂フ、本學ヲ好マ不、特リ己カ用ル所理ニ於テ困憤シテ通セ不ルコト有ルヲ以テノ、故ニ憤ヒキ而オホシ之ヲ學フ、只此ハ前ノ上賢人ニ次ク、

【注】

孔安國曰、困謂有所不通也、

孔安國カ曰ク、困トハ通セ不トコロル所有ルヲ謂フ、

【經】

困而不學、民斯爲下矣、

困テ學ヒ不スル、民斯コレヲ下ト爲、

【疏】

謂下愚也、既不好學、而困又不學、此是下愚之民也、故云民斯爲下也、

下愚ヲ謂フ、既ニ學ヲ好マ不、而ルニ困テモ又夕學ヒ不、此レハ是レ下愚ノ民ナリ、故ニ云ク民斯コレヲ下ト爲ス、

【經】

孔子曰、君子有九思、

孔子ノ曰ク、君子ハ九ノ思ヒ有リ、

【疏】

言君子所宜思之事、其條有九、

いふじゐ
言ハ君子ノ宜ク思フ宜キ所ノ事、其ノ條九ツ有リ、

【經】

視思明、

視ルコトハ明ヲ思フ、

【疏】

一也、若自瞻視萬事、不得孟浪、唯思分明也、

一ナリ、若シ自萬事ヲ瞻視ルコト、孟浪（孟浪）ナルコトヲ得不、唯タ分明ナランコトヲ思フ、

【經】

聽思聰、

聽クコトハ聰ヲ思フ、

【疏】

二也、若耳聽萬理、不得落漠、唯思聰了也、

二ナリ、若シ耳萬理ヲ聽クコト、落漠ナルコトヲ得不、

唯タ聰了センコトヲ思フ、

【經】

色思溫、

色ハ溫ヲ思フ、

【疏】

三也、若顔色平常、不得嚴切、唯思溫和也、李充云、靜容謂之和、柔暢謂之溫也、

三ナリ、若シ顔色平常ニシテ、嚴切ナルコトヲ得不、唯タ溫和ヲ思フ、李充カ云ク、靜容之ヲ和ト謂フ、柔暢之ヲ溫ト謂フ、

【經】

貌思恭、

貌ハ恭ヲ思フ、

【疏】

四也、若容貌接物不得違逆、唯思遜恭也、李充云、動容謂

之貌、謙接謂之恭也、

四ナリ、若シ容^イ貌物^ウニ接^フハルコト違^イ逆^フコトヲ得^ズ不、
唯タ遜^リ恭ナランコトヲ思フ、李充カ云ク、容ヲ動ス之ヲ
貌ト謂フ、謙^イ接スル之ヲ恭ト謂フ、

【經】

言思忠、

言^トハ忠ヲ思フ、

【疏】

五也、若有所言語、不得虛僞、唯思盡於忠、心也、

五ナリ、若シ言^ト語スル所有レハ、虚^イ僞^キ(僞^イズバ^ル)ヲ得^ズ不、
唯タ忠^イ心ヲ盡サンコトヲ思フ、

【經】

事思敬、

事^トハ敬ヲ思フ、

【疏】

六也、凡行萬事、不得傲慢、唯思於敬也、故曲禮云、無不
敬也、

六ナリ、凡ソ萬事ヲ行コト、傲(傲^イ)慢ヲ得^ズ不、唯タ敬
ヲ思フ、故ニ曲禮ニ云ク、敬マ不^ストイフコト無シト、

【經】

疑思問、

疑ハシキハ問ハンコトヲ思フ、

【疏】

七也、心有所疑、不得輒自斷決、當思諮問於事有識者也、

七ナリ、心ニ疑フ所有レハ、輒^チ(輒^イ)自^ミ斷^カ(斷^イ)
決(決^イ)スルコトヲ得^ズ不、當ニ事ニ於^テ識ルコト有ル者
ニ諮^ヒ問ハンコトヲ思フ當シ、

【經】

忿思難、

忿^{イカ}リニハ難^カヲ思フ、

【疏】

八也、彼有違理之事、來觸於我、我必忿怒於彼、雖然不得乘此忿心、以報於彼、當思於忽有急難日也、一朝之忿忘其身、及其親、是謂難也、

八ナリ、彼理ニ違フノ事有テ、來テ我ニ觸ルルトキハ、我必ス彼ニ忿^{イカ}リ怒ル、然ト雖モ此ノ忿^{イカ}心ニ乘シテ、彼ニ報センコトヲ得不、當ニ忽^{イカ}ニ急^{イカ}ニ難有ルノ日ヲ思フ當シ、一^{イカ}朝ノ忿^{イカ}リニ其ノ身ヲ忘レテ、其ノ親ニ及ス、是ヲ難ト謂フ、

【經】

見得思義、

得ルヲ見テハ義ヲ思フ、

【疏】

九也、不義而富且貴、於我如浮雲、若見己應有所得、當思是取也、江熙云、義^イ後取也、

九ナリ、不義ニシテ富ミ且ツ貴キハ、我ニ於テ浮ヘル雲ノ如シ、若シ己^{オノ}カ得ル所有ル應^カキ見テハ、當ニ是ヲ思テ取ル當シ、江熙云ク、義アリテ後ニ取ルソ、

(一) 「九」下、武内本有「也」字。

(二) 「李充云」、武内本作「李充曰」、下同。

(三) 「是」下、武内本有「義」字。

(四) 「義」下、武内本有「然」字。

【經】

孔子曰、見善如不及、

孔子ノ曰ク、善ヲ見テハ及ハ^カハ^ズルカ如クス、

【疏】

見有善者、當慕而齊之、恆恐己不能相及也、袁氏云、恆恐失之、故馳而及之、

善有ル者ヲ見テハ、當ニ慕テ之ト齊^ヒカル當シ、恆^ツニ己^{オノ}カ相ヒ^カ及フコト能ハ^ズンコトヲ恐ル、袁氏云ク、恆^ツニ之ヲ失コトヲ恐ル、故ニ馳^ハテ之ニ及フ、

【經】
見不善如探湯、

不善ヲ見テハ湯ヲ探ルカ如クス、

【疏】
若見彼不善者則、己急宜畏避不相染入、譬如人使己以手探於沸湯爲也、

若シ彼カ不_レ善ヲ見テハ則チ、己急_ニ宜ク畏_レ避テ相ヒ染_レ入セ_ニル宜シ、譬ハ人己ヲ使テ手ヲ以テ沸_フ湯ヲ探ルコトヲ爲_ナサ使_シムルカ如シ、

【經】
吾見其人矣、吾聞其語矣、

吾_レ其ノ_一人ヲ見ル、吾_レ其ノ_一語ヲ聞ク、

【疏】
孔子自云、此上二事、吾嘗見其人、亦嘗聞有其語也、

孔子自_ミ云ク、此ノ上ノ二事ハ、吾嘗_ワテ其ノ_一人ヲ見

テ、亦嘗_テ其ノ_一語有_ルコトヲ聞ケリ、

【注】
孔安國曰、探湯喻去惡疾也、

孔安國カ曰ク、湯ヲ探ルヲハ惡ヲ去クルコトノ疾キニ喻フ、

【疏】
去猶避也、疾速也、謂避惡之速、顏特進云、好善如所慕、惡惡如所畏、合義之情、可傳之理、既見其人、又聞其語也、

去ハ避_ニ猶シ、疾ハ速ナリ、惡ヲ避クルノ速ヲ謂フ、顏特進カ云ク、善ヲ好コト慕フ所ノ如シ、惡ヲ_ニ惡スルコト畏ルル所ノ如シ、義ニ合_ナフノ情、傳フ可キノ理、既_ニ其ノ_一人ヲ見テ、又其ノ_一語ヲ聞ク、

【經】
隱居以求其志、行義以達其道、

隱_レ居シテ以テ其ノ志ヲ求メ、義ヲ行テ其ノ_一道ヲ達ス、

【疏】

志違昏亂、故願隱居遁、言幽居以求其志也、行義以達其道、常願道申、故躬行仁義、以達其道也、

ハ、世一表ニ於テ、義ヲ行テ道ヲ古一人ニ達スル所以ナリ、立コト無キノ高キ能クシ難キノ行、徒ニ其ノ語ヲ聞テ、未タ人ヲ見未、

志シ昏亂ニ違フ、故ニ隱居シテ遁レンコトヲ願フ、言ハ幽居シテ其ノ志ヲ求ム、義ヲ行テ其ノ道ヲ達ス、常ニ道ノ申ヒンコトヲ願フ、故ニ躬行仁義ヲ行テ、其ノ道ヲ達ス、

【經】

吾聞其語矣、未見其人也、

吾其ノ語ヲ聞ク、未タ其ノ人ヲ見未、

【疏】

唯聞昔有夷齊能然、是聞有其語也、而今世無復此人、故云未見其人也、顏特進云、隱居所以求志、於世表、行義所以達道於古人、無立之高難能之行、徒聞其語、未見人也、

【經】

齊景公有馬千駟、

齊ノ景公馬千駟有リ、

唯タ聞ク昔夷齊有リ能ク然リト、是レ其ノ語有ルヲ聞クナリ、而ルヲ今世復タ此ノ人無シ、故ニ云ク未タ其ノ人ヲ見未ト、顏特進カ云ク、隱居シテ志ヲ求ムル所以

「違」作「達」。

内本此十七字在經文「隱居以求其志」句直下、但

- (一) 「云」、武内本作「曰」。
- (二) 「之」下、武内本有「也」字。
- (三) 「也」、武内本無此字。
- (四) 「志違昏亂、故願隱居遁、言幽居以求其志也」、武内本此十七字在經文「隱居以求其志」句直下、但「違」作「達」。
- (五) 「行義以達其道」、武内本無此六字。
- (六) 「申」、武内本作「中」。
- (七) 「也」、武内本作「矣」。
- (八) 「有」、武内本無此字。
- (九) 「人」上、武内本有「其」字。

【疏】
千駟四千匹馬也、

千駟ハ四一十匹ノ馬ナリ、

【經】
死之日、民無得稱焉、

死スルノ日、民得テ稱スルコト無シ、

【疏】
生時無德而多馬、一死則身名俱消、故民無所稱譽也、

生ケル時ニ德無シテ馬多シ、一ヒ死スル則ハ身一_{ひと}名俱ニ消ス、故ニ民稱譽スル所無シ、

【注】
孔安國曰、千駟四千匹也、

孔安國カ曰ク、千一駟ハ四一十匹ソ、

【經】
伯夷叔齊餓于首陽之下、

伯夷叔齊ハ首陽ノ下ニ餓ス、

【疏】

夷齊是孤竹君之二子也、兄弟讓國、遂入隱于首陽之山、武王伐紂。夷齊扣武王馬諫曰、爲臣伐君。豈得忠乎、橫尸不葬、豈得孝乎、武王左右欲殺之、太公曰、此孤竹君之子、兄弟讓國、大王不然制也、隱於首陽山合方立義、不可殺、是賢人、即止也、夷齊反首陽山責周不食周粟、唯食草木而已、後遼西令支縣柘冢白張石虎往蒲坂採材、謂夷齊云、汝不食周粟、何食周草木、夷齊聞言即遂不食、七日餓死也、云首陽下者、在山邊側也、

夷齊ハ是レ孤竹ノ君ノ二子ナリ、兄弟國ヲ讓テ、遂ニ入テ首陽ノ山ニ隱ル、武王紂ヲ伐ツ。夷齊武王ノ馬ヲ扣テ諫メテ曰ク、臣ト爲テ君ヲ伐ツ。豈ニ忠ヲ得ン乎、尸（尸）ヲ横テ葬ラ不、豈ニ孝ヲ得ン乎、武王ノ左右之ヲ殺サント欲、太公ノ曰ク、此レハ孤竹ノ君ノ子、兄弟國ヲ讓ル、大王モ然カシ制セ不、首陽山ニ隱テ方ニ合ヒ義ヲ立ツ、殺ス可不、是レ賢人ナリト、即チ止ム、

夷齊首陽山ニ反テ周ヲ責メテ周ノ粟ヲ食マ不、唯夕草木ヲ食スル而已、後二遼西令支縣祐一家白張石虎蒲坂ニ往テ材ヲ採ル、夷齊ニ謂テ云ク、汝周ノ粟ヲ食マ不、何ソ周ノ草木ヲ食ムヤ、夷齊言ヲ聞テ即チ遂ニ食マ不、七日ニシテ餓死ス、首陽ノ下ト云フコトハ、山邊ノ側ニ在レハナリ、

【注】

馬融曰、首陽山在河東蒲坂華山之北河曲之中也、

馬融カ曰ク、首陽山ハ河東蒲坂華山ノ北河曲ノ中ニ在リ、

【經】

民致于今稱之、

民今ニ致ルマテ稱ス、

【疏】

雖無馬而餓死、而民到孔子之時、相傳揄揚愈盛也、

馬無シテ餓死スト雖モ、民孔子ノ時ニ到ルマテ、相傳テ揄ケルコト愈盛ナリ、

【經】

其斯之謂與

其レ斯ヲ謂フ與

【疏】

斯此也、言多馬而無德、亦死即消、雖餓而有德、稱義無息、言有德不可重其此之謂也

斯ハ此ナリ、言ハ馬多シテ德無キトキハ、亦タ死シテ即チ消ス、餓スト雖モ德有ルトキハ、義ヲ稱シテ息ムコト無シ、言ハ有德ハ重ンス可不トハ其レ此ノ謂ナリ

【注】

王肅曰、此所謂、以德爲稱者也、

王肅カ曰ク、此ハ謂ハ所ル、德ヲ以稱スルコトヲ爲ル者ナリ、

(一) 「身」下、武内本有「與」字。

(二) 「扣」、武内本作「叩」。

(三) 「祐」、武内本作「佑」。

- (四) 「也」、武内本無此字。
- (五) 「側」下、武内本有「者」字。
- (六) 「致」、武内本作「到」。
- (七) 「到」、武内本作「至」。
- (八) 「之」、武内本無此字。
- (九) 「可」下、武内本有「不」字。
- (一〇) 「之謂」、武内本作「謂之」。

【經】

陳亢問於伯魚曰、子亦有異聞乎、

陳亢^{カウ}伯魚ニ問テ曰ク、子亦異^ヤ聞有リ乎、

【疏】

陳亢即子禽也、伯魚即鯉也、亢言伯魚是孔子之子、孔子或私教伯魚有異門徒聞、故云子亦有異聞不也、呼伯魚而爲子也、

陳亢^{カウ}ハ即^チ子禽ナリ、伯魚ハ即^チ鯉ナリ、亢言ヘラク伯魚ハ是レ孔子ノ子ナリ、孔子或ハ私ニ伯魚ニ教ヘテ門^ト徒ノ聞キニ異ナルコト有ント(伯魚ハ是レ孔子ノ子ナリ、孔子或ハ私ニ伯魚ニ教ヘテ門^ト徒ノ聞キニ異ナルコト有ント言^フス)

へり)、故ニ云ク子亦異^ト聞有リヤ不^レヤト、伯魚ヲ呼テ子ト爲^ス、

【注】

馬融曰、以爲伯魚孔子之子、所聞當有異也、

馬融カ曰ク、以^レ爲^レラク伯魚ハ孔子ノ子ナリ、聞ク所當ニ異有ル當シト(伯魚ハ孔子ノ子ナリ、聞ク所當ニ異有ル當シト以^レ爲^レへり)、

【經】

對曰未也、

對テ曰ク未^シ、

【疏】

伯魚對陳亢云、我未嘗有異聞也、

伯魚陳亢ニ對テ云ク、我未^レ嘗^テ異^ト聞有ラ未^ス、

【經】

嘗獨立、

嘗テ獨リ立テリ、

【疏】

此述己生平私得孔子見語之時也、言孔子嘗獨立、左右無人也、

此レハ己生^{おのレ}平私ニ孔子ニ語ラ見ルコトヲ得ルノ時ヲ述フ、言^{いふことろ}ハ孔子嘗テ獨リ立テリ、左右二人無シ、

【注】

孔安國曰、獨立謂孔子也、

孔安國カ曰ク、獨立トハ孔子ヲ謂フ、

【經】

鯉趨而過庭、

鯉趨テ庭ヲ過ク、

【疏】

孔子獨立在堂、而已趨從中庭過也、

孔子獨リ立テ堂ニ在ス、而ルヲ己趨テ中庭從リ過ク、

【經】

曰學詩乎

曰^{のたまは}ク詩學ヒタリ乎

【疏】

孔子見伯魚從庭過、呼而問之曰、汝嘗學詩不乎、

孔子伯魚ノ庭從リ過ルヲ見テ、呼テ之ヲ問テ曰ク、汝嘗テ詩學タリヤ不ヤ、

【經】

對曰未之、

對ヘテ曰ク未シ、

【疏】

伯魚述己^〇舉答孔子言、未嘗學之詩也、

伯魚己ヲ述テ孔子ニ舉ケ答テ言ク、未タ嘗^{かつて}詩ヲ學ヒ未^ス、

【經】 曰不學詩無以言也、

ノたまは
曰ク詩學ヒ不^スンハ以テ言^{そのいふ}コト無^{なか}レ、

【疏】

孔子問伯魚未嘗學詩、故以此語之、言詩有比興答對酬酢、人若不學詩則、無以與人言語也、

孔子伯魚ニ問フニ未^スタ嘗^ステ詩ヲ學ヒ未^ストイフ、故ニ此ヲ以^も之ニ語ル、言^{いふことろ}ハ詩ニ比^レ興答^ス對酬^ス酢^ス有^リ、人若シ詩ヲ學ヒ不^スンハ、以^トテ人與^ト言^フ語^スルコト無^レシ、

【經】

鯉退而學詩、

鯉退テ詩ヲ學フ、

【疏】

伯魚得孔子之旨、故退還己舍、而學詩之也、

伯魚孔子ノ旨ヲ得テ、故ニ己カ舍ニ退キ還テ、詩ヲ學フ、

【經】 他日又獨立、

他^レ日ニ又獨^リ立^テリ、

【疏】

他日、又別日也、孔子又在堂獨立也、

他^レ日トハ、又別^レ日ナリ、孔子又堂ニ在^マシテ獨^リ立^テリ、

【經】

鯉趨而過庭、

鯉趨テ庭ヲ過ク、

【疏】

伯魚又從中庭過也、

伯魚又中^レ庭從^リ過^ク、

【經】
曰學禮乎、

ノたまは
曰ク禮學ヒタリヤ、

【疏】

孔子又問伯魚、汝學禮不乎、

孔子又伯魚ニ問フ、汝禮學ヒタリヤ不ヤ、

【經】

對曰未也、

對テ曰ク未シ、

【疏】

亦答云、未學禮之也、

亦答テ云ク、未夕禮ヲ學ヒ未、

【經】

不學禮無以立、

禮學不シハ以テ立ツコト無レ、

【疏】

孔子又語伯魚云、禮是恭儉莊敬、立身之本、人有禮則安、無禮則危、若不學禮則、無以自立身也、

孔子又伯魚ニ語テ云ク、禮ハ是レ恭儉莊敬シテ、身ヲ立ルノ本ナリ、人ハ禮有ル則ハ安シ、禮無キ則ハ危シ、若シ禮ヲ學ヒ不シハ、自身ヲ立ツルコト無ケン、

【經】

鯉退而學禮、

鯉退テ禮ヲ學フ、

【疏】

鯉從孔子旨、退而學禮也、

鯉孔子ノ旨ニ從テ、退テ禮ヲ學フ、

【經】

聞斯二者矣、

斯ノ二ノ一者ヲ聞ク、

【疏】

又答陳亢。言己爲孔子之唯私聞學詩學禮二事也、

又陳亢ニ答フ。言ハ己孔子ノ爲ニ唯夕私ニ詩ヲ學ヒ禮ヲ學フノ二事ヲ聞キキ、

【經】

陳亢退而喜曰、問一得三、

陳亢退テ喜テ曰ク、一ヲ問テ三ヲ得タリ、

【疏】

陳亢得伯魚答己二事、故退而歡喜也、言我問異聞之一事、而今得聞三事也、

陳亢伯魚己ニ答ルノ二事ヲ得タリ、故ニ退テ歡喜ス、言ハ我レ異聞ノ一事ヲ問テ、今得テ三事ヲ聞キキ、

【經】

聞詩聞禮又聞君子之遠其子也、

詩聞キキ禮聞キキ又君子ノ其ノ子ヲ遠ルコトヲ聞ク、

【疏】

伯魚二也、又君子遠其子三也、伯魚是孔子之子、一生之中唯知聞二事、即是君子不獨親子、故相疎遠、是充今得聞君子遠於其子也、范寧云、孟子云、君子不教子何也、勢不行也、教者必以正、以正不行、繼之以怒、繼之以怒則、反夷矣、父子相夷惡也、

伯魚二ナリ、又君子ノ其ノ子ヲ遠ルコト三ナリ、伯魚ハ是レ孔子ノ子ナリ、一生ノ中ニ唯夕二事ヲ聞クヲ知ル、即チ是レ君子ハ獨リ子ヲ親シセ不、故ニ相疎遠ナリ、是レ充今君子ノ其ノ子ヲ遠ルコトヲ聞コトヲ得タリ、范寧カ云ク、孟子ニ云ク、君子ノ子ヲ教ヘ不ルコトハ何ソヤ、勢ヒ行ハレ不レハナリ、教ヘハ必ス正ヲ以テス、正ヲ以スルニ行ハレ不レキハ、之レニ繼クニ怒ヲ以テス、之ニ繼クニ怒ヲ以テスル則ハ、反テ夷(夷ナリ)、父子相ヒ夷レ(夷ニシテ)惡キナリ、

- (一) 「曰」、武内本作「云」。
- (二) 「舉」、武内本作「學」。
- (三) 「問」、武内本作「聞」。

(四) 「退」、武内本無此字。

(五) 「汝」、武内本無此字。

(六) 「孔子」、武内本無此二字。

(七) 「之」下、武内本有「子」字。

(八) 「知」、武内本無此字。

(九) 「充」上、武内本有「陳」字。

(一〇) 「云」、武内本作「曰」。

【經】

邦君之妻、君稱之曰夫人、

邦君ノ妻、君之ヲ稱シテハ夫人ト曰フ、

【疏】

當時禮亂、稱謂不明、故此正之也、邦君自呼其妻、曰夫人、

當時禮亂テ、稱謂明ナラ不^ス、故ニ此ニ之ヲ正ス、邦君自^{ミツ}其ノ妻ヲ呼テハ、夫人ト曰フ、

【經】

夫人自稱曰小童、

夫人自^{ミツ}稱シテハ小童ト曰フ、

【疏】

此夫人向夫自稱則、曰小童、小童幼少之目也、謙不敢自比於成人也、

此レハ夫人夫ニ向テ自^{ミツ}稱スル則^{トキ}ハ、小童ト曰フ、小童トハ幼少ノ目ナリ、謙シテ敢テ自成^{ミツ}一人ニ比セ不^ス、

【經】

邦人稱之曰君夫人、

邦^{クニ}人之ヲ稱シテハ君夫人ト曰フ、

【疏】

邦人、其國民人也、若其國之民、呼^ヨ其妻則、曰君夫人也、君自稱云、單曰夫人、故夫人稱、帶君言之也、

邦^{クニ}人トハ、其ノ國ノ民一人ナリ、若シ其ノ國ノ民、其ノ妻ヲ呼フ則^{トキ}ハ、君夫人ト曰フ、君自^{ミツ}稱シテ云フトキハ、單^{ヒト}二夫人ト曰フ、故二夫人ヲ民一人稱シテハ、君ヲ帶テ之ヲ言フ、

【經】
稱諸異邦、曰寡小君、

異邦二稱シテハ、寡小君ト曰フ、

【疏】

自我國臣民向他邦人、稱我君妻則、曰寡小君也、君自稱曰寡人、故臣民稱君爲寡君、稱君妻爲寡小君之也、

自^{みづから}我カ國ノ臣^{わが}民他^た邦ノ人ニ向フトキハ、我カ君ノ^{わが}妻ヲ稱シテハ、寡^{わが}小^{わが}君ト曰ヒ、君^{みづから}自^{みづから}稱シテハ寡^{わが}人ト曰フ、故二臣^{わが}民君ヲ稱シテ寡^{わが}君ト爲^なス、君ノ妻ヲ稱シテ寡^{わが}小^{わが}君ト爲ルナリ、

【經】

異邦人稱之、亦曰君夫人也、

異邦ノ人之ヲ稱シテハ、亦君夫人ト曰フ、

【疏】

若異邦臣來、即稱主國君之妻則、亦同曰君夫人也、

若シ異邦ノ臣^{わが}來テ、即チ主國ノ君ノ妻ヲ稱スル^{よび}則ハ、亦同ク君夫人ト曰フ、

【注】

孔安國曰、小君君夫人之稱也、對異邦謙、故曰寡小君、當此之時、諸侯嫡妾不正、稱號不審、故孔子正言其禮也、

孔安國カ曰ク、小君ハ君夫人ノ稱ソ、異邦ニ對スルトキハ謙ス、故二寡小君ト曰フ、此ノ時ニ當テ、諸侯ノ嫡^た妾^な正^{ただ}カラ不^な、稱號^な審^みラカナラ不^な、故二孔子正^{ただ}シク其ノ^な禮ヲ言フ、

(一) 「人」下、武内本有「也」字。

(二) 「其」、武内本作「君」。

(三) 「之」、武内本無此字。

論語義疏卷第八

(一) 「卷」、武内本無此字。

(二) 「八」下、武内本有「經一千七百七十四字／注一千九百七十字」十七字(小字雙行)。

(季氏篇担当 影山輝國)

論語義疏卷第九陽貨／微子^(三) 何晏集解 凡廿／四章^(三)
陽貨第十七^(四) 疏^(五)

(一) 「陽貨／微子」四字、小字雙行。

(二) 「凡廿／四章」四字、小字雙行。「何晏集解 凡

廿／四章」、武内本作「梁國子助教吳郡皇侃撰」。

(三) 「陽」上、武内本有「論語」二字。

(四) 「七」下、武内本有「何晏集解」四字、「凡廿四章」四字(小字單行)。

(五) 「疏」、武内本別行跳格。

【疏】

陽貨者、季氏家臣、亦凶惡者也、所以次前者、明於時凶亂非唯國臣無道、至於陪臣賤、亦竝凶愚、故陽貨次季氏也

陽貨ハ、季氏カ家臣ニシテ、亦タ凶惡ナル者ナリ、前ニ次ツル所^{ゆゑん}以ハ、時ニ凶亂ナルコト唯夕國臣ノ無道ナルノミニ非ス、陪臣ノ賤キニ至マテ、亦竝ニ凶愚ナルコトヲ明ス、故ニ陽貨ヲ季氏ニ次ツ

(一) 「亦」、武内本無此字。

【經】
陽貨欲見孔子

陽貨孔子ヲ見マク欲ス

【疏】

陽貨者、季氏家臣陽虎也、于時季氏稍微、陽氏爲季氏宰、專魯國政、欲使孔子任己、故使人召孔子欲與孔子相見也、

陽貨ハ、季氏カ家臣陽虎ナリ、時ニ季氏稍ク微ナリ、陽氏季氏カ宰ト爲テ、魯國ノ政ヲ專ニス、孔子ヲ使テ己ニ任ヘ使メマク欲、故ニ人ヲ使シテ孔子ヲ召シテ孔子與相見ヘント欲ス、

【經】

孔子不見、

孔子見不、

【疏】

孔子惡專監、故不與之相見也、

孔子專一監ヲ惡ム、故ニ之レ與相ヒ見ヘ不、

【注】

孔安國曰、陽貨陽虎也、季氏家臣、而專魯國之政、欲見孔子使仕也、

孔安國カ曰ク、陽貨陽虎ソ、季氏カ家一臣トシテ、魯國ノ政ヲ專ニス、孔子ヲ見マク欲スルコトハ仕ヘ使メントナリ、

【經】

歸孔子豚、

孔子ニ豚ヲ歸レリ、

【疏】

歸猶餉也、既召孔子、孔子不與相見、故又遣人餉孔子豚也、所以召不來、而餉豚者、禮得敵已以下餉、但於己家、拜餉而已、勝已以上、見餉、先既拜於己家、明日又往於餉者之室、陽虎乃不勝孔子、然已交專魯政、期度孔子必來拜謝已、因得與相見也、得相見、而勸之欲仕也、

歸ハ餉ノ猶シ、既ニ孔子ヲ召ス、孔子與ニ相ヒ見ヘ不、故ニ又夕人ヲ遣シテ孔子ニ豚ヲ餉ラ遣ム、召スニ來ラ不、而ルヲ豚ヲ餉ル所_ヲ以ハ、禮ニ己ニ敵スルヨリ以下ノ餉ヲ得テハ、但ニ己カ家ニ於テ、餉ヲ拜スル而已、己ヨリ勝レル以上ノ、餉ヲ見テハ、先ツ既ニ己カ家ニ拜シテ、明日ニシテ又餉ル者ノ室ニ往ク、陽虎ハ乃チ孔子ニ勝ラ不、然ルニ己カ家ニ交リ魯ノ政ヲ專ニス、孔子ノ必ス來テ己ヲ拜謝センコトヲ期度ス、因テ與ニ相ヒ見コトヲ得シ、相ヒ見ルコトヲ得テ、而シテ之ヲ勸メテ仕ヘシメント欲ス、

【注】

孔安國曰、欲使往謝、故遣孔子豚也、

孔安國カ曰ク、往テ謝セ使マク欲ス、故ニ孔子ニ豚ヲ遣レリ、

【經】

孔子時其亡、也而往拜之、

孔子其ノ亡キヲ時トシテ、往テ拜ス、

【疏】

亡無也、無謂虎不在家時也、孔子曉虎見餉之意、故往拜謝也、若往謝必與相見、相見於家、事或盤桓、故伺取虎不在家時、而往拜於其家也、

亡ハ無ナリ、無トハ虎カ家ニ在ラ不ルノ時ヲ謂フ、孔子虎ニ餉ラ見ルノ意ヲ曉ル、故ニ往テ拜シ謝ス、若シ往テ謝セハ必ス與ニ相ヒ見ヘン、家ニ相ヒ見ヘハ、事或ハ盤桓セシ、故ニ虎カ家ニ在ラ不ルノ時ヲ伺イ取テ、往テ其ノ家ニ拜ス、

【經】

遇諸塗、

塗ニ遇ヘリ、

【疏】

塗道路也、既伺其不在、而往拜、拜竟而還、與之相逢於路中也、孔子聖人所以不計避之、而在路與相逢者、其有所以也、若遂不相見則、陽虎求召不已、既得相見、期其意畢耳、但不欲久與相對、故造次在塗路也、所以知是已拜室還與相逢者、既先云時亡也、後云遇塗、故知已至其家也、其

若未至室則、於禮未畢、或有更隨其至己家之理、故伺不在而往、往畢還而相逢也、

塗ハ道一_レ路ナリ、既ニ其ノ在ラ不ルコトヲ伺ツテ、往テ拜ス、拜シ竟テ還ル、之レ與路中ニ相ヒ逢フ、孔子ハ聖人ニシテ之ヲ避ケンコトヲ計ラ不シテ、路ニ在テ與ニ相ヒ逢フ所_レ以ハ、其レ所_レ以有リ、若シ遂ニ相ヒ見ヘサル_レ則ハ、陽虎求メ_レ召スコト已マ不_レ、既ニ相ヒ見ルコトヲ得ルコトハ、其ノ意ノ畢ンコトヲ期スル耳、但タ久ク與ニ相ヒ對ンコトヲ欲セ不_レ、故ニ造次ニ（造次ニ）塗一_レ路ニ在ス、是レ已ニ室ニ拜シテ還テ與ニ相逢ト知ル所以_レ以ハ、既ニ先ツ亡キヲ時トスト云ヒ、後ニ塗ニ遇フト云フ、故ニ已ニ其ノ家ニ至ルコトヲ知ル、其レ若シ室ニ至ラ未_レノ_レ則、禮ニ於未タ畢ヘ未、或ハ更ニ隨ヘテ其ノ己カ_レ家ニ至ルノ理有ラン、故ニ在ラ不ルヲ伺ツテ往ク、往キ畢テ還テ相ヒ逢フ、

【注】

孔安國曰、塗道也、於道路與相逢也、

孔安國カ曰ク、塗ハ道、道路ニ於テ與ニ相逢ソ、

【疏】

一家通云、餽豚之時、孔子不在、故往謝之也、然於玉藻中、爲便、而不勝此集解通也、

一家ノ通ニ云ク、豚ヲ餽ルノ時、孔子在ラ不^ス、故ニ往テ之ヲ謝ス、然ルニ玉藻ノ中ニ於テ、便^ト爲^ス、而トモ此ノ集解ノ通ニ勝ラ不^ス、

【經】

謂孔子曰來、

孔子ニ謂^カテ曰^ハク來^レ、

【疏】

貨^(一〇)於路見孔子而呼孔子令來孔子趨就己也、

貨^{ミチ}路^ヲニ於^テ孔子ヲ見^テ而シテ孔子ヲ呼^テ孔子ヲ來^タシテ趨^テ己^ニ就^カ令^ム、

【經】

子與爾言、

子^ニ爾^ト與^テ言^ハン、

【疏】

予我也、爾汝也、貨先呼孔子來、而又云、我與汝言也、

予ハ我ナリ、爾ハ汝ナリ、貨先ツ孔子ヲ呼^テ來^タシテ、而シテ又^タ云^ク、我^ニ汝^ト與^テ言^ハン、

【經】

曰懷其寶而迷其邦、可謂仁乎、

曰^ク其^ノ寶^ヲ懷^イテ其^ノ邦^ヲ迷^ハスヲハ、仁^ト謂^フ可^シヤ、

【疏】

此是貨與孔子所言之辭也、既欲令仕己、故先發此言也、此罵孔子不^(一一)仁也、寶猶道也、言仁人之行、當惻隱救世以安天下、而汝懷藏佐時之道、不肯出仕、使邦國迷亂、爲此之事、豈可謂爲仁乎、

此レハ是レ貨孔子與^ト言^フ所^ノ辭^ナリ、既^ニ己^ニ仕^ヘ令^メント欲^ス、故^ニ先^ツ此^ノ言^ヲ發^ス、此レハ孔子ヲ不^レ仁ナ

リト罵ル、寶ハ道ノ猶シ、言ハ仁一人ノ行、當ニ側
(側)一隱シテ世ヲ救テ天一下ヲ安ニス當シ、而ルヲ汝時ヲ
佐ルノ道ヲ懷一藏シテ、肯テ出テ一仕ヘ不。邦一國ヲ使テ
迷亂ナラ使ム、此ノ事ヲ爲ス、豈ニ仁ヲ爲スト謂フ可シ
乎、

【經】

曰不可

ノなまは
曰ク不可ナリ

【疏】

孔子曉虎之言、故遜辭求免、而答已不可也、言不可謂此爲
仁人也、

孔子虎カ言ヲ曉ル、故ニ辭ヲ遜ヘテ免レンコトヲ求メテ、
己不^{おのレ}可ナリト答フ、言ハ此ヲ謂テ仁一人ト爲可ラ不シ
テ、

【注】

馬融曰、言孔子不任、是懷寶也、知國不治、而不爲政、是

迷邦也、

馬融カ曰ク、言ハ孔子任ヘ不、是レ寶ヲ懷クナリ、國
ノ治マラ不^さルコトヲ知テ、而シテ政ヲ爲不^せス、是レ邦ヲ迷ス
ナリ、

【經】

好從事、而亟失時、可謂智乎、

事ニ從ハンコトヲ好テ、亟^{シハシハ}時ヲ失スルヲハ、智ト謂フ
可シ乎、

【疏】

此亦罵孔子不知也、好從事、謂好周流東西從於世事、亟
數也、言智者以照了爲用、動無失時、而孔子數栖栖遑遑、
東西從事、而數失時、不爲時用、如此、豈可謂汝爲聖人
乎、

此ハ亦孔子ヲ不知ト罵ル、事ニ從ハンコトヲ好ムトハ、
好^{コのみ}テ東西ニ周一流シテ世事ニ從ヲ謂フ、亟ハ數ナリ、
言ハ智者ハ照了ヲ以テ用ト爲、動テ時ヲ失スルコト
無シ、而ルヲ孔子數^{シハシハ}栖^{シハシハ}遑^{シハシハ}遑トシテ、東西事ニ從テ、

數^{シバシバ}時ヲ失シテ、時ノ爲^{タガ}ニ用ラレ不^スルコト、此ノ如シ、豈ニ汝ヲ謂テ智^ト人ト爲^ス可シ乎^ヤ、

【經】

曰不可、

ノたまは
曰ク不^レ可ナリ、

【疏】

又遜辭云不可也、

又辭ヲ遜^{シテ}ヘテ不^レ可ナリト云フ、

【注】

孔安國曰、言孔子栖栖、好從事、而數不遇失時、不爲有智也、

孔安國カ曰ク、言^ハ孔子栖^シ栖^トシテ、事ニ從^フハンコトヲ好^ムメトモ、數^{シバシバ}遇^ハ不^レ時ヲ失シテ、智有^ト爲^ス不^レ、

【經】

日月逝矣、歲不我與、

日^イ月逝^トンヌ、歲^ト我^ト與^トナラ^ス不^ス、

【疏】

罵孔子。孔子辭既畢、故貨又以此辭、勸孔子出任也、逝速也、言日月不停、速不待人、豈得懷寶至老而不仕乎、我我孔子也、

孔子ヲ罵ル。孔子ノ辭既ニ畢^スル、故ニ貨又此ノ辭ヲ以テ、孔子ノ出テ任^ヘンコトヲ勸ム、逝ハ速ナリ、言^ハ日^イ月停^トマラ^ス不^レ、速^ニシテ人ヲ待^タス不^レ、豈ニ寶ヲ懷テ老ニ至^リマテ仕^ヘ不^ルコトヲ得^シ乎^ヤ、我^トハ孔子ニ我^ソ、

【注】

馬融曰、年老歲月已往、當急仕也、

馬融カ曰ク、年^イ老テ歲^イ月已^ニ往^トンヌ、當^ニ急^ニ仕^フ當^シ、

【經】

孔子曰、諸吾將仕矣、

孔子ノ曰ク、諸^ハ吾^ハ將^シニ仕^ヘント將^ス、

【疏】

孔子得勸、故遜辭答之云諾、吾將仕也、郭象曰、聖人無心、仕與不仕、隨世耳、陽虎勸仕、理無不諾、不能用我則、無自用、此直道而應者也、然逸遜之理、亦在其中也、

孔子勸ムルコトヲ得、故ニ辭ヲ遜テ之ニ答テ云ク諾、吾將ニ仕ヘント將、郭象カ曰ク、聖人ハ無心ナリ、仕フルト仕ヘ不ル與、世ニ隨フ耳、陽虎仕ヘンコトヲ勸ム、理諾セ不トイフコト無シ、我ヲ用ルコト能ハ不ル則ハ、自^{ミツカ}用シムルコト無シ、此レ道ヲ直シテ應スル者ナリ、然レトモ逸^{シタカ}レ、遜^{シタカ}ノ理、亦其ノ中ニ在リ、

【注】

孔安國曰、以順辭免害也、

孔安國カ曰ク、順辭ヲ以テ害ヲ免ルルソ、

- (一) 「任」、武内本作「仕」、下同。
- (二) 「監」、武内本作「濫」。
- (三) 「於」、武内本無此字。
- (四) 「室」下、武内本有「也」字。

(五) 「無」、武内本無此字。

(六) 「時」上、武内本有「之」字。

(七) 「伺取」、武内本作「敢伺」。

(八) 「也」下、武内本有「矣」字。

(九) 「伺」上、武内本有「先」字。

(一〇) 「路」、武内本作「道」。

(一一) 「是」、武内本作「陽」。

(一二) 「仁」、武内本作「仕」。

(一三) 「知」、武内本作「智」。

(一四) 「事」下、武内本有「也」字。

(一五) 「乎」下、武内本有「矣」字。

(一六) 「曰」、武内本作「云」。

(一七) 「無」上、武内本有「我」字。

(一八) 「逸」、武内本作「免」。

【經】

子曰、性相近也、習相遠也、

子ノ曰ク、性相ヒ近シ、習フトキハ相ヒ遠ル、

【疏】

性者、人所稟以生也、習者謂生後有百儀、常所行習之事

也、人俱稟天地之氣、以生、雖復厚薄有殊、而同是稟氣、故曰相近也、及至識、若值善友則、相效爲善、逢惡友、則相效爲惡、惡善既殊、故云相遠也、故范寧云、人生而靜、天之性也、感於物而動、性之欲也、斯相近也、習洙泗之教、爲君子、習申商之術、爲小人、斯相遠矣也、

性トハ、人ノ稟テ以テ生スル所ナリ、習フトハ生シテ後百儀有テ、常ニ行ヒ習フ所ノ事ヲ謂フ、人俱ニ天地ノ氣ヲ稟テ、以テ生ス、復タ厚薄ノ殊有リト雖モ、同ク是レ氣ヲ稟ク、故ニ曰ク相ヒ近シト、識ニ至ルニ及テ、若シ善友ニ値フ則ハ、相ヒ效ツテ善ヲ爲ス、惡友ニ逢フ、則ハ相ヒ效テ惡ヲ爲ス、惡善既ニ殊ナリ、故ニ云ク相ヒ遠ルト、故ニ范寧カ云ク、人生シテ靜ナルハ、天ノ性ナリ、物ニ感シテ動クハ、性ノ欲ナリ、斯レ相ヒ近ナリ、洙泗ノ教ヲ習テハ、君子ト爲ル、申商カ術ヲ習テハ、小人ト爲ル、斯レ相ヒ遠ルナリ、

【注】

孔安國曰、君子慎所習也、

孔安國カ曰ク、君子ハ習フ所ヲ慎ム、

【疏】

然情性之義、說者不同、且依一家舊釋云、性者生也、情者成也、性是生而有之、故曰生也、情是起欲、動彰事、故曰成也、然性無善惡、而有濃薄、情是有欲之心、而有邪正、性既是全生、而有未涉乎用、非唯不可名爲惡、亦不可目爲善、故性無善惡也、所以知然者、夫善惡之名、恆就事而顯、故老子云、天下以知美之爲美、斯惡已、以知善之爲善、斯不善已、此皆據事而談、情有邪正者、情既是事、若逐欲流遷、其事則邪、若欲當於理、其事則正、故情不得不有邪有正也、故易云、利貞者性情也、王弼云、不性其情、焉能久行其正、此是情之正也、若心好流蕩失真、此是情之邪也、若以情近性、故曰性其情、情近性者、何妨是有欲、若逐欲遷、故曰遠也、若欲而不遷、故曰近、但近性者正、而即性非正、雖即性非正而能使之正、譬如近火者熱、而即火非熱、雖即火非熱而能使之熱、能使之熱者何、氣也、熱也、能使之正者何、儀也、靜也、又知其有濃薄者、孔子云、性相近也、若全同也、相近之辭不生、若全異也、相近之辭、亦不得立、今云近者、有同有異、取其共是無善無惡則同也、有濃有薄則異也、雖異而未相遠、故曰近也、

然ルニ情性ノ義、說者同カラ不、且タ一家ノ舊釋ニ依テ云ハン、性ハ生ナリ、情ハ成ナリ、性ハ是レ生ニシ

テ之レ有リ、故ニ生ト曰フ、情ハ是レ欲ヨリ起ル、動トキ
 八事ニ彰ル、故ニ成ト曰フ、然ルニ性ニ善ノ惡無シ、而ト
 モ濃ノ薄有リ、情ハ是レ有欲ノ心ナリ、而シテ邪ノ正有リ、
 性ハ既ニ是レ全ク生シテ、未タ用ニ涉ラ未ルコト有リ、
 唯タ名テ惡ト爲可ラ不ルノミニ非ス、亦タ目ツケテ善ト爲
 可カラ不、故ニ性ニ善ノ惡無シ、然ルコトヲ知ル所以ハ、
 夫レ善ノ惡ノ名ハ、恆ニ事ニ就テ顯ル、故ニ老子ノ云ク、
 天下以テ美ノ美爲ルコトヲ知ルハ、斯レ己ヲ惡ナリ、
 以テ善ノ善爲ルコトヲ知ルハ、斯レ己ヲ善セストイフ。
 此皆事ニ據テ談ス、情ニ邪ノ正有ルコトハ、情ハ既ニ是レ
 事ナリ、若シ欲ヲ逐ツテ流遷セハ、其ノ事則チ邪ナリ、
 若シ欲理ニ當ラハ、其ノ事則チ正ナリ、故ニ情ニ邪有リ
 正有ラ不ルコトヲ得不、故ニ易ニ云ク、利貞ハ情ヲ性ニ
 ス、王弼カ云ク、其ノ情ヲ性ニセ不シハ、焉ソ能ク久ク
 其ノ正ヲ行ハン。此レハ是レ情ノ正ナリ、若シ心流ノ蕩
 ヲ好テ眞ヲ失セハ、此レハ是レ情ノ邪ナリ、若シクハ情
 ヲ以テ性ニ近クスルカ、故ニ其ノ情ヲ性ニスト曰フ、情性
 ニ近キ者ハ、何ソ是レ欲有ルニ妨ケアラン、若シクハ欲ヲ
 逐テ遷カ、故ニ遠ルト曰フ、若シクハ欲アリテ遷ラ不
 カ、故ニ近ト曰フ、但タ性ニ近キ者ハ正シ、而ルヲ即チ性
 正ナラシムルニ非ス、即チ性正ナラシムルニ非スト雖モ能

ク之ヲ使テ正カラ使ム、譬ハ近ク火ニ者熱スルカ如シ、即
 チ火熱スルニ非ス、即チ火熱スルニ非スト雖トモ而モ能ク
 之ヲ使テ熱セ使ム、能ク之ヲ使テ熱セ使ムル者ハ何ソヤ。
 氣ナリ。熱ナリ。能ク之ヲ使テ正ナラ使ムルコトハ者ハ何
 ソヤ。儀ナリ。靜ナリ。又タ其ノ濃ノ薄有ルコトヲ知ルコ
 トハ、孔子ノ云ク、性相ヒ近シ、若シ全ク同クンハ、
 相ヒ近キノ辭ハ生ラ不、若シ全ク異ナラハ、相ヒ近キノ
 辭ハ、亦タ立コトヲ得不、今近シト云コトハ、同有リ異有
 リ、其レ共ニ是レ善無ク惡無キニ取ル則ハ同シ、濃有リ
 薄有ル則ハ異ナリ、異ナリト雖モ未タ相ヒ遠カラ未、故
 ニ近シト曰フ、

- (一) 「生後百儀」、武内本作「生而後有儀」。
- (二) 「逢」上、武内本有「若」字。
- (三) 「情性」、武内本作「性情」。
- (四) 「云」、武内本作「曰」。
- (五) 「己」、武内本作「已」。
- (六) 「己」、武内本作「已」。
- (七) 「云」、武内本作「曰」。
- (八) 「云」、武内本作「曰」。
- (九) 「曰」、武内本作「云」。
- (一〇) 「曰」、武内本作「云」。

(一一)「云」、武内本作「曰」。

【經】

子曰、唯上智與下愚不移、

子ノ曰ク、唯タ上^ノ智ト下^ノ愚トハ移ラズ、

【疏】

前既云性近習遠、而又有異、此則明之也、夫降聖以還、賢愚萬品若大而言之、且分爲三、上分是聖、下分是愚、愚人以上、聖人以下、其中階品不同、而共爲一、此之共一則、有推移、今云上智謂聖人、下愚愚人也、夫人不生則已、若有生之始、便稟天地陰陽氤氳之氣、氣有清濁、若稟得淳清者、則爲聖人、若得淳濁者、則爲愚人、愚人淳濁、雖澄亦不清、聖人淳清、攪之不濁、故上聖遇昏亂之世、不能撓其眞、下愚值重堯疊舜不能變其惡、故云、唯上知與下愚不移也、而上知以下、下愚以上、二者中間顏閔以下、一善以上、其中亦多清少濁、或多濁少清、或半清半濁、澄之則清、攪之則濁、如此之徒、以隨世變改、若遇善則清升、逢惡則淳淪、所以別云、性相近習相遠、

前二既二性^レ近シ習フトキハ遠ルト云フ、而トモ又タ異ル

コト有り、此二則チ之ヲ明ス、夫レ降聖ヨリ以^レ還、賢愚萬品若シ大ニシテ之ヲ言フトキハ、且タ分テ三ト爲ス、上^ノ分ハ是レ聖、下^ノ分ハ是レ愚、愚人以^レ上、聖人以^レ下、其^ノ中ノ階品同カラズ、而ルヲ共ニ一ト爲ス、此レ之ノ共ニ一ナル^レ則ハ、推シ移スコト有り、今上^ノ智ト云フハ聖人ヲ謂フ、下^ノ愚トハ愚人ナリ、夫レ人生レ不^レル則ハ已ヌ、若シ生有ルノ始ハ、便チ天^ノ地陰陽氣^ノ氤^ニ氣ヲ稟ク、氣ニ清濁有り、若シ稟ルニ淳清ヲ得ル者ハ、則チ聖人爲リ、若シ淳濁ヲ得ル者ハ、則チ愚人爲リ、愚人ハ淳清ナリ、之ヲ攪ケトモ、濁ラズ、故ニ上^ノ聖ハ昏亂ノ世ニ遇テモ、其^ノ眞ヲ撓ムルコト能ハズ、下^ノ愚ハ重堯疊舜ニ値テモ其^ノ惡ヲ變スルコト能ハズ、故ニ云ク、唯タ上^ノ知ト下^ノ愚トハ移ラズト、而ルニ上^ノ知以下、下^ノ愚以上、二ツノ者^ノ中間顏閔以下、一善以上、其^ノ中亦タ清多ク濁少ク、或ハ濁多ク清少ク、或ハ半清半濁ナリ、之ヲ澄マス則ハ清ミ、之ヲ攪ク則ハ濁ル、此ノ如キノ徒、以テ世ニ隨テ變^レ改ス、若シ善ニ遇フ則ハ清升シ、惡ニ逢フ則ハ淳淪ス(淳ミ淪ム)、所以ニ別ニ云ク、性相ヒ近シ習フトキハ相ヒ遠ルト、

【注】

孔安國曰、上智不可使強爲惡、下愚不可使強賢、

孔安國カ曰ク、上智ヲハ強イテ惡ヲ爲サ使ム可ラ不、下愚ヲハ強テ賢ナラ使ム可不、

(一) 「上知」、武内本作「上智」、下同。

(二) 「遠」下、武内本有「也」字。

(三) 「賢」下、武内本有「也」字。

【經】

子游^〇之武城、聞絃歌之聲、

子游武城ニ之イテ、絃歌ノ聲ヲ聞ク、

【疏】

之往也、于時子游爲武城宰、而孔子往焉、既入其邑、聞絃歌之聲也。但解聞絃歌之聲、其則有二、一云、孔子入武城堦、聞邑中人家有絃歌之響、由子游正化和樂故也、故繆播云、子游宰小邑、能令民得其可絃歌以樂、又一云、謂孔子入城、聞子游身自絃歌、以教民也、故江熙云、小邑但當令足衣食教敬而已、反教歌詠先王之道也、

之ハ往ナリ、時于子游武城ノ宰爲リ、而ルヲ孔子往テ、既

ニ其ノ邑ニ入テ、絃歌ノ聲ヲ聞ク。但シ絃歌ノ聲ヲ聞クコトヲ解スルコト、其レ則チ二有リ、一ニ云ク、孔子武

城ノ堦ニ入テ、邑中ノ人家絃歌ノ響有ルヲ聞ク、

子游カ正化和樂スルニ由ル故ナリ、故繆播カ云ク、子游

小邑ニ宰トシテ、能ク民ヲ令テ其ノ絃歌シテ以テ樂ム

可コトヲ得セ令ム、又タ一ニ云ク、謂ル孔子城ニ入テ、

子游カ身自絃歌シテ、以テ民ニ教ルヲ聞ク、故ニ江熙

カ云ク、小邑ハ但タ當ニ衣食ヲ足ラ令メ敬ヲ教フ當キ

而已、反テ先王ノ道ヲ歌詠スルコトヲ教フ、

【注】

孔安國曰、子游爲武城宰也、

孔安國カ曰ク、子游武城ノ宰爲リ、

【經】

夫子莞爾而咲、

夫子莞爾トシテ咲フ、

【疏】

孔子聞絃歌聲、而咲之也、

孔子ノ絃歌ノ聲ヲ聞テ、之ヲ咲わらふ、

【注】

莞爾者、小咲貌也、

莞爾ハ、小シ咲わらふ貌かたず、

【經】

曰、割鷄焉用牛刀、

ノたまは 曰ク、鷄ヲ割クニ焉いづくんソ牛ノ刀ヲ用ヒン、

【疏】

孔子說可咲之意也、牛刀大刀也、割鷄宜用鷄刀、割牛宜用牛刀、若割鷄而用牛刀、刀大而鷄小、所由之過也、譬如武城小邑之政、可由小才而已、用子游之太才、是大才而用小也、故繆播云、惜其不得導千乘之國、如牛刀割鷄、不盡其才也、江熙云、如牛刀割鷄非其宜也、

孔子咲フ可キノ意ヲ說ク、牛ノ刀ハ大刀ナリ、鷄ヲ割ニ

ハ宜ク鷄ノ刀ヲ用フ宜シ、牛ヲ割ニハ宜ク牛ノ刀ヲ用フ宜シ、若シ鷄ヲ割テ牛ノ刀ヲ用ルトキハ、刀大ニシテ鷄小キナリ、由ル所過ク、譬ハ武城ノ小邑ノ政ノ如シ

ハ、小才ヲ由ユ可キ而已、子游カ大才ヲ用フ、是レ大才ニシテ小才ヲ用ルナリ、故ニ繆播カ云ク、其ノ千乘ノ國ヲ導クコトヲ得不ルコトヲ惜ム、牛刀ノ鷄ヲ割テ、其ノ才ヲ盡サ不ルカ如シ、江熙カ云ク、牛刀ノ鷄ヲ割クコト其ノ宜キニ非ルカ如シ、

【注】

孔安國曰、言治小何須用大道也、

孔安國カ曰ク、言ハ小ヲ治ムルニ何ソ大道ヲ用フ須

【經】

子游對曰、昔者偃也聞諸夫子曰、君子學道則愛人、小人學道則易使也、

子游對ヘテ曰ク、昔者偃夫子ニ聞キキ曰ク、君子道

ヲ學フ則ハ人ヲ愛ス、小人道ヲ學フ則ハ使ヒ易シト、

【疏】

子游得孔子咲己、故對對^(八)所以絃歌之意也、先據聞之於孔子言云、若君子學禮樂、則必以愛人爲用、小人學道則易使、爲樂業、而偃今日所以有此絃歌之化也。一云、子游既學道於孔子、今日之化政、是小人易使、故謬播云、夫博學之言、亦可進退也、夫子聞鄉黨人之言、便引得射御、子游聞牛刀之喻、且取非宜、故曰、小人學道則易使也、其不知之者、以爲戲也、其知之者、以爲賢聖謙之意也、

子游孔子ノ己ヲ咲コトヲ得、故ニ對^(九)フルニ絃^(一〇)歌スル所^(一一)以^(一二)ノ意ヲ對^(一三)フ、先ツ據^(一四)リテ之ヲ孔子ノ言ニ聞^(一五)キ云ク、若シ君^(一六)子禮^(一七)樂^(一八)ヲ學^(一九)フ、則^(二〇)ハ必ス人ヲ愛スルヲ以テ用^(二一)ト爲^(二二)、小^(二三)人道^(二四)ヲ學^(二五)フ、則^(二六)ハ使^(二七)ヒ易^(二八)シテ、業^(二九)ヲ樂^(三〇)ムコトヲ爲^(三一)、而シテ偃^(三二)今日此ノ絃^(三三)歌^(三四)ノ化^(三五)有^(三六)ル所以ナリ。一ニ云ク、子游既ニ道^(三七)ヲ孔子ニ學^(三八)フ、今日ノ化^(三九)政^(四〇)ハ、是レ小^(四一)人使^(四二)ヒ易^(四三)カラントナリ、故ニ謬^(四四)播^(四五)カ云ク、夫レ博^(四六)學^(四七)ノ言^(四八)、亦タ進^(四九)退^(五〇)ス可^(五一)シ、夫^(五二)子鄉^(五三)黨^(五四)ノ人ノ言ヲ聞^(五五)テ、便^(五六)チ射^(五七)御^(五八)ヲ引^(五九)キ得^(六〇)タリ、子游牛^(六一)刀^(六二)ノ喻^(六三)ヲ聞^(六四)テ、且^(六五)夕^(六六)宜^(六七)キニ非^(六八)ルヲ取^(六九)ル、故ニ曰^(七〇)ク、小^(七一)人道^(七二)ヲ學^(七三)フ、則^(七四)ハ使^(七五)ヒ易^(七六)シト、其^(七七)レ之ヲ知^(七八)ラ不^(七九)ル者^(八〇)ハ、以^(八一)テ戲^(八二)ト爲^(八三)、其^(八四)レ之ヲ知^(八五)ル者^(八六)ハ、以^(八七)テ賢^(八八)聖^(八九)ノ謙^(九〇)ノ意^(九一)ト爲^(九二)、

【注】

孔安國曰、道謂禮樂也、樂以和人、人和則易使也、

孔安國カ曰ク、道トハ禮樂ヲ謂フ、樂ハ以テ人ヲ和ス、人和スル則^(一)ハ使^(二)ヒ易^(三)シ、

【疏】

就如注意、言子游對、所以絃歌化民者、欲使邑中君子、聞^(一)之則愛人、邑中^(二)小人學之則易使也

如^(三)シ注^(四)ノ意^(五)ニ就^(六)カハ、言^(七)ハ子游對^(八)フ、絃^(九)歌^(一〇)シテ民ヲ化^(一一)スル所以^(一二)ハ、邑^(一三)中^(一四)ノ君^(一五)子ヲ使^(一六)テハ、之ヲ聞^(一七)テ則^(一八)チ人ヲ愛^(一九)セシメ、邑^(二〇)中^(二一)ノ小^(二二)人ハ之ヲ學^(二三)フ、則^(二四)ハ使^(二五)ヒ易^(二六)シトヲ欲^(二七)ス

【經】

子曰、二三子、

子ノ曰^(一)ク、二^(二)三^(三)子^(四)、

【疏】

二三子、從孔子行者也、孔子將欲美偃之是、故先呼從行

之二三子也、

二二三子トハ、孔子ニ從テ行ク者ナリ、孔子將ニ偃カ是ナルコトヲ美メント欲ス、故ニ先ツ行ニ從フ二三子ヲ呼フ、

【注】

孔安國曰、從行者也、

孔安國カ曰ク、從テ行ケル者ナリ、

【經】

偃之言是也、

偃カ言是ナリ、

【疏】

言子游之言、所以用絃歌之化是也、

言ハ子游カ言、絃歌ヲ用テ化スル所以是ナリ、

【經】

前言戲之耳、

前ノ言ハ戲ラク耳、

【疏】

言我前云、割鷄焉用牛刀、是戲是治小而才大也、

言ハ我前ニ云ク、鷄ヲ割クニ焉ソ牛ノ刀ヲ用ントハ、是レハ是レ小ヲ治メテオノ大ナルコトヲ戲ル、

【注】

孔安國曰、戲以治小而用大道也、

孔安國カ曰ク、戲ルルニ小ヲ治ムルニ大道ヲ用フトイフヲ以テス、

(一) 「游」、武内本無此字。

(二) 「絃」、武内本作「弦」、下同。

(三) 「故」、武内本無此字。

(四) 「令」、武内本作「使」。

(五) 「樂」下、武内本有「也」字。

(六) 「者」、武内本無此字。

(七) 「大才」、武内本作「才大」。

(八) 「對」、武内本無此字。

(九) 「謬」、武内本作「繆」。

(一〇) 「人之」、武内本作「之人」。

(一一) 「謙之」、武内本作「之謙」。

(一二) 「聞」、武内本作「學」。

(一三) 「偃」上、武内本有「言」字。

【經】

公山不擾

公山不擾フツゼウ

【疏】

姓公山。名不擾也

姓ハ公山。名ハ不擾

【經】

以費畔、

費ヲ以テ畔ク、

【疏】

費季氏菜邑也、畔背叛也、不擾當時爲季氏邑宰、而作亂、與陽虎共執季氏、是背畔於季氏也、

費ハ季氏カ菜邑ナリ、畔ハ背叛(背キ叛ク)ナリ、不擾當時季氏カ邑宰ト爲テ、亂ヲ作シテ、陽虎與共ニ季氏ヲ執フ、是レ季氏ニ背キ畔クナリ、

【經】

召子欲往、

子ヲ召ス往カマク欲ス、

【疏】

既背畔、使人召孔子、孔子欲往應召也、

既ニ背キ畔テ、人ヲ使シテ孔子ヲ召ス、孔子往テ召ニ應セント欲ス、

【注】

孔安國曰、不擾爲季氏宰、與陽虎共執季桓子而召孔子也

孔安國カ曰ク、不擾季氏カ宰ト爲テ、陽虎與共ニ季桓子ヲ執ヘテ孔子ヲ召ス

【經】

子路不悅

子路悦ヒ不シテ

【疏】

子路見孔子欲往、故已不欣悦也、

子路孔子ノ往マク欲スルヲ見ル、故ニ己ニ欣悦セ不ス

【經】

曰未之也已、何必公山氏之之也

曰ク之クコト末クンハ己ンナン、何ソ必シモ公山氏ノモトニ之カン

【疏】

子路不悅、而復說此辭也、末無也、之適也、已止也、中之語助也、下之亦適也、子路云、雖時不我用、若無所適往、則乃當止耳、何必公山氏之適也、

子路悦ヒ不シテ、復タ此ノ辭ヲ説ク、末ハ無ナリ、之ハ適ナリ、己ハ止ナリ、中ノ之ハ語ノ助ナリ、下ノ之ハ亦タ適ナリ、子路カ云ク、時ニ我レ用ラレト雖トモ、若シ適キ往ク所無クンハ、乃チ當ニ止ム當キ耳、何ソ必シモ公山氏ノモトニ適カン、

【注】

孔安國曰、之適也、無可之則已耳、何必公山氏之適者也、

孔安國カ曰ク、之ハ適、之ク可キコト無クンバ己ンナン耳、何ソ必シモ公山氏ノ適カン、

【經】

子曰、夫召我者、而豈徒哉、

子曰、夫召我者ニシテ、豈ニ徒シカラランヤ、

【疏】

孔子答子路所以欲往之意也、徒空也、言夫欲召我者、豈容無事空然而召我乎、必有以也、

孔子子路ニ往カマク欲スル所以ノ意ヲ答フ、徒ハ空ナリ、言ハ夫我ヲ召ント欲スル者、豈ニ無一事空然ニシテ我ヲ召ス容ケンヤ、必ス以有ン、

【經】

如有復用我者吾其爲東周乎、

如シ復タ我ヲ用ルコト有ラハ吾其レ東周ヲ爲ン乎、

【疏】

若必不空然、而用我、時則我當爲興周道也、魯在東、周在西、云東周者、欲於魯而興周道、故云吾其爲東周也、一云、周室東遷洛邑、故曰東周、

若シ必ス空然ナラ不シテ、我ヲ用ヒハ、時ニ則チ我當ニ周道ヲ興スコトヲ爲當シ、魯ハ東ニ在リ、周ハ西ニ在リ、東周ト云フハ、魯ニ於テ周道ヲ興ン欲ス、故ニ云ク、吾其レ東周ヲ爲ンカ、一二云ク、周室東カタ洛邑ニ遷ル、

故ニ東周ト曰フ、

【注】

興周道於東方、故曰東周、

周道ヲ東方ニ興ス、故ニ東周ト曰フ、

【疏】

王弼云、言如能用我者、不擇地、而興周道也、

王弼カ云ク、言ハ如シ能ク我ヲ用ヒハ、地ヲ擇ハ不シテ、周道ヲ興サン、

(一) 「菜」、武内本作「采」。

(二) 「末」、武内本作「未」、下同。

(三) 「復」、武内本作「後」。

(四) 「者」、武内本無此字。

(五) 「復」、武内本無此字。

(六) 「周」下、武内本有「也」字。

(七) 「道也」、武内本作「室道」。此疏、武内本前經之

疏「故曰東周」下。

【經】

子張問仁於孔子、孔子對曰、能行五者於天下、爲仁矣、

子張仁ヲ孔子ニ問フ、孔子對ヘテ曰ク、能ク五ノ者ヲ
天下ニ行フヲ、仁ト爲ス、

【疏】

言若能行五事於天下、則可謂爲仁也、

いふころ
言ハ若シ能ク五事ヲ天下ニ行フ、則ハ謂ツテ仁ト爲
ヘシ、

【經】

請問之、

請ヒ問フ、

【疏】

子張不曉五者之事、故反請問其目也、

子張五ノ者ノ事ヲ曉ラ不、故ニ反テ其ノ目ヲ請イ問フ、

【經】

曰。恭、寬、信、敏、惠、

曰ク、恭、寬、信、敏、惠、

【疏】

答五者之目也、

五ノ者ノ目ヲ答フ、

【經】

恭則不侮、

恭ナル則ハ侮ラ不、

【疏】

又爲歷解五事所以爲仁之義也、言人若行己、能恭則、人以
敬己。不敢見輕侮也、故江熙云、自敬者人、亦敬己也、

又タ爲ニ五事ヲ仁ト爲ル所以ノ義ヲ歴解ク、言ハ人
若シ己ヲ行テ、能ク恭ナル則ハ、人以テ己ヲ敬ス。
敢テ輕ンシ侮ラ見不、故ニ江熙カ云ク、自敬スル者

ハ、人亦ひとタ己おのれヲ敬うやまつス、

【注】

孔安國曰、不見侮慢也、

孔安國カ曰ク、侮あなづ(侮)リあなづ慢見レ不、

【經】

寬則得衆、

寬ナルとくまん則ハ衆ヲ得、

【疏】

人君所行、寬弘則、衆附歸之、是故得衆也、

人ひと君ノ行フ所、寬とくまん弘ナル則ハ、衆之ニ附ツキ(附)歸ス、是ノ故ニ衆ヲ得、

【經】

信則人任焉、

信ナル則ハ人ニ任セララル、

【疏】

人君立言、必信則爲人物、所見委任也、一云、人思任其事、不見冥也、

人ひと君言ヲ立ルコト、必ス信アル則ハ人ひと物ノ爲ニ、委任セ見ル所ナリ、一ニ云ク、人其ノ事ニ任セラレンコトヲ思テ、冥くらマサ見不、

【經】

敏則有功、

敏ナル則ハ功有リ、

【疏】

敏疾也、人君行事、不懈而能進四能進疾也則、事以成而多功也、

敏ハ疾ナリ、人ひと君事ヲ行フ、懈ラ不シテ能ク進ミ能ク進ミ疾キ則ハ、事以テ成テ功多シ、

【注】

孔安國曰、應事疾則、多成功也、

孔安國カ曰ク、事ニ應_レスルコト疾_キ則_ハ、成_レ功多シ、

腓勝_{ヒラキツ}(子ヲ)召ス

【經】
惠則足以使人、

【疏】
腓勝使人召於孔子也、

惠ナル則_ハ以テ人ヲ使フニ足レリ、

腓勝人ヲ使_シテ孔子ヲ召サ使ム、

【疏】
人君、有恩惠加民、民則以不憚勞役也、故江熙云、有恩惠則、民忘勞也、

【經】
子。欲往、

人_レ君、恩惠有テ民ニ加フルトキ、民則チ以テ勞_レ役ヲ憚_ラ不_ス、故ニ江熙カ云ク、恩_レ惠有ル則_ハ、民勞ヲ忘ル、

(子ヲ)往カマク欲ス、

(一) 「則可謂爲仁也」、武内本作「則可謂之爲仁人也矣」。

【疏】
孔子欲應召使而往也、

(二) 「若」、武内本作「君」。

(三) 「不」上、武内本有「故」字。

(四) 「能進」、武内本無此二字。

孔子召_レ使ニ應シテ往カマク欲ス、

【注】

孔安國曰、晉大夫趙簡子之邑宰也、

孔安國カ曰ク、晉ノ大夫趙簡子カ邑宰ソ、

【經】
腓勝召

【經】

子路曰、昔者由也聞諸夫子曰、親於其身、爲不善者、君子不入也、

子路カ曰ク、昔由夫^{むかし}子ニ聞ケリ曰ク、親^{なまは}ラ其ノ身ニ於テ、不^{ミツカ}善ヲ爲ルニハ、君^{ミツカ}子ハ入ラ不ト、

【疏】

子路見孔子欲應腓勝之召、故據昔聞孔子之言、而諫止之也、子路云、由昔親聞夫子之言、若有人自親行不善之事者、則君子不入其家也、

子路孔子ノ腓勝カ召スニ應セント欲スルヲ見ル、故ニ昔孔子ニ聞クノ言ニ據ツテ、之ヲ諫メ^{むかし}止ム、子路カ云ク、由昔親^{むかし}夫^{むかし}子ノ言ヲ聞キキ、若シ人有テ自^{ミツカ}親^{ミツカ}ラ不^{ミツカ}善ノ事ヲ行フ者ニハ、君^{ミツカ}子ハ其ノ家ニ入ラ不ト、

【注】

孔安國曰、不入其國也、

孔安國カ曰ク、其ノ國ニ入ラ不^ス、

【經】

腓勝以中牟畔、

腓勝中牟ヲ以テ畔ク、

【疏】

據腓勝身自爲不善之事也、腓勝經爲中牟邑宰而遂背畔、此是不善之事也、

腓勝身^{ミツカ}自^{ミツカ}ラ不^{ミツカ}善ノ事ヲ爲スニ據ル、腓勝中牟ノ邑宰爲ルコトヲ經テ而テ遂ニ背キ畔ク、此レハ是レ不^{ミツカ}善ノ事ナリ、

【經】

子之往之如之何、

子ノ往^ユカンコト如^イ之^カ何^ン、

【疏】

腓勝身爲不善、而今夫子若爲往之、故云如之何也、

腓勝身不^{ミツカ}善ヲ爲ス、而ルヲ今夫^{いま}子若^{イカ}ン^シ爲^シテカ之レニ往

ク、故ニ如^い之^か何^ント云フ、

【經】

子曰然、有是言也、

子ノ曰^{たまは}ク然^{シカ}ナリ、是^{コト}ノ言^ハ有^リ、

【疏】

然如此也、孔子答曰、有如此所說也、我昔者有此君子、不入於不善之國之言也、

然^{ゼン}ハ如^シ此、孔子答^テ曰^ク、此^ノ如^ク說^ク所^有リキ、我^ハ昔^ニ此^ノ君^子、不^レ善^ノ國^ニ入^ラ不^ルノ言^有リ、

【經】

曰不日堅乎、磨而不磷、不日白乎、涅而不緇、

曰^ク堅^キヲ曰^ハ不^ヤ、磨^ゲトモ磷^ラカ不^ス、白^キヲ曰^ハ不^ヤ、涅^ニスレトモ緇^マ不^ス、

【疏】

孔子既然之、而更廣述我從來所言非一、或云君子不入不善

之國、亦云君子入不善之國、而不爲害、經爲之設^(九)二譬、譬天下至堅之物、磨之不薄、至白之物、染之不黑、是我昔亦有此二言、汝今那唯憶不入、而不憶亦入乎、故云不日堅乎、磨而不磷、不日白乎、涅而不緇、言我昔亦經有曰也、故云不日乎、以問之也、

孔子既ニ之ヲ然^{シカ}ニス、而シテ更ニ廣ク我力從來言^フ所^一ニ非ルコトヲ述フ、或ハ云ク君子ハ不善ノ國ニ入ラ不^スト、亦タ云ク君子ハ不^レ善ノ國ニ入テモ、而モ害ヲ爲^サ不^ス、經ニ之カ爲^ニ二ノ譬^ヲ設テ、天^下至^レ堅ノ物、之ヲ磨^トモ薄^ラカ不^ス、至^レ白ノ物^ハ、之ヲ染^レトモ黑^マ不^ルニ譬^フ、是^レ我昔亦タ此^ノ二ノ言^有リ、汝^今那^ソ唯^タ入^ラ不^ルコトヲ憶テ、亦^タ入^ルコトヲ憶^ハ不^ル乎、故^ニ云^ク堅^キヲ曰^ハ不^ヤ、磨^ゲトモ磷^ラカ不^ス、白^キヲ曰^ハ不^ヤ、涅^ニスレトモ緇^マ不^ス、言^ハ我昔亦^タ經^ニ曰^{コト}有^リ、故^ニ曰^ハ不^ヤ乎^ト云^テ、之^ニ問^フ、

【注】

孔安國曰、磷薄也、涅可以染皂者也、言至堅者、磨之而不薄、至白者、染之於涅而不黑、喻君子雖在濁亂、濁亂不能汚^(四)也、

孔安國カ曰ク、磷ハ薄、涅ハ以テ皂ニ染ム可キ者ソ、
言ハ至堅ノ者ハ、之ヲ磨トモ薄ラカ不、至白ノ者ハ、
之ヲ涅ニ染ムレトモ黒マ不、君子ハ濁亂ニ在リト雖ト
モ、濁亂汚スコト能ハ不ルニ喩フ、

【疏】

然孔子所以有此二説、不同者、或其不入是爲賢人、賢人以
下易染、故不許入也、若許入者、是聖人、聖人不爲世俗染
累、如至堅至白之物也、子路不欲往。孔子欲往、故其告
也、

然ルニ孔子此ノ二説有テ、同カラ不ル所以ハ、或ハ其レ
入ラ不ルハ是レ賢人ト爲、賢人以トハ染ミ易シ、故ニ
入ルコトヲ許サ不、入ルコトヲ許スカ若キンハ、是レ聖
人ナリ、聖人ハ世俗ノ爲ニ染ミ累ワサレ不、至堅至
白ノ物ノ如シ、子路往コトヲ欲セ不。孔子往マク欲ス、故
ニ其レ告ク、

【經】

吾豈匏苽也哉、焉能繫而不食、

吾豈二匏一苽ナレヤ、焉ソ能ク繫カツテ食ハレ不ラン、

【疏】

孔子亦爲説我所以一應召之意也、言人非匏苽、匏苽係滯一
處、不須飲食、而自然生長、乃得不用何通乎、而我是須食
之人、自應東西求覓、豈得如匏苽係而不食耶、一通云、匏
苽星名也、言人有才智、宜佐時理務、爲人所用、豈得如匏
苽係天而不可食耶、王弼云、孔子機發後應、事形乃視、
擇地以處身、資教以全度者也、故不入亂人之邦。聖人通遠
慮微、應變神化、濁亂不能汚其潔、凶惡不能害其性、所以
避難不藏身、絕物不以形也、有是言者、言各有所施也、苟
不得係而不食、舍此適彼、相去何若也、

孔子亦タ爲ニ我カ一ラ召スニ應スル所以ノ意ヲ説ク、
言ハ人ハ匏一苽ニ非ス、匏一苽ハ一處ニ係リ滯テ、
飲一食セラルルコトヲ須イ不、而シテ自然ニ生レ長ス、乃
チ用ヒラレ不コトヲ得何ソ通センヤ、我ハ是レ須ク食ハ
ル須キノ人ナリ、自東西求メ覓ルニ應セン、豈ニ匏一
苽ノ係ツテ食ハレ不ルカ如ルコトヲ得ンヤ、一通ニ云
ク、匏一苽ハ星ノ名ナリ、言ハ人オ才智有ラハ、宜ク時
ヲ佐ケ務メヲ理メテ、人ノ爲ニ用ヒ所ル宜シ、豈ニ匏一苽
ノ天ニ係テ食ワル可カラ不ルカ如コトヲ得ンヤ、王弼カ
云ク、孔子機發シテ後ニ應シ、事形テ乃チ視、地ヲ

擇テ以テ身ヲ處スルコトハ、教ニ資テ以テ度ヲ全スル者ナリ、故ニ亂一人ノ邦ニ入ラ不^ス。聖一人ハ遠ヲ通シ微ヲ慮^{おもひはかり}。

テ、變ニ應シテ化ヲ神ニス、濁亂モ其ノ潔ヲ汚スコト能ハ不^ス、凶惡モ其ノ性ヲ害スルコト能ハ不^ス、所以ニ難ヲ避クルニ身ヲ藏サ不^ス、物ヲ絶スルニ形ヲ以テセ不^ス、是ノ言有ル者ニハ、言各施ス所有リ、苟モ係テ食ハレ不^ルコトヲ得不^ス、此ヲ舍テテ彼ニ適ク、相ヒ去ルコト何^{イカ}ン(若^{ニヤク})、

【注】

匏瓠也、言匏瓠得繫一處者、不食故也、吾自食物、當東西南北、不得如不食之物、繫滯一處也、

匏ハ瓠^コ、言匏莖ノ一處ニ繫カルコトヲ得ルコトハ、食ハレ不^ル故ナリ、吾ハ自食ハレシ物ナリ、當ニ東西南北ス當シ、食ハレ不^ル物ノ、一處ニ繫リ滯ル^ルコトヲ得不^ス、

【疏】

江熙云、夫子豈實之公山腓勝乎、故欲往之意耶、汎爾無係、以觀門人之情、如欲居九夷、乘桴浮於海耳、子路見形

而不及道、故聞乘桴而喜、聞之公山而不悅、升堂而未入室、安測聖人之趣哉、

江熙カ云ク、夫子豈ニ實ニ公山腓勝ニ之カシヤ、故ニ(故ニ)往カマク欲スルノ意(意)アラシヤ、汎(汎)爾トシテ係ルコト無シ、以テ門人ノ情ヲ觀ル、九夷ニ居リ桴乗テ、海ニ浮ハント欲ルカ如キ耳、子路形ヲ見テ道ニ及ハ不^ス、故ニ桴ニ乗ヲ聞テ喜ヒ、公山ニ之クヲ聞テ悦ヒ不^ス、堂ニ升テ未タ室ニ入ラ不^ス、安ソ聖人ノ趣キヲ測ラシヤ、

- (一) 「腓勝」、武内本作「腓勝」、下同。
- (二) 「也」、武内本無此字。
- (三) 「也」、武内本無此字。
- (四) 「夫」、武内本作「孔」。
- (五) 「言」下、武内本有「云」字。
- (六) 「之」、武内本作「也」。
- (七) 「也」、武内本無此字。
- (八) 「曰」、武内本無此字。
- (九) 「經」、武内本作「徑」。
- (一〇) 「設」、武内本作「說」。
- (一一) 「云」、武内本作「曰」。

(二二) 「曰」下、武内本有「白」字。

(二三) 「也」、武内本無此字。

(二四) 「也」、武内本無此字。

(二五) 「累」、武内本作「黑」。

(二六) 「蒞」、武内本作「瓜」、下同。

(二七) 「耶」、武内本作「邪」。

(二八) 「勝勝」、武内本作「弗盼」。

【經】

子曰由

子ノ曰ノたまはク由

【疏】

呼子路名而問之也、

子路カ名ヲ呼テ之ヲ問フ、

【經】

汝聞六言六蔽〇矣乎、

汝なんぢ六言六蔽ヲ聞クヤ、

【疏】

夫所欲問子路、汝曾聞六言、而每言以有蔽塞之事乎、言既有六、故蔽亦有六、故云六言六蔽之事、在下文、王弼云、不自見其過也、

夫レ子路ニ問ハント欲スル所ナリ、汝曾テ六言ニシテ、言毎ニ以テ蔽塞コト(蔽イ塞カル)事ヲ有ルコトヲ聞クヤ、言既ニ六ツ有リ、故ニ蔽モ亦六有リ、故ニ六言六蔽ノ事ト云フ、下ノ「文ニ在リ、王弼カ云ク、自其ノ過アヤマチクワ」ヲ見不、

【注】

六言六蔽者、下六事、謂仁、智、信、直、勇、剛、也

六言六蔽ト者、下ノ六事ソ、仁、智、信、直、勇、剛ヲ謂イ(謂)フ、

【經】

對曰未也、

對こたヘテ曰ク未いまシ、

【疏】子路對曰、未曾聞也、

子路對ヘテ曰ク、未^{いま}夕^{カフ}曾^{ソウ}(會)テ聞カ未^ス、

【經】居吾語汝、

居^レ吾^わ汝^ニ語^{ラン}、

【疏】居猶復坐也、子路得孔子問、避席而對曰未也、故孔子呼之使復座也、吾當語汝也、

居トハ坐ニ復^カレトイハンカ猶シ、子路孔子ノ問ヲ得テ、席ヲ避^イテ對ヘテ曰ク未^{いまだ}シト、故ニ孔子之ヲ呼^カテ座ニ復^カラ使^シム、吾^わ當^まニ汝^ニ語^ル當^シ、

【注】孔安國曰、子路起對、故使還座、

孔安國カ曰ク、子路起テ對フ、故ニ座ニ還^カラ使^ム、

【經】好仁不好學、其蔽也愚、

仁ヲ好^ムメトモ學ヲ好^マズマ^ルトキハ、其ノ蔽^ツエ愚^{ナリ}、

【疏】

一也、然此以下六事、以謂中人也、夫事得中適、莫不資學、若不學而行事、猶無燭夜行也、仁者博施周急、是德之盛也、唯學者能裁其中、若不學而施、施必失所、是與愚人同、故其蔽塞在於愚也、江熙云、好仁者、謂聞其風、而悅之者也、不學不能深源乎其道、知其一而未識其二、所以蔽也、自非聖人、必有所偏、偏才雖美、必有所蔽、學者假教以節其性、觀教知變則、見所過也、

一ナリ、然^シルニ此ヨリ以^テ下ノ六事ハ、以^テ中一人ヲ謂^フ、夫^レ事^ト中^ト得^ルコトハ、學ニ資^ラズ不^トイフコト莫^シ、若^シ學ヒ不^シテ事ヲ行^フハ、燭無^クシテ夜行スルカ猶^シ、仁ハ博ク施シ急^ラ周^ル(周)ハス、是レ德ノ盛ナルナリ、唯^テ學ハ能ク其ノ中ヲ裁^ス(裁ル)、若^シ學ヒ不^シテ施ストキハ、施シ必ス所ヲ失^ス、是レ愚^ク人與^ト同^シ、故ニ其ノ蔽^ハ塞^ニ在^リ、江熙カ云ク、仁ヲ好ムトハ、其ノ風ヲ聞^テ、之ヲ悅^フ者ヲ謂^フ、學ヒ不^シハ深ク其^ノ道^ニ源^クコト

能ハ不^シ、其ノ一^ツヲ知テ未タ其ノ二^ヲ識ラ未、蔽トスル所^{ゆゑん}以ナリ、聖人ニ非ス自ハ、必ス偏ナル所^{とこ}有ラン、偏才美ナリト雖モ、必ス蔽トスル所^{とこ}有リ、學ハ教ヲ假テ以テ其ノ性ヲ節ス、教ヲ觀テ變ヲ知ル則ハ、過^{アヤマ}(過)ツ所ヲ見ル、

【注】

孔安國曰、仁者愛物、不知所以裁之、則愚也、

孔安國カ曰ク、仁^一者ハ物ヲ愛ス、之ヲ裁セン(裁ル)所^{ゆゑん}以ヲ知不ルトキハ、愚ナリ、

【經】

好智不好學、其蔽也蕩、

智ヲ好メトモ學ヲ好マ不ルトキハ、其ノ蔽^{ツイ}エ蕩ナリ、

【疏】

二也、智以運動爲用、若學而裁之則、智動會理、若不學而運動則、蔽塞在於蕩、無所の守也、

二ナリ、智^チハ運動ヲ以テ用トス、若シ學テ之ヲ裁スル則ハ、智ノ動コト理ニ會フ、若シ學ヒ不シテ運動スル則ハ、蔽^ツ塞蕩ニ在リ、的^{アタ}リ守ル所無シ、

【注】

孔安國曰、蕩無所適守也、

孔安國カ曰ク、蕩^{アタ}ハ適リ守ル所無キノ、

【經】

好信不好學、其蔽也賊也、

信ヲ好メトモ學ヲ好マ不ルトキハ、其ノ蔽^{ツイ}エ賊ナリ、

【疏】

三也、信者不欺爲用、若學而爲信、信則合宜、不學而信、信不合宜、不合宜則、蔽塞在於賊害其身也、江熙云、尾生與女子期、死於梁下、宋襄與楚人期、傷泓、不及信害也、

三ナリ、信ハ欺カ不ルヲ用ト爲、若シ學テ信ヲ爲シテ、信アル則ハ宜ニ合フ、學ヒ不シテ信アルハ、信宜ニ合ハ不、宜ニ合ハ不ル則ハ、蔽^ツ塞其ノ身ヲ賊害スルニ在リ、江

熙カ云ク、尾生女子與期シテ、梁下ニ死ス、宋ノ襄楚人與期シテ、泓ニ傷ル、信ニ及ハ不ルノ害ナリ、

【注】

孔安國曰、父子不知相隱之輩也、

孔安國曰ク、父子相ヒ隱スコトヲ知ラ不ルノ輩ナリ、

【經】

好直不好學、其蔽也絞、

直ヲ好メトモ學ヲ好マ不ルトキハ、其ノ蔽ヘ絞ナリ、

【疏】

四也、直者不曲爲用、若學而行之、得中適、若不學而直則、蔽塞在於絞、絞猶刺也、好譏刺之人非、以成己之直也、

四ナリ、直ハ曲ラ不ルヲ用ト爲、若シ學テ之ヲ行トキハ、中適ヲ得、若シ學ヒ不シテ直ナル則ハ、蔽塞絞ニ在リ、絞ハ刺(刺)ノ猶シ、好テ人ノ非ヲ譏リ刺テ、以テ己カ直ヲ成ス、

【經】

好勇不好學、其蔽也亂、

勇ヲ好メトモ學ヲ好マ不ルトキハ、其ノ蔽ヘ亂ナリ、

【疏】

五也、勇是多力、多力若學則能用勇、敬拜於廊廟、捍難於邊墮、若勇不學則、蔽塞在於作亂也、

五ナリ、勇ハ是レ多力ナリ、多力ニシテ若シ學フ則ハ能ク勇ヲ用フ、廊廟ニ敬拜シ、難ヲ邊墮(墮)ニ捍ク、若シ勇ニシテ學ヒ不ル則ハ、蔽塞亂ヲ作スニ在リ、

【經】

好剛不好學、其蔽也狂、

剛ヲ好メトモ學ヲ好マ不ルトキハ、其ノ蔽ヘ狂ナリ、

【疏】

六也、剛者無欲、不爲曲求也、若復學而剛則、中適爲美、若剛而不學則、必蔽在於狂、狂謂抵觸於人、無迴避者也、

六ナリ、剛ハ欲無シ、曲テ求ルコトヲ爲不、若シ復タ學テ剛ナル則ハ、中適ニシテ美ヲ爲ス、若シ剛ニシテ學ヒ不_レル則ハ、必ス蔽ヘ狂ニ在リ、狂ハ謂ル人ニ抵キ觸レテ、廻避スルコト無キ者ナリ、

【注】

孔安國曰、狂妄抵觸人也、

孔安國カ曰ク、狂ハ妄リ二人ニ抵キ觸ルソ、

- (一) 「蔽」、武内本作「弊」、下同。
- (二) 「者」、武内本無此字。
- (三) 「也」、武内本作「之」。
- (四) 「居」上、武内本有「曰」字。
- (五) 「曰」、武内本作「云」。
- (六) 「座」、武内本作「坐」。
- (七) 「座」、武内本作「坐也」。
- (八) 「過」、武内本作「遇」。
- (九) 「也」、武内本無此字。
- (一〇) 「不及信害」、武内本「不度信之害」。
- (一一) 「相」下、武内本有「爲」字。
- (一二) 「以」、武内本無此字。

- (二三) 「廊廟」、武内本作「廟廊」。
- (二四) 「觸」下、武内本有「於」字。

【經】

子曰小子、

子ノ曰ク小子、

【疏】

呼諸弟子、欲語之也、

諸弟子ヲ呼テ、之ニ語ラント欲ス、

【經】

何莫學夫詩、

何ソ夫ノ詩ヲ學フコト莫キ、

【疏】

莫無也、夫語助也、門弟子、汝等何無學夫詩者耶、

莫ハ無ナリ、夫ハ語ノ助ナリ、門弟子、汝等何ソ夫ノ

詩ヲ學フ者無キ耶、

【注】

苞氏曰、小子門人也、

苞氏カ曰ク、小子ハ門人ソ、

【經】

詩可以興、

詩ハ以テ興フ可ク、

【疏】

又爲說所以宜學之由也。興謂譬喻也、言若能學詩、詩可令人能爲譬喻也、

又夕爲二宜ク學フ宜キ所_レ以_レノ由ヲ説ク。興トハ譬_レ喻ヲ謂フ、言_レハ若シ能ク詩ヲ學フトキハ、詩ハ人ヲ令_レテ能ク譬_レ喻ヲ爲サ令ム可シ、

【注】

孔安國曰、興引譬連類也、

孔安國カ曰ク、興トハ譬ヲ引キ類ヲ連ヌルソ、

【經】

可以觀、

以テ觀ル可ク、

【疏】

詩有諸國之風、風俗盛衰、可以觀覽以知之也、

詩ニ諸國ノ風有リ、風俗ノ盛衰、以テ觀覽_レテ以テ之ヲ知ル可シ、

【注】

鄭玄曰、觀觀風俗盛衰也、

鄭玄カ曰ク、觀トハ風俗ノ盛衰ヲ觀ルソ、

【經】

可以群、

以テ群ス可ク、

【疏】

詩有如切如磋如琢如磨、是朋友之道、可以群居也、

詩二切スルカ如ク磋スルカ如ク琢スルカ如ク磨スルカ如シ
トイフコト有リ、是レ朋^ト友^トノ道ナリ、以テ群^キ居^ヘス可シ、

【注】

孔安國曰、群居相切磋也、

孔安國カ曰ク、群^ト居^シテ相^ヒ切^リ磋^スルソ、

【經】

可以怨、

以怨^ム可シ、

【疏】

詩可以怨刺諷諫之法、言之者無罪、聞之者足以戒、故可以
怨也、

詩ハ怨^シ刺^シ諷^シ諫^ヲ以テ法トス可シ、之ヲ言フ者ハ罪無ク、
之ヲ聞ク者ハ以テ戒ムルニ足レリ、故ニ以テ怨ム可シ、

【注】

孔安國曰、怨刺上政也、

孔安國カ曰ク、上^ノ政ヲ怨ミ刺ルソ、

【經】

邇之事父、遠之事君、

邇^{チカ}クハ父^ニ事^リ、遠^クハ君^ニ事^ル、

【疏】

邇近也、詩有凱風白花相戒以養、是近有事父之道也、又雅
頌君臣之法、是有遠事君之道也、江熙云、言事父與事君、
以有其道也、

邇^シハ近ナリ、詩ニ凱風白花有リ相^ヒ戒^ムルニ養ヲ以テス、
是レ近クハ父^ニ事^リルノ道有リ、又雅頌ハ君^ノ臣^ノ法ナ
リ、是レ遠クハ君^ニ事^ルノ道有リ、江熙カ云ク、言^ハ
ハ父^ニ事^ルト君^ニ事^ルト、其^ノ道有リ、

【注】

孔安國曰、邇近^四、

孔安國カ曰ク、邇シハ近、

【經】

多識於鳥獸草木之名也、五

多ク鳥獸草木ノ名ヲ識ル、

【疏】

關雎鵲巢是有鳥也、騶虞狼跋是有獸也、采芣苢是草也、甘棠棣樸是有木也、詩竝載其名、學詩者則多識之、

關雎鵲巢ハ是レ鳥有リ、騶虞ニシテ狼跋ハ是レ獸有リ、采芣苢クハ是レ草有リ、甘棠棣樸ハ是レ木有リ、詩ニ竝ニ其ノ名ヲ載ス、詩ヲ學フ者ハ則チ多ク之ヲ識ル、

(一) 「俗」下、武内本有「之」字。

(二) 「花」、武内本作「華」。

(三) 「道」下、武内本有「者」字。

(四) 「近」下、武内本有「也」字。

(五) 「也」、武内本無此字。

(六) 「之」下、武内本有「也」字。

【經】

子謂伯魚曰、女爲周南召南矣乎、

子伯魚ニ謂テ曰ク、女周南召南ヲ爲ヒタリヤ、

【疏】

伯魚孔子之子也、爲猶學也、周南關雎以下詩也、召南鵲巢以下詩也、孔子見伯魚而謂之云、汝已曾學周召二南之詩乎、然此問即是伯魚趨過庭、孔子問之、學詩乎時也、

伯魚ハ孔子ノ子ナリ、爲ハ學ノ猶シ、周南ハ關雎ヨリ以下ノ詩ナリ、召南ハ鵲巢ヨリ以下ノ詩ナリ、孔子伯魚ヲ見テ之ニ謂ツテ云ク、汝已ニ曾テ周召二南ノ詩ヲ學タリ乎、然ルニ此ノ問即チ是レ伯魚趨テ庭ヲ過ク、孔子之レニ問フ、詩學タリ乎トイフノ時ナリ、

【經】

人而不爲周南召南、其猶正牆面而立也與、

人トシテ周南召南ヲ爲ヒ不シハ、其レ猶正二面ヲ牆ニシテ立テルカ猶キ與、

【疏】

先問之、而更爲說周召二南、所以宜學之意也、牆面、面向牆也、言周召二南、既多所含載、讀之則、多識草木鳥獸、及可事君親、故若不學詩者、則如人面正向牆而倚立、終無所瞻見也、然此語、亦是伯魚過庭時、對曰未學詩、而孔子云、不學詩、無以言也

先ツ之レニ問テ、而シテ更ニ爲二周召二南ノ宜ク學フ宜キ所^{ゆゑん}以ノ意ヲ説ク、面ヲ牆^{かき}トハ、面ヲ牆ニ向クソ^{いふころ}言ハ周召ノ二南、既ニ含ミ載スル所多、之ヲ讀ム則ハ、多ク草木鳥獸、及ヒ君親ニ事フ可キコトヲ識ル、故ニ若シ詩ヲ學ヒ不シハ、則チ人ノ面正ニ牆ニ向テ倚リ立ツカ如シ、終ニ瞻見ル所無シ、然ルニ此ノ語モ、亦是レ伯魚庭ヲ過ル時、對ヘテ曰ク未タ詩ヲ學ヒ未、而ルヲ孔子ノ云ク、詩學ヒ不シハ、以テ言フコト無レト

【注】

馬融曰、周南召南、國風之始、得淑女以配君子、三綱首、王教之端、故人而不爲、如向牆而立也、

馬融カ曰ク、周南召南ハ、國風ノ始メナリ、淑女ヲ得

君子ニ配ス、三綱ノ首メ、王教ノ端ナリ、故二人トシテ爲ヒ不シハ、牆ニ向テ立テルカ如シ、

(一) 「召」、武内本作「邵」、下經注同。

(二) 「網」、武内本作「綱之」。

【經】

子曰、禮云禮云、玉帛云乎哉、

子曰ク、禮ト云ヒ禮ト云フ、玉帛ヲシモ云ヘヤ、

【疏】

此章辨禮樂之本也、夫禮所貴、在安上治民、但安上治民、不因於玉帛而不達、故行禮必用玉帛耳、當乎周季末之君、唯知崇尚玉帛、而不能安上治民、故孔子歎之云也、故重言禮云禮云玉帛云乎哉、明禮之所云、不玉帛也、

此ノ章ニハ禮樂ノ本ヲ辨ス、夫レ禮ノ貴フ所ハ、上ヲ安シシ民ヲ治ムルニ在リ、但タ上ヲ安シシ民ヲ治ムルコト、玉帛ニ因テ達セ不シハアラ不、故ニ禮ヲ行フニ必ス玉帛ヲ用ル耳、周ノ季末ノ君ニ當テ、唯タ玉帛ヲ崇ヒ尚コトヲ知テ、上ヲ安シシ民ヲ治ムルコト能ハ不、故ニ孔子之

ヲ歎シテ云フ、故ニ重テ禮ト「云ヒ禮ト」云フハ玉ト帛ヲモ云ヘ乎ト言フ、明ケシ禮ノ云フ所、玉ト帛ニ不ルコトヲ、

【注】

鄭玄曰、玉璋珪之屬也、帛束帛之屬也、言禮非但崇此玉帛而已、所貴者、乃貴其安上治民也、

鄭玄カ曰ク、玉ハ璋珪ノ屬、帛ハ束帛ノ屬ソ、言ハ禮ハ但タ此ノ玉ト帛ヲシモ崇フ而已ニ非ス、貴フ所ハ、乃シ其ノ上ヲ安ンシ民ヲ治ムルコトヲ貴フ、

【經】

樂云樂云、鐘鼓云乎哉、

樂ト「云ヒ樂ト」云フ、鐘鼓ヲシモ云ヘ乎、

【疏】

樂之所貴、在移風易俗、因於鐘鼓而宜、故行樂必假鐘鼓耳、當澆季之主、唯知崇尚鐘鼓、而不能移風易俗、孔子重言樂云樂云鐘鼓云乎哉、明樂之所云不在鐘鼓也、

樂ノ貴フ所ハ、風ヲ移シ俗ヲ易ルニ在リ、鐘鼓ニ因テ宜シ、故ニ樂ヲ行ニ必ス鐘鼓ヲ假ル耳、澆季ノ主ニ當テ、唯タ鐘鼓ヲ崇ヒ、尚コトヲ知テ、風ヲ移シ俗ヲ易ルコト能ハ不、孔子重テ樂ト「云ヒ樂ト」云フ鐘鼓ヲモ云ヘ乎哉ト言コトハ、樂ノ云フ所、鐘鼓ニ在ラ不ルコトヲ明ス、

【注】

馬融曰、樂之所貴者、移風易俗也、非謂鐘鼓而已也、

馬融カ曰ク、樂ノ貴フ所ハ、風ヲ移シ俗ヲ易フ、鐘鼓ヲ謂フ而已ニ非ス、

【疏】

王弼云、禮以敬爲主、玉帛者敬之用飾也、樂主於和、鐘鼓者樂之器也、于時所謂、禮樂者、厚贄幣、而所簡於敬、盛鐘鼓、而不合雅頌、故正言其義也、繆播云、玉帛禮之用、非禮之本、鐘鼓者、樂之器也、非樂之主、假玉帛以達禮、禮達則、玉帛可忘、借鐘鼓以顯樂、樂顯則鐘鼓可遺、以禮假玉帛、於求禮、非深乎禮者也、以樂託鐘鼓、於求樂、非通乎樂者也、苟能禮正則、無持於玉帛、而上安民治矣、苟能暢和則、無借於鐘鼓、而移風易俗也、

王弼カ云ク、禮ハ敬ヲ以主ト爲、玉帛ハ敬ノ用ノ飾ナリ、樂ハ和ヲ主トスル、鐘鼓ハ樂ノ器ナリ、時于謂ハ所ル、禮ハ樂ハ、贊幣ヲ厚シテ、簡ニスル所ハ敬ニ於テス、鐘鼓ヲ盛ニシテ、雅頌ニ合ハ不、故ニ其ノ義ヲ正シ言フ、繆播云ク、玉帛ハ禮ノ用ナリ、禮ノ本ニ非ス、鐘鼓ハ、樂ノ器ナリ、樂ノ主ニ非ス、玉帛ヲ假ツテ禮ヲ達ス、禮ヲ達スル則ハ、玉帛忘ス可シ、鐘鼓ヲ借テ樂（樂ミ）ヲ顯ス、樂顯ルル則ハ鐘鼓遺ル可シ、以テ禮ニ玉帛ヲ假テ、禮ヲ求ムルニ於テスルハ、禮ヲ深スル者ニ非ス、以テ樂ハ鐘鼓ニ託シテ、樂ヲ求ムルニ於スルハ、樂ヲ通スル者ニ非ス、苟モ能ク禮正シキ則ハ、玉帛ヲ持スルコト無シテ、上安ク民治マル、苟モ能ク和ヲ暢フル則ハ、鐘鼓ヲ借ルコト無シテ、風ヲ移シ俗ヲ易フ、

- (一) 「璋珪」、武内本作「珪璋」。
- (二) 「也」、武内本無此字。
- (三) 「也」、武内本無此字。
- (四) 「也」、武内本無此字。
- (五) 「云」、武内本作「曰」。
- (六) 「也」、武内本無此字。

【經】

子曰、色厲而內荏、

子ノ曰ク、色厲シフシテ内荏カナルハ、

【疏】

厲矜正也、荏柔佞也、言人有顔色矜正於外、而心柔佞於内者也、

厲ハ矜正ナリ、荏ハ柔佞ナリ、言ハ人顔色外ニ矜正ナルコト有テ、而シテ心内ニ柔佞ナル者ナリ、

【注】

孔安國曰、荏柔也、謂外自矜厲、而内柔佞者也、

孔安國カ曰ク、荏ハ柔、外ハ自矜厲ニシテ、内柔佞ナル者ヲ謂フ、

【經】

譬諸小人、其猶穿窬之盜也與、

小人ニ譬レハ、其レ猶ヲ穿チ窬ル盜ノ猶キ與、

【疏】

此爲色厲内荏、作譬也、言其譬如小人爲偷盜之時也、小人爲盜、或穿人屋壁、或踰人垣牆、當此之時、外形恆欲進爲取物、而心恆畏人常懷退走之路、是形進心退、内外相乖、如色外矜正、而心内柔佞者也、

此レハ色厲シテ内荏カナルカ爲ニ、譬ヲ作ス、言ハ其レ譬ヘハ小人ノ偷盜ヲ爲ス時ノ如シ、小人盜ヲ爲ルニ、或ハ人ノ屋壁ヲ穿チ、或ハ人ノ垣牆ヲ踰フ、此ノ時ニ當テ、外形恆ニ進ミ爲シテ物ヲ取ラント欲シテ、心恆二人ヲ畏テ常ニ退走ノ路ヲ懷フ、是レ形進テ心退ク、内相ヒ乖クコト、色外矜正ニシテ、心内柔佞ナル者ノ如シ、

【注】

孔安國曰、爲人如此、猶小人之有盜心也、穿穿壁也、窬窬牆也、

孔安國カ曰ク、人ト爲リ此ノ如キハ、猶小人ノ盜心有テ、壁ヲ穿チ穿チ、牆ヲ窬ヘ窬ルカ猶シ、

【疏】

江熙云、田文之容、能爲狗盜、穿壁如踰而入盜之密也、外爲矜厲、而實柔佞之密也、峻其牆宇、謂之免盜。而狗盜者往焉。高其抗厲謂之免佞、而色厲者、入焉、古聖難於在人、今夫子又苦爲之喻、明免者鮮矣、傳云、筆門圭竇也、

江熙カ云ク、田文カ容、能ク狗盜ヲ爲ス、壁ヲ穿ツトハ踰エテ入盗スルノ密ナルカ如シ、外矜厲ニシテ、實ニ柔佞ノ密ヲ爲ス、其ノ牆宇ヲ峻シフシテ、之ヲ盜ヲ免タリト謂フ。而ルヲ狗盜ハ焉ニ往ク。其ノ抗厲(抗)厲(厲)ヲ高シテ之ヲ佞ヲ免タリト謂フ、而シテ色厲ハ、焉ニ入ル、古ノ聖モ荏人ヲ難メ、今ノ夫又苦ニ之ノ喻ヲ爲ス、免ルル者ノ鮮キコトヲ明ス、傳ニ曰ク、筆門圭竇ナリ、

- (一) 「荏」、武内本作「莊」。
- (二) 「也」、武内本無此字。
- (三) 「也」、武内本無此字。
- (四) 「容」、武内本作「客」。
- (五) 「圭竇」、武内本作「圭窬」。

【經】

子曰、郷原德之賊也、

子ノ曰ク、郷原ハ德ノ賊ナリ、

【疏】

郷郷里也、原源本也、言人若凡往所至之郷、輒憶度逆用意、源本其人情、而待之者、此是德之賊也、言賊害其德也、又一云、郷向也、謂人不能剛毅、而好面從、見人輒媚向、而原趣求合、此是賊德也、

郷ハ郷_一里ナリ、原ハ源_一本ナリ、言_一ハ人_一若シ凡ソ至ル所ノ郷ニ往テ、輒_一子憶_一度シテ逆_一メ意ヲ用テ、其ノ人ノ情ヲ源_一本シテ、之ヲ待_一スル者ハ、此レハ是レ德ノ賊ナリ、言_一ハ其ノ德ヲ賊_一害ス、又一ニ云ク、郷ハ向ナリ、謂ル人剛_一毅ナルコト能ハ不シテ、面_一從ヲ好テ、人ヲ見テ輒_一子媚ヒ_一向テ、趣_一キヲ原_一メテ合_一ハンコトヲ求ム、此レハ是レ德ヲ賊_一スルナリ、

【注】

周生烈曰、所至之郷、輒原其人情、而爲己意、以待之、是賊亂德者也、一曰、郷向也、古字同、謂人不能剛毅、而見

人輒厚_一其趣向、容媚而合之、言此所以賊德也、

周生烈カ曰ク、至ル所ノ郷ニ、輒_一子其ノ人ノ情ヲ原_一ネテ、己_一カ意ト爲_一テ、待_一スルハ、是レ德ヲ賊_一亂スル者ナリ、一ニ曰ク、郷ハ向、古ニ字_一同シ、人剛_一毅ナルコト能ハ不_一シテ、人ヲ見テ輒_一子其ノ趣_一向ヲ厚_一ネテ、媚_一ヲ容_一レテ之ニ合_一フヲ謂_一フ、言_一ハ此レ德ヲ賊_一スル所以_一ナリ、

【疏】

如前二釋也、張憑云、郷原原壤也、孔子郷人、故曰郷原也、彼遊方之外也、行_一不應規矩、不可以訓、故每抑其迹、所以弘德也、

前ノ二_一釋ノ如シ、張憑カ云ク、郷原ハ原壤ナリ、孔子ノ郷_一人ナリ、故ニ郷原ト曰_一フ、彼ハ方ノ外ニ遊_一フ、行規矩ニ應_一セ不_一、以_一訓_一フ可不_一、故ニ每ニ其ノ迹ヲ抑_一フ、德ヲ弘ムル所以_一ナリ、

(一) 「也」、武内本無此字。

(二) 「厚」、武内本作「原」。

(三) 「行」上、武内本有「而」字。

【經】

子曰、道聽而塗說、德之棄也、

子ノ曰ク、道ニ聽テ塗ニ說クハ、德ノ棄タルルナリ、

【疏】

道道路也、塗亦道路也、記問之學、不足以爲人師、爲人必當溫故而知新、研精久習、然後乃可爲人傳說耳、若聽之於道路、道路仍即爲人傳說、必多謬妄、所以爲有德者所棄也、亦自棄其德也、江熙云、今之學者、不爲己者也、況乎道聽者哉、逐末愈甚、棄德彌深也、

道ハ道一_レ路ナリ、塗ハ亦道一_レ路ナリ、記一_レ問ノ學ハ、人ノ師爲ルニ足ラ_レ不_レ、人爲ルハ必ス當ニ故キヲ温ネ新キヲ知ル當シ、研精(研キ精シクシテ)久一_レ習シテ、然シテ後ニ乃チ人ノ爲ニ傳說ス可キ耳、若シ道路ニ聽テ、道路仍リテ即チ人ノ爲ニ傳說スルハ、必ス謬妄多シ、有_レ德爲ル者ニ棄テ所ルル所以ナリ、亦自_レ其ノ德ヲ棄ツ、江熙カ云ク、今ノ學者ハ、己カ爲ニセ_レ不_レル者ナリ、況ンヤ道ニ聽ク者ヲヤ、末ヲ逐フコト愈_レ甚シ、德ヲ棄ルコト彌_レ深シ、

【注】

馬融曰、聞之於道路、則傳而說之也、

馬融カ曰ク、之ヲ道路ニ聞テ、則チ傳ヘテ之ヲ說クソ、

(一) 「也」、武内本無此字。

(二) 「爲人」、武内本作「人師」。

(三) 「哉」、武内本作「乎」。

【經】

子曰、鄙夫可與事君也與哉、

子ノ曰ク、鄙_レ夫ハ與_レ二君ニ事フ可シ與、

【疏】

言凡鄙之人、不可與之事君、故云可與事君也與哉、

言ハ凡_レ鄙ノ人ハ、之ト與_レ二君ニ事フ可ラ_レ不_レ、故ニ云ク與_レ二君ニ事フ可シヤ、

【注】

孔安國曰、言不可與事君也、

孔安國カ曰ク、言ハ與ニ君ニ事フ可^ヘ不^レ、

【經】
其未得、之也患得之、

其レ未^レ夕^ニ得^ル未^ルトキハ、之ヲ得^ンコトヲ患^フ、

【疏】
此以下、明鄙夫不可與事君之由也、患得之、謂患不能得也、言初未得事君之時、恆^ニ患^ニ己^ハ不能得事君也、

此ヨリ以下ハ、鄙^ニ夫^ノ與^ニ君^ニ事^フ可^ヘ不^レル^ノ由^ヲ明^ス、
之ヲ得^ンコトヲ患^ルトハ、謂^ル得^ルコト能^ハ不^ランコト
ヲ患^ルナリ、言^ハ初^メ未^タ君^ニ事^ルコトヲ得^未ル^ノ
時、恆^ニ己^ハカ君^ニ事^{コト}ヲ得^ルコト能^ハ不^ランコトヲ
患^フ、

【注】
患得之者、患不能得之也、楚俗言也、

之ヲ得^ンコトヲ患^フトハ、得^ルコト能^ハ不^ランコトヲ患^ル
ソ、楚ノ俗言ナリ、

【疏】

楚之風俗、其言語如此也、呼患不得、爲患得之也、

楚ノ風俗、其ノ言^ハ語^ニ此^ノ如^シ、得^不ル^{コト}ヲ患^ルヲ呼
テ、之ヲ得^ンコトヲ患^ト爲^ス、

【經】

既得之、患失之、

既^ニ得^ルトキハ、失^ハンコトヲ患^フ、

【疏】

患失之、患不失之也、既得事君、而生厭心、故患己不遺失
之也、

之ヲ失^ンコトヲ患^ルトハ、之ヲ失^ハ不^ランコトヲ患^{フル}ナ
リ、既^ニ君^ニ事^ルコトヲ得^テ、而^シテ厭^{（厭）}心^ヲ生^ス、
故^ニ己^ハ之ヲ遺^失セ^ンコトヲ患^フ、

【經】

苟患失之、無所不至矣、

苟^{いざや}モ失^{うしな}フ テンコトヲ患^{おそ}ルトキハ、至^{いた}ラ不^なトイフ所無^なシ、

【疏】

既患得失、在於不定、則此鄙心廻邪無所不至、或爲亂也、

既^きニ得^えテ失^しヲ患^{おそ}フルハ、定^{さだ}ラ不^なルニ在^あリ、則^{すなは}チ此^こノ鄙^び心^{しん}廻^ま邪^{よこしま}ニシテ至^{いた}ラ不^なトイフ所無^なシ、或^{ある}ハ亂^{らん}ヲ爲^なス、

【注】

鄭玄曰、無所不至、言邪媚無所不爲也、

鄭^{てい}玄^{げん}カ曰^{いは}ク、至^{いた}ラ不^なトイフ所無^なシトハ、言^いハ邪^{よこしま}媚^{めい}ニテ爲^なス不^なトイフ所無^なキソ、

- (一) 「也與」、武内本無此二字、下疏同。
- (二) 「也」、武内本無此字。
- (三) 「懃」、下、武内本有「懃」字。
- (四) 「也」、武内本無此字。
- (五) 「也」、武内本無此字。
- (六) 「至」下、武内本有「者」字。

【經】

子曰、古者民有三疾、

子ノ曰^{いは}ク、古^{いにし}ノ民^{たみ}ハ三^{さん}ノ疾^{やまひ}有^あリ、

【疏】

古謂淳時也、疾謂病、其事也、有三條、在下文也、

古^{いにし}トハ淳^{ちん}時^じヲ謂^いフ、疾^{やまひ}トハ病^{びやう}ヲ謂^いフ、其^{その}ノ事^{こと}、三^{さん}條^{じょう}有^あリ、下^{した}ノ文^{ぶん}ニ在^あリ、

【經】

今也或之亡也、

今^{いま}ハ之^{これ}レ亡^なキコト或^{ある}リ、

【疏】

今謂澆時也、亡無也、言今之澆民、無復三疾之事、

今^{いま}トハ澆^{じやう}(澆^{じやう})ノ時^じヲ謂^いフ、亡^なハ無^なナリ、言^いハ今^{いま}ノ澆^{じやう}ノ民^{たみ}ハ、復^{また}三^{さん}疾^{やまひ}ノ事^{こと}無^なシ、

【注】

荀氏曰、言古者民疾、與今時異也、

【注】

荀氏曰、肆極意敢言之也、

荀氏カ曰ク、言ハ古ノ民ノ疾ハ、今時與異ナリ、

荀氏カ曰ク、肆ハ意ヲ極メテ敢テ言フ、

【疏】

江熙云、今民無古者之疾、而病過之也矣、

【經】

今之狂也蕩、

江熙カ云ク、今ノ民ハ古ノ疾無シ、病之ニ過キタリ、

今ノ狂ハ蕩ナリ、

【經】

古之狂也肆、

【疏】

蕩無所據也、猶動也、今之狂不復肆直、而皆用意、澆競流動也、復無得據杖也、

古ノ狂ハ肆ナリ、

【疏】

一也、古之狂者、恆肆意、所爲好在抵觸、以此爲病也、

蕩ハ據ル所無シ、動ノ猶シ、今ノ狂ハ復タ直ヲ肆ニセシテ、而シテ皆意ヲ用ルコト、澆（澆）競（競）流（流）動ナリ、復據杖スルコト（據リ杖ルコトヲ）得ルコト無シ、

一ナリ、古ノ狂者ハ、恆ニ意ヲ肆ニシテ、爲ル所好テ抵キ觸ルルコト在リ、此ヲ以病ト爲ス、

【注】

孔安國曰、蕩無所據也、

孔安國カ曰ク、蕩ハ據ル所無キノ、

【經】

古之矜也廉、

古ノ矜ケハ廉ナリ、

【疏】

二也、矜莊也、廉隅也、古人自矜莊者、好大有廉隅、以此爲レ病、

二ナリ、矜ハ莊ナリ、廉ハ隅ナリ、古ノ人ノ自矜ミハ莊ナル者ハ、好コテ大ニ廉隅有リ、此ヲ以テ病ト爲ス、

【注】

馬融曰、有廉隅也、

馬融カ曰ク、廉ハ隅有ルソ、

【疏】

李充曰、矜厲其行向廉潔也、(二三)

李充カ曰ク、其ノ行ヲ矜厲ニシテ、廉潔ニ向フ、

【經】

今之矜忿戾也、(二三)

今ノ矜ケハ忿フハ戾レナリ、モトル

【疏】

今世之人、自矜莊者、不能廉隅、而因之爲忿戾怒物也、

今世ノ人ハ、自矜ミハ莊ナル者ハ、廉隅ナルコト能ハ不スシテ、而シテ之ニ因テ忿フハ戾レヲ爲シテ物ニ怒ル、

【注】

孔安國曰、惡理多怒也、

孔安國カ曰ク、惡ノ理怒リ多シ、

【疏】

言今人、既惡則、理自多怒物也、李充曰、矜善上人、物所
以不與、則反之者至矣、故怒以戾與忿激也、(三四)

言ハ今ノ人ハ、既ニ惡シキ則ハ、理自物ニ怒ルコト多キナリ、李充カ曰ク、善ニ矜リ人ニ上タルハ、物ノ與セ不ル所以ナリ、則チ之ニ反ク者至ル、故ニ怒ルニ戾(戾)ヲ以テシテ與ニ忿激ス、

【經】古之愚也直也、

古ノ愚ハ直ナリ、

【疏】三也、古之愚者、不用其智、不知俯仰、病在直情恆行、故云直也、

三ナリ、古ノ愚者ハ、其ノ智ヲ用ヒ不シテ、俯仰ヲ知ラ不、病情ヲ直シテ恆ニ行フニ在リ、故ニ直ト云フ、

【經】愚也詐而已矣、

愚ハ詐レル而已、

【疏】今之世愚、不識可否、唯欲欺詐自利者也。又一通云。古之狂者唯肆情而病於蕩、今之狂則不復病蕩、故蕩不肆也。又古之矜者、唯廉隅而病於忿戾、今之矜者則不復病忿戾、而不廉也。又古之愚者、唯直而病詐、今之愚者、則不復病詐、故云詐而不直也、

今ノ世ノ愚ハ、可一否ヲ識ラ不、唯タ欺キ一詐テ自一利セント欲スル者ナリ。又一通ニ云ク。古ノ狂一者ハ唯タ情ヲ肆ニシテ蕩ヲ病ム、今ノ狂ハ則チ復蕩ヲ病マ不、故ニ蕩ニシテ肆ナラ不。又古ノ矜一者ハ、唯タ廉一隅ニシテ忿一戾ヲ病ム、今ノ矜一者ハ則チ復忿一戾ヲ病マ不、而シテ廉ナラ不。又古ノ愚一者ハ、唯タ直ニシテ詐リヲ病ム、今ノ愚一者ハ、則チ復タ詐ヲ病マ不、故ニ詐テ直ナラ不ト云フ、

(一) 「病」下、武内本有「也」字。

(二) 「也」、武内本無此字。

(三) 「也」下、武内本有「矣」字。

(四) 「或」下、武内本有「是」字。

(五) 「事」下、武内本有「也」字。

(六) 「今」下、武内本有「之」字。

(七) 「病」、武内本作「疾者」。

(八) 「之」、武内本無此字。

(九) 「猶」上、武内本有「蕩」字。

(一〇) 「杖」、武内本作「仗」。

(一一) 「病」下、武内本有「也李充曰矜厲其行向廉潔也」十二字。

(一二) 「李充曰矜厲其行向廉潔也」、武内本無此十一字。

(一三) 「今之矜忿戾也」、武内本作「今之矜也忿戾」。

(一四) 「反」、武内本作「復」。

(一五) 「也」、武内本無此字。

(一六) 「恆」、武内本作「徑」。

(一七) 「愚」上、武内本有「今之」二字。

(一八) 「一」、武内本無此字。

【經】

子曰、惡紫之奪朱也、

子ノ曰ク、紫ノ朱ヲ奪^{アテ}コトヲ惡ム、

【疏】

紫是間色、朱是正色、正色宜行、間色宜降、不得用間色之

物、以妨奪正色之用也、言此者、爲時多以邪人奪正人、故孔子託云惡之也、

紫ハ是間^ミ色、朱ハ是レ正色、正色ハ宜^よク行フ宜、間色ハ宜ク降ス宜、間色ノ物ヲ用テ、以テ正色ノ用ヲ妨ケ奪^{うはぶ}コトヲ得^え不^し、此ヲ言フコトハ、時ニ多ク邪人ヲ以テ正人ヲ奪フカ爲ナリ、故ニ孔子託シテ之ヲ惡ト云フ、

【注】

孔安國曰、朱正色也、紫間色之好者、惡其邪好而奪正色也、

孔安國カ曰ク、朱ハ正色、紫ハ間色ノ好^よキ者ナリ、其ノ邪好ニシテ正色ヲ奪^{うはぶ}コトヲ惡ム、

【經】

惡鄭聲之亂雅樂也、

鄭聲ノ雅樂ヲ亂ルコトヲ惡ム、

【疏】

鄭聲者、鄭國之音也、其音淫也、雅樂者、其聲正也、時人多淫聲以廢雅樂、故孔子惡之也、

鄭聲ハ、鄭國ノ音ナリ、其ノ音淫ナリ、雅樂ハ、其ノ聲正ナリ、時ノ人多ク淫聲コレモ以テ雅樂ヲ廢ス、故ニ孔子之ヲ惡ム、

【注】

荀氏曰、鄭聲淫聲之哀者也、惡其奪雅樂也、

荀氏カ曰ク、鄭聲ハ淫聲ノ哀かなじキ者ナリ、其ノ雅樂ヲ奪うばふコトヲ惡ム、

【經】

惡利口之覆邦家也、

利口ノ邦家ヲ覆クツカスコトヲ惡ム、

【疏】

利口辯佞之口也、邦諸侯也、家卿大夫也、君子辭達而已、不用辯佞無實、而傾覆國家、故爲孔子所患也、

利口トハ辯佞ノ口ナリ、邦トハ諸侯ナリ、家トハ卿大夫ナリ、君子ハ辭ハ達スラク而已、辯佞ノ實無シテ、國家ヲ傾覆スルコトヲ用ヒ不ス、故ニ孔子ノ患うれふル所爲リ、

【注】

孔安國曰、利口之人、多言少實、苟能悅媚時君、傾覆其國家也、

孔安國カ曰ク、利口ノ人ハ、多言ニシテ實少シ、苟モ能ク時ノ君ニ悦ヒ媚テヨロコ悦バシメ媚ブ、其ノ國家ヲ傾覆ス、

(一) 「之」下、武内本有「者」字。

(二) 「也」、武内本無此字。

(三) 「也」、武内本無此字。

(四) 「之」下、武内本有「者」字。

(五) 「淫聲之哀者也」、武内本作「淫之哀者」。

(六) 「患」、武内本作「惡」。

(七) 「傾覆」、武内本作「覆傾」。

【經】

子曰、予欲無言、

子ノ曰ク、子言フコト無カラマク欲ス、

【疏】

孔子忿世不用其言、其言爲益之少、故欲無所復言也、

孔子世ノ其ノ言ヲ用ヒ不ルコトヲ忿ル、其ノ言益爲ルコト少シ、故ニ復タ言フ所無シコトヲ欲ス、

【經】

子貢曰、子如不言、則小子何述焉、

子貢カ曰ク、子如シ言ハ不シハ、則ハ小子何ヲカ述ヘシ、

【疏】

小子弟子也、子貢聞孔子欲不復言、故疑而問之也、言夫子若遂不復言、則弟子等輩、何所復傳述也、

小子ハ弟子ナリ、子貢孔子ノ復タ言ハ不シト欲スルヲ聞ク、故ニ疑テ之ヲ問フ、言ハ夫子若シ遂ニ復言ハ不シハ、弟子等ノ輩、何ヲカ復傳ヘシ述ル所トセン、

【注】

言之爲益少、故欲無言也、

之ヲ言フニ益爲ルコト少シ、故ニ言コト無カラマク欲ス、

【經】

子曰、天何言哉、四時行焉、百物生焉、天何言哉、

子曰ク、天何ヲカ言フ哉、四時行ハレ、百物生ル、天何ヲカ言フ哉、

【疏】

孔子既以有言無益、遂欲不言、而子貢怨若遂不言則、門徒無述、故孔子遂曰、天亦不言、而四時遞行、百物互生、此豈是天之有言使之然乎、故云、天何言哉也、天既不言而事行、故我亦欲不言而教行、是欲則天以行化也、王弼云、子欲無言、蓋欲明本、舉本統末、而示物於極者也、夫立言垂教、將以通性、而弊至於湮、寄旨傳辭、將以正邪、而弊至於繁、既求道中、不可勝御、是以修本廢言、則天而行化、以淳而觀則、天地之心、見於不言、寒暑代序則不言之令、行乎四時、天豈諄諄者哉、

孔子既ニ言フコト有レトモ益無キヲ以テ、遂ニ言ハ不ラント欲ス、而ルヲ子貢若シ遂ニ言ハ不ル則ハ、門徒ノ述ルコト無ランコトヲ怨ム、故ニ孔子遂ニ曰ク、天亦タ言ハ不シテ、四時遞ニ行ハレ、百物互ニ生ル、此レ豈ニ是レ天ノ言フコト有テ之ヲ使テ然ラ使メン乎、故ニ云ク、天何ヲカ言フヤト、天既ニ言ハ不シテ事行ハル、故ニ我モ亦タ言ハ不シテ教行セント欲ス、是レ天ニ則テ化ヲ行ハント欲ス、王弼カ云ク、子ノ言コト無ント欲スルハ、蓋シ本ヲ明サント欲ス、本ヲ擧ケ末ヲ統テ、物ノ極ヲ示ス者ナリ、夫レ言ヲ立テ教ヲ垂テ、將ニ性ヲ通セント將、而ルヲ弊ハ湮ニ至ル、旨ヲ寄セ辭ヲ傳ヘテ、將ニ邪ヲ正サント將、而ルヲ勢繁ニ至ル、既ニ道中ヲ求ム、御スルニ勝フ可ラ不ス、是ヲ以テ本ヲ修メ言ヲ廢シテ、天ニ則テ化ヲ行フ、淳ヲ以テ觀ル則ハ、天地ノ心、不_一言_二見ル、寒暑代_一序シテ_二代_一序ツ_三言ハ不ルノ令、四_一時ニ行ハル、天豈ニ諄_一諄_二諄_一タランヤ、

(一) 「湮」、武内本作「淫」。

(二) 「哉」、武内本作「乎」。

【經】

孺悲欲見孔子、

孺悲孔子ヲ見マク欲ス、

【疏】

使人召孔子、欲與孔子相見也、

人ヲ使テ孔子ヲ召シテ、孔子與相見ヘント欲ス、

【經】

孔子辭之以病、

孔子辭スルニ病ヲ以テス、

【疏】

孔子不欲應孺悲之召、故辭云、有疾不堪往也、

孔子孺悲ノ召スニ應センコトヲ欲セ不_一、故ニ辭シテ云_二疾_一有リ往クニ堪ヘ不_一、

【經】
將命者出戶、

命ヲ將^{ワコナ}フ者戸ヲ出ルルトキニ、

【疏】

將命者、謂孺悲所使之人也、出戶謂受孔子疾辭畢、而出孔子戸以去也、

命ヲ將^もフ者トハ、孺悲カ使ハス所ノ人ヲ謂フ、戸ヲ出トハ謂ル孔子ノ疾ノ辭ヲ受ケ畢テ、孔子ノ戸ヲ出テ以テ去ル、

【經】

取瑟而歌、使之聞之、

瑟ヲ取テ歌テ、之ヲ使^シテ聞カ使ム、

【疏】

孺悲使者去裁出戶、而孔子取瑟以歌、欲使孺悲使者聞之也、所以然者、若辭唯有疾而不往、恐孺悲問疾差、又召己不止也、故取瑟而歌、使使者聞之、知孔子辭疾非實疾、以

還白孺悲令孺悲知、故不來耳、非爲疾不來也、

孺悲カ使^{ワツカ}者去テ裁ニ戸ヲ出ツ、而ルヲ孔子瑟ヲ取テ歌フコトハ、孺悲カ使^シ者ヲ使^シテ之ヲ聞カ使^シメント欲ス、然ル所^{ゆゑ}以ハ、若シ辭スルニ唯^{やま}タ疾有テ往カ不^ずシハ、孺悲疾ノ差^いユルヲ問テ、又己ヲ召^{おほ}シテ止マ不^さシコトヲ恐ル、故ニ瑟ヲ取テ歌テ、使^シ者ヲ使^シテ之ヲ聞カ使ム、孔子辭スルノ疾實^{やま}疾ニ非ルコトヲ知テ、以テ還^{かへ}テ孺悲ニ申^まシテ、孺悲ヲ令^しテ知^しラ令ム、故ニ來^こラ不^きル耳、疾ノ爲ニ來^きラ不^きルニ非スト、

【注】

孺悲魯人也、孔子不欲見、故辭以疾、爲其將命者不知己、故歌令將命者悟、所以令孺悲思也

孺悲ハ魯人ナリ、孔子見^まマク欲^{ほつ}セス、故ニ辭スルニ疾ヲ以テス、其ノ命ヲ將^{ワコナ}フ者己ヲ知^しラ不^さシカ爲ニ、故ニ歌テ命ヲ將^{ワコナ}フ者ヲ令^しテ悟^しラ令ム、孺悲ヲ令^しテ思^しハ令ムル所以ナリ

【疏】

李充曰、孔子曰、人潔己以進、與其潔、不保其往、所以不

逆乎互郷也、今不見孺悲者何、明非宗道歸聖發其蒙矣、苟不崇道、必有升寫之心、則非教之所崇、言之所喻、將欲化之、未若不見也、聖人不顯物短、使無自新之塗、故辭之以疾、猶未足以誘之、故絃歌以表旨、使抑之而不彰、挫之而不絕、則矜鄙之心類、而思善之路長也、

李充カ曰ク、孔子曰ク、人已ヲ潔クシテ以テ進マハ、其ノ潔キニハ與セン、其ノ往シテハ保タ不、互郷ニ逆ハ不ル所以ナリ、今孺悲ニ見ヘ不ルコトハ何ソヤ、道ヲ宗フニ非シテ聖ニ歸シテ其ノ蒙ヲ發センコトヲ明ス、苟ニ道ヲ崇ハ不シテ、必ス升リ寫ルノ心有ル、則ハ教ノ崇フ所ハ、言ノ喻ス所ニ非ス、將ニ之ヲ化セント欲セハ、未タ見ヘ不ルニ若カ未、聖一人ハ物ノ短ヲ顯ハ不、自新ニスルノ塗ヲ無ラ使ム、故ニ之ヲ辭スルニ疾ヲ以テス、猶ヲ未以テ之ヲ誘フルニ足ラ未、故ニ絃歌シテ以テ旨ヲ表ス、之ヲ抑テ彰サ不、之ヲ挫イテ（挫ケトモ）絶セ不ラ使ムル、則ハ矜鄙ノ心類レテ、善ヲ思フノ路長ス、

(一) 「也」下、武内本有「孺悲魯人也」五字。

(二) 「病」、武内本作「疾」。

(三) 「若」、武内本無此字。

(四) 「疾」、武内本無此字。

(五) 「日」、武内本作「云」。

(六) 「宗」、武内本作「崇」。

(七) 「升」、武内本作「舛」。

【經】

宰我問、三年之喪期已久矣、

宰我問ハク、三年ノ喪ハ期已ニ久シ、

【疏】

禮爲至親之服、至三年、宰我嫌其爲重、故問至期則久、不假三年也、

禮ニ至親ノ服ヲ爲スコト、三年ニ至ル、宰我其ノ重ク爲ルニ嫌イアリ、故ニ問フ期ニ至ルタモ則チ久シ、三年ヲ假ラ不、

【經】

君子三年不爲禮、禮必壞、三年不爲樂樂必崩、

君子三年禮ヲ爲不ルトキハ、禮必ス壞ル、三年樂ヲ爲

不ルトキハ樂必ス崩ル、

【疏】

宰我又說喪不宜三年之義也、君子人君也、人君化物必資禮樂、若有喪三年則、廢於禮樂禮樂崩壞則、無以化民、爲此之、故云宜期而不三年、禮云壞、樂云崩者、禮是形化、形化故云壞、壞是漸敗之名、樂是氣化、氣化無形、故云崩、崩是墜失之稱也、

宰我又喪ノ宜ク三年ス宜カラ不ルノ義ヲ説ク、君子トハ人ノ君ナリ、人ノ君ノ物ヲ化スルコト必ス禮樂ニ資ル、若シ喪ニ有ルコト三年ナル則ハ、禮樂ヲ廢ス禮樂崩レ壞ルル則ハ、以テ民ヲ化スルコト無シ、此ノ爲ノ故ニ云ク宜ク期ニシテ三年ナラ不ル宜シ、禮ニ壞ト云ヒ、樂ニ崩ト云フコトハ、禮ハ是レ形ノ化、形ノ化ナルカ故ニ壞ト云フ、壞ハ是レ漸ク敗ルルノ名ナリ、樂ハ是レ氣ノ化、氣ノ化ハ形無シ、故ニ崩ト云フ、崩ハ是レ墜失ノ稱ナリ、

【經】

舊穀既沒、新穀既升、

舊穀既ニ沒キテ、新穀既ニ升ル、

【疏】

宰予又說一期爲足意也、言夫人情之變、本依天道、天道一期則、萬物莫不悉易、故舊穀既沒盡、又新穀已熟、則人情亦宜法之而奪也、

宰予又一ノ期ノ足レリト爲ル意ヲ説ク、言ハ夫レ人ノ情ノ變、本天道ニ依ル、天道一期ナル則ハ、萬物悉易（易）セ不トイフコト莫シ、故ニ舊穀既ニ沒盡シテ、又新穀已ニ熟スル、則ハ人ノ情モ亦タ宜ク之ニ法テ奪フ宜シ、

【經】

鑽燧改火、

燧ヲ鑽ツテ火ヲ改ム、

【疏】

鑽燧者、鑽木取火之名也、内則云、小觶木燧是也、改火者、年有四時、四時所鑽之木不同、若一年則、鑽之一周、變改已遍也、

燧ヲ鑽トハ、木ヲ鑽テ火ヲ取ルノ名ナリ、内則ニ云ク、小觸ケイ（觸）木燧トイヘル是ナリ、火ヲ改ルトハ、年ニ四時有り、四時鑽ル所ノ木同カラ不、若シ一年ナル則ハ、之ヲ鑽ルコト一周シテ、變改已ニ遍シ、

【經】

期可已矣、

期可ナラクノミ、

【疏】

宰予斷之也、穀沒又升、火鑽已遍、故有喪者、一期亦爲可矣、

宰予之ヲ斷コトハル、穀沒ツキテ又升なレリ、火鑽ルコト已ニ遍あまねシ、故ニ喪有ル者、一期ニシテ亦可ナリト爲、

【注】

馬融曰、周書月令有更火、春取榆柳之火、夏取棗杏之火、季夏取桑柘之火、秋取柞櫜之火、冬取槐檀之火、一年之中、鑽火各異木、故曰改火也、

馬融カ曰ク、周書ノ月令ニ火ヲ更アラタムルコト有り、春ハ榆柳ノ火ヲ取ル、夏ハ棗ササ杏ノ火ヲ取ル、季夏ニハ桑柘シヤノ火ヲ取ル、秋ハ柞ササ櫜コウノ火ヲ取ル、冬ハ槐檀ノ火ヲ取ル、一年ノ中ニ、火ヲ鑽ルコト各木ヲ異ニス、故ニ火ヲ改ト曰フ、

【疏】

引國語周書中月令之語、有改火之事、未爲證也、更猶改也、改火之木、隨五行之色而變也、榆柳色青、春是木、木色青、故春用榆柳也、棗杏色赤、夏是火、火色赤、故夏用棗杏也、桑柘色黃、季夏是土、土色黃、故季夏用桑柘也、柞櫜色白、秋是金、金色白、故秋用柞櫜也、槐檀色黑、冬是水、水色黑、故冬用槐檀也、所以一年必改火者、人若依時而食其火、則得氣又宜人無災厲也、

國語ノ周書ノ中ノ月令ノ語ニ、火ヲ改ルノ事有ルヲ引ク、未タ證ラカナリト爲未、更ハ改ノ猶シ、火ヲ改ムルノ木、五行ノ色ニ隨テ而シテ變ス、榆柳ノ色ハ青シ、春ハ是レ木ナリ、木ノ色ハ青シ、故ニ春ハ榆柳ヲ用フ、棗杏ノ色ハ赤シ、夏ハ是レ火ナリ、火ノ色ハ赤シ、故ニ夏ハ棗杏ヲ用フ、桑柘ノ色ハ黃ナリ、季夏ハ是レ土ナリ、土ノ色ハ黃ナリ、故ニ季夏ニハ桑柘ヲ用フ、柞櫜ノ色ハ白

シ、秋ハ是レ金ナリ、金ノ色ハ白シ、故ニ秋ハ柞櫛ヲ用フ、槐ノ檀ノ色ハ黒シ、冬ハ是レ水ナリ、水ノ色ハ黒シ、故ニ冬ハ槐ノ檀ヲ用フ、一年ニ必ス火ヲ改ムル所以ハ、人若シ時ニ依テ其ノ火ヲ食スル、則ハ氣ヲ得テ又宜ク人災ノ厲無ル宜、

【經】

子曰、食夫稻也、衣夫錦也、於女安乎、

子ノ曰ク、夫ノ「稻ヲ食イ、夫ノ錦ヲ衣ル、女ニ於テ安シヤ、

【疏】

孔子聞宰予云一期爲足、故舉問之也、夫語助也、稻是穀之美者、錦是衣中文華者、若一期除喪、除喪畢、便食美衣華、在三年之内、爲此事、於汝之心、以此爲安不乎、

孔子宰予カ云ク一期ニシテ足レリト爲ルヲ聞ク、故ニ舉テ之ヲ問フ、夫ハ語ノ助ナリ、稻ハ是レ穀ノ美ナル者ナリ、錦ハ是レ衣ノ中文華ナル者ナリ、若シ一期ニシテ喪ヲ除カハ、喪ヲ除コト畢テ、便チ美ヲ食ヒ華ヤカナルヲ衣ン、三年ノ内ニ在テ、此ノ事ヲ爲サハ、汝

ノ心ニ於テ、此ヲ以安シト爲ンヤ、

【經】

曰安、

曰ク安シ、

【疏】

宰我答孔子也、云期而食稻衣錦、以爲安也、

宰我孔子ニ答フ、云ク期ニシテ稻ヲ食ヒ錦ヲ衣ルコト、以テ安シト爲、

【經】

曰汝安則爲之、

曰ク汝安クンハ之ヲ爲ヨ、

【疏】

孔子聞宰我之答云安、故孔子云、汝言此爲安則、汝自爲之也、

孔子宰我カ答ルニ安シト云フヲ聞ク、故ニ孔子ノ云ク、
汝此ヲ言テ安シト爲ハ、汝自之ヲ爲ヨ、

【經】

夫君子居喪、食旨不甘、聞樂不樂、居處不安、故不爲也、

夫レ君子ノ喪ニ居ルコト、旨キヲ食ヘトモ甘カラ不、樂
ヲ聞ケトモ樂シカラ不、居處安カラ不、故ニ爲不、

【疏】

孔子又爲宰我說三年内、不可安於食稻衣錦也、言夫君子之
人、居親喪者、心如斬截、故無食美衣錦之理、假令食於美
食、亦不覺以爲甘、聞於韶武、亦不爲雅樂、設居處華麗、
亦非身所安、故聖人依人情、而制苴麤之禮、不設美樂之
具、故曰不爲也、

孔子又宰我力爲二三年ノ内ニ、稻ヲ食ヒ錦ヲ衣ルコトヲ
安シス可ルコトヲ説ク、言ハ夫レ君子ノ人、親ノ
喪ニ居テハ、心斬（斬）リ截ルカ如シ、故ニ美ヲ食ヒ錦
ヲ衣ルノ理無シ、假令美食ヲ食ヘトモ、亦タ覺ヘテ甘ト
爲不、韶武ヲ聞テモ、亦雅樂ト爲不、設華麗ニ居リ處

ルトモ、亦身ノ安スル所ニ非ス、故ニ聖人ノ情ニ依テ、
苴麤ノ禮ヲ制ス、美樂ノ具ヘヲ設ケ不、故ニ曰ク爲不
ト、

【經】

今汝安則爲之、

今汝安クンハ之ヲ爲ヨ、

【疏】

陳舊事既竟、又更語之也、昔君子之所不爲、今汝若以一
期、猶此爲安、則自爲之、再言之、此者責之深也、

舊事ヲ陳ルコト既ニ竟テ、又更ニ之ニ語ル、昔君子
ノ爲不ル所、今汝若シ一期ヲ以、猶此ヲ安シト爲
ハ、則チ自之ヲ爲ヨ、再ヒ之ヲ言コトハ、此レハ之ヲ
責ムルノ深ナリ、

【注】

孔安國曰、旨美也、責其無仁恩於親、故再言汝安則爲之
也、

孔安國カ曰ク、旨ハ美、其ノ親ニ仁ノ恩無キコトヲ責ム、故ニ再ヒ汝^{なんぢ}安ク^{やす}ンハ之ヲ爲^セヨト言フ、

【疏】

或問曰、喪服傳曰、既練及素食、鄭注云、謂復平生時食也、若如彼傳及注則、期外食稻非嫌、孔子何以怪耶。答曰、北人重稻、稻爲嘉食、唯盛饌^(二六)乃食之耳、平常所食、食黍稷之屬也、云及素食、則謂此也、

或ヒト問テ曰ク、喪服傳ニ曰ク、既ニ練シテ素(素ノ)食ニ及フト、鄭カ注ニ云ク、平生ノ時ノ食ニ復ルヲ謂フ、若シ彼ノ傳及ヒ注ノ如クンハ、期外稻ヲ食コトハ、嫌ウニ非ス、孔子何ヲ以テカ怪ム耶。答テ曰ク、北人ハ稻ヲ重ス、稻ハ嘉食爲リ、唯タ盛饌トシテ乃チ之ヲ食フ耳、平常ノ食フ所ハ、黍稷ノ屬ヲ食フ、素食ニ及フト云フ、則ハ此ヲ謂フ、

【經】

宰我出、

宰我出テヌ、

【疏】

宰我得孔子之罵竟、而出去也、

宰我孔子ノ罵リ^を竟ルヲ得テ、出テ去ル、

【經】

子曰、予之不仁也、

子ノ曰ク、予カ不仁ナルコト、

【疏】

仁猶恩也、言宰我無恩愛之心、故曰予之不仁也、予宰我之名也、

仁ハ恩ノ猶シ、言ハ宰我恩愛ノ心無シ、故ニ予カ不仁ナルコトト曰フ、予ハ宰我カ名ナリ、

【經】

子生三年、然後免於父母之懷、

子生レテ三年、然シテ後ニ父^フ母^トノ懷^マヲ免ル、

【疏】

又解所以不仁之事也、案聖人爲禮制以三年、有二義、一是抑賢、一是引愚。抑賢者、言夫人子於父母、有終身之恩、昊天罔極之報、但聖人爲三才、宜理人倫超絕、故因而裁之、以爲限節者也、所以者何、夫人是三才之一、天地資人而成、人之生世、誰無父母、父母若喪、必使人子滅性、乃身服長凶、人人以爾、則二儀便廢、爲是不可、故斷以年月、使送死有已復生有節、尋制服致節、本應斷期、斷期是天道一變、人情亦宜隨之而易、但故改火促期、不可權終天之性、鑽燧過隙無消創鉅之文、故隆倍以再變、再變是廿五月、始末三年之中、此是抑也、一是引愚者、言子生三年之前、未有知儀、父母養之、最鍾懷抱、及至三年以後與人相關飢渴痛癢、有須能言則、父母之懷、稍得寬免、今既終身難遂、故報以極時、故必至三年、此是引也、而宰子既爲其父母所生、亦必爲其父母所懷矣、將欲罵之、故先發此言引之、

又仁アラ不所^{ゆゑ}以^んノ事ヲ解ク、案スルニ聖人禮制ヲ爲スニ三年ヲ以テスルコトハ、一ニ義有リ、一ニハ是レ賢ヲ抑フ、一ニハ是レ愚ヲ引ク。賢ヲ抑ルトハ、言ハ夫レ人ノ子ノ父^ハ母ニ於ケルコト、身ヲ終ルノ恩、昊天極罔キノ報有リ、但夕聖人ハ三才ヲ爲ム、宜ク人倫ヲ理ムル

ヲ超絶ス宜シ、故二因テ之ヲ裁シテ、限節ヲ爲ス者ナリ、所以^{ゆゑ}者何^はトナレハ、夫レ人ハ是レ三才ノ一ナリ、天地ハ人ニ資ツテ成ル、人ノ世ニ生レテ、誰カ父^ハ母無ラシ、父^ハ母若シ喪スルトキハ、必^{かならず}人ノ子ヲ使テ性ヲ滅シ、乃チ身服長凶ニシテ、人人以テ爾ヲ使ムハ、一ニ儀便^{すなは}チ癢レン、是ヲ不可ナリト爲、故二斷ルニ年月ヲ以テス、死ヲ送ルニ已ムコト有リ生ニ復ルニ節有ラ使ム、尋服ヲ制スルコト節ヲ致ス、本期ヲ斷ル應シ、期ヲ斷ルハ是レ天道一變ス、人ノ情モ亦宜ク之ニ隨テ易ル宜シ、但夕故二火ヲ改ルノ促^{あたむ}一期ハ、終天ノ性ヲ權ル可不、燧鑽ルノ過隙創鉅ノ文ヲ消スルコト無シ、故二隆倍スルニ再變ヲ以ス、再變ハ是レ廿五月、始末二三年ノ中ナリ、此レハ是レ抑ルナリ、一ハ是レ愚ヲ引クトハ、言ハ子^{うまれ}生テ三年ノ前ハ、未タ知儀有ラ未、父^ハ母之ヲ養コト、最モ懷抱ニ鍾ム、二三年ニ至ルニ及フヨリ、以後人與飢渴痛癢^{ヤウ}ニ相ヒ關ル、能ク言コトヲ須ルコト有ル則ハ、父^ハ母ノ懷、稍ク寬免スルコトヲ得、今既ニ身ヲ終ルマテ遂ケ難シ、故二報スルニ極時ヲ以テス、故ニ必ス三年ニ至ル、此レハ是レ引クナリ、而ルヲ宰子既ニ其ノ父^ハ母ノ爲ニ生セ所ル、亦タ必ス其ノ父^ハ母ノ爲ニ懷カ所、將ニ之ヲ

罵^{のし}ラント欲ス、故ニ先ツ此ノ言ヲ發シテ之ヲ引ク、

【注】

馬融曰、子生未三歳、爲父母所懷抱也、

馬融カ曰ク、子生レテ未タ三歳ナラ未ルトキハ、父ノ爲ニ懷抱セ所ル、

【經】

夫三年之喪、天下之通喪也、

夫レ三年ノ喪ハ、天下ノ通喪ナリ、

【疏】

人雖貴賤不同、以爲父母懷抱、故制喪服、不以尊卑致殊、因以三年爲極。上自天子、下至庶人、故曰天下通喪也、且汝是四科之限、豈宜不及無儀之庶人乎、故言通喪引之也、

人貴賤同カラ不ト雖モ、父母ノ爲ニ懷抱セラル、故ニ喪服ヲ制スルコト、尊卑ヲ以テ殊ヲ致サ不、因テ三年ヲ以テ極ト爲、上天子自り、下庶人ニ至ル、故ニ天下

ノ通喪ト曰フ、且ツ汝ハ是レ四科ノ限ナリ、豈ニ宜ク無儀ノ庶人ニ及ハ不ル宜ケンヤ、故ニ通喪ト言テ之ヲ引ク、

【注】

孔安國曰、自天子、達於庶人也、

孔安國曰ク、天子自り、庶人ニ達ス、

【經】

予也、有三年之愛於其父母乎、

予、三年ノ愛（愛ムコト）其ノ父ノ母ニ有レ乎（有ランヤ）、

【疏】

予宰我名也、爲父母愛已、故限三年、今宰我欲不服三年、是其誰有三年之愛於其父母不乎、一云、愛吝惜也、言宰我何忽愛惜三年於其父母也、

予ハ宰我カ名ナリ、父ノ母己ヲ愛スルカ爲ニ、故ニ三年ヲ限ル、今宰我三年ヲ服セ不ラント欲スルトキハ、是レ

其レ誰カ三十年ノ愛其ノ父_一母ニ有シヤ不ヤ、一ニ云ク、愛ハ吝_一(吝)一惜ナリ、言ハ宰我何ソ忽ニ(忽)二三年ヲ其ノ父_一母ニ愛惜スルヤ、

【注】

孔安國曰、言子於父母、欲報之德、昊天罔極、而予也有三年之愛乎、

孔安國カ曰ク、言ハ子ノ父_一母ニ於ケルコト、徳ヲ報セント欲フニ、昊天極マリ罔シ、而ルヲ予三十年ノ愛有レヤ、

【疏】

依注、亦不得爲前兩通也。繆播云、爾時禮壞樂崩、云三年不行、宰我大懼、其性以爲聖人無微旨以戒將來、故假時人之謂、啓情於夫子、我在屈己以明道也、予之不仁者、答曰、時人失禮、人失禮、而予謂爲然、是不仁矣、言不仁於萬物、又仁者施與之名、非奉上之稱、若予安夫稻錦、廢此三年、乃不孝之甚、不得直云不仁也、李充云、子之於親、終身莫已、而今不過三年者、示民有終也、而予也何愛三年、而云久乎、余謂、孔子目四科、則宰我冠言語之先、安有知言之人、而發違情犯禮之問乎、將以喪禮

漸衰、孝道彌薄、故起斯問、以發其責、則所益者弘多也、

注ニ依ルニ、亦前ノ兩通爲ルコトヲ得不。繆播カ云ク、爾ノ時禮壞シ樂崩ル、云ク三年行ハ不トハ、宰我大ニ懼ル、其ノ性以爲ラク聖人微旨ノ以テ將來ヲ戒ムル無シト以爲ヘリ)、故ニ時ノ人ノ謂ヲ假テ、情ヲ夫子ニ啓ク、我己ヲ屈シテ以テ道ヲ明スニ在リ、予カ不仁ナルトハ、答テ曰ク、時ノ人禮ヲ失ス、人禮ヲ失ス、而ルヲ予謂テ然ナリト爲、是レ不仁ナリ、言ハ萬物ニ不仁ナリ、又仁者施シ與ルノ名ナリ、上ニ奉スルノ稱ニ非ス、若シ予夫ノ稻錦ヲ安シテ、此ノ三年ヲ廢セハ、乃チ不孝ノ甚キナリ、直ニ不仁ト云コトヲ得不、李充カ曰ク、子ノ親ニ於ケルコト、身ヲ終ルマテ已ムコト莫シ、而ルヲ今三年ニ過キ不ルコトハ、民ニ終ハリ有ルコトヲ示シテナリ、而ルヲ予何ソ三年ヲ愛テ、久シト云フ乎、余謂ラク、孔子四科ニ目ヅクル、則ハ宰我言語ノ先ニ冠タリ、安ソ言ヲ知ルノ人有テ、情ニ違ヒ禮ヲ犯スノ問ヲ發セン乎、將ニ以ルニ喪禮漸ク衰へ、孝道彌薄シ、故ニ斯ノ問ヲ起シテ、以テ其ノ責メヲ發スル、則ハ益スル所ノ者弘多ナリ、

- (一) 「故」、武内本無此字。
- (二) 「予」、武内本作「我」。
- (三) 「國語」、武内本無此二字。
- (四) 「未」、武内本作「來」。
- (五) 「人」上、武内本有「令」字。
- (六) 「女」、武内本作「汝」。
- (七) 「衣」、武内本作「之」。
- (八) 「乎」下、武内本有「也」字。
- (九) 「子」下、武内本有「之」字。
- (一〇) 「曰」、武内本作「云」。
- (一一) 「也」下、武内本有「(上樂音岳)」四字。
- (一二) 「此」、武内本無此字。
- (一三) 「汝」、武内本作「女」。
- (一四) 「也」、武内本無此字。
- (一五) 「注」、武内本作「玄」。
- (一六) 「饌」、武内本作「簪」。
- (一七) 「及」、武内本作「反」。
- (一八) 「予」下、武内本有「謂」字。
- (一九) 「乃」、武内本作「及」。
- (二〇) 「之」、武内本無此字。
- (二一) 「廿」、武内本作「二十」。
- (二二) 「鐘」、武内本作「鍾」。

- (二三) 「之」下、武内本有「也」字。
- (二四) 「之」、武内本無此字。
- (二五) 「曰」、武内本作「云」。
- (二六) 「子」下、武内本有「之」字。
- (二七) 「云」、武内本作「曰」。
- (二八) 「性」、武内本作「往」。
- (二九) 「情」、武内本作「憤」。
- (三〇) 「我」、武内本作「義」。
- (三一) 「者」下、武内本有「何」字。
- (三二) 「夫」、武内本無此字。
- (三三) 「也」、武内本無此字。
- (三四) 「云」、武内本作「曰」。

【經】

子曰、飽食、終日無所用心、難矣哉、

子ノ曰ク、飽クマテ^カ食シテ、終日ニ心ヲ用ル所無キコト、難イ^カ矣^ナ哉、

【疏】

夫人若飢食^二不足則、心情所期、所期於衣食、所期於衣食^三則、無暇思慮他事、若無事而飽衣食^四、終日則、必思計爲非

法之事、故云難矣哉、言難以爲處也、

夫レ一人若シ飢食ニシテ足ラ不ル則ハ、心一情期ス所アリ、期スル所衣食ニ於テス、期スル所衣食スルニ於テスル則ハ、他一事ヲ思ヒ慮ルニ暇無シ、若シ無事ニシテ飽マテニ衣食シテ、日ヲ終ル則ハ、必ス非法ノ事ヲ爲シニコトヲ思ヒ計ル、故ニ云ク難イ矣哉ト、言ハ處スルコトヲ爲シ難シ、

【經】

不有博弈者乎、爲之猶賢乎已、

博弈ノ者バクエキダモ有ラ不ランヤ、之ヲ爲ハ猶なヲ已ムニ賢レリ、

【疏】

博者十二碁對而擲采者也、弈圍碁也、賢猶勝也、已止也、言若飽食而無事則、必思爲非法、若曾(五)是無業、而能有碁弈、以消食采日、則猶勝乎無事而直止住者(六)、

博ハ十二碁對シテ采ヲ擲ツ者ナリ、弈ハ圍碁、賢ハ勝ノ猶シ、已ハ止ナリ、言ハ若シ飽マテ衣食シテ事無キ則ハ、必ス思テ非法ヲ爲、若シ曾テ是レ業無クンハ、而シ

テ能ク碁一弈有リ、采ヲ食ムノ日ヲ消スル、則ハ猶ヲ無事ニシテ直ニ止ミ住ム者ニ勝レリ、

【注】

馬融曰、爲其無所據樂、善生淫欲也、

馬融カ曰ク、其ノ據リ樂フ所無シテ、善ンテ淫欲ヲ生サシカ爲ナリ、

(一) 「食」、武内本作「寒」。

(二) 「所」、武内本無此字。

(三) 「所」、武内本無此字。

(四) 「衣」、武内本無此字。

(五) 「會」、武内本作「會」。

(六) 「直」、武内本無此字。

(七) 「者」下、武内本有「也」字。

(八) 「馬融曰」、武内本無此三字。

【經】

子路曰、君子尚勇乎、

子路カ曰ク、君子ハ勇ヲ尚フヤ、

【疏】

子路既有勇、常言勇可崇尚、故問於孔子、君子之人常尚勇乎、袁氏云、見世尚須勇、故謂可尚也、

子路既二勇有リ、常二勇ヲ言テ崇ヒ、尚フ可クス、故二孔子ニ問フ、君一子ノ人常二勇ヲ尚ハンヤ、袁氏カ云ク、世ノ尚ヲ見ルニ勇ヲ須フ、故二尚フ可シヤト謂フ、

【經】

子曰、君子義以為上、

子ノ曰ク、君一子ハ義以テ上ト爲、

【疏】

孔子答云、君子唯所尚於義、以為上也、

孔子答テ云ク、君一子ノ唯タ尚フ所ハ義ニ於テ、上ト爲、

【經】

君子有勇而無義為亂、

君一子勇有テ義無キトキハ亂ヲ爲ス、

【疏】

君子既尚義、若無義必作亂也、李充曰、既稱君子、又謂職為亂階也、若遇君親失道、國家昏亂、其於赴愚致命、而不知居正、顧義者、則亦畏蹈平為亂、而受不義之責也、

君一子ハ既二義ヲ尚フ、若シ義無キトキハ必亂ヲ作ス、李充カ曰ク、既二君一子ト稱ス、又職シテ亂ノ階ヲ爲スヲ謂フ、若シ君一親道ヲ失シ、國家昏亂ニ遇フトキハ、其レ愚二赴クニ於テ命ヲ致シテ、正ニ居ルコトヲ知ラ不、義ヲ顧ル者ハ、則チ亦タ平ヲ蹈ンテ亂ヲ爲シテ、不義ノ責ヲ受コトヲ畏ル、

【經】

小人有勇而無義為盜、

小一入勇有テ義無キトキハ盜ヲ爲ス、

【疏】

畏於君子不敢作亂、乃為盜竊而已、

君一子ヲ畏テ亂ヲ敢テ作サ不、乃チ盜竊ヲ爲ス而已、

(一) 「云」、武内本作「曰」。

(二) 「也」、武内本作「乎」。

(三) 「愚」、武内本作「患」。

【經】

子貢問曰。君子亦有惡乎、

子貢問テ曰ク。君_レ子モ亦惡ムコト有リヤ、

【疏】

惡謂憎疾也、舊說子貢問孔子曰、天下君子之道、有所憎惡以不乎、江熙云、君子即夫子也、禮記云、昔者仲尼與於蜡賓、事畢出喟然而歎、言偃曰、君子何歎乎、

惡トハ憎疾ヲ謂フ、舊說ニ子貢孔子ニ問テ曰ク、天_レ下君_レ子ノ道、憎ミ_レ惡ム所有リヤ以テ不ヤ、江熙カ云ク、君_レ子トハ即夫子ナリ、禮記ニ云ク、昔_レ者仲尼蜡_ノ賓ニ_{アツカ}與ル、事_レ畢テ出テ喟_キ然トシテ歎ス、言偃カ曰ク、君_レ子何ヲカ_レ歎スルヤ、

【經】

子曰。有惡、

子ノ曰ク。惡ムコト有リ、

【疏】

孔子答言、君子亦有所憎惡也、

孔子答テ_ノ言ク、君_レ子モ亦憎ミ_レ惡ム所有リ、

【經】

惡稱人之惡者、

人ノ惡ヲ稱スル者ヲ惡ム、

【疏】

此以下竝是君子所憎惡之事也、君子掩惡揚善、故憎人稱揚他人之惡事者、

此ヨリ以下ハ竝ニ_レ是レ君_レ子ノ憎_レ惡スル所ノ事ナリ、君_レ子ハ惡ヲ_レ掩_レテ善ヲ揚ク、故二人ノ他_レ人ノ惡_レ事ヲ稱_レ揚スル者ヲ憎ム、

【注】

荀氏曰、好稱說人之惡、所以爲惡也、

苞氏カ曰ク、好^{ココのみ}テ人ノ惡ヲ稱^ミ説ス、惡^{ニク}シト爲^ルル所^以ナ
リ、

【經】

惡居下流而訕上者、

下流ニ居テ上ヲ訕^{ソシ}ル者ヲ惡^ムム、

【疏】

訕猶謗毀也、又憎惡爲人臣下、而毀謗其君上者也、故禮記
云、君臣之禮、有諫而無訕、是也、

訕ハ謗^{ソシ}毀^ハノ猶^ニシ、又人ノ臣^ト下^ト爲^ニ、而シテ其ノ君^ト上^ト
ヲ毀^リ、謗^ル者ヲ憎^ミ惡^ム、故ニ禮記ニ云ク、君^ト臣^トノ禮^ハ、
諫^ムルコト有^テ、訕^ルコト無^シトイヘル、是ナリ、

【注】

孔安國曰、訕謗毀也、

孔安國カ曰ク、訕^{サム}ハ謗^ハ毀^ハ、

【經】

惡勇而無禮者、

勇ニシテ禮無^キ者ヲ惡^ムム、

【疏】

勇而無禮則、亂、故君子亦憎惡之也、

勇ニシテ禮無^キ則^ハ、亂^ス、故ニ君^ト子^ト亦^之ヲ憎^ミ惡^ム、

【經】

惡果敢而窒者、

果^ト敢^ニシテ窒^ク者ヲ惡^ム、

【疏】

窒塞也、又憎好爲果敢、而塞人道理者也、若果敢不塞人道
理者、則亦所不惡也、

窒^{チツ}ハ塞^{ナリ}、又好^テ果^ト敢^ヲ爲^シテ、人ノ道^理ヲ塞^ク者ヲ
憎^ム、若シ果^ト敢^ニシテ人ノ道^理ヲ塞^カ不^ル者^ハ、則チ亦
夕^タ惡^マ不^ル所^{ナリ}、

【注】

馬融曰、窒窒塞也、

馬融カ曰ク、窒チツハ窒一塞ソ、

【經】

曰賜也亦有惡也、

曰ク賜イハモ亦惡ムコト有リ、

【疏】

子貢聞孔子説有惡、已竟、故云賜亦有所憎惡也、故江熙云、已亦有所賤惡也、

子貢孔子ノ惡ムコト有ルヲ説クコトヲ聞クコト、已ニ竟ル、故ニ云ク賜モ亦憎惡スル所有リ、故ニ江熙カ云ク、
己亦賤おのレ一惡またスル所有リ、

【經】

惡徹六以爲智者、

徹スイテ以テ智ト爲ル者ヲ惡ム、

【疏】

此子貢説己所憎惡之事也、徹抄也、言人生發謀出計、必當出己心儀、乃得爲善、若抄他人之意、以爲己有則、子貢所憎惡也、

此レハ子貢己カ憎一惡スル所ノ事ヲ説ク、徹ケテハ抄ナリ、
言ハ人一生謀ヲ發シ計ヲ出スコト、必ス當ニ己カ心儀おのレ

ヨリ出テテ、乃チ善ト爲ルコトヲ得當シ、若シ他人ノ意ヲ抄スイテ、己カ有ト爲ル則ハ、子貢カ憎ミ一惡ム所ナリ、

【注】

孔安國曰、徹抄也、惡抄人之意、以爲己有也、

孔安國カ曰ク、徹セテハ抄ナリ、人ノ意ヲ抄スイテ、己カ有ト爲ルヲ惡ム、

【經】

惡不遜以爲勇者、

不レ遜ニシテ以テ勇ト爲ル者ヲ惡ム、

【疏】

勇須遜從、若不遜而勇者、子貢所憎惡也、然孔子云惡不遜爲勇者、二事又相似、但孔子所明、明體先自有勇、而後行之無禮者、子貢所言、本自無勇、故假於孔子不遜以爲勇也、

勇ニシテ須ク遜_レ從ナル須シ、若シ不_レ遜ニシテ勇ナル者ハ、子貢カ憎_レ惡スル所ナリ、然ルニ孔子ノ云ト不_レ遜ニシテ勇ヲ爲ル者ヲ惡ムトイフト、二_レ事又相ヒ_レ似タリ、但タ孔子ノ明ス所ハ、體_レ先ツ自_レ勇有テ、而シテ後之ヲ行フニ禮無キ者ヲ明ス、子貢カ言フ所ハ、本_レ自_レ勇無シ、故ニ孔子、不_レ遜ヲ假ツテ勇ト爲_ス、

【經】

惡_レ訐以爲直者、

訐_スイテ以テ直ト爲ル者ヲ惡ム、

【疏】

訐謂面發人ノ陰私也、人生爲直、當自己不犯觸他人、則乃是善、若對面發人陰私、欲成己直者、亦子貢所憎惡也、

【注】

計トハ面二人ノ陰_レ私(陰私)ヲ發スル(發ク)ヲ謂フ、人一生直ヲ爲シテ、當ニ自_レ己_レ他一人ヲ犯シ觸レ不_レ當キ、則ハ乃チ是レ善ナリ、若シ對_レ面二人ノ陰_レ私ヲ發シテ、己カ直ヲ成サン欲スルハ、亦子貢カ憎_レ惡スル所ナリ、

苞氏曰、訐謂攻發人之陰私也、

苞氏カ曰ク、訐トハ人ノ陰_レ私ヲ攻_レ發スルヲ謂フ、

【疏】

然孔子所惡_レ有_レ四、子貢有_レ三、亦示減師也、

然ルニ孔子ノ惡ム所_レ四有_レリ、子貢三ツ有_レルコトハ、亦師ニ減スルコトヲ示ス、

(一) 「惡」、武内本作「疾」。

(二) 「者」下、武内本有「也」字。

(三) 「之」、武内本無此字。

(四) 「惡」、武内本作「安」。

(五) 「故」、武内本無此字。

(六) 「徹」、武内本作「撤」。

(七) 「惡」、武内本無此字。

(八) 「也」、武内本作「之」。

(九) 「也」下、武内本有下注之疏「然孔子所惡者有四子貢有三亦示減師也」十七字。

(一〇) 「惡」下、武内本有「者」字。

【經】

子曰、唯女子與小人、爲難養也、

子ノ曰ク、唯夕女子ト小人與ハ、養ヒ難シト爲、

【疏】

女子小人、竝稟陰閉氣多、故其意淺促、所以難可養立也、

女子小人ハ、竝ニ陰閉ノ氣ヲ稟クルコト多シ、故ニ其ノ意淺促ニシテ、養ヒ立ツ可キコト難キ所以ナリ、

【經】

近之則不遜、

之ヲ近クル則ハ不遜ナリ、

【疏】

此難養之事也、君子之人、人愈近愈敬、而女子小人、近之則、其承狎、而爲不遜從也、

此レハ養ヒ難キノ事ナリ、君子ノ人ハ、人愈近ケレハ愈敬ス、而ルヲ女子小人ハ、之ヲ近クル則ハ、其レ承ケ狎レテ、遜從ナラニルコトヲ爲、

【經】

遠之則有怨、

之ヲ遠クル則ハ怨ミ有リ、

【疏】

君子之交如水、亦相忘江湖、而女子小人、人若遠之、則生怨恨、言人不接已也、

君子ノ交ハ水ノ如シ、亦江湖ニ相ヒ忘ル、而ルヲ女子小人ハ、人若シ之ヲ遠クル、則ハ怨恨ヲ生ス、言ハ人已ニ接ラ不、

【經】

子曰、年四十而見惡、焉其終也已、

子ノ曰ク、年四―十二シテ惡マ見ルハ、其レ終フラク已、

行無キナリ（無ケン）、

（一）「命」、武内本作「衆」。

（陽貨篇担当 影山輝國）

【疏】

人年未四十則、德行猶進、當時雖未能善、猶望可改、若年四十、已在不惑之時、猶爲命人、其所見憎惡者、則當終其一生、無復有善理、故云其終也已、

人ノ年未四―十ナラ未ル則ハ、徳―行猶ヲ―進マン、當―時未タ善ナルコト能未ト雖、猶ヲ改ム可キニ望ミアリ、若シ年四―十二シテ、已ニ不―惑ノ時ニ在テ、猶ヲ命―人ノ爲ニ、共ニ憎―惡セ見ルル所ノ者ハ、則チ當ニ其ノ―一生ヲ終フ當シ、復善―理有ルコト無ケン、故ニ云ク其レ終フラク已、

【注】

鄭玄曰、年在不惑、而爲人所惡、終無善行也、

鄭玄カ曰ク、年不―惑ニ在テ、人爲ニ惡マ所ルハ、終善―

微子第十八 何晏集解 凡十ノ二章^③
疏^③

(一) 「微」上、武内本有「論語」二字。

(二) 「凡十ノ二章」(小字雙行)、武内本作「凡十一章」(小字單行)。

(三) 「疏」、武内本跳格。

【疏】

微子者、殷紂庶兄也、明其親紂凶惡必喪天位、故先拂衣歸周、以存宗祀也、所以次前者、明天下竝惡則、賢宜遠避、故以微子次陽貨也、

微子ハ、殷ノ紂カ庶^①兄ナリ、其レ紂カ凶^②惡ノ必^③天^④位ヲ喪^⑤ハンコトヲ觀^⑥テ、故ニ先ツ衣ヲ拂^⑦テ周ニ歸^⑧シテ、以テ宗祀ヲ存スルコトヲ明^⑨ス、前ニ次^⑩ル所以ハ、明ケシ天^⑪下竝ニ惡シキ^⑫則ハ、賢ハ宜ク遠^⑬避ス宜シ、故ニ微子ヲ以テ陽貨ニ次ツ、

【經】

微子去之、

微子ハ去ンヌ、

【疏】

微子者^①、名啓是殷王帝乙之元子、紂之庶兄也、殷紂暴虐、殘酷百姓、日月滋甚、不從諫爭、微子觀^②國必亡、社稷顛殞、己身元長、宜存係嗣、故先去殷投周、早爲宗廟之計、故云去也、

微子ハ、名ハ啓是レ殷ノ王帝乙ノ元子、紂カ庶兄ナリ、殷ノ紂暴^①虐ニシテ、百^②姓ヲ殘^③(殘)酷^④(酷)スルコト、日ヒ月ニ滋^⑤マスマス甚シ、諫爭スルニ從ハ不^⑥、微子國ノ必ス亡^⑦シ、社稷ノ顛^⑧殞^⑨(殞)センコトヲ觀ル、己カ身ハ元長ナリ、宜ク係^⑩嗣^⑪ヲ存ス宜シ、故ニ先ツ殷ヲ去テ周二投シテ、早ク宗廟ノ計ヲ爲ス、故ニ去ルト云フ、

【經】

箕子爲之奴、

箕子ハ奴^①ト爲ンヌ、

【疏】

箕子者、紂之諸父也、時爲父師、是三公之職、屢諫不從、知國必頽、己身非長、不能輒去職任寄重人、不可死、故佯狂而受囚爲奴、故云爲之奴也、鄭玄注尚書云、父師者三公也、時箕子爲之奴、

箕子ハ、紂カ諸父(諸父)ナリ、時ニ父師爲リ、是レ三公ノ職ナリ、屢諫ムレトモ從ハ不、國ノ必ス殞センコトヲ知ル、己カ身ハ長ニ非ス、輒チ職ニ任ラ去テ人ニ寄重スルコト能ハ不、死ス可不、故ニ佯リ狂レテ囚ヲ受テ奴ト爲ル、故ニ奴ト爲ンヌト云フ、鄭玄カ尚書ヲ注スルニ云ク、父師トハ三公ナリ、時ニ箕子之カ奴ト爲ンヌ、

【經】

比干諫而死、

比干ハ諫メテ死ツ、

【疏】

比干亦紂之諸父也、時爲小師、小師是三孤之職也、進非長嫡、無存宗之去、退非臺輔、不俟佯狂之留、且生難、死易、故正極諫、以至割心而死、故云諫而死也、鄭玄注尚書

云、少師者大師之佐、孤卿也、時比干爲之死也、

比干ハ亦紂カ諸父ナリ、時ニ小師爲リ、小師ハ是レ三公ノ職ナリ、進テ長嫡ニ非ス、宗ヲ存シテ去ルコト無シ、退クニ臺輔ニ非ス、佯リ狂スルノ留ニ俟タ不、且ツ生スルコト難ク、死スルコト易シ、故ニ正ク極メ諫テ、心ヲ割カレテ死スルニ至ル、故ニ諫メテ死ツト云フ、鄭玄カ尚書ヲ注スルニ云ク、少師ハ大師ノ佐、孤卿ナリ、時ニ比干之ト爲テ死ス、

【注】

馬融曰、微箕二國名也、

馬融カ曰ク、微箕ハ二國ノ名ナリ、

【疏】

是殷家畿内、菜地名也、

是レハ殷家ノ畿内ノ、菜地ノ名ナリ、

【注】

子爵也、

子ハ爵ナリ、

【疏】

殷家畿外三等之爵、公侯伯也。畿内唯子爵、而箕微二人、竝食箕微之地、而子爵也、

殷家ハ畿外ハ三等ノ爵ナリ、公侯伯ナリ。畿内ハ唯タ子ノ爵ナリ、而シテ箕微ノ二人、竝ニ箕微ノ地ニ食ム、而シテ子ノ爵ナリ、

【注】

微子紂之庶兄也、

微子ハ紂カ庶兄、

【疏】

鄭注尚書云、微子與紂同母、當生微子、母猶未正、及生紂時、已得正爲妻也、故微子大而庶、紂小而嫡也、

鄭カ注ノ尚書ニ云ク、微子ハ紂與同母ナリ、微子ヲ生ムニ當テ、母ハ猶ヲ未タ正ナラ未、紂ヲ生ム時ニ及テ、已ニ正ク妻爲ルコトヲ得、故ニ微子ハ大ニシテ庶ナリ、紂ハ

小ニシテ嫡ナリ、

【注】

箕子比干紂之諸父也、

箕子比干ハ紂カ諸父ナリ、

【疏】

二人皆是帝乙之弟也、

二人ハ皆是レ帝乙ノ弟ナリ、

【注】

微子見紂無道、早去之、

微子ハ紂カ無道ナルヲ見テ、早ク去ヌ、

【疏】

故尚書云、微子乃告父師少師曰、王子弗出、我乃顛蹶、是遂去敢歸周、後封微子於宋、以爲殷後也、

故ニ尚書ニ云ク、微子乃チ父師少師ニ告テ曰ク、王子

ナリ出テスンハ弗ス、我乃チ顛一躓（一躓）セン、是レ遂ニ去テ敢テ周ニ歸ス、後ニ微子ヲ宋ニ封シテ、殷ノ後ト爲ス、

【注】

箕子佯狂爲奴、比干以諫見殺也、

箕子ハ佯リ狂シテ（狂レテ）奴ト爲ル、比干ハ諫ヲ以テ殺サ見タリ、

【疏】

故武王勝紂釋箕子囚、以箕子歸作洪範而彝倫攸叙、封比干墓、天下悅服也、

故ニ武王紂ニ勝テ箕子カ囚ヲ釋シテ、箕子ヲ以テ歸テ洪範作彝倫ノ叙ツル攸、比干カ墓ヲ封シテ、天一下悅服ス、

【經】

孔子曰、殷有三仁焉、

孔子ノ曰ク、殷ニ三仁有リ、

【疏】

孔子評微子箕子比干、其迹雖異、而同爲仁、故云有三仁焉、所以然者、仁以憂世忘己身爲用、而此三人事迹雖異、俱是爲憂世民也、然若易地而處則、三人共互能耳、但若不有去者、則誰保宗祀耶、不有佯狂者、則誰爲親寄耶、不有死者、則誰爲亮臣節耶、各盡其所宜、俱爲臣法、於教有益、故稱仁也、

孔子微子箕子比干ヲ評ス、其ノ迹異ナリト雖、同ク仁ヲ爲ス、故ニ云ク三仁有リト、然ル所以ハ、仁ハ世ヲ憂テ己カ身ヲ忘スルヲ以テ用ト爲、而ルヲ此ノ三人ノ事一迹異ナリト雖、俱ニ是レ世一民ヲ憂コトヲ爲ス、然レハ若シ地ヲ易ヘテ處セハ、三人共ニ互ニ能クセン耳、但タ若シ去ル者有ラ不ンハ、誰カ宗一祀ヲ保タン耶、佯リ狂スル者有ラ不ンハ、誰カ親寄ヲ爲ン耶、死スル者有ラ不ンハ、誰カ亮（亮）一臣ノ節ヲ爲サンヤ、各其ノ宜キ所ヲ盡ス、俱ニ臣ノ法ヲ爲ス、教ニ於テ益有リ、故ニ仁ト稱ス、

【注】

馬融曰、仁者愛人、三人行各異、而同稱仁、以其俱在憂亂寧民也、

馬融カ曰ク、仁^一者ハ人ヲ愛ス、三^一人ノ行^一各^一異ナレト
モ、同ク仁ト稱スルコトハ、其ノ俱ニ亂ヲ憂ヘ民ヲ寧^スンス
ルニ在ルヲ以テナリ、

- (一) 「者」、武内本無此字。
- (二) 「觀」、武内本作「都」。
- (三) 「也」、武内本作「之」。
- (四) 「人」、武内本作「又」。
- (五) 「鄭玄注」、武内本作「鄭注」。
- (六) 「奴」下、武内本有「也」字。
- (七) 「嫡」、武内本作「適」。
- (八) 「正」下、武内本有「言」字。
- (九) 「鄭玄注」、武内本作「鄭注」。
- (一〇) 「鄭注」、武内本作「鄭玄注」。
- (一一) 「猶」下、武内本有「也」。
- (一二) 「少師」、武内本作「小卿」。
- (一三) 「奴」、武内本作「怒」。
- (一四) 「諫」下、武内本有「而」字。
- (一五) 「彝倫」、武内本作「彝綸」。
- (一六) 「亮臣」、武内本作「高臣」。
- (一七) 「馬融曰」、武内本無此三字。

【經】

柳下惠爲士師、

柳下惠士師ト爲テ、

【疏】

柳下惠展禽也、士師獄官也、惠時爲獄官也、

柳下惠ハ展禽ナリ、士師ハ獄官ナリ、惠時ニ獄官爲リ、

【注】

孔安國曰、士師典獄之官也、

孔安國カ曰ク、士師ハ典獄ノ官ノ、

【經】

三黜、

三タヒ黜ケラル、

【疏】

黜退也、惠爲獄官、無罪、而三過被黜退也、

黜ハ退ナリ、惠獄^一官ト爲テ、罪無シテ、三^一過黜^一退セ被ル、

【經】

人曰、子未可以去乎、

人ノ曰ク、子未^一タ以テ去ル可^一ラ未^一ル乎、

【疏】

人或人也、去謂更出國往他邦也、或人見惠無罪而三被退逐、故問之云、子爲何事、而未可以去此乎、欲令其去也、

人トハ或ル^一人ナリ、去トハ更ニ國ヲ出テ他^一邦ニ往クヲ謂フ、或ル^一人惠カ罪無シテ三^一退ケ^一逐ハ被ルヲ見ル、故ニ之ニ問テ云ク、子何^一事ノ爲ニカ、未^一タ此ヲ去ル可^一ラ未^一ル乎、其ヲ令^一テ去^一ラ令^一メント欲ス、

【經】

曰直道而事人、焉往而不三黜、

曰^一ク道ヲ直クシテ人ニ事ヘハ、焉クニ^一往クトシテカ三^一タヒ^一黜ケラレ不^一ラン、

【疏】

柳答或人、云己所以不去之意也、言時人世皆邪曲、而我獨用直道、直道事曲、故無罪而三黜耳、若用直事不正、非唯我國見黜、假令至彼、彼國復曲則亦當必復見黜、故云焉往而不三黜也、禽是三黜、故不假去也、故李充云、舉世喪亂、不容正直、以國觀國、何往不黜也、

柳或ル^一人ニ答テ、己^一カ去^一ラ不^一ル所以ノ意ヲ云フ、言ハ時ニ人^一世皆邪^一曲ナリ、而ルヲ我獨^一リ直^一道ヲ用フ、道ヲ直シテ曲レルニ事フ、故ニ罪無シテ三^一ヒ黜ラルル耳、若シ直ヲ用テ不^一正ニ事ヘハ、唯^一タ我カ國ニ黜ケラ見ルルノミニ非ス、假^一令^一彼ニ至ルトモ、彼ノ國モ復^一タ曲ラハ則^一チ亦タ當ニ必^一ス復^一黜ケ見ル當シ、故ニ云ク焉クニ往^一トシテカ三^一ヒ^一黜^一ラレ不^一ント、禽ハ是レ三^一タヒ^一黜^一ラル、故ニ去^一ルコトヲ假^一ラ(假^一サ)不^一、故ニ李充カ云ク、世舉^一ツテ喪^一亂ニシテ、正^一直ナル容カラ(正^一直ナル容レ)不^一、國ヲ以テ國ヲ觀ル、何クニ^一往^一クトシテカ黜^一ラレ不^一ン、

【注】

孔安國曰、苟直道以事人、於所至之國、俱當復三黜也、

孔安國カ曰ク、苟^{いひやく}モ道ヲ直シテ人ニ事ヘハ、至ル所ノ國ニ於テ、俱ニ當ニ復^{また}三タヒ黜ケラル當シ、

【經】

枉道而事人、何必去父母之邦、

道ヲ枉^マケテ人ニ事ヘハ、何ソ^レ必シモ父ノ母ノ邦ヲ去ラン、

【疏】

又對或人也、枉曲也^(四)、父母邦、謂今舊居桑梓之國也、言我若能捨直爲曲、曲則是地皆合、既往必共合^(五)、亦何必遠離我之舊邦、而更他適耶、故曲直竝不須去也、孫綽云、言以不枉道而求留也、若道而可枉、雖九生、不足以易一死、柳下惠之無此心明矣、故每仕必直、直必不用、所以三黜也、

又或ル^レ人ニ對フ、枉ハ曲ナリ、父ノ母ノ邦トハ、今^{いま}舊^レ居ノ桑^レ梓^レノ國ヲ謂フ、言ハ我若シ能ク直ヲ捨テテ曲ヲ爲ハ、曲ル^レ則ハ是ノ^コ地皆^{カテ}合ハン、既ニ往クトモ必ス共ニ合^カン、亦タ何ソ必シモ遠ク我カ舊^レ邦ヲ離テ、更ニ他ヘ^レ適^カンヤ、故ニ曲直竝ニ去ルコトヲ須ヒ不^ス、孫綽カ云ク、言ハ道ヲ枉ケ不ルヲ以テ留^{とどま}ンコトヲ求ム、若シ道而モ枉ケ^ヘ可クンハ、九^レ生スト雖モ、一^レ死シ易キヲ足レリトセ不^ス、

柳下惠カ此ノ^レ心無キコト明ケシ、故ニ仕ル毎ニ必ス直ナリ、直ナルトキハ必ス用ラレ不^ス、三タヒ黜ラルル所以ナリ、

(一) 「展」、武内本作「典」。

(二) 「云」、武内本作「曰」。

(三) 「於」、武内本無此字。

(四) 「又對或人也枉曲也」、武内本作「枉曲也又對或人也」。

(五) 「共」、武内本作「皆」。

【經】

齊景公待孔子、

齊ノ景公孔子ヲ待シテ、

【疏】

孔子往齊、而景公初欲處待孔子、共爲政化也、

孔子齊ニ往ク、而シテ景公初^{はし}孔子ニ處リ^レ待シテ、共ニ政^レ化ヲ爲^セント欲ス、

【經】

曰若季氏則吾不能、

曰ク季氏カ若キハ吾能ハ^は不^わ能^ハハ^シ、

【疏】

景公慕聖不篤、初雖欲待、而末又生悔、發此言也、季氏者魯之上卿也、惣知魯政、專任一國、今景公云、若使我以國政委任孔子如魯之任季氏、則可不能也、

景公聖ヲ慕コト篤カラ不^ス、初待セント欲スト雖^{いへとも}、末ニ又悔ヲ生シテ、此ノ言ヲ發ス、季氏ハ魯ノ上卿ナリ、物テ魯ノ政ヲ知テ、專ラ一國ヲ任ス、今景公ノ云ク、若シ我ヲ使テ國一政ヲ以テ孔子ニ委^い任^つセ使ムルコト魯ノ季氏ニ任スルカ如キンハ、能ハ不^さル可^へシ、

【經】

以季孟之閒待之、

季孟ノ閒ヲ以テ待^ま待^まセン、

【疏】

孟者魯之下卿也、不被任用者也、景公言、我不能用孔子如魯處季氏、又不容令之無事、如魯之處孟氏也、我當以有事無事之閒處之、故云以季孟之閒待之也、

孟ハ魯ノ下卿ナリ、任^ま用^まセ被^らレ不^さル者ナリ、景公ノ言ク、我孔子ヲ用ルコト魯季氏ニ處スルカ如ナルコト能ハ不^シ、又之ヲ令^しテ無^し事ニシテ、魯ノ孟氏ニ處スルカ如クナル容カラ不^ス、我當^まニ有^る事無^し事ノ閒ヲ以テ之ニ處ス當^べシ、故ニ云ク季孟ノ閒ヲ以テ之ヲ待セント、

【注】

孔安國曰、魯三卿季氏爲上卿最貴、孟氏爲下卿、不用事、言待之、以二者之閒也、

孔安國カ曰ク、魯ノ三卿季氏ハ上卿ト爲テ最モ貴シ、孟氏ハ下卿ト爲テ、事ヲ用ヒ不^ス、言ハ之ヲ待スルニ、二ノ者ノ閒ヲ以テセン、

【經】

曰吾老矣、不能用也、

ノなほ
曰ク吾老^{わしをい}ンタリ、用ヒラルルコト能ハ不^シトイヒテ、

【疏】

景公初雖云待之、於季孟之間、而未又悔、故自託吾老、不能復用孔子也、

景公初^{はじめ}之ヲ待セント云ト雖^{いふ}モ、季孟ノ間ニ於テスルコトハ、而シテ末ニ又悔ヒテナリ、故ニ自^{みづか}吾カ老ニ託シテ、復タ孔子ヲ用ルコト能ハ不^さルナリ、

【經】

孔子行、

孔子行^サンヌ、

【注】

以聖道難成、故云老矣不能用、

聖道^シノ成リ難キヲ以テノ、故ニ老タリ用ラルルコト能ハ不^シト云フ、

【疏】

孔子間不能用已、故行去也、江熙云、麟不能爲豺歩、鳳不能爲隼擊、夫子所陳、必也正道^(四)、景公不能用、故託吾老、可合則往、於離則去、聖人無常者也、

孔子^{おの}己ヲ用ルコト能ハ不^まンコトヲ聞ク、故ニ行テ去ル、江熙カ云ク、麟ハ豺歩ヲ爲スコト能ハ不^ス、鳳ハ隼^{ハヤブサ}擊ヲ爲^{なす}コト能ハ不^ス、夫子ノ陳フル所ハ、必ス正^シ正道ナリ、景公用ルコト能ハ不^ス、故ニ吾カ老ニ託ス、合^カフ可^ヘキ則ハ往ク、離ルルニ於テスル則ハ去ル、聖人ハ常^{ツネ}無^キ者ナリ、

(一) 「季孟」、武内本作「孟季」。

(二) 「吾」、武内本作「我」。

(三) 「用」下、武内本有「也」字。

(四) 「必也正道」、武内本作「必正道也」。

(五) 「孔子間」至「常者也」五十七字、在經文「孔子行」下。

【經】

齊人歸女樂、

齊人女_レ樂ヲ歸ル、

【疏】

歸猶餉也、女樂女伎也、齊餉魯定公女伎、致時孔子在魯、齊畏魯強、故餉魯女樂、欲使孔子去之、

歸ハ餉ノ猶シ、女樂ハ女_レ伎ナリ、齊魯ノ定公ニ女_レ伎ヲ餉ル、致ル時ニ孔子魯ニ在リ、齊魯ノ強ナランコトヲ畏ル、故ニ魯ニ女_レ樂ヲ餉テ、孔子ヲ使テ去ラ使メント欲、

【經】

季桓子受之、

季桓子之ヲ受ク、

【疏】

季氏使定公、受齊之餉也、

季氏定公ヲ使テ、齊ノ餉ルヲ受ケ使ム、

【經】

三日不朝、

三日朝セ不、

【疏】

桓子既受之、仍與定公奏之三日廢於朝禮也、

桓子既ニ之ヲ受ク、仍チ定公與之ヲ奏シテ(奏_レセシメテ)三日朝_レ禮ヲ廢ス、

【經】

孔子行、

孔子行_ンヌ、

【疏】

既君臣淫樂、故孔子遂行也、江熙云、夫子色斯舉矣、無禮之朝、安可以處也、

既ニ君_レ臣淫_レ樂ス、故ニ孔子遂ニ行_ンヌ、江熙カ云ク、夫_レ子ハ色ノママニ斯ニ舉_レス、無_レ禮ノ朝ハ、安_レソ以テ處ス可キ、

【注】

孔安國曰、桓子季孫斯也、使定公受齊之女樂、君臣相與觀之、廢朝禮三日也、

孔安國カ曰ク、桓子ハ季孫斯ソ、定公ヲ使テ齊ノ女ノ樂ヲ受ケ使ム、君臣相ヒ與ニ之ヲ觀ル、朝禮ヲ廢スルコト三日、

(一) 「魯」下、武内本有「於」字。

(二) 「之」、武内本有「也」。

(三) 「禮」下、武内本有「者」字。

(四) 「也」、武内本作「乎」。

【經】

楚狂接輿歌而過孔子之門、

楚ノ狂接輿歌テ孔子ノ門ヲ過ク、

【疏】

接輿楚人也、姓陸名通字接輿。昭王時政令無常、乃被髮佯狂不仕、時人謂之爲楚狂也、時孔子適楚、而接輿行歌、從孔子邊過、欲感切孔子也、

接輿ハ楚人ナリ、姓ハ陸名ハ通字ハ接輿。昭王ノ時政令常ト無シ、乃チ髮ヲ被リ佯リ狂レテ仕ヘ不、時ノ人ニテ謂テ楚ト狂ト爲、時ニ孔子楚ニ適ク、而シテ接輿行歌シテ、孔子ノ邊從リ過テ、孔子ヲ感切セマク欲ス、

【注】

孔安國曰、接輿楚人也、佯狂、而來歌、以欲感切孔子也、

孔安國カ曰ク、接輿ハ楚人ナリ、佯リ狂シテ、來テ歌テ、以テ孔子ヲ感切セマク欲ス、

【經】

曰鳳兮鳳兮、何德之衰、

曰ク鳳兮鳳兮、何ソ德ノ衰ヘタル、

【疏】

此接輿歌曲也、知孔子有聖德、故以比鳳、但鳳鳥待聖君乃見、今孔子周行、屢適不合、所以是鳳德之衰也、

此レハ接輿カ歌ノ曲ナリ、孔子ノ聖德有ルヲ知ル、故ニ鳳ニ比ス、但夕鳳鳥ハ聖君ヲ待テ乃チ見ル、

今孔子周_一行シテ、屢_{シハシハユキ}適テ合ハス、是レ鳳_一德ノ衰ヘタル所_一以ナリ、

【注】

孔安國曰、比孔子於鳳鳥也、鳳鳥待聖君而乃見、非孔子周行求合、故曰衰也、

孔安國カ曰ク、孔子ヲ鳳_一鳥(鳳鳥)ニ比ス、鳳鳥ハ聖君ヲ待テ乃チ(乃シ)見ユ、孔子ノ周_一行シテ合ハンコトヲ求ルコトヲ非ル、故ニ衰_{オウゾヘ}タリト曰フ、

【經】

往者不可諫也、

往_インシ_{ヲハ}者諫ム可_{ヘカラス}不_ス、

【疏】

言屢適不合、是已示往事不復可諫、是既往不咎也、

言_{イハレ}ハ屢_{シハシハユキ}適_テ合_ハス、是_レ已_ニ往_一事_ハ復_レ諫_ム可_{ヘカ}ラ_ズ不_ルコトヲ示ス、是_レ既_ニ往_一ヲ_ハ咎_メス不_ス、

【注】
孔安國曰、已往所行、不可復諫止也、

孔安國カ曰ク、已_サ往_キニ行フ所ヲハ、復_{また}諫_メ止_ム可_{ヘカ}ラ_ズ不_ス、

【經】

來者猶可追也、

來_ヲラン_者猶_ヲ追_ツ可_シ、

【疏】

來者、謂未至之事也、未至之事、猶可追止、使莫復周流天下也、

來_ヲラン_者ト_者、未_タ至_ラ未_ル事_ヲ謂_フ、未_タ至_ラ未_ルノ事_ハ、猶_ヲ追_テ止_ム可_シ、復_タ天_一下_ヲ周_一流_スルコト莫_クラ_シム、

【注】

孔安國曰、自今以來、可追自止、避亂隱居也、

孔安國カ曰ク、今自リ以「來ハ、追テ自「止メテ、亂ヲ避ケテ隱「居セシメツ可シ、

【經】

已而已而、今之從政者殆而、

已「而已「而、今ノ政ニ從フ者ハ、殆シ、

【疏】

已而者、言今世亂已甚也、殆而者、言今從政者、皆危殆、不可復救治之也、

已「而ト者、言ハ今「世亂已ニ甚シ、殆シト者、言ハ今政ニ從ヘル者ハ、皆危「殆ナリ、復之ヲ救ヒ「治ム可ラ不、

【注】

孔安國曰、已而者、言世亂已甚、不可復治也、再言之者、傷之甚也、

孔安國カ曰ク、已「而「者、言ハ世ノ亂レタルコト已ニ「甚シ、復タ「治ム可「不、再タヒ之ヲ言フコトハ、傷ムコトノ甚シキノ、

【經】

孔子下欲與之言、

孔子下リテ之レ與「言ハント欲ス、

【疏】

下下車也、孔子初在車上、聞接輿之歌、感切於己、己故下車欲與之共語也、江熙云、言下車、明在道、聞其言也、

下トハ車ヨリ下ルルソ、孔子初メ車「上ニ在テ、接輿カ歌テ、己「ヲ感「切スルコトヲ聞ク、己故ニ車ヨリ下テ之レ「與共ニ語ラント欲、江熙カ云ク、車ヨリ下ルルト言フトキハ、明ケシ道ニ在テ、其ノ言ヲ聞クコトヲ、

【經】

趨而避之。不得與之言、

趨テ避「ンヌ。之レ與「言「コトヲ得「不、

【疏】

趨疾走也、接輿見孔子下車、欲與己言、己故急趨避之、所以令孔子不得與之言也、江熙云、若接輿與夫子、對共情

(一〇) 言則、非狂也、達其懷於議者、修其狂迹、故疾行而去也、

趨ハ疾ト走ナリ、接輿孔子ノ車ヨリ下テ、己おのレト與言ハント欲スルヲ見テ、己おのレ故ニ急ニ趨テ之ヲ避ク、孔子ヲ令テ之レこトモト見テ、コトヲ得さ不ラ令ムル所以ナリ、江熙カ云ク、若シ接輿夫ト子與ト、對シテ共ニ情シ言スル則ハ、狂ニ非ス、其ノ懷ヲ議者ニ達セシ、其ノ狂ト迹ヲ修ム、故ニ疾ク行テ去ル、

【注】

荀氏曰、下下車也、

荀氏カ曰ク、下トハ車ヨリ下ルルソ、

- (一) 「適」、武内本作「過」。
- (二) 「衰」下、武内本有「也」字。
- (三) 「比鳳」、武内本作「鳳比」。
- (四) 「衰」下、武内本有「之」字。
- (五) 「之」、武内本無此字。
- (六) 「使」上、武内本有「而」字。
- (七) 「之」下、武内本有「者」字。
- (八) 「言」、武内本無此字。
- (九) 「也」、武内本無此字。

- (一〇) 「言」下、武内本有「也」字。
- (一一) 「情言」、武内本作「清言」。

【經】

長沮桀溺

長沮桀溺

【疏】

二人皆隱士也、

二人ハ皆隱士ナリ、

【經】

耦而耕、

耦ゴウシテ耕ス、

【疏】

二人既隱山野、故耦而共耕也、

二人既二山野ニ隱ル、故ニ耦シテ共ニ耕ス、

【經】

孔子過之、

孔子過ク、

【疏】

孔子行從沮溺二人所耕之處、過也、

孔子行テ沮溺二人ノ耕ス所ノ處從リ、過ク、

【經】

使子路問津焉、

子路ヲ使_シテ津ヲ問_フハ使ム、

【疏】

津渡水處也、時子路從孔子行、故孔子使子路訪問於沮溺
渡水津之處也、宛叔曰、欲顯之、故使問也、

津ハ水ヲ渡ルノ處ナリ、時ニ子路孔子ニ從テ行ク、故ニ孔

子子路ヲ使_シテ沮溺ニ訪_ヒ問_フテ水ヲ渡ル津ノ處ヲ覓_メ使_シム、
宛叔カ曰ク、之ヲ顯_スサント欲_ス、故ニ問_フハ使_シム、

【注】

鄭玄曰、長沮桀溺隱者也、耜廣五寸、二耜爲耦、

鄭玄カ曰ク、長沮桀溺ハ隱者ナリ、耜_スノ廣_サ五寸、二_ツ
ノ耜_ヲ耦_ト爲_ス、

【疏】

耕用耜、是今耨轉、耜是今之鐮、廣五寸、五寸則、不成
伐、故二人竝耕、兩耜竝得廣一尺、一尺則成伐也、故云二
耜爲耦也、

耕ハ耨_ヲ用_フ、是レ今ノ耨轉ナリ、耜ハ是レ今ノ鐮ナリ、
廣_サ五寸、五寸ナル則ハ、伐_キルヲ成_セ不_ス、故ニ二人竝
ニ耕_ス、兩耜ハ竝ニ廣_サ一尺ヲ得、一尺ハ則チ伐_{コト}
ヲ成_ス、故ニ二耜ヲ云テ耦ト爲_ス、

【注】

津濟渡處也、

津濟_リ渡ルノ處ソ、

【經】

長沮曰、夫執輿者、爲誰乎、

長沮カ曰ク、夫ノ輿ヲ執レル者ハ、誰トカ爲ル、

【疏】

子路行問津、先問長沮、長沮不答津處、而先反問子路也、
執輿猶執轡也、子路初在車上、即爲御、御者執轡、今既下
車而往問津渡則、廢轡與孔子、孔子時執轡、故長沮問子路
云、夫在車中執轡者、是爲誰子乎、

子路行テ津ヲ問フ、先ツ長沮ニ問フ、長沮津ノ處ヲ答ヘ
不、而シテ先ツ反テ子路ニ問フ、輿ヲ執ルトハ轡ヲ執ルト
イハンカ猶シ、子路初メ車^ト上ニ在テ、即チ御爲リ、御者
ハ^{ツハツ}轡ヲ執ル、今既ニ車ヨリ下テ往テ津ノ^タ渡ヲ問フ則
ハ、轡ヲ廢シテ孔子ニ與フ、孔子時ニ轡ヲ執ル、故ニ長沮
子路ニ問テ云ク、夫レ車^ト中ニ在リ轡ヲ執ル者ハ、是レ誰
レカ^ト子トカ爲ル、

【經】

子路曰、爲孔丘、

子路カ曰ク、孔丘ト爲ス、

【疏】

子路答云、車中執轡者、是孔丘也、然子路問長沮稱師名
者、聖師欲令天下知之也、

子路答テ云ク、車^ト中ニ轡ヲ執ル者ハ、是レ孔丘ナリ、然
ルニ子路長沮ニ問ハレテ師ノ^ト名ヲ稱スルコトハ、聖師ヲ
天下ヲ令テ之ヲ^ト知ラ令メント欲ス、

【經】

曰是魯孔丘與、

曰ク是レハ魯ノ孔丘與、

【疏】

長沮更定之也、此是魯國孔丘不乎、

長沮更ニ之ヲ^ト定ム、此レハ是レ魯國ノ孔丘ナリヤ不ヤ、

【經】

對曰是也、

對テ曰ク是ナリ、

【疏】

答曰、是魯孔丘也、

答テ曰ク、是レ魯ノ孔丘ナリ、

【經】

曰是知津矣、

曰ク是ナラハ津ヲ知ラン、

【疏】

沮聞魯孔丘、故不語津處也、言若是魯之孔丘、此人數周流天下、無所不至、必知津處也、無俟我今復告也、

沮魯ノ孔丘ト聞ク、故二津ノ一處ヲ語ラ不、言ハ若シ是レ魯ノ孔丘ナラハ、此ノ人數、天下ヲ周流シテ、至ラ不トイフ所無シ、必ス津ノ一處ヲ知ラン、我今復タ告コトヲ俟ツコト無ケン、

【注】

馬融曰、言數周流、自知津處也、

馬融カ曰ク、言ハ數周流シテ、自津ノ一處ヲ知ラン、

【經】

問於桀溺

桀溺二問フ

【疏】

長沮不答、子路又問桀溺也、

長沮答へ不、子路又桀溺二問フ、

【經】

桀溺曰、子爲誰、

桀溺カ曰ク、子ヲハ誰トカ爲ル、

【疏】

又問子路汝是誰也、

又子路二問フ汝ハ是レ誰ソ、

【經】

曰爲仲由、

曰ク仲由ト爲^ス、

【疏】

子路答言、我是姓仲名由也、

子路答テ言ク、我ハ是レ姓ハ仲名ハ由、

【經】

曰是魯孔丘之徒與、

曰ク是レハ魯ノ孔丘ノ徒與^カ、

【疏】

又問言、汝名由是孔丘之門徒不也、^ト

又問テ言ク、汝名ハ由^ハ是レ孔丘ノ門徒ナリヤ不ヤ、^{イナ}

【經】

對曰然、

對ヘテ曰ク然ナリ、^{シカ}

【疏】

子路答是也、^ト

子路是ナリト答フ、

【經】

曰滔滔者、天下皆是也、而誰以易之、

曰ク滔^ハ滔^タル者、天^ハ下^ハ皆^ニ是^レナリ、而ルヲ誰^レヲ以^テテカ^カ之^ヲ易^スエ^ン、

【疏】

滔滔者、猶周流也。天下皆是謂一切皆惡也、桀溺又云、孔子何是周流者乎、當今天下治亂如一、捨此適彼、定誰可易之者乎、言皆惡也、

滔^ハ滔^タトハ、周^ハ流^ノ猶^シ。天^ハ下^ハ皆^ニ是^レナリトハ一^ニ切^ニ皆^ニ惡^キキ

ヲ謂フ、桀溺又云ク、孔子何ソ周_一流ヲ是_トスル者カ、今ニ當テ天_一下ノ治_一亂_一ノ如シ、此ヲ捨テテ彼_ニ適ク、定テ誰_ヲカ之_ヲ易フ可キ者ソヤ、言ハ皆_ニ惡シ、

【注】

孔安國曰、滔滔者、周流之貌也、言當今天下治亂同、空舍此適彼、故曰誰以易之、

孔安國カ曰ク、滔_一滔_一ハ、周_一流_一ノ貌ソ、言ハ今ニ當テ天_一下ノ治_一亂_一同シ、空_ク此_ヲ舍_テテ彼_ニ適ク、故ニ誰_ヲ以_テカ之_ヲ易ヘント曰フ、

【經】

且而與其從避人之士、也豈若從避世之士哉、

且ツ其ノ人ヲ避クル士ニ從ハン與ハ、豈ニ世ヲ避ルノ士ニ從ハンニハ若カン哉、

【疏】

桀溺又微以此言、招子路使從己隱也、故謂孔子爲避人之士、其自謂己爲避世之士也、言汝今從於避人之士、則豈_ニ從_ニ避_ニ世_ニ之_ニ士_乎、

桀溺又微シ此ノ言ヲ以テ、子路ヲ招テ己カ隱ニ從ハ使ム、故ニ孔子ヲ謂テ人ヲ避ルノ士ト爲、其レ自_レ己ヲ謂テ世ヲ避ルノ士ト爲、言ハ汝今人ヲ避クルノ士ニ從ハンヨリハ、豈ニ世ヲ避ルノ士ニ從ハンニ如カン乎、

【注】

士有避人之法、有避世之法、長沮桀溺謂孔子爲士從避人法也、己之爲士、則從避世之法者也、

士二人ヲ避クルノ法有リ、世ヲ避クルノ法有リ、長沮桀溺謂_{ハク}孔子ノ士タルコト人ヲ避クルノ法ニ從フ、己カ士爲ルコト、世ヲ避クルノ法ニ從フ者ナリ（孔子ノ士タルコト人ヲ避クルノ法ニ從フ、己カ士爲ルコト、世ヲ避クルノ法ニ從フト謂ヘル者ナリ）、

【疏】

若如注意則、非但令子路從己、亦謂孔子從己也、

若シ注ノ意ノ如キンハ、但夕子路ヲ令テ己ニ從ハ令ルノミニ非ス、亦孔子ヲ謂テ己ニ從ハシム（從ハシムル也）、

【經】
耒而不耨、

耒タネカシテ耨ヤマス不、

【疏】

耒覆種也、耨止也、二人與子路且語且耕、覆種不止也、覆種者、植穀之法、先散後覆也、

耒ヲハ種ヲ覆カスソ、耨ヲハ止ナリ、二人子路與ト且ツ語テ且ツ耕ス、種ヲ覆シテ止マ不ス、種ヲ覆ストハ、穀ヲ植ウルノ法、先ツ散シテ後ニ覆ウ、

【注】

鄭玄曰、耒覆種也、耨止也、覆種不止、不以津告之也、

鄭玄カ曰ク、耒ヲハ種ヲ覆カスソ、耨ヲハ止メ、種ヲ覆シテ止マ不スルコトハ、津ヲ以テ告ケ不トナリ、

【經】

子路行以告、

子路行テ以テ告ス、

【疏】

子路問二人、二人共ニ不告、及於借問、而覆種不止、故子路備以此事、還車上以告孔子也、

子路二人二問フ、二人共二告ケ不、借問スルニ及テ、種ヲ覆シテ止マ不、故二子路備ニ此ノ事ヲ以テ、車上ニ還テ以テ孔子ニ告ス、

【經】

夫子憮然

夫ノ子憮ト然トシテ

【疏】

憮然猶驚愕也、孔子聞子路告、故愕怪彼不達己意、而譏己也、

憮ト然トハ驚ト愕トノ猶シ、孔子子路カ告ヲ聞テ、故二愕トテ彼カ己カ意ニ達セ不シテ、己ヲ譏ルコトヲ怪ム、

【注】
爲其不達己意、而非己也、

其ノ己カ意ニ達セ不シテ、己ヲ非ルカ爲ナリ、

【經】
曰、鳥獸不可與同群也、

ノたまは
曰ク、鳥獸ニハ與ニ群ヲ同フス可ラス、

【疏】
孔子既憮然、而又云、隱山林者、則鳥獸同群、出世者、則與世人爲徒旅、我今應出世、自不得居於山林、故云、鳥獸不可與同群也、

孔子既ニ憮然トシテ、又云ク、山林ニ隱ルル者ハ、則チ鳥獸ト群ヲ同ス、世ニ出ル者ハ、則チ世人與徒旅爲リ、我ハ今世ニ出ツ應シ、自山林ニ居ルコトヲ得不、故ニ云ク、鳥獸ニハ與ニ群ヲ同フス可不、

【注】
孔安國曰、隱居於山林、是與鳥獸同群也、

孔安國カ曰ク、山林ニ隱居スルハ、是レ鳥獸與群ヲ同フスルナリ、

【經】
吾非斯人之徒與、而誰與、

吾ハ斯ノ人ノ徒ト與タルニ非シテ、誰トカ與ナラン、

【疏】
言必與人爲徒也、亦云、我既出世應與人爲徒旅、故云、吾非斯人之徒與、而誰與、言必與人爲徒也、

言ハ必ス人與徒爲ラン、亦云ク、我ハ既ニ世ニ出テ人與徒ト旅爲ル應シ、故ニ云ク、吾ハ斯レ人ノ徒ト與タルニ非シテ、誰トカ與ナラン、言ハ必ス人與徒爲ラン、

【注】
孔安國曰、吾自當與此天下人、同群、安有能去人、從鳥獸居乎、

孔安國カ曰ク、吾ハ自當ニ此ノ天下ノ人與、群ヲ同フス當シ、安ソ能ク人ヲ去ケテ、鳥獸ニ從テ居ラン乎、

【經】

天下有道、丘不與易也、

天下有道有り、丘與ニ易ヘ不、

【疏】

言凡我道、雖不行於天下、天下有道者、而我道皆不至與彼易之、是我道大、彼道小故也、

言ハ凡ソ我カ道、天一下ニ行ハレ不ト雖モ、天一下道有ル者ナリ、而ルヲ我カ道皆彼與之ヲ易ルニ至ラ不、是レ我カ道ハ大ナリ、彼カ道ハ小ナル故ナリ、

【注】

孔安國曰、言凡天下有道者、丘皆不與易也、己道大、而人小故也、

孔安國カ曰ク、言ハ凡ソ天一下道有ル者、丘皆與ニ易ヘ不、己カ道ハ大ニシテ、人ハ小キナル故ナリ、

【疏】

江熙云、易稱、天下同歸而殊塗、一致而百慮、君子之道、

或出或處、或默或語、所以爲歸致者、期於內順生徒、外愷教旨也、惟此而已乎、凡教、或即我以導物、或執彼以明節、以救急疾於當年。而發逸操於沮溺、排披抗言於子路、知非問津之求也、于時風政日昏、彼此無以相易、良所以猶然、斯可已矣、彼故不屑去就、不輟其業、不酬棲棲之間、所以遂節於世、而有愷於聖教者存矣、道喪于茲、感以事反、是以夫子憮然曰、鳥獸不可與同群也、明夫理有大師、吾所不獲已也、若欲潔其身、韜其蹤、同群鳥獸、不可與斯民則、所以居大倫者廢矣、此即我以致言、不可以乘彼者也、丘不與易、蓋物之有道、故大湯武、亦稱夷齊。由管仲而無譏邵忽、今彼有其道、我有其道、不執我以求彼、不係彼以易我、夫可滯哉。沈居士云、世亂賢者宜隱而全生、聖人宜出以弘物、故自明我道以救大倫、彼之絕迹隱世實由世亂、我之蒙塵棲遑亦以道喪、此即彼與我同患世也、彼實中賢、無道宜隱、不達教者也、我則至德、宜理大倫、不待已者也、我既不失、彼亦無違、無非可相非、且沮溺是視子路亦不視夫子、謂子路宜從己、不言仲尼也、自我道不可復與鳥獸同群、宜與人徒、本非言彼也、彼居林野居然不群鳥獸、群鳥獸避世外、以爲高行、初不爲鄙也、但我自得耳、以體大居正宜弘世也、下云天下有道、丘不與易也、言天下人自各有道、我不以我道易彼、亦不使彼易我、自各處其宜也、如江熙所云、大湯武而亦賢夷齊。美管仲亦

不譏召忽也、

江熙カ云ク、易ニ稱エラク、天ノ下ノ歸ヲ同シテ塗ヲ殊ニス、一致ニシテ百慮ナリ、君ノ子ノ道、或ハ出テ或ハ入ルシ、或ハ默シ或ハ語ル、歸致ヲ爲ス所以ノ者、内生ノ徒ニ順ヒ、外教ノ旨ヲ倣フルコトヲ期ス、惟タ此レ而已乎、凡ノ教、或ハ我ニ即テ物ヲ導キ、或ハ彼ヲ執テ節ヲ明ス、急疾ヲ當年ニ救フ。而シテ逸操（操）ヲ沮溺ニ發ス、抗（抗）一言ヲ子路ニ排披ス、津ヲ問フノ求ニ非ルコトヲ知ル、時于風政日ニ昏シ、彼此相ヒ易ルコト無シ、良ニ猶ヲ然ル所以ハ、斯レ己ヲ可トス、彼故ニ去就ヲ屑シト不、其ノ業ヲ輟メ不シテ、棲棲ノ間ニ酬ヒ不ルコトハ、節ヲ世ニ遂テ、聖教ヲ倣フル有ル所以ノ者存ス、道茲ニ喪シテ、感以テ事反ス（反ク）、是ヲ以テ夫子憮然トシテ曰ク、鳥獸ニハ與ニ群ヲ同フス可ラ不、明ケシ夫レ理ニ大ノ師有ルコトヲ、吾已ムコトヲ獲不ル所ナリ、若シ其ノ身ヲ潔シテ、其ノ蹤ヲ韜マント欲シテ、同ク鳥獸ニ群シテ、斯ノ民ト與タル可不ル則ハ、大人倫ニ居ル所以ノ者廢セシ、此レ我ニ即テ言ヲ致シテ、彼ヲ乗ク可ラ不ル者ナリ、丘與ニ易ヘントハ、蓋シ物ノ道有リ、故ニ湯武ヲ大ナリトシ、亦夷齊ヲ稱ス。管仲ニ由

テ邵忽ヲ譏ルコト無シ、今彼其ノ道有リ、我其ノ道有リ、我ヲ執テ彼ヲ求メ不、彼ヲ係ケテ我ヲ易ヘ不、夫レ滯ル可シ哉。沈居士カ云ク、世ノ亂ニハ賢者ハ宜ク隱テ生ヲ全フス宜シ、聖人ハ宜ク出テテ以テ物ニ弘ム宜シ、故ニ自我カ道ヲ明シテ大倫ヲ救フ、彼カ迹ヲ絶シテ世ニ隱ルルモ實ニ世ノ亂ニ由ル、我カ蒙塵シテ棲遑タルモ亦道ノ喪スルヲ以テナリ、此レ即チ彼ト我與同ク世ヲ患ルナリ、彼ハ實ニ中賢ナリ、無道ニハ宜ク隱テ、教ヲ達セ不ル宜キ者ナリ、我ハ則チ至徳ナリ、宜ク大人倫ヲ理メテ、已ムコトヲ得不ル宜キ者ナリ、我既ニ失セ不、彼モ亦違コト無シ、非ノ相ヒ非ス可キ無シ、且タ沮溺ハ是レ子路ヲ視テ亦夫子ヲ視不、子路ニ謂テ宜ク己ニ從フ宜シトイフ、仲尼ヲ言ハ不、自我カ道ハ復鳥獸與群ヲ同ス可ラ不、宜ク人ノ徒ト與タル宜シ、本彼ヲ言フニ非ス、彼ハ林ノ野ニ居テ居然トシテ鳥獸ト群不ルコトヲ得不、鳥獸ト群シテ世ノ外ニ避テ、以テ高ノ行ヲ爲ス、初メヨリ鄙シト爲不、但タ我自レ得タル耳、體大ヲ以テ正ニ居テ宜ク世ニ弘ム宜シ、下ニ云ク天下道有リ、丘與ニ易ヘント、言ハ天一ノ人自レ各道有リ、我我カ道ヲ以テ彼ヲ易ヘ不、亦彼ヲ使テ我ヲ易ヘ使メ不、自レ各其ノ宜ニ處ス、江熙カ云フ所ノ如シ、湯武ヲ大ナリトシ亦夷齊ヲ賢ナリトス。管仲ヲ美メテ亦召忽ヲ譏ラ不、

- (一) 「綑轉」、武内本作「鉤縛」。
- (二) 「也」、武内本無此字。
- (三) 「既」、武内本作「即」。
- (四) 「下」下、武内本有「而」字。
- (五) 「孔丘」、武内本作「孔子」。
- (六) 「也」、武内本無此字。
- (七) 「乎」、武内本作「也」。
- (八) 「答」下、武内本有「云」字。
- (九) 「是」、武内本作「事」。
- (一〇) 「之」下、武内本有「也」字。
- (一一) 「從」下、武内本有「於」字。
- (一二) 「也」、武内本作「乎」。
- (一三) 「之」、武内本無此字。
- (一四) 「人」下、武内本有「之」字。
- (一五) 「覆」下、武内本有「也」字。
- (一六) 「津」下、武内本有「處」字。
- (一七) 「之」、武内本無此字。
- (一八) 「共」、武内本作「皆」。
- (一九) 「撫」、武内本作「撫」。
- (二〇) 「而」下、武内本有「便」字。
- (二一) 「撫」、武内本作「撫」。
- (二二) 「之」、武内本無此字。

- (二三) 「有」、武内本無此字。
- (二四) 「從」、武内本作「徒」。
- (二五) 「也」、武内本作「之」。
- (二六) 「執」、武内本作「報」。
- (二七) 「撫」、武内本作「撫」。
- (二八) 「由」、武内本作「美」。
- (二九) 「云」、武内本作「曰」。
- (三〇) 「視」、武内本作「規」。
- (三一) 「視」、武内本作「規」。

【經】

子路從、而後、

子路從テ、後ヲレタリ、

【疏】

孔子與子路同行、孔子先發、子路在後隨之、未得相及、故云從而後也、

孔子子路與同トク行ク、孔子先ツ發ス、子路後シニ在コレテ之ニ隨フ、未夕相ヒ及スコトヲ得未ズ、故ニ從テ後ヲレタリト云フ、

【經】

遇丈人以杖荷篠、

丈一人ノ杖ヲ以テ篠ヲ荷フニ遇フ、

【疏】

遇者、不期而會也、丈人者、長宿之稱也、荷擔揚也、篠竹器、名。子路在孔子後、未及孔子。而與此丈人相遇、見此丈人以杖擔一器籬簾之屬、故云以杖荷篠也、

遇トハ、期セ不ルニ會フソ、丈一人トハ、長宿ノ稱ナリ、荷ハ擔揚ナリ、篠ハ竹器ノ、名ナリ。子路孔子ノ後ニ在テ、未タ孔子ニ及ハ未。而シテ此ノ丈人與相ヒ、遇フ、此ノ丈一人ノ杖ヲ以テ一器ノ籬簾ノ屬ヲ擔ヲ見ル、故ニ杖ヲ以篠ヲ荷ト云フ、

【注】

荀氏曰、丈人、老者也、篠、竹器、名也、

荀氏カ曰ク、丈一人ハ、老者ソ、篠ハ、竹ノ器ノ、名ソ、

【經】

子路問曰、子見夫子乎、

子路問テ曰ク、子夫子ヲ見ル乎、

【疏】

子路既見在後、故借問丈人、見夫子不也、

子路既ニ見ニ後ニ在リ、故ニ丈一人ニ借問ス、夫一子ヲ見ルヤ不ヤ、

【經】

丈人、曰、四體不勤、五穀不分、孰爲夫子、

丈一人ノ、曰ク、四體勤メ不、五穀分タ不、孰ヲカ夫子ト爲ル、

【疏】

四體足手也、勤勞也、五穀黍稷之屬也、分播種也、孰誰也、子路既借問丈人、丈人故答子路也、言當今亂世汝不勤勞四體以播五穀、而周流遠走、問誰爲汝之夫子而問我索之乎。袁氏云、其人已委曲、識孔子。故譏之、四體不勤、不

能如禹稷躬殖五穀、誰爲夫子而索耶、

四體ハ足手ナリ、勤ハ勤勞ナリ、五一穀ハ黍(黍)一稷(稷)ノ屬ナリ、分トハ播種スルソ(播シ種ウルナリ)、孰ハ誰ナリ、子路既ニ丈人ニ借問ス、丈人故ニ子路ニ答フ、言ハ今ノ亂世ニ當テ汝四體ヲ勤勞シテ五穀ヲ播サ不シテ、周一流遠走ス、問ハク誰ヲカ汝ノ夫ト爲テ我ニ問テ之ヲ索ムルヤ、袁氏カ云ク、其ノ人已ニ委曲ニシテ、孔子ヲ識ル。故ニ之ヲ譏ル、四體勤メ不トハ、禹稷ノ如ク躬殖五穀ヲ殖ウルコト能ハ不、誰ヲカ夫ト爲テ索ムル耶、

【注】

荀氏曰、丈人云、不勤勞四體、不分殖五穀、誰爲夫子、而索之耶、

荀氏カ曰ク、丈人ノ云ク、四體ヲ勤勞セ不、五穀ヲ分チ殖ヘ不、誰ヲカ夫ト爲テ、之ヲ索ムル耶、

【經】

植其杖而芸、

其ノ杖ヲ植テ芸フ、

【疏】

植豎也、芸除草也、丈人答子路竟、至草田而豎其所荷篠之杖、當掛篠於杖頭、而植豎之竟、而芸除田中穢草也、

植ハ豎、芸ハ草ヲ除フ、丈人子路ニ答ヘ竟テ、草田(田)ニ至テ而シテ其ノ篠ヲ荷フ所ノ杖ヲ豎テ、當ニ篠ヲ杖頭ニ掛テ、之ヲ植テ豎テ竟テ、而シテ田中ノ穢草ヲ芸除ス當シ、

【注】

孔安國曰、植倚也、除草曰芸也、

孔安國カ曰ク、植ハ倚(倚)、草ヲ除フヲ芸ト曰フ、

【疏】

杖以爲力、以一手芸草、故云植其杖、而芸也、

杖以テ力ト爲、一手ヲ以テ草ヲ芸フ、故ニ其ノ杖ヲ植テ、芸ト云フ、

【經】

子路拱而立、

子路拱シテ立ツ、

【疏】

拱沓手也、子路未知所以答、故沓手而倚立、以觀丈人之芸也、

拱トハ手ヲ沓ムルソ、子路未夕答ヘン所以ヲ知ラ未、故

ニ手ヲ沓テ倚リ立テ、丈一人ノ芸ヲ觀ル、

【注】

未知所以答也、

未夕答ヘン所以ヲ知未、

【經】

止子路宿、

子路ヲ止メテ宿セシム、

【疏】

子路住倚當久、已至日暮、故丈人留止子路、使停住就已宿也、

子路住マリ倚ルコト當ニ久カル當シ、已ニ日暮ニ至ル、

故ニ丈一人子路ヲ留メ止テ、停メ住テ己カ宿ニ就カ使ム、

【經】

殺鷄爲黍而食之、

鷄ヲ殺シ黍(黍)ヲ爲リテ食セシム、

【疏】

子路停宿、故丈人家、殺鷄爲臠、作黍飯而食子路也、

子路停テ宿ス、故ニ丈一人ノ家ニ、鷄ヲ殺シテ臠ト爲、

黍飯ヲ作テ子路ニ食セシム、

【經】

見其二子焉、

其ノ二子ヲ見シム、

【疏】

丈人知子路是賢、故又以丈人二兒、見於子路也、

丈人子路ハ是レ賢ナルコトヲ知ル、故ニ又丈人ノ二兒ヲ以テ、子路ニ見シム、

【經】

明日子路行

明日ニ子路行テ

【疏】

至明日之旦、子路得行逐孔子也、

明日ノ旦アシタ(旦)ニ至テ、子路行テ孔子ヲ逐フコトヲ得、

【經】

以告、

以テ告ス、

【疏】

行及孔子、而具以昨丈人所言、及雞黍見子事(二〇)、告於孔子道之也、

行テ孔子ニ及テ、具ニ昨ニ丈人ノ言フ所トコロ、及ヒ雞黍ヲ見ヘシム(見ルノ)事ヲ以テ、孔子ニ告テ之ヲ道フ、

【經】

子曰隱者也、

子曰ク隱者ナリ、

【疏】

孔子聞子路告丈人之事、故云、此丈人、是隱處之士(二一)、

孔子子路カ丈人ノ事ヲ告ルヲ聞ク、故ニ云クノたまは、此ノ丈人ハ、是レ隱處ノ士ナリ、

【經】

使子路反見之、

子路ヲ使テ反テ之ニ見ヘ使ム、

【疏】

孔子既云、丈人是隱者、而又使子路反還丈人家、須與丈人相見、以已事說之也、其事在下、

孔子既ニ云ク、丈人ハ是レ隱者ナリト、而シテ又子路ヲ使テ丈人ノ家ニ反リ還ラ使ム、須ク丈人與相ヒ見テ、己カ事ヲ以テ之ヲ説ク須シ、其ノ事ハ下ニ在リ、

【經】

至則行矣、

至ルトキニ行キタリ、

【疏】

子路反至丈人家、而丈人已復出行不在也、

子路反テ丈人ノ家ニ至ル、而シテ丈人已ニ復タ出テ行テ在ラ不、

【注】

孔安國曰、子路反至其家、丈人出行不在也、

孔安國カ曰ク、子路反テ其ノ家ニ至ルトキニ、丈人出テ行テ在ラ不、

【經】

子路曰、不仕無義、

子路カ曰ク、仕ヘ不ルコトハ義無レハナリ、

【疏】

丈人既不在、而子路留此語、以與丈人之二子、令其父還述之也、此以下之言、悉是孔子使子路語丈人之言也、言人不生則已、既生便有在三之義、父母之恩、君臣之義、人若仕、則職於義、故云、不仕無義也、

丈人既ニ在ラ不、而ルヲ子路此ノ語ヲ留メテ、以テ丈人ノ二子ニ與テ、其ノ父ノ還ルヲ令テ、之ヲ述サ令ム、此ヨリ以下ノ言ハ、悉ニ是レ孔子子路ヲ使テ丈人ニ語ラ使ムルノ言ナリ、言ハ人生レ不ル則ハ已ム、既ニ生トキハ便チ三ニ在ルノ義有リ、父ノ母ノ恩、君ノ臣ノ義、人仕ルカ若キンハ、義ヲ職トス、故ニ云ク、仕ヘ不ルコトハ義無レハナリ、

【注】鄭玄曰、留言、以語丈人之二子也、

鄭玄カ曰ク、言ヲ留メテ、丈人ノ二子ニ語ルソ、

【經】

長幼之節不可廢也、君臣之義如之何其可廢也、

長^レ幼ノ節廢^スツ可^ヘ不^ス、君^レ臣ノ義如^イ之^カ何^ソソ其^レ廢^スツ可^ケン、

【疏】

既有長幼之思^(一三)、又有君臣之義、汝知見汝二子、是識長幼之節、不可廢闕、而如何廢於君臣之義、而不仕乎、

既ニ長^レ幼ノ思^リ有^リ、又君^レ臣ノ義有^リ、汝^{なんぢ}知^ンヌ汝ノ二子ヲ見^ルニ、是^レ長^レ幼ノ節ノ、廢^レ闕^ス可^ヘ不^ルコトヲ識^ル、而シテ如^イ何^ソ君^レ臣ノ義ヲ廢^シテ、仕^ヘ不^ルヤ、

【注】

孔安國曰、言汝知父子相養不可廢、反可廢君臣之義也^(一五)、
耶、

孔安國カ曰ク、言ハ汝父^{なんぢ}子相^レ養^フコトヲ廢^ツ可^ラ不^ルコトヲ知^レリ、反^テ君^レ臣ノ義ヲ廢^ツ可^ケン耶、

【經】

欲潔其身、而亂大倫、

其ノ身ヲ潔セント欲^{ホウ}シテ、大倫ヲ亂^ル、

【疏】

大倫謂君臣之道理也、又言汝不仕濁世、乃是欲自清潔汝身耳、如亂君臣之大道^(一六)理何也、

大^レ倫トハ君^レ臣ノ道理ヲ謂^フ、又言ハ汝^{なんぢ}濁^レ世ニ仕^ヘ不^ル、乃チ是^レ自^{ミづ}汝^{なんぢ}ノ身ヲ清^ク潔^クニセント欲^{ホウ}スル耳、君^レ臣ノ大ナル道理ヲ亂^ルヲ如何、

【注】

荀氏曰、倫道也理也、

荀氏カ曰ク、倫ハ道^{なり}也理^{なり}也、

【經】

君子之仕也、行其義也、

君子ノ仕ルコトハ、其ノ義ヲ行ハントナリ、

【疏】

又言、君子所以仕者、非貪榮祿富貴、政是欲行大義故也、

又言ク、君子ノ仕ル所以ハ、榮祿富貴ヲ貪ルニ非ス、
政ニ是レ大義ヲ行ハント欲ル故ナリ、

【經】

道之不行也、己知之矣、

道ノ行ハレ不ルコトハ、己之ヲ知レリ、

【疏】

爲行義、故仕耳、濁世不用我道、而我亦反自知之也、

義ヲ行ハント爲、故ニ仕ル耳、濁世ニ我カ道ヲ用ヒ不
ルコトハ、我亦夕反テ自之ヲ知レリ、

【注】

荀氏曰、言君子之仕、所以行君臣之義也、不必自道得行
也、孔子道不見用、己知之矣、

荀氏カ曰ク、言ハ君子ノ仕ルコトハ、君臣ノ義ヲ行フ所
以ナリ、必シモ自道ノ行ハレシコトヲ得ントニハ不
孔子ノ道ノ用ヒ見レ不ルコトハ、己之ヲ知レリ、

(一) 「會」下、武内本有「之」字。

(二) 「籬籠」、武内本作「籬簾」。

(三) 「也」、武内本作「乎」。

(四) 「足手」、武内本作「手足」。

(五) 「殖」、武内本作「植」。

(六) 「云」、武内本作「曰」。

(七) 「也」、武内本無此字。

(八) 「所」下、武内本有「以」字。

(九) 「也」、武内本無此字。

(一〇) 「子」下、武内本有「之」字。

(一一) 「士」下、武内本有「也」字。

(一二) 「下」下、武内本有「文」字。

(一三) 「思」、武内本作「恩」。

(一四) 「汝」、武内本作「女」。

(二五) 「也」、武内本無此字。

(二六) 「道理」、武内本作「倫」。

(二七) 「必自」、武内本作「自必」。

(二八) 「也」、武内本無此字。

(二九) 「已」上、武内本有「自」字。

(三〇) 「矣」、武内本作「也」。

【疏】一人也

一人

【經】

叔齊

叔齊

【疏】

二人也

逸民、

【疏】

逸民者、謂民中節行超逸不拘於世者也、其人在下、

二人

逸民トハ、民中ニ節行超逸シテ世ニ拘カ^カ不^ズル者ヲ謂フ、

【經】

其ノ人ハ下ニ在リ、

虞仲

【經】

伯夷

虞仲

【疏】

三人也

伯夷

三人

夷逸【經】

夷逸

四人也【疏】

四人

朱張【經】

朱張

五人也【疏】

五人

【經】

柳下惠

柳下惠

【疏】

六人也

六人

【經】

小連

小連

【疏】

七人也

七人

【注】

逸民者、節行超逸者也、苞氏曰、此七人皆逸民賢者也、

逸^ト民トハ、節^シ行超^シ逸スル者^ト、苞氏カ曰ク、此ノ七人ハ皆^ミ逸^ミ民ノ賢ナル者^トナリ、

【經】

子曰、不降其志、不辱其身者、伯夷叔齊與、

子ノ曰ク、其ノ志ヲ降サ^ス不^ス、其ノ身ヲ辱^{ハツカシ}メ^ス不^スルハ、伯夷叔齊與^カ、

【疏】

逸民雖同、而其行事有異、故孔子評之也、夷齊隱居餓死、是不降志也、不仕亂朝、是不辱身也、是心迹俱超逸也、

逸^ト民同ト雖トモ、而トモ其ノ行事異ナルコト有リ、故ニ孔子^{コレ}之ヲ評ス、夷齊ハ隱^ト居シテ餓^シ死ス、是レ志ヲ降サ^ス不^スルナリ、亂^ト朝ニ仕^ヘ不^ス、是レ身ヲ辱^メ不^スルナリ、是レ心^ト迹俱^ニ超^シ逸^スルナリ、

【注】

鄭玄曰、言其直己之心、不入庸君之朝也、^(三)

鄭玄カ曰ク、言ハ其レ己カ心ヲ直シテ、庸^ト君ノ朝ニ入ラ

不^ス、

【疏】

直己之心、是不降志也、不入庸君之朝、是不辱身也、

己カ心ヲ直ス、是レ志ヲ降サ^ス不^スルナリ、庸^ト君ノ朝ニ入ラ不^ス、是レ身ヲ辱^{ハツカシ}メ^ス不^スルナリ、

【經】

謂柳下惠少連、降志辱身矣、

柳下惠少連ヲ謂^フク、志ヲ降シ身ヲ辱^{ハツカシ}メテ、

【疏】

此二人心逸、而迹不逸也、竝仕魯朝、而柳下惠三黜則、是降志辱身也、

此ノ二人^ト人心^ト逸シテ、迹^{オト}逸セ^ス不^ス、竝ニ魯ノ朝ニ仕テ、柳下惠^ト三^トタヒ^ト黜^シラルル^ル則^ハ、是レ志ヲ降シ身ヲ辱^ムルナリ、

【經】言中倫、行中慮、其斯而已矣、

言倫ニ中リ、行慮ニ中ル、其レ斯クノコトキ而「已ナリ、

【疏】

雖降志辱身、而言行必中於倫慮、故云其斯而已矣、

志ヲ降シ身ヲ辱ムト雖モ、言「行必ス倫ニ中レリ、故ニ其レ斯クノコトキ而「已ト云フ、

【注】

孔安國曰、但能言應倫理、行應思慮、如此而已矣、

孔安國カ曰ク、但タ能ク言倫「理ニ應シ、行思慮ニ應ス、此ノ如キ而「已ナリ、

【疏】

張憑云、彼被祿仕者乎、其處朝也、唯言不廢大倫、行不犯色、思慮而已、豈以世務暫嬰其心哉、所以爲逸民也、

張憑カ云ク、彼祿ヲ被テ仕ル者カ、其レ朝ニ處レリ、唯

タ言大「倫ヲ廢セ不、行色ヲ犯サ不、思慮スル而已、豈ニ世「務ヲ以テ暫モ其ノ心ニ嬰ケンヤ、逸「民ト爲ル所以ナリ、

【經】

謂虞仲夷逸、隱居放言、

虞仲夷逸ヲ謂ク、隱「居シテ言ヲ放ケリ、

【疏】

放置也、隱居幽處、廢置世務、世務不須及言之者也矣、

放ハ置ナリ、幽「處ニ隱「居シテ、世「務ヲ廢置ス、世「務之ヲ言フニ及コトヲ須イ不ル者ナリ、

【注】

荀氏曰、放置、不復言世務也、

荀氏カ曰ク、放ハ置、復世「務ヲ言ハ不、

【經】

身中清、廢中權、

身清ニイサキヨ（清キニ）中リ、廢レタルコト權ニ中レリ、

【疏】

身不仕亂朝、是中清潔也、廢事免於世患、是合於權智也、故江熙云、超然出於埃塵之表、身中清也、晦明以遠害、發動中權也、

身亂朝ニ仕ヘ不、是レ清潔ニ中レリ、事ヲ廢シテ世ノ患ヲ免ル、是レ權智ニ合ヘリ、故ニ江熙カ云ク、超然トシテ埃塵ノ表ニ出テ、身清ニ中レリ、明ヲ晦シテ害ヲ遠ク、發動權ニ中レリ、

【注】

清（ヨク）純潔也、遭世亂、自廢棄、以免患合於權也、

清ハ純潔ソ、世ノ亂ニ遭テ、自廢棄レテ、以テ患ニ免レテ權ニ合ヘリ、

【經】

我則異於是、無可無不可、

我ハ則チ是ニ異ナリ、可モ無ク不可モ無シ、

【疏】

我則退不拘於世、故與物無異、所以是無可無不可也、江熙云、夫迹有相明、教有相資、若數子、者事既不同、而我亦有以異矣、然聖賢致訓、相爲内外、彼協契於往載、我拯溺於此世、不我以異而抑物、不以彼異而通滯、此吾所謂、無可無不可者耳、豈以此目目也、己所以異哉、我迹之異、蓋著于當時、彼數子者亦不宜各滯於所執矣、故舉其往行、而存其會通、將以導夫方類所挹仰乎、

我ハ則チ退テ世ニ拘ラ不、故ニ物與異コト無シ、所以ニ是レ可モ無ク不可モ無シ、江熙カ云ク、夫レ迹相ヒ明ナルコト有リ、教相ヒ資ルコト（資ルコト）有リ、數子ノ若キンハ、事既ニ同カラ不、而ルヲ我モ亦タ以テ異ナルコト有リ、然トモ聖賢訓ヲ致スコト、相ヒ内外爲リ、彼ハ契ヲ往載ニ協ヘ、我ハ溺ヲ此ノ世ニ拯フ、我カ異ルヲ以テ物ヲ抑ヘ不、彼カ異ナルヲ以テ滯ヲ通セ不、此レ吾カ謂ハ所ル、可モ無ク不可モ無キ者耳、豈ニ此ノ目ヲ以テ目トセンヤ、己異ナル所以ナル哉、我カ迹ノ異ルコト、蓋シ當時ニ著ル、彼ノ數子者モ亦宜ク各執ル所ニ滯ル宜カラ不、故ニ其ノ往行ヲ舉テ、而シテ其ノ會通ヲ存シテ、將ニ二夫ノ方類ヲ導テ挹仰ク所ヲ以テセント將、

【注】

馬融曰、亦不必進、亦不必退、唯義所在也、

馬融カ曰ク、亦必かならずシモ進マ不ス、亦必シモ退カ不ス、唯夕義ノ在ル所ノママナリ、

【疏】

或問曰、前七人、而此唯評於六人、不見朱張何乎、答云、王弼云、朱張字子弓。荀卿以比孔子、今序六人(二六)而闕朱張者、明趣舍與己合同也、

或ヒト問テ曰ク、前ハ七一人ニシテ、此ニ唯タ六一人ヲ評シテ、朱張ヲ見まズルコトハ何ソヤ乎、答テ云ク、王弼カ云ク、朱張字ハ子弓。荀卿孔子ニ比ス、今いま六一人ヲ序テテ朱張ヲ闕クコトハ、明ケシ趣舍(舍)己おのレト與合スツ同スルコトヲ、

- (一) 「朱張」、武内本作「朱長」。
- (二) 「民」下、武内本有「之」字。
- (三) 「也」、武内本無此字。
- (四) 「而」、武内本無此字。
- (五) 「如」、武内本作「若」。
- (六) 「而已矣」、武内本作「而已」。

(七) 「也」、武内本無此字。

(八) 「置」下、武内本有「也」字。

(九) 「不」上、武内本有「置」字。

(一〇) 「清」上、武内本有「馬融曰」三字。

(一一) 「純」、武内本無此字。

(一二) 「目」、武内本作「自」。

(一三) 「也」、武内本無此字。

(一四) 「己」下、武内本有「之」字。

(一五) 「云」、武内本作「曰」。

(一六) 「人」、武内本無此字。

【經】

大師摯適齊、

大師摯シハ齊ニ適ク、

【疏】

自此以下、皆魯之樂人名也、魯君無道、禮樂崩壞、樂人散走所不同也、大師樂師也、名摯。其散逸適往於齊國也、

此自り以下ハ、皆魯ノ樂人ノ名ナリ、魯ノ君無道ニシテ、禮樂崩壞レ、壞ル、樂人ノ散走スル所同カラ不ス、大

師ハ樂_一師ナリ、名ハ摯_シ。其レ散_一逸シテ齊國ニ適キ_一往ク、

【經】

亞飯干適楚、

亞飯干ハ楚ニ適ク、

【疏】

亞次也、飯飡也、干其名也、古天子諸侯飡、必共奏樂、每食各有樂人、亞飯干是第二飡、奏樂人也、其奔逸適於楚國也、

亞_アハ次ナリ、飯ハ飡ナリ、干ハ其ノ名ナリ、古ニハ天子諸侯飡スルトキニ、必ス共ニ樂ヲ奏ス、食スル毎ニ各樂一人有リ、亞飯干ハ是レ第二ノ飡ニ、樂ヲ奏スル人ナリ、其レ奔_一逸シテ楚國ニ適ク、

【注】

孔安國曰、亞次也、次飯樂師也、摯干皆名也、

孔安國カ曰ク、亞ハ次、次_一飯ハ樂師ソ、摯干ハ皆名ナリ、

【疏】

然周禮大司樂王朔望食乃奏樂、日食不奏也、夏殷則日奏也、故王制及玉藻皆云然也、

然ルニ周禮ノ大司樂王朔_一望ノ食ニ乃チ樂ヲ奏ス、日_一食ニハ奏セ_ス不ト、夏殷ニハ則チ日ニ奏ス、故ニ王制及ヒ玉藻ニ皆然云フ、

【經】

三飯繚適蔡、

三_一飯繚ハ蔡ニ適ク、

【疏】

繚名也、第三飡、奏樂人、散逸入蔡國也、

繚ハ名ナリ、第三ノ飡ニ、樂ヲ奏スル人ナリ、散逸シテ蔡國ニ入ル、

【經】

四飯缺適秦、

四飯缺秦ニ適ク、

【疏】

缺名也、第四飯、奏樂人、奔散入秦國也、

缺ハ名ナリ、第一四ノ飯ニ、樂ヲ奏スル人ナリ、奔散シテ秦國ニ入ル、

【注】

荀氏曰、三飯四飯樂章名也、各異師、繚缺皆名也、

荀氏カ曰ク、三飯四飯ハ樂一章ノ名ナリ、おのおの各師ヲ異ニス、繚缺ハ皆名ナリ、

【經】

鼓方叔入于河、

鼓方叔ハ河ニ入ル、

【疏】

鼓能擊鼓者也、方叔名也、亦散逸、入河内之地、居也、

鼓ハ能ク鼓ヲ擊ツ者ナリ、方叔ハ名ナリ、亦散逸シテ、河内ノ地ニ入テ、居ル、

【注】

荀氏曰、鼓擊鼓者也、(四)方叔名也、入謂居其河内也、

荀氏カ曰ク、鼓ハ鼓ヲ擊ツ者ソ、方叔ハ名ナリ、入トハ其ノ河内ニ居ルヲ謂フ、

【經】

播鞞武入于漢、

播鞞武ハ漢ニ入ル、

【疏】

播猶搖也、鞞鞞鼓也、其人能搖鞞鼓者也、名武亦散奔入漢、漢水内居地也、

播ハ搖ノ猶シ、鞞ハ鞞鼓ナリ、其ノ人能ク鞞鼓ヲ搖ス者ナリ、名ハ武亦散奔シテ漢ニ入トハ、漢水ノ内ノ地ニ居ルソ、

【注】孔安國曰、播搖也、武名也、

孔安國カ曰ク、播^ハ搖、武ハ名ナリ、

【經】小師陽、擊磬襄入于海、

小師陽、擊^{ケキケイ}磬襄ハ海ニ入ル、

【疏】小師名陽、又擊磬人、名襄。二人俱散奔、入海内居、

小師名ハ陽、又磬ヲ擊ツ人、名襄。二人俱ニ散^{ビト}奔シテ、海内ニ入テ居ル、

【注】孔安國曰、魯哀公時、禮毀樂崩、樂人共去、陽襄皆名也、

孔安國カ曰ク、魯ノ哀公ノ時、禮^ヤ毀レ樂^{クツ}崩レテ、樂人共ニ去ル、陽襄ハ皆名ナリ、

(一) 「共」、武内本無此字。

(二) 「也」、武内本無此字。「也」下、武内本有次注之疏文「然周禮大司樂王朔望食乃奏樂日食不奏也夏殷則日奏也故王制及玉藻皆云然也」三十四字。

(三) 「孔安國」、武内本作「荀氏」。

(四) 「也」、武内本無此字。

(五) 「漢」、武内本無此字。

(六) 「内」下、武内本有「之」字。

(七) 「居地」、武内本作「地居」。

(八) 「播」下、武内本有「猶」字。

(九) 「也」、武内本無此字。

(一〇) 「小師」、武内本作「少師」。

(一一) 「居」下、武内本有「也」字。

(一二) 「共」、武内本作「皆」。

【經】周公謂魯公

周公魯公ニ謂テ

【疏】

周公且也、魯公周公之子、伯禽也、周公欲教之、故云謂魯

公也、孫綽云、此是周公顧命魯公所以之辭也、

周公ハ且ナリ、魯公ハ周公ノ子、伯禽ナリ、周公之ヲ教ヘント欲ス、故ニ魯公ニ謂ルト云フ、孫綽カ云ク、此レハ是レ周公魯公ニ顧人命スル所以ノ辭ナリ、

【注】

孔安國曰、魯公周公之子伯禽也、封於魯也、

孔安國カ曰ク、魯公ハ周公ノ子伯禽ソ、魯ニ封セラル、

【經】

曰、君子不施其親、

曰ク、君子ハ其ノ親ヲ施ヘ不（施サス）、

【疏】

此周公所命之辭也、施猶易也、言君子之人、不以他人易己之親、是因不失其親也、

此レハ周公ノ命スル所ノ辭ナリ、施ハ易ノ猶シ、言ハ君子ノ人ハ、他人ヲ以テ己カ親ニ易ヘ不、是レ因インスルコ

ト其ノ親ヲ失セ不ルナリ、

【注】

孔安國曰、施易也、不以他人易其親也、

孔安國カ曰ク、施ハ易、他人ヲ以テ其ノ親ニ易ヘ不、

【疏】

孫綽云、不施猶不偏、人以不惠偏所親、使魯公崇至公、張憑云、君子於人、義之與比、無偏施於親親、然後九族與庸勳、竝隆、仁心與至公俱著也、

孫綽カ云ク、不施ハ不偏ノ猶シ、人以テ偏ニ親インスル所ヲ惠マ不、魯公ヲ使テ至公ヲ崇ハ使ム、張憑カ云ク、君子ノ人ニ於ケルコト、義ト之與ニ比ス、偏ニ親ニ施スコト無シ、然シテ後ニ九族庸勳與、竝ニ隆ニ、仁心至公與俱ニ著ル、

【經】

不使大臣、怨乎不以、

大ニ臣ヲ使テ、以イラレ不ルニ怨ミ使メ不、

【疏】
以用也、爲君之道、當委用大臣、大臣若怨君不用、則是君之失也、

以ハ用ナリ、君爲ルノ道、當ニ大臣ニ委(委)用ス當シ、大臣若シ君用イ不ト怨ムル、則ハ是レ君ノ失ナリ、

【注】
孔安國曰、以用也、怨不見聽用也、

孔安國カ曰ク、以ハ用、聽シ用ヒ見レ不ルコトヲ怨ムルソ、

【經】
故舊無大故、則不棄也、

故舊大故無キ、則ハ棄テ不、

【疏】
故舊朋友也、大故謂惡逆也、朋友之道、若無大惡逆之事、則不得相速棄也、

故舊ハ朋友ナリ、大故トハ惡逆ヲ謂フ、朋友ノ道、若シ大ナル惡逆ノ事無クンハ、相イ速ヤカニ棄ルコトヲ得不、

【經】
無求備於一人、

一人ニ備ナランコトヲ求ルコト無シ、

【疏】

無具足、不得責必備、是君子易事之德也、

具一足スルコト無キニ、必ス備コトヲ責ムルコトヲ得不レ、是レ君子ノ事ヘ易キノ徳ナリ、

【注】

孔安國曰、大故、謂惡逆之事也、

孔安國カ曰ク、大故トハ、惡逆ノ事ヲ謂フ、

- (一) 「謂」、武内本作「語」。
- (二) 「也」、武内本無此字。

- (三) 「因」、武内本作「固」。
- (四) 「人」下、武内本有「親」字。
- (五) 「偏」下、武内本有「也」字。
- (六) 「人以」、武内本作「謂」。
- (七) 「公」下、武内本有「也」字。

【經】

周有八士、

周二八士有リ、

【疏】

舊云、周世有一母、身四乳、而生於此八士、八士竝賢、故記録之也、

舊ニ云ク、周ノ世ニ一母有リ、身ニ四乳アリテ、此ノ八士ヲ生ム、八士竝ニ賢ナリ、故ニ之ヲ記録ス、

【經】

伯達伯适仲突仲忽叔夜叔夏季隨季駟

伯達伯适仲突仲忽叔夜叔夏季隨季駟

【疏】

侃案師說云、非謂一人四乳、乳猶俱生也、有一母、四過生、生輒雙二子、四生故、八子也、何以知其然、就其名、兩兩相隨、似是雙生者也、

侃師ノ說ヲ案スルニ云ク、一人四乳ト謂フニ非ス、乳ハ俱生ノ猶シ、一母有テ、四過生ム、生ムトキハ輒チ二子ヲ雙フ、四生スルカ故ニ、八子ナリ、何ヲ以テカ其ノ然ルコトヲ知ルトナラハ、其ノ名ニ就クニ、兩兩相ヒ隨フ、是レ雙生スル者ニ似リ、

【注】

苞氏曰、周時四乳得八子、皆爲顯士、故記云也、

苞氏カ曰ク、周ノ時四乳八子ヲ得タリ、皆顯士爲リ、故ニ記スト云フ、

- (一) 「八士」、武内本作「八子」、下同。
- (二) 「故記云也」、武内本作「故記之耳」。

論語義疏卷第九

(二) 「卷」、武内本無此字。

(三) 「九」下、武内本有「經一千六百五十字／注一千七百七十八字」十七字（小字雙行）。

（微子篇担当 齋藤建太）

論語義疏卷第十(一) 何晏集解凡廿五章／疏廿四章
子張第十九(三) 疏(三)

(一) 「十」下、武内本有「子張／堯曰」四字(小字雙行)及「梁國子助教吳郡皇侃撰」十字。無「何晏集解」四字及「凡廿五章／疏廿四章」八字(小字雙行)。

(二) 「九」下、武内本有「何晏集解」四字及「凡廿四章／凡廿五章」八字(小字雙行)。

(三) 「疏」、武内本別行跳格。

【疏】

子張者弟子也、明其君若有難、臣必致死也、所以次前者、既明君惡臣宜拂衣而即去、若人人皆去則、誰爲匡輔、故此、明若未得去者、必宜致身、故以子張次微子也

子張ハ弟子ナリ、其ノ君若シ難有ルトキハ、臣必死ヲ致スコトヲ明ス、前ニ次ツル所以ハ、既ニ君惡シキトキハ臣宜ク衣ヲ拂テ即チ去ル宜キコトヲ明ス、若シ人人皆去ル則ハ、誰カ匡(匡)輔(輔)爲ラン、故ニ此ヲ次ツ、明ケシ若シ未タ去ルコトヲ得未ル者ハ、必ス宜ク身ヲ

致ス宜シ、故ニ子張ヲ以テ微子ニ次ツ

【經】

子張曰、士見危致命、

子張カ曰ク、士ハ危キヲ見テハ命ヲ致ス、

【疏】

此是第一、此一篇皆是弟子語、無孔子語也、士者知義理之名、是謂升朝之士也、竝若見國有危難、必不愛其身、當以死救之、是見危致命也、士既如此則、大夫以上可知也、

此レハ是レ第一ナリ、此ノ一篇ハ皆是レ弟子ノ語ニシテ、孔子ノ語無シ、士トハ義理ヲ知ルノ名ナリ、是レハ朝ニ升ルノ士ヲ謂フ、竝ニ若シ國ニ危難有ルヲ見テハ、必ス其ノ身ヲ愛マ不シテ、當ニ死ヲ以テ之ヲ救フ當シ、是レ危ヲ見テハ命ヲ致スナリ、士既ニ此ノ如ナル則ハ、大夫以上ハ知又可シ、

【注】

孔安國曰、致命、不愛其身也、

孔安國カ曰ク、命ヲ致ストハ、其ノ身ヲ愛セ（愛マ）不スルソ、

【經】

見得思義、

得ルヲ見テハ義ヲ思フ、

【疏】

此以下、竝是士行也、得得祿也、必不素飡、義然後取、是見得思義也、

此ヨリ以下ハ、竝ニ是レ士ノ行ナリ、得トハ祿ヲ得ルソ、必ス素^ス飡セ^ズ不^ス、義アリテ然シテ後ニ取ル、是レ得ルヲ見テハ義ヲ思フナリ、

【經】

祭思敬、

祭ニハ敬ヲ思フ、

【疏】

士始得立廟守其祭祀、祭神如神在、是祭思敬也、

士ハ始メテ廟ヲ立テ其ノ祭^ル祀ヲ守ルコトヲ得、神ヲ祭ルコト神ノ在^マスカ^ニ如^クニス、是レ祭ニハ敬ヲ思フナリ、

【經】

喪思哀、

喪ニハ哀ヲ思フ、

【疏】

方喪三年爲君、如父母、必窮苴斬、是喪思哀也、

喪ニ方^クテ三年君ノ爲ニスルコト、父^ノ母ノ如クシ、必ス苴^ヲ斬^ル窮ム、是レ喪ニハ哀思フナリ、

【經】

其可已矣、

其レ可ナラク已、

【疏】四事如上、爲士若此則、爲可也、江熙云、但言若是自可也、

四ノ事上ノ如シ、士ト爲テ此ノ若ナル則ハ、可ナリト爲、江熙方云ク、但ニ是ノ若キンハ、自「可ナリト言フ、

(一) 「四事如上」、武内本作「如上四事」。

(二) 「若」、武内本作「如」。

(三) 「自」、武内本作「則」。

【經】

子張曰、執德不弘、信道不篤、焉能爲有、焉能爲亡、

子張カ曰ク、徳ヲ執ルコト弘イナラ不、道ヲ信スルコト篤カラ不ンハ、焉ソ「能ク有リト爲ン、焉ソ「能ク亡シト爲ン、

【疏】

弘大也、篤厚也、亡無也、人執德能至弘大、信道必使篤厚、此人於世乃爲可重、若雖執德而不弘、雖信道而不厚、此人於世不足可重、如有如無、故云焉能爲有、焉能爲亡

也、江熙云、有德不能弘大、信道不務厚至、雖有其懷道德、蔑然不能爲損益也、

弘ハ大、篤ハ厚、亡ハ無、人徳ヲ執レルコト能ク弘イ大ニ至リ、道ヲ信スルコト必ス篤厚タラ使メハ、此ノ人世ニ於テ乃シ重ンス可シト爲、若シ徳ヲ執ト雖弘ナラ不、道ヲ信スト雖厚カラ不ンハ、此ノ人世ニ於テ重ンス可キニ足ラ不、有ルカ如ク無キカ如シ、故ニ云ク焉ソ能ク有リト爲ン、焉ソ能ク亡シト爲ン、江熙方云ク、徳ヲ有スル(有ツ)コト弘イ大ナルコト能ハ不、道ヲ信スルコト厚至ヲ務メ不ンハ、其レ道徳ヲ懷クコト有ト雖モ、蔑然トシテ損益ヲ爲ルコト能ハ不、

【注】

孔安國曰、言無所輕重也、

孔安國カ曰ク、言ハ輕重スル所無シ、

【疏】

世無此人、則不足爲輕、世有此人、亦不足爲重、故云、無所輕重之也、二章訖、此是子張語是第一、

世ニ此ノ^一人無^{トモ}トモ、則チ輕シト爲ルニ足ラ不、世ニ此ノ^一人有ルモ、亦重シト爲ルニ足ラ不、故ニ云ク、輕ト重スル所無シト、二一章^訖、此レハ^一是レ子張カ語是レ第一ナリ、

【經】

子貢^三之門人問交於子張、

子貢カ門人交ヲ子張ニ問フ、

【疏】

此以下是第二、是子夏語、自有十一章、子夏弟子問子張、求交友之道也、

此ヨリ以下ハ是レ第一ナリ、是レ子夏カ語ナリ、^自 自^{ヨのつから} 十一章有リ、子夏カ弟^一子張ニ問テ、友ニ交ルノ道ヲ求ム、

【注】

孔安國曰、問與人交接之道也、

孔安國カ曰ク、人與^ト交^ト接スルノ道ヲ問フソ、

【經】

子張曰、子夏云何、

子張カ曰ク、子夏云^ユイケンコト何^{イカン}、

【疏】

子張反問子夏之門人云、汝師何所道、故曰云何也、

子張反テ子夏カ門人ニ問テ云ク、汝カ師何ノ道フ所ソ、故ニ曰ク云ケンコト何ト、

【經】

對曰、子夏曰、可者與之、其不可者拒之、

對テ曰ク、子夏カ曰^イツシク、可ナル者ニハ之ニ與^クセン、其^レ不可ノナル者ヲハ之ヲ拒^フカン、(可^ムン者ニハ之ニ與^クセン、其ノ不可^ムン者ヲハ之ヲ拒^フカン、)

【疏】

子夏弟子對子張述子夏言也、言子夏云、結交之道、若彼人可者、則與之交、若彼人不可者、則拒^三而不交也、

子夏カ弟_一子張ニ對テ子夏カ言ヲ述フ、言ハ子夏カ云ク、
交ヲ結フノ道、若シ彼ノ_一人可ナラハ、則チ之レ與交ラン、
若シ彼ノ_一人不可ナラハ、則チ拒テ交ハラ不_レ、

【經】

子張曰、異乎吾所聞、

子張カ曰ク、吾カ聞ケル所ニ異ナリ、

【疏】

子張聞子夏之交、與_レ己異、故云異乎吾所聞也、

子張子夏カ交ヲ聞クニ、己_{おのレト}與異ナリ、故ニ云ク吾カ聞ケ
ル所ニ異ナリ、

【經】

君子尊賢而容衆、嘉善而矜不能、

君_一子ハ賢ヲ尊ヒ衆ヲ容_レ、善ヲ嘉_{ヨミ}シテ不能ヲ矜_メム、

【疏】

彼既異我、我故更説我所聞也、言君子取交之法、若見賢

者、則尊重之、衆來歸我、我則交之_四、交之中、有善者則
嘉而美之、有不善不能者、則矜_五而不責、不得可者與、不可
者拒之、

彼既_レニ我ニ異ナリ、我故_レニ更ニ我カ聞ケル所ヲ説ク、
言_レハ君_一子ノ交ヲ取ルノ法、若シ賢_一者ヲ見テハ、則チ

之ヲ尊_レ重ス、衆_一來テ我ニ歸ス、我則チ之ヲ交ル、之ヲ交
ルルノ中ニ、善_一者有ル則ハ、嘉_{ヨミ}シテ之ヲ美ム、不_レ善不_レ
能_一ノ者有ル、則ハ矜_メシテ責_セメ不_ス、可ナル_一者ニハ與シ、
不_レ可ナル者ヲハ之ヲ拒クコトヲ得不_ス、

【經】

我之大賢、與於人何所不容、

我大_一賢ナラハ、與_クセン二人ニ於テ何ノ容_レラレ不_{トイフ}
所カアラン、

【疏】

更説不宜不可者拒之也、設他人欲與我交、我若是大賢則、
他人必與我、故云於_レ人所不容也、

更ニ宜ク不_レ可ナル者_一之ヲ拒ク宜カラ不_{ルコトヲ説ク}、設_{タト}

へハ他人我與交ラント欲センニ、我若シ是レ大賢ナル
則ハ、他人必ス我ニ與セン、故ニ云ク人ニ於テ容レ不
ト
イフ所アラシヤ、

【經】

我之不賢、與人將拒我、

我不賢ナラハ、與セン人將ニ我ヲ拒カント將ン、

【疏】

又云、若我設不賢、而他人必亦拒我、而不矜也、

又云ク、若シ我設不賢ナラハ、而シテ他人必ス亦我ヲ
拒テ、矜マ不、

【經】

如之何其拒人也、

如之何ソ其レ人ヲ拒カン、

【疏】

我若矜人、人必矜我、我若拒人、人必拒我、故云、如之何

其拒人也、

我若シ人ヲ矜マハ、人必ス我ヲ矜マン、我若シ人ヲ拒カ
ハ、人必ス我ヲ拒カン、故ニ云ク、如之何ソ其レ人ヲ
拒カン、

【注】

荀氏曰、友交當如子夏、

荀氏カ曰ク、友ノ交ハ當ニ子夏カ如クナル當シ、

【疏】

既欲與爲友、故宜可者與之、不可者拒也、

既ニ與ニ友爲ラント欲ス、故ニ宜ク可ナル者ニハ之ニ與
シ、不可ナル者ヲハ拒ク宜シ、

【注】

汎交當如子張、

汎交ハ當ニ子張カ如クナル當シ、

【疏】

若德悠悠、汎交則嘉善矜不能也、明二子各一是也、鄭玄曰、子夏所云、倫黨之交也、子張所云、尊卑之交也、王肅曰、子夏所云敵體、子張所云、覆蓋交也、變肇曰、聖人體備、賢者或偏、以偏師備、學不能同也、故準其所資、而立業焉、猶易云仁者見其仁、知者見其智、寬則得衆而遇濫、偏則寡合、而身孤、明各出二子之偏性、亦未能兼弘夫子度也、

若シ德悠悠トシテ、汎ク交ル則ハ、善ク嘉シ不能ヲ矜マン、明ケシ二子各一おのおの是ナルコトヲ、鄭玄カ曰ク、子夏カ云フ所ハ、倫黨ノ交ナリ、子張カ云フ所ハ、尊卑ノ交ナリ、王肅カ曰ク、子夏カ云フ所ハ敵體ナリ、子張カ云フ所ハ、覆蓋ノ交ナリ、變肇カ曰ク、聖人ハ體備ハル、賢者ハ或ハ偏ナリ、偏ヲ以テ備ハルヲ師トス、學同キコト能ハ不ス、故ニ其ノ資ルヨ（資ル）所ニ準ヘテ、業ヲ立ツ、易ニ仁者ハ其ノ仁ヲ見、知者ハ其ノ智ヲ見ルト云フカ猶シ。寬ナル則ハ衆ヲ得テ濫（濫）ニ遇フ、偏ナル則ハ合フコト寡シ（寡）。而シテ身孤ナリ、明ケシ各二子ノ偏性ヨリ出ルコトヲ、亦タ未タ夫子ノ度ヲ兼ネ、弘ニスルコト能ハ未ス、

(一) 「貢」、武内本作「夏」。

(二) 「以」、武内本此字無。

(三) 「拒」、武内本作「距」。下同。

(四) 「交」、武内本作「容」。下同。

(五) 「矜」、武内本作「務」。

(六) 「人」下、武内本有「何」字。

(七) 「體」下、武内本有「交」字。

(八) 「知」、武内本作「智」。

【經】

子夏曰、雖小道、必有可觀者焉、

子夏カ曰ク、小一いへ道ナリト雖モ、必ス觀ツ可キ者有リ、

【疏】

小道、謂諸子百家之書也、一往看覽、亦微有片理、故云必有可觀者焉也、

小一ス道トハ、諸一ミ子百一ミ家ノ書ヲ謂フ、一往看覽ルニ、亦ス微シ片一ミ理有リ、故ニ云ク必ス觀ツ可キ者有、

【注】 小道、謂異端也、

小道トハ、異端ヲ謂フ、

【經】 致遠恐泥、

遠キニ致ストキハ泥^{ナツ}マンコトヲ恐ル、

【疏】 致至也、遠久也、泥謂泥難也、小道雖一往可觀、若持行事、至遠經久則、恐泥難不能通也、

致ハ至ナリ、遠ハ久ナリ、泥ハ泥難ヲ謂フ、小道ハ一往觀ツ可シト雖^{イヘト}モ、若シ持シテ事ヲ行テ、遠ニ至リ久ラフ^ツ經ル則ハ、泥難シテ通スルコト能ハ不^スンコトヲ恐ル、

【注】 荀氏曰、泥難不通也、

荀氏カ曰ク、泥難シテ通セ^ス不^ルソ、

【經】 是以君子不爲也、

是ヲ以テ君子ハ爲^ラズ不^ス、

【疏】

爲猶學也、既致遠必恐泥、故君子之人、秉持正典、不學百家也、江熙云、聖人所以訓世軌物者、遠有體趣、故又文質可改、而此處無反也、至夫百家競說、非無其理、然家人之規謨、不及於經國、慮止於爲身、無貽厥孫謀、是以君子舍彼取此也、

爲ハ學ノ猶シ、既ニ遠ニ致シテ必ス泥マンコトヲ恐ル、故ニ君子ノ人ハ、正典ヲ秉リ持チ、百家ヲ學ヒ不^ス、江熙カ云ク、聖人ハ世ヲ訓ヘ物ニ軌タル所以ノ者ナリ、遠ク體趣有リ、故ニ又文質ハ改ル可シ、而シテ此ノ處^{コトハリソム}反クコト無^レ、夫レ百家ノ競說ニ至テハ、其ノ理無キニ非ス、然トモ家人ノ規謨^{ハカリコト}(謨)ニシテ、經國ニ及ハ不^ス、慮リ身ヲ爲ムルニ止マリテ、厥ノ孫謀ヲ貽ス^{コト}不^ル、是ヲ以テ君子ハ彼ヲ舍テテ此ヲ取ル、

(一) 「又」、武内本無此字。

【經】

子夏曰、日知其所亡、

子夏カ曰ク、日ニ亡キ所ヲ知り、

【疏】

此勸人學也、亡無也、無謂從來未經所識者也、令人日新其德、日日知所未識者、令識録之也、

此レハ人ヲ學ニ勸ム、亡ハ無ナリ、無トハ謂ル從_レ來未_レタ識ル所ヲ經_レ未_レル者ナリ、人ヲ令_レテ日ニ其ノ德ヲ新ニセ令ム、日_レ日ニ未_レタ識ラ未_レル所ノ者ヲ知テ、之ヲ識_レ録セ令ム、

【注】

孔安國曰、日知其所未聞也、

孔安國カ曰ク、日ニ其ノ未_レタ聞カ未_レル所ヲ知ルソ、

【經】

月無忘其所能、

月ニ其ノ能クスル所ヲ忘ルルコト無キノ、

【疏】

所能、謂_レ已識在心者也、既_レ自日日識所未知、又月月無忘所能、故云識之也、

所能トハ、已ニ識(己識)心ニ在ル者ヲ謂フ、既ニ自_レ日_レ日ニ未_レタ知ラ未_レル所ヲ識テ、又月月ニ能クスル所ヲ忘ルルコト無シ、故ニ之ヲ識ルト云フ、

【經】

可謂好學也已矣、

學好ムト謂フ可ラク已、

【疏】

能如上事、故可謂好學者也、然此是温故而知新也、日知其所亡、是知新也、月無忘所能、是温故也、可謂好學、是謂爲師也、

能ク上ノ事ノ如キンハ、故ニ學好ム者ト謂フ可シ、然ルニ此レハ是レ故キヲ温ネテ新キヲ知ルナリ、日ニ其ノ亡キ所ヲ知ル、是レ新キヲ知ルナリ、月ニ能クスル所ヲ忘ルルコト無キ、是レ故キヲ温ヌルナリ、學好ムト謂フ可シトハ、是レ師爲ルヲ謂フ、

- (一) 「無」、武内本無此字。
- (二) 「日」、武内本無此字。
- (三) 「之」、武内本無此字。
- (四) 「已」、武内本作「己」。
- (五) 「自」、武内本無此字。
- (六) 「忘」下、武内本有「其」字。
- (七) 「之」、武内本無此字。
- (八) 「此」下、武内本有「即」字。

【經】

子夏曰、博學而篤志、

子夏カ曰ク、博ク學テ篤ク志ス、

【疏】

亦勸學也、博廣也、篤厚也、志識也、言人當廣學經典、而

深厚識録之不忘也、

亦タ學ヲ勸ム、博ハ廣ナリ、篤ハ厚ナリ、志ハ識ナリ、言ハ人當ニ廣ク經典ヲ學テ、深ク厚ク之ヲ識録シテ忘レル當シ、

【注】

孔安國曰、廣學而厚識之也、

孔安國曰、廣ク學テ厚ク識スソ（識ル）、

【經】

切問而近思、

切ニ問テ近ク思フハ、

【疏】

切猶急也、若有所未達之事、宜急諮問取解、故云切問也、近思者、若有所思、則宜思己所己學者、故曰近思也、

切ハ急ノ猶シ、若シ未タ達セ未ル所ノ事有ルヲハ、宜ク急ニ諮ヒ問テ解ルコトヲ取ル宜シ、故ニ切ニ問フト云フ、

近ク思フトハ、若シ思フ「所有ル、則ハ宜ク己ニ己カ」學
フ所ノ者ヲ思フ宜シ、故ニ近ク「思フト曰フ、

【注】

切問者、切問於己所學而未悟之事也、近思者、近思於己所
能及之事也、若汎問所未學、遠思所未達、則於所學者、不
精、於所思者不解也、

切ニ「問トハ、切ニ己カ學所ニシテ未タ悟ラ未ルノ事ヲ
問ノ、近ク「思トハ、近ク己カ能ク」及フ所ノ事ヲ思ソ、
若シ汎ク未タ學ヒ未ル所ヲ問ヒ、遠未タ達セ未ル所ヲ思
フ、則ハ學フ所ノ者ニ於テ、精シカラ不、思フ所ノ者ニ
於テ解ラ不、

【經】

仁在其中矣、

仁其ノ「中ニ在リ、

【疏】

能如上事、雖未是仁、而方可能爲仁、故云仁在其中矣也、

能ク上ノ事ノ如シハ、未タ是レ「仁アラ未ト雖、方ニ能
ク仁アリト爲可シ、故ニ仁其ノ「中ニ在リト云フ、

(一) 「廣」、武内本作「好」。

(二) 「己」、武内本作「己」。

(三) 「己」、武内本作「己」。

(四) 「云」、武内本作「曰」。

(五) 「也」、武内本無此字。

【經】

子夏曰、百工居肆以成其事、

子夏カ曰ク、百「工ハ肆ニ居テ其ノ「事ヲ成ス、

【疏】

亦勸學也、先爲設譬、百工者巧師也、言百者、舉全數也、
居肆者、其居常所作物器之處也、言百工由日日居其常業之
處、則其業乃成也、

亦學ヲ勸ム、先ツ「爲ニ譬ヲ設ク、百「工トハ巧「師ナリ、
百ト言コトハ、全「數ヲ舉ク、肆ニ居ルトハ、其ノ常ニ物「
器ヲ作ス所ノ處ニ居ルソ、言「八百「工ハ日「日ニ其ノ常

ノ業ノ處ニ居ル由テ、則ハ其ノ業乃シ成ル、

【經】
君子學以致其道、

君一子ハ學(學ンテ)以テ其ノ道ヲ致ス、

【疏】
致至也、君子由學、以至於道、如工居肆以成事也、

致ハ至、君一子ハ學ニ由テ、以テ道ニ至ルコト、工ノ肆ニ居テ以テ事ヲ成スカ如シ、

【注】
荀氏曰、言百工處其肆、則事成猶君子學以立其道也、

荀氏カ曰ク、言ハ百一工ハ其ノ肆ニ處ル、則ハ事ノ成ルコト猶ヲ君一子ノ學以テ其ノ道ヲ立ルカ猶シ、

【疏】
江熙云、亦非生巧也、居肆則見廣、見廣而巧成、君子未能體足也、學以廣其思、思廣而道成也、

江熙カ云ク、亦タ生ラニ巧ナルニ非ス、肆ニ居ル則ハ見ルコト廣シ、見ルコト廣シテ而シテ巧成ル、君一子モ未タ體足ルコト能ハ未、學テ以テ其ノ思ヲ廣ク、思ヒ廣シテ道成ル、

(一) 「者」、武内本無此字。

(二) 「居」下、武内本有「者」字。

(三) 「則」下、武内本有「是」字。

【經】

子夏曰、小人之過也、必則文、

子夏カ曰ク、小一人ノ過チハ、必ス文ル、

【疏】

君子有過、是已誤行、非故爲也、故知之則改、而小人有過、是知而故爲、故愈文飾之、不肯言己非也、故繆播云、君子過由不及、不及而失、非心之病、務在改行、故無吝也、其失之理明、然後能之理著、得失既辨、故過可復改也、小人之過、生於情僞、故不能不飾、飾則彌張、乃是謂過也、

君子ニ過チ有ルハ、是レ「己誤テ行フ、故ニ爲ルニ非ス、故ニ之ヲ知ル則ハ改ム、小人過チ有ルトキハ、是レ知テ故ニ爲、故ニ愈之ヲ文リ飾ル、肯テ己カ非ヲ言ハ不、故ニ繆播カ云ク、君子ノ過ハ及ハ不ルニ由ル、及ハ不シテ失ス、心ノ病ニ非ス、務メ行ヲ改ムルニ在リ、故ニ吝ムコト無シ、其レ之ヲ失スルノ理明ニシテ、然シテ後ニ能クスルノ理著ル、得失既ニ辨ス、故ニ過テハ復タ改ム可シ、小人ノ過ハ、情ノ僞ニ生ル、故ニ飾ラ不ルコト能ハ不、飾ル則ハ彌張ル、乃チ是レヲ過ト謂フ、

【注】

孔安國曰、文飾其過、不言其情實也、

孔安國カ曰ク、其ノ過ヲ文リ飾テ、其ノ情實ヲ言ハ不、

【經】

子夏曰、君子有三變、

子夏カ曰ク、君子ニ三ノ變有リ、

【疏】

變者有三、其事但在一時也、

變スル者三有リ、其ノ事但下一時ニ在リ、

【經】

望之嚴然、

望ムトキニ嚴然タリ、

【疏】

一也、君子正其衣冠嚴然、人望而畏之、

一ナリ、君子ハ其ノ衣冠ヲ正シテ、嚴然タリ、人望テ之ヲ畏ル、

【經】

即之也温、

即クトキニ温ナリ、

【疏】

二也、即就也、就近而視則、其體温、温潤也、而人不憎之也、袁氏注曰、温和潤也、

二ナリ、即ハ就ナリ、就キ^一近^{きかづき}テ視ル則ハ、其ノ^一體温ニシテ温潤ナリ、而シテ人之ヲ憎ミ不^ス、袁氏力注二曰ク、温トハ和^一潤ナリ、

【經】

聽其言也厲、

其ノ言ヲ聽クトキニ厲^{レイ}ナリ、

【疏】

三也、厲嚴正也、雖見其和潤、而出言其嚴正也、所以前卷云、君子温而厲、是也、

三ナリ、厲ハ嚴正ナリ、其ノ和潤ヲ見ルト雖モ、而トモ言ヲ出スコト其レ嚴正ナリ、所以^ヲ前ノ卷ニ云ク、君子温ニシテ厲^{レイ}ナリトハ、是ナリ、

【注】

鄭玄曰、厲嚴正也、

鄭玄カ曰ク、厲トハ嚴正ナルソ(嚴正ナリ)、

【疏】

李充曰、厲清正之謂也、君子敬以直内、義以方外、辭正體直、而德容自然發、人謂之變耳、君子無變也、

李充カ曰ク、厲ハ清正ノ謂ナリ、君子ハ敬^一以テ内ヲ直^{コレをも}フシ、義ヲ^一以テ外ヲ方ニス、辭^一正ク體^{なほく}直シテ、德^一容自^一然ニ發ス、人之ヲ變スト謂フ耳、君子ハ變スルコト無シ、

(一) 「之」下、武内本有「也」字。

【經】

子夏曰、君子信而後勞其民、

子夏カ曰ク、君子ハ信^一アツテ而シテ^一後ニ其ノ^一民ヲ勞ス(勞シム)、

【疏】

君子、謂國君也、國君若能行信素著則、民知其非私、故勞役不悼、故云、信而後勞其民也、

君^一子^トハ、國^一君^ヲ謂^フ、國^一君^{若シ}能^ク信^ヲ行^テ素^{ヨリ}著^{ルル}則^ハ、民^{其ノ}私^ニ非^ルコト^ヲ知^ル、故^ニ勞^一役^スレ^トモ悼^マ不^ス、故^ニ云^ク、信^{アリテ}而^{シテ}後^ニ其^ノ民^ヲ勞^{セシム}ト、

【經】

未信則以爲厲已也、

未^タ信^{アラ}未^ル則^ハ己^ヲ厲^{マシム}ト爲^ス、

【疏】

厲病也、君若信未素著、而動役使民、民則怨君行私而橫見病役於己也、江熙云、君子克厲德也、故民素信之服勞役、故知非私、信不素立、民動以爲病己而奉其私也、

厲^ハ病^{ナリ}、君^{若シ}信^{未^タ素^{ヨリ}著^レ未^{シテ}}、民^ヲ動^シ使^{フト}キ^ハ、民^{則チ}君^私ヲ行^テ横^ニ己^ヲ病^役セ

見ルルト怨ム、江熙カ云ク、君^一子^ハ克^レ德^ヲ厲^シフ^ス、故^ニ民^素ヨリ^之ヲ信^{シテ}勞^一役^ニ服^ス、故^ニ私^ニ非^ルコト^ヲ知^ル、信^素ヨリ^立セ^不シ^テ、民^動ク^トキ^ハ以^テ己^ヲ病^{マシム}ト其^ノ私^ニ奉^{スト}爲^ス、

【注】

王肅曰、厲猶病也、

王肅カ曰ク、厲^ハ病[、]

【經】

信而後諫、

信^{アツテ}而^{シテ}後^ニ諫^ム、

【疏】

此謂臣下也、臣下信若素著則、可諫君、君乃知其惜我非虛、故從之、

此^レハ臣^一下^ヲ謂^フ、臣^一下^ハ信^{若シ}素^{ヨリ}著^{ルル}則^ハ、君^ヲ諫^ム可^シ、君^{乃チ}其^ノ我^ヲ惜^テ虚^ニ非^ルコト^ヲ知^ル、故^ニ之^ニ從^フ、

【經】

未信則、以爲謗己也、

未夕信アラ未ル則ハ、己ヲ謗ルト爲、

【疏】

臣若信未素立、而忽諫君、君則不信其言、其所諫之事、是謗於己也、江熙云、人非忠誠、相與未能諫也、然投人夜光、鮮不案劍、易曰、貴孚在道、明無素信、不可輕致諫之也、

臣若シ信未夕素ヨリ立セ未シテ、忽ニ君ヲ諫ムトキハ、君則チ其ノ言ヲ信セ不、其ノ諫ムル所ノ事、是レ己ヲ謗ルナリトス、江熙カ云ク、人忠誠非シハ、相ヒ與ニ未夕諫ムルコト能ハ未、然ルコトハ人ニ夜光ヲ投スルニ、劍ヲ案セ不トイフコト鮮シ、易ニ曰ク、孚ノ道ニ在ケルコトヲ貴フ、明ケシ素ヨリ信無シテ、輕シク諫ヲ致ス可ラ不、

- (一) 「悼」、武内本作「憚」。
- (二) 「惜」、武内本作「措」。
- (三) 「之」下、武内本有「也」字。

(四) 「言」下、武内本有「其言」二字。

(五) 「曰」、武内本無此字。

【經】

子夏曰、大德不踰閑、

子夏カ曰ク、大德ハ閑ヲ踰ヘ不、

【疏】

大德、上賢以上也、閑猶法也、上德之人、常不踰越於法則也、

大德トハ、上賢以テ上ナリ、閑ハ法ノ猶シ、上德ノ人ハ、常ニ法則ヲ踰ヘ越ヘ不、

【注】

孔安國曰、閑猶法也、

孔安國カ曰ク、閑ハ法ノ猶シ、

【經】

小德出入可也、

小徳ハ出入スルコト可ナリ、

【疏】

小徳、中賢以下也、其立德不能恆全、有時暨至、有時不及、故曰出入也、不素其備、故曰可也、

小徳トハ、中賢以下ナリ、其ノ徳ヲ立ツルコト恆ニ全キコト能ハ不、時有テ暨ク至リ、時有テ及ハ不、故ニ出入ト曰フ、素ヨリ其レ備ナラ不、故ニ可ナリト曰フ、

【注】

孔安國曰、小徳不能不踰法、故曰出入可也

孔安國カ曰ク、小徳ハ法ヲ踰ヘ不ルコト能ハ不、故ニ出入スルコト可ナリト曰フ

(一) 「也」下、武内本有「子夏語十一章訖此也」九字(小字雙行)。

【經】

子游曰、子夏之門人小子當洒掃應對進退則可矣、

子游カ曰ク、子夏カ門人小子洒掃應對進退ニ當テハ則チ可ナリ、

【疏】

此下、第三、子游語、自有二章、門人小子、謂子夏之弟子也、子游言、子夏語弟子、不能廣學先王之道、唯可洒掃堂宇、當對賓客、進退威儀之少禮、於此乃則爲可也耳矣、

此ヨリ下ハ、第三、子游カ語ナリ、自二一章有リ、門人小子トハ、子夏カ弟子ヲ謂フ、子游カ言ク、子夏カ弟子ニ語ルコト、廣ク先王ノ道ヲ學コト能ハ不、唯タ堂宇ヲ洒掃シ、賓客ニ當對シ、進退威儀ノ少禮ナル可シ、此ニ於テ乃チ可ナリト爲ル耳、

【經】

抑末也、本之則無如之何、

抑モ末ナリ、本ノ則チ(則)無キヲ如之何、

【疏】

抑助語也、洒掃以下之事、抑但是末事耳、若本事、則無如之何也、本謂先王之道、

抑ハ助ノ語ナリ、洒掃ヨリ以下ノ事ハ、抑モ但夕是レ末ノ事耳、本ノ事ノ若シハ、則チ無キコト如ク之何、本トハ先王ノ道ヲ謂フ、

【注】

苞氏曰、言子夏弟子、於當對賓客、修威儀禮節之事、則可、然此但是人之末事耳、不可無其本也、故云本之則無如之何也、

苞氏カ曰ク、言ハ子夏カ弟子、賓客ニ當對シ、威儀禮節ノ事ヲ修スルニ於テハ、則チ可ナリ、然トモ此ハ但夕是レ人ノ末ノ事ナラク耳、其ノ本無クンハアル可ラ不、故二本ノ則チ(則)無キヲ如ク之何ト云フ、

【經】

子夏聞之曰噫、

子夏聞テ曰ク噫、

【疏】

噫不平之聲也、子夏聞子游鄙己門人、故爲不平之聲也、

噫ハ不平ノ聲ナリ、子夏子游カ己カ門人ヲ鄙スルヲ聞ク、故二不平ノ聲ヲ爲ス、

【注】

孔安國曰、噫心不平之聲也、

孔安國カ曰ク、噫ハ心不平ノ聲ソ、

【經】

言游過矣、

言游過テリ、

【疏】

既不平之、而又云、言游之說、實爲過矣也、

既之ヲ平ナリト不、又云ク、言游カ說、實ニ過失爲リ、

【經】

君子之道孰先傳焉、孰後倦焉、

君子ノ道孰レカ(孰レヲカ)(孰カ)先ツ傳ヘン。孰レカ

(孰レヲカ) (孰カ) 後ニ倦マン、

【疏】

既云子游之說是過、故更說我所以先教以小事之由也、君子之道、謂先王之道也、孰誰也、言先王大道、即既深且遠、而我知誰先能傳而後能倦懈者耶、故云、孰先傳焉孰後倦焉、既不知誰、故先歷試小事、然後乃教以大道也、張憑云、人性不同也、先習者、或早懈、晚學者、或後倦、當要功於歲終、不可以一限也、

既ニ子游カ説是レ過テリト云フ、故ニ更ニ我カ先ツ教ルニ小事ヲ以テスル所_レ以ノ由ヲ説ク、君子ノ道トハ、先王ノ道ヲ謂フ、孰ハ誰、言ハ先王ノ大道ハ、即チ既ニ深シテ且ツ遠シ、而ルヲ我誰カ(誰ヲカ)先ツ能ク傳ヘン而ルヲ後ニ能ク倦ミ懈タル者ヲ知ラン耶、故ニ云ク、孰カ(孰ヲカ)先ツ傳ヘン、孰カ(孰ヲカ)後ニ倦マン、既ニ誰ヲ知ラ不、故ニ先ツ小事ヲ歴試テ、然シテ後ニ乃チ教ルニ大道ヲ以テス、張憑カ云ク、人性同カラ不、先ツ習フ者、或ハ早ク懈リ、晚ク學者、或ハ後ニ倦ム、當ニ功ヲ歲ノ終ニ要トス當シ、一限ヲ以テス可_レ不、

【注】

荀氏曰、言先大傳業者、必先厭倦、故我門人先教、以小事後將教以大道也、

荀氏カ曰ク、言ハ先ツ大業ヲ傳ル者ハ、必ス先ツ厭ヒ倦ム、故ニ我カ門人ハ先ツ教ルニ、小事ヲ以テシテ後ニ將ニ教ルニ大道ヲ以テセント將、

【疏】

熊埋云、凡童蒙初學、固宜聞漸日進、階羸入妙、故先且啓之以小事、後將教之以大道也、

熊埋カ云ク、凡ソ童蒙ノ初學ハ、固ニ宜ク聞クコト漸_ニ日ニ進テ、羸_ヲ階トシテ妙ニ入ル宜シ、故ニ先ツ且ク之ヲ啓クニ小事ヲ以テシテ、後ニ將ニ之ニ教ルニ大道ヲ以テセン將、

【經】

譬諸草木區以別矣、

草_一木ノ區_{マテマテ}ニシテ以テ別アルニ譬フ、(譬レハ草木ニ區_{マテマテ}ニシテ以テ別アリ、)

【疏】

言大道與小道殊異、譬如草木異類區別、學者當以次、不可一往學致生厭倦也、

言いふことろ 八大道ト小道與ノ殊ニ異ナルコト、譬ハ草木ノ類ヲ異ニシテ區別アルカ如シ、學者當ニ次ヲ以ス當シ、一往學テ厭イ倦ムコトヲ生スルコトヲ致ス可ラ不、

【注】

馬融曰、言大道與小道、殊異、譬如草木異類區別、言學當以次也、

馬融カ曰ク、言いふことろ 八大道ト小道與、殊ニ異ナリ、譬ヘハ草木ノ類ヲ異ニシテ區別アルカ如シ、言いふことろ 八學まなぶコト當ニ次テヲ以ス當シ、

【經】

君子之道、焉可誣也、

君子ノ道みち、焉いづくんソ誣しム可キ、

【疏】

君子大道既深、故傳學有次、豈可發初使誣罔其儀、而并學之乎、

君子ノ大道ハ既ニ深シ、故ニ傳ヘ學テ次テ有リ、豈ニ發初ニ其ノ儀ヲ誣イ罔テ、并ニ之ヲ學ハ使ム可ケンヤ、

【注】

馬融曰、君子之道、焉可使誣、言我門人但能洒掃而已也、

馬融カ曰ク、君子ノ道、焉いづくんソ誣イ使ム可キトハ、言いふことろ 八我カ門人但タ能ク洒掃スラク而已、

【經】

有始有終者、其唯聖人乎、

始メ有リ終リ有ルハ、其レ唯タ聖人乎、

【疏】

唯聖人有始有終、學能不倦、故可先學大道耳、自非聖人、則不可不先從小起也、張憑云、譬諸草木、或春花而夙落、或秋榮而早實、君子道、亦有遲速、焉可誣也、唯聖人始終

如一、可謂永無先後之異也、

唯夕聖一人ノミ始メ有リ終リ有リ、學テ能ク倦マヌ、故ニ先ツ大道ヲ學フ可キ耳、聖人ニ非ス自リシハ、先ツ小從リ起ラ不シハアル可不、張憑カ云ク、草木ニ譬ルニ、或ハ春花サイテ夙ク落チ、或ハ秋榮テ早ク實ル、君子ノ道モ、亦夕遲速有リ、焉ソ誣ユ可シヤ、唯夕聖人ハ始終一ノ如シ、永ク先後ノ異無シト謂ツ可シ、

【注】

孔安國曰、始終如一、唯聖人耳也、

孔安國カ曰ク、始終一ノ如ナルハ、唯夕聖人ナラク耳、

(一) 「語」、武内本作「諸」。

(二) 「於」上、武内本有「但」字。

(三) 「夙」、武内本作「風」。

【經】

子夏曰、仕而優則學、

子夏カ曰ク、仕ヘテ優カナル則ハ學フ、

【疏】

亦勸學也、優謂行有餘力也、若任官治官、官法而已、力有優餘則、更可研學先王典訓也、

亦夕學ヲ勸ム、優トハ行餘力有ルヲ謂フ、若シ官ニ任テ官ヲ治メハ、官法而已ナリ、力優餘有ル則ハ、更ニ先王ノ典訓ヲ研(研)學ス可シ、

【注】

馬融曰、行有餘力則、可以學文、

馬融カ曰ク、行餘力有ル則ハ、以テ文ヲ學フ可シ、

【經】

學而優則仕、

學テ優ナル則ハ仕フ、

【疏】

學既無當於立官、立官不得不治、故學業優足、則必進仕也、

學フトキハ既ニ當ニ官ニ立ツ當キコト無シ、官ニ立テハ治
メ不トイフコトヲ得不、故ニ學業優一足ナル、則ハ必ス
進一仕ス、

(二) 「任」、武内本作「仕」。

【經】

子游曰、喪致乎哀而止、

子游カ曰ク、喪ハ哀ヲ致シテ止ム、

【疏】

致猶至也、雖喪禮主哀、然孝子不得過哀以減性、故使各至
極哀而止也、

致ハ至ノ猶シ、喪ノ禮ハ哀ヲ主トスト雖モ、然トモ孝
子過キ哀テ以テ性ヲ減スコトヲ得不、故ニ各極哀ヲ至
シテ止マ使ム、

【注】

孔安國曰、毀不減性也、

孔安國カ曰ク、毀レ（毀レ）トモ性ヲ減ホサ不、

【經】

子游曰、吾友張也爲難能也、

子游カ曰ク、吾カ友張能クシ難キコトヲ爲、

【疏】

張子張也、子游言、吾同志之友有於子張、容貌堂偉、難爲
人所能及、故云爲難能也、

張ハ子張ナリ、子游カ言ク、吾カ同志ノ友子張有リ、容
貌堂偉（偉）タリ、人ノ能ク及フ所爲ルコト難シ、故
ニ云ク能クシ難キコトヲ爲ト、

【注】

苞氏曰、言子張之容儀之難及者、

苞氏カ曰ク、言ハ子張カ容儀及ヒ難キ者ナリ、

【經】

然而未仁、

然トモ未タ仁アラ未^ス、

【疏】

袁氏云、子張容貌難及、但未能體仁也、

袁氏カ云ク、子張カ容^{アハ}貌及ヒ難シ、但夕未タ仁ヲ體^ススル
コト能ハ未^ス、

【經】

曾子曰、堂堂乎張也、

曾子カ曰ク、堂^一堂タルカナ張、

【疏】

此以下、是第四、曾參語、自有四章、堂堂儀容可^レ怜也、

此ヨリ以下ハ、是^レ第四、曾參カ語ナリ、自^{フの}四章有^リ、
堂^一堂ハ儀^一容^一ノ^{アハ}怜^{ハキ}レム可^レナリ、

【經】

難與竝爲仁矣、

與^{トモ}ニ竝^テ仁ヲ爲^スルコト難シ、

【疏】

言子張雖容貌堂堂、而仁行淺薄、故云難竝爲仁、竝竝也、

言^ハ子張カ容^一貌^一堂^一堂^一タリト雖^ハ、而トモ仁行淺^ヘ薄^ヘ
ナリ、故ニ云ク竝^テ仁ヲ爲^スルコト難シ、竝^ハ竝^{ナリ}、

【注】

鄭玄曰、言子張容儀盛。而於仁道薄也、

鄭玄カ曰ク、言^ハ子張カ容^一儀^一盛^ナレトモ、仁^一道^一ニ於^テ薄シ、

【疏】

江熙云、堂堂德宇廣也、仁行之極也、難與竝、仁蔭人上
也、然江熙之意、是子張仁勝於人、故難與竝也、

江熙カ云ク、堂^一堂^一ハ德^一宇^一ノ廣ナリ、仁ハ行^ノ極ナリ、與^ニ竝^ヒ難シトハ、仁ハ人ヲ蔭^ウノ上ナリ、然レハ江熙カ
意ハ、是^レ子張カ仁人ニ勝^レリ、故ニ與^ニ竝^ヒ難シ、

【經】

曾子曰、吾聞諸夫子、

曾子カ曰ク、吾夫「子ニ聞キキ、

【疏】

據有所聞於孔子也、其事在下文、

孔子ニ聞ク所有ルニ據ル、其ノ事ハ下ノ文ニ在リ、

【經】

人未有自致者也、必也親喪乎、

人未タ自「致ムルコト有ラ未ル者ナリ、必ス親ノ「喪ニヲ
イテ乎(人未タ自「致ムルコト有ラ未ルハ、必ス親ノ「喪
ニカ)、

【疏】

此所聞於孔子之事也、致極也、言人於他行、了可有時不得
自極、然及君親喪、則必宜自極其哀、故云必也親喪乎也、

此レハ孔子ニ聞ク所ノ事ナリ、致ハ極ナリ、言「ハ人他

ノ行ニ於テハ、了ルコト時有テ自「極ルコトヲ得不ル可
シ、然トモ君「親ノ喪ニ及テハ、則チ必ス宜ク自「其ノ哀
ヲ極ム宜シ、故ニ必ス親ノ「喪ニヲイテ「乎ト云フ、

【注】

馬融曰、言人雖未能自致盡於他事、至於親喪、必自致盡
也、

馬融カ曰ク、言「ハ人未タ自「他「事ヲ致メ「盡スコト能
ハ未ト雖モ、親ノ「喪ニ至テハ、必ス自「致メ「盡ス、

(一) 「於」、武内本作「仁」。

(二) 「文」、武内本無此字。

【經】

曾子曰、吾聞諸夫子孟莊子之孝也、其他可能也、

曾子カ曰ク、吾夫「子ニ孟莊子カ孝ヲ聞キキ、其ノ「他ヲハ
能クス可シ、

【疏】

人子爲孝、皆以愛敬而爲體、而孟莊子爲孝、非唯愛敬、愛

敬之外、別又有事、故云其他可能也、

人ノ子ノ孝爲ルコト、皆愛敬ヲ以テ體ト爲、而ルヲ孟莊子カ孝爲ルコト、唯々愛敬スルノミニ非ス、愛敬ノ外、別ニ又事有リ、故ニ其ノ他ヲハ能クス可シト云フ、

【經】其不改父之臣與父之政、是難也、

其レ父ノ臣ト父ノ政與ヲ改メ不ルコトハ、是レ難シ、

【疏】

此是其不可能之事也、時人有喪三年之内、皆改易其父平生時臣、及於政事、而莊子居喪、父臣父政、雖有不善者、而莊子猶不忍改之、能如此者、所以是難也、

此レハ是レ其ノ能クス可ラ不ルノ事ナリ、時ノ人喪ニ有ルコト三年ノ内、皆其ノ父ノ平生ノ時ノ臣、及ヒ政事ヲ改易ス、而ルヲ莊子喪ニ居テ、父ノ臣父ノ政、不善ナルコト有リト雖モ、而トモ莊子猶ヲ之ヲ改ムルニ忍ヒ不能ク此ノ如キンハ、是レ難シトスル所以ナリ、

【注】

馬融曰、孟莊子魯大夫仲孫速也、謂在諒闇之中、父臣及父政、雖不善者、不忍改之也、

馬融カ曰ク、孟莊子ハ魯ノ大夫仲孫速ノ、諒闇ノ中ニ在テ、父ノ臣及ヒ父ノ政、善カラ不ル者ト雖、改ムルニ忍ヒ（忍テ改メ）不ルヲ謂フ、

(一) 「不」、武内本作「他」。

(二) 「闇」、武内本作「陰」。

【經】

孟氏使陽膚爲士師、

孟氏陽膚ヲ使テ士師爲ラ使ム、

【疏】

孟氏魯下卿也、陽膚曾子之弟子也、士師獄官也、孟氏使陽膚爲己家獄官也、

孟氏ハ魯ノ下卿、陽膚ハ曾子カ弟子ナリ、士師ハ獄官ナリ、孟氏陽膚ヲ使テ己カ家ノ獄官爲ラ使ム、

【注】

苞氏曰、陽膚曾子弟子也、士師典獄官也、

苞氏カ曰ク、陽膚ハ曾子カ弟子ナリ、士師ハ典獄ノ官ソ、

【經】

問於曾子、

曾子二問フ、

【疏】

曾子曾參也、陽膚將爲獄官、而還問師、求其法術也、

曾子ハ曾參ソ、陽膚將ニ獄官爲ラント將、而シテ還テ師
ニ問テ、其ノ法術ヲ求ム、

【經】

曾子曰、上失其道、民散久矣、

曾子カ曰ク、上其ノ道ヲ失テ、民散スルコト久シ、

【疏】

曾子答之、使爲法也、言君上若善則、民下不犯罪、故堯舜
之民比屋可封、君上若惡則、民下多犯罪、故桀紂之民比屋
可誅、當于其時、君上失道既久、故民下犯罪、離散者衆、
故云久也、

曾子之ニ答テ、法ヲ爲サ使ム、言ハ君上若シ善ナル
則ハ、民下罪ヲ犯サズ、故ニ堯舜ノ民ハ比屋封シツ可
シ、君上若シ惡シキ則ハ、民下罪ヲ犯スコト多シ、故
ニ桀紂カ民ハ比屋誅シツ可シ、其ノ時ニ當テ、君上道ヲ
失スルコト既ニ久シ、故ニ民下罪ヲ犯シテ、離散スル者
衆ナリ(衆シ)、故ニ久シト云フ、

【經】

如得其情、則哀矜而勿喜、

如シ其ノ情ヲ得テンハ、哀矜シテ喜フコト勿レ、

【疏】

如猶若也、若得其情、謂責竅得其罪狀也、言汝爲獄官、職
之所司、不得不辨覈、雖然若得罪狀則、當哀矜愍念、之慎
勿自喜言汝能得人之罪也、所以必須哀矜者、民之犯罪、非

其本懷、政是由從君子故耳、罪既非本、所以宜哀矜、

如ハ若ノ猶シ、若シ其ノ情ヲ得テンハトハ、責メ、アチケ竅ツテ(竅)テ其ノ罪ノ状ヲ得ルヲ謂フ、言ハ汝獄イヘトモ官爲リ、職ノ司ツサトル所、辨ワカ竅セ不ルコトヲ得不、然ト雖若シ罪ノ状ヲ得ル則ハ、當ニ哀矜愍念シテ、慎テ自喜ミツカラテ汝能ク人ノ罪ヲ得タリト言コト勿ル當シ、必ス須ク哀矜ス須キ所以ハ、民ノ罪ヲ犯スコト、其ノ本懷ニ非ス、政ニ是レ君子ニ由リ從ヘルカ故耳、罪既二本ニ非ス、宜ク哀矜ス宜キ所以ナリ、

【注】

馬融曰、民之離散爲輕漂犯法、乃上之所爲也、非民之過也、當哀矜之勿自喜能得其情也、

馬融カ曰ク、民ノ離散シテ輕漂ナヲ爲シテ法ヲ犯スコトハ、乃チ上ノ爲ル所ナリ、民ノ過ニ非ス、當ニ哀矜シテ自能ク其ノ情ヲ得ルコトヲ喜フコト勿ル當シ、

(一) 「獄」上、武内本有「典」字。

(二) 「氏」、武内本作「子」。

(三) 「其」、武内本作「爾」。

(四) 「竅」、武内本作「覈」。以下同。

(五) 「子」、武内本作「上」。

(六) 「矜」下、武内本有「也」字。

【經】

子貢曰、紂之不善也、不如是之甚也、

子貢カ曰ク、紂カ不善ナルコト、是ノ如ク甚タシキハ不、

【疏】

此以下是第五、子貢語、自有五章、紂者殷家無道君也、無道失國、而後世經是惡事、皆云、是紂昔所爲然、紂昔者爲惡、實不應頓如此之甚、故云不如是之甚也、

此ヨリ以下ハ是レ第五、子貢カ語ナリ、自五章有リ、紂ハ殷家無道ノ君ナリ、無道ニシテ國ヲ失ス、而シテ後世是ノ惡事ヲ經テ、皆云ク、是レ紂昔、爲ル所然リ、紂昔者惡ヲ爲スコト、實ニ頓ニ此ノ如ク甚カル應ラ不、故ニ云ク是ノ如ク甚キハ不、

【經】是以君子（一）惡居下流。天下之惡皆歸焉、

是ヲ以君（二）子ハ下流ニ居ルコトヲ惡ム。天下ノ惡皆歸（三）ス、

【疏】

下流、謂爲惡行、而處人下者也、言紂不遍爲衆惡、而天下之惡事、皆云是紂所爲、故君子立身、惡爲居人下流、若一居下流則、天下之罪、并歸之也、

下流トハ、惡行ヲ爲シテ、人ノ下ニ處ル者ヲ謂フ、言ハ紂遍ク衆惡ヲ爲スニ不、而トモ天下ノ惡事、皆是レ紂力爲ル所ト云フ、故ニ君子ハ身ヲ立テテ、人ノ下流ニ居ルコトヲ爲スコトヲ惡ム、若シ一ヒ下流ニ居ル則ハ、天下ノ罪、并ニ之ニ歸ス、

【注】

孔安國曰、紂爲不善、以喪天下、後世憎甚之、皆以天下之惡、歸之於紂也、

孔安國カ曰ク、紂不善ヲ爲シテ、以テ天下ヲ喪セリ、

後世憎ムコト甚シ、皆天下ノ惡ヲ以テ、之ヲ紂ニ歸ス、

【疏】

蔡謨云、聖人之化、由群賢之輔、闇主之亂、由衆惡之黨、是以有君無臣、宋襄以敗、衛靈無道夫奚其喪、言一紂之不善、其亂不得如是之甚、身居下流、天下惡人皆歸之、是故亡也、若如蔡謨意、是天下惡人皆助紂爲惡、故失天下耳、若直置一紂則、不能如此甚也、

蔡謨カ云ク、聖人ノ化ハ、群賢ノ輔ニ由ル、闇主ノ亂ハ、衆惡ノ黨ニ由ル、是ヲ以テ君有リ臣無キハ、宋ノ襄以テ敗ル、衛ノ靈無道ナレトモ夫レ奚ソ其レ喪ヒンヤ、言ハ一リノ紂力不善ニシテ、其ノ亂是ノ如ク甚キコトヲ得シ、身下流ニ居テ、天下ノ惡人皆之ニ歸ス、是ノ故ニ亡ス、若シ蔡謨カ意ノ如シハ、是レ天下ノ惡人皆紂ヲ助ケテ惡ヲ爲ス、故ニ天下ヲ失スル耳、若シ直置一紂ヲ置ク則ハ、此ノ如ク甚コト能ハ不、

- (一) 「子」、武内本作「臣」。
- (二) 「此」、武内本無此字。

【經】

子貢曰、君子之過也、如日月之蝕也、

子貢カ曰ク、君子ノ過ハ、日月ノ蝕ノ如シ、

【疏】

日月之蝕^(三)、非日月故爲、君子之過、非君子故爲、故云如日月之蝕也、

日月ノ蝕ハ、日月ノ故ニ爲ルニ非ス、君子ノ過ハ、君子ノ故ニ爲ルニ非ス、故ニ云ク日月ノ蝕ノ如シト、

【經】

過也人皆見之、

過チアルトキハ(過ツ)人皆之ヲ見ル、

【疏】

日月之蝕^(三)、人竝見之、如君子有過不隱、人亦見之、

日月ノ蝕ハ、人竝ニ之ヲ見ル、君子過チ有ルトキハ隱サ

不^ス、人亦タ之見ルカ如シ、

【經】

更也人皆仰之、

更ムルトキハ人皆之ヲ仰ク、

【疏】

更改也、日月蝕罷改闇更明則、天下皆竝瞻仰、君子之能亦不以先過爲累也、

更ハ改ナリ、日月ノ蝕罷ンデ闇ヲ改メテ更ニ明ナル則ハ、天下皆竝ニ瞻仰ス、君子ノ能モ先過ヲ以テ累ト爲不ルナリ、

【注】

孔安國曰、更改也、

孔安國カ曰ク、更ハ改、

(一) 「蝕」、武内本作「食」。

(二) 「蝕」、武内本作「食」。

(三) 「之」下、武内本有「也」字。

(四) 「蝕」、武内本作「食」。

(五) 「能」、武内本作「德」。

【經】

衛公孫朝

衛ノ公孫朝

【注】

馬融曰、朝衛大夫也、

馬融カ曰ク、朝ハ衛ノ大夫、

【經】

問於子貢曰、仲尼焉學、

子貢ニ問テ曰ク、仲尼イッ焉イックンソイッ（焉カ）學ヒシ、

【疏】

公孫問意、政嫌孔子無師、故問云、仲尼焉學也、

公孫カ問フ「意ハ、政ニ孔子ノ師無キコトヲ嫌ウタカフ、故ニ問テ云ク、仲尼焉イッンカイッ學ヒシ、

【經】

子貢曰、文武之道未墜於地、

子貢カ曰ク、文ミ武ミノ道未ミタ地ニ墜ミチ未ミ、

【疏】

子貢答稱仲尼必學也、將答道學、故先廣引道理也、文武之道、謂先王之道也、未墜於地、謂未廢落在於地也、

子貢答テ仲尼ノ必ス學コトヲ稱ス、將ニ道ノ學ヲ答ント將、故ニ先ツ廣ク道理ヲ引ク、文ミ武ミノ道トハ、先ミ王ノ道ミヲ謂フ、未ミタ地ニ墜ミチ未ミトハ、未ミタ廢ミ落ミシテ地ニ在ミラミキルヲ謂フ、

【經】

在人、

人ニ在リ、

【疏】

既未廢落墜地、而在於人所行也、

既二未夕廢落シテ地ニ墜子未^ス、而シテ人ノ行フ所ニ在リ、

【經】

賢者識其大者、不賢者識其小者、

賢者ハ其ノ大ナル者ヲ識ル、不賢者ハ其ノ小シキナル者ヲ識ル、

【疏】

既猶在人所行、人有賢否、若大賢者、則學識文武之道大^(三)、若不賢者、則學識文武之道小也、

既ニ猶ヲ人ノ行フ所ニ在リ、人ニ賢ト否有リ、若シ大賢ナル者ハ、則チ文武ノ道ノ大ナルヲ學識ス、若シ不賢ナル者ハ、則チ文武ノ道ノ小ナルヲ學識ス、

【經】

莫不有文武之道焉、

文武ノ道有ラ不トイフコト莫シ、

【疏】

雖大少有異^(五)、而人皆有之、故曰、莫不有文武之道也、

大少ノ異有リト雖モ、人皆之レ有リ、故ニ曰ク、文武ノ道有ラ不トイフコト莫シ、

【經】

夫子焉不學、

夫子^{イツクニ}焉カ學ヒ不ラン、

【疏】

大人學識大者、孔子是人之大者、豈得獨不學識之乎、

大人ハ大ナル者ヲ學識ス、孔子ハ是レ人ノ大ナル者、豈ニ獨リ學ヒ不シテ之ヲ識ルコトヲ得ンヤ乎、

【注】

孔安國曰、文武之道、未墜落於地、賢與不賢、各有所識、夫子無所不從其學也、

孔安國カ曰ク、文ト武ノ道、未タ地ニ墜ト落セ未、賢ト不ト賢與、各識ル所有リ、夫ト子從テ學ヒ不トイフ所無シ、

【經】

而亦何常師之有、

而ラハ亦何ノ常ノ師トイフコトカ有ラン、

【疏】

言孔子識大、所學者多端、多端故無常師也、

言ハ孔子大ヲ識ル、學フ所ノ者端多シ、端多キカ故ニ常ノ師無シ、

【注】

孔安國曰、無所不從學、故無常師也、

孔安國カ曰ク、從テ學ヒ不トイフ所無シ、故ニ常ノ師無シ、

- (一) 「政」、武内本作「故」。
- (二) 「大」下、武内本有「者也」二字。

(三) 「若」、武内本無此字。

(四) 「小」下、武内本有「者」字。

(五) 「少」、武内本作「小」。

(六) 「其」、武内本無此字。

【經】

叔孫武叔語大夫於朝、

叔孫武叔大夫ニ朝ニ語テ、

【疏】

武叔身是大夫、又語他大夫於朝廷、以譏孔子也、

武叔ハ身ハ是レ大夫ナリ、又他ノ大夫ニ朝廷ニ語テ、孔子ヲ譏ル、

【注】

馬融曰、魯大夫叔孫州仇、武諡也、

馬融カ曰ク、魯ノ大夫叔孫州仇ソ、武ハ諡、

【經】

曰子貢賢於仲尼、

曰ク子貢ハ仲尼ニ賢レリ、

【疏】

此所謂之事也、言子貢人身、識量賢於孔子也、

此レハ謂フ所ノ事ナリ、言ハ子貢カ人ノ身、識量孔子ニ賢レリ、

【經】

子服景伯以告子貢、

子服景伯子貢ニ告ク、

【疏】

景伯亦魯大夫、當是于時在朝聞叔孫之語、故來告子貢道之也、

景伯ハ亦魯ノ大夫ナリ、當ニ是レ時于朝ニ在テ叔孫カ語ヲ聞ク當シ、故ニ來テ子貢ニ告テ之ヲ道フ、

【經】

子貢曰、譬諸宮牆、

子貢カ曰ク、宮ノ牆ニ譬レハ、

【疏】

子貢聞景伯之告、亦不驚拒、仍爲之設譬也、言人之器量、各有深淺、深者難見、淺者易觀、譬如居家之有宮牆、牆高則、非闕闕所測、墻下闕闕易了、故云譬之宮牆也、

子貢景伯カ告ルヲ聞ク、亦驚キ拒カ不、仍チ之カ爲ニ譬ヲ設ク、言ハ人ノ器量、各深淺有リ、深キ者ハ見難シ、淺キ者ハ觀易シ、譬ハ居家ノ宮牆有ルカ如シ、墻高キ則ハ、闕イ闕テ測ル所ニ非ス、墻下キトキハ闕ヒ闕テ了り易シ、故ニ宮牆ニ譬レハト云フ、

【經】

賜之牆也及肩、

賜カ牆肩ニ及ヘリ、

【疏】

賜子貢名也、子貢自言賜之識量短淺、如及肩之墻也、

賜ハ子貢カ名ナリ、子貢自賜カ識量短淺ヲ言フ、肩ニ及ヘル墻ノ如シ、

【經】

闕見室家之好、

室一_{ヨシ}家ノ好ヲ闕ヒ一_{ウカカ}見テン、

【疏】

墻既及肩、故他人從墻外行、得闕見墻内室家之好也、

墻既ニ肩ニ及ヘリ、故ニ他人墻外從リ、行テ墻内ノ室家ノ好ヲ闕イ_ト見ルコトヲ得タリ、

【經】

夫子之墻數仞、

夫一_ト子ノ墻ハ數仞ナリ、

【疏】

七尺曰仞、言孔子聖量之深、如數仞之高墻也、

七尺ヲ仞ト曰フ、言ハ孔子ノ聖量ノ深キコト、數仞ノ高墻ノ如シ、

【經】

不得其門而入者、不見宗廟之美、百官之富、

其ノ門ヲ得テ入ラ不ルトキハ者ハ、宗廟ノ美、百官ノ富ヲ見不_ス、

【疏】

墻既高峻、不可闕闕、唯從門入者、乃得見内、若不入門、則不見其所内之美也、然墻短下者、其内止有室家、墻高深者、故廣有容宗廟百官也、

墻既ニ高峻(峻)、闕ヒ闕フ可ラ不_ス、唯夕門從リ入ル者ハ、乃チ内ヲ見ルコトヲ得ン、若シ門ニ入ラ不_スンハ、其ノ所内ノ美ヲ見不_ス、然レハ墻ノ短下ナル者ハ、其ノ内止室家ノミ有ラン、墻高深ナル者ハ、故ニ廣ク宗廟百官有ル容シ、

【經】
得其門者、或寡矣、

其ノ門ヲ得ル者ハ、或ハ寡シ、

【疏】
富貴之門、非賤者輕入、入者唯富貴人耳、孔子聖人器量之門、非凡鄙可至、至者唯顏子耳、故云、得門或寡、寡少也、

富貴ノ門ハ、賤者ノ輕シク入ルニ非ス、入ル者ハ唯タ富貴ノ人耳、孔子聖人ノ器量ノ門ハ、凡鄙ノ至ル可キニ非ス、至ル者ハ唯タ顏子耳ナリ、故ニ云ク、門ヲ得ルモノハ或ハ寡シト、寡ハ少ナリ、

【注】
荀氏曰、七尺曰仞也、

荀氏カ曰ク、七尺ヲ仞ト曰フ、

【經】
夫子之云不亦宜乎、

夫子ノ云イケンコト亦タ宜ナラ不乎、

【疏】
子貢呼武叔爲夫子也、賤者不得入富貴之門、愚人不得入聖人之奧室、武叔凡愚云、賜賢於孔子、是其不入聖門、而有此言、故是其宜也、袁氏云、武叔凡人、應不達聖也、

子貢武叔ヲ呼テ夫子ト爲、賤キ者ハ富貴ノ門ニ入ルコトヲ得不、愚人ハ聖人ノ奧室ニ入ルコトヲ得不、武叔ハ凡愚ニシテ云ク、賜ハ孔子ニ賢レリト、是レ其レ聖門ニ入ラ不シテ、而シテ此ノ言有リ、故ニ是レ其レ宜ナリ、袁氏カ云ク、武叔ハ凡人ナリ、聖ニ達セ不ル應シ、

【注】
荀氏曰、夫子謂武叔也、

荀氏カ曰ク、夫子トハ武叔ヲ謂フ、

- (一) 「譏」、武内本作「說」。
- (二) 「謂」、武内本作「語」。
- (三) 「拒」、武内本作「距」。

【經】

叔孫武叔毀仲尼、

叔孫武叔仲尼ヲ毀ル、

【疏】

猶是前之武叔又訾毀孔子也、

猶ヲ是レ前ノ武叔又孔子ヲ訾リ毀レリ、

【經】

子貢曰、無以為也、

子貢カ曰ク、以テ爲ルコト無し、

【疏】

子貢聞武叔之言、故抑止之、使無以為訾毀、

子貢武叔カ言ヲ聞ク、故ニ抑テ之ヲ止メテ、以テ訾リ毀ルコトヲ爲スコト無ラ使ム、

【經】

仲尼不可毀也

仲尼ヲハ毀ル可ヘカラス不

【疏】

又明言語之云、仲尼聖人、不可輕毀也、

又明ニ言テ之ニ語テ云ク、仲尼ハ聖人ナリ、輕シク毀ル可ヘカラス不、

【經】

他人之賢者丘陵也、猶可踰也、

他人ノ賢者ハ丘陵ナリ、猶踰コヘツ可ヘシ、

【疏】

更諭之說コト仲尼不可毀之譬也、言他人賢者、雖有才智、才智之高、止如丘陵、丘陵雖高、而人猶得踰越其上、既猶可踰、故可毀也、

更ニ之ヲ諭シテ仲尼ヲ毀ル可ヘカラス不ルノ譬ヲ説ク、言ハ

他人ノ賢者ハ、オ智有リト雖、オ智ノ高キコト、止
丘陵ノ如シ、丘陵ハ高シト雖、而トモ人猶ヲ其ノ上
ヲ踰ヘ、越ルコトヲ得、既ニ猶ヲ踰ツ可シ、故ニ毀ル可シ、

【經】

仲尼如日月也、無得而踰焉、

仲尼ハ日月ノ如シ、得テ踰ルコト無ケン、

【疏】

言仲尼聖知高、如日月、日月麗天、豈有人得踰踐者乎、既
不可踰、故亦不可毀也

言ハ仲尼ノ聖知ノ高キコト、日月ノ如シ、日月ハ天
ニ麗ク、豈二人ノ踰ヘ、踐ムコトヲ得ル者有ンヤ、既ニ踰
フ可不、故ニ亦毀ル可不

【經】

人雖欲自絶也、其何傷於日月乎、

人自絶タマク欲スト雖モ、其レ何ソ日月ヲ傷ラン乎、

【疏】

世人踰丘陵、而望下、便謂丘陵爲高、未曾踰踐日月、不覺
日月之高、既不覺高、故嘗毀日月、謂便不勝丘陵、是自絶
日月也、日月雖得人之見絶、而未嘗傷滅其明、故言何傷於
日月也、譬凡人見小才智、便謂之高、而不識聖人之奧、故
毀絶之、雖復毀絶、亦何傷聖人德乎、

世人丘陵ヲ踰テ、下ヨリ望テ、便チ丘陵ヲ謂テ高シト
爲、未タ曾テ日月ヲ踰ヘ、踐マ未レハ、日月ノ高キコト
ヲ覺ヘ不、既ニ高キコトヲ覺ヘ不、故ニ日月ヲ嘗リ毀
テ、便チ丘陵ニ勝ラ不ト謂フ、是レ自日月ヲ絶ツナ
リ、日月ハ人ニ絶タ見ルコトヲ得ト雖、未タ曾其ノ
明ヲ傷減セ未、故ニ言ク何ソ日月ヲ傷ランヤト、凡人
ノ小才ノ智ヲ見テ、便チ之ヲ高シト謂テ、聖人ノ奥ヲ識
ラ不ルカ、故ニ之ヲ毀リ絶ツニ譬フ、復毀リ絶ツト
雖、亦タ何ソ聖人ノ徳ヲ傷ランヤ、

【經】

多見其不知量也、

多ク其量ヲ知ラ不ルヲ見ル、

【疏】不測聖人德之深、而毀絶之、如不知日月之明、而棄絶之、若有識之士、視觀於汝則、多見汝愚闇、不知聖人之度量也、

聖一人ノ德ノ深コトヲ測ラ不シテ、之ヲ毀リ絶ツコト、日一月ノ明ヲ知ラ不シテ、之ヲ棄テ絶ツカ如シ、若シ有識ノ士、汝ヲ視觀ハ則チ、多ク汝ノ愚闇ニシテ、聖一人ノ度量ヲ知ラ不ルヲ見、

【注】言人雖欲自絶弃於日月、其何能傷乎、適足自見其不知量也、

言ハ人自日月ヲ絶チ棄テ欲スト雖モ、其レ何ソ能ク傷ランヤ、適ニ自其量ヲ知ラ不ルヲ見ルニ足レリ、

- (一) 「説」、武内本作「設」。
- (二) 「可」上、武内本有「不」字。

【經】陳子禽謂子貢曰、子爲恭也、仲尼豈賢於子乎、

陳子禽子貢ニ謂テ曰ク、子恭ヲ爲、仲尼豈ニ子ニ賢ランヤ、

【疏】此子禽必非陳亢、當是同姓名之子禽也、其見子貢每事稱師、故謂子貢云、汝何忽事事崇述仲尼乎、故政當是汝爲人性多恭敬、故爾耳、而仲尼才德豈賢勝於己乎、呼子貢以爲子也、

此ノ子禽ハ必ス陳亢ニ非ス、當ニ是レ姓名ヲ同スルノ子禽ナル當シ、其レ子貢事毎ニ師ヲ稱スルヲ見ル、故ニ子貢ニ謂テ云ク、汝何ソ忽ニ事ニ事仲尼ヲ崇述スルヤ、故ニ政當ニ是レ汝人ト爲リ性恭敬多シ、故ニ爾ル耳、而シテ仲尼ノ才德豈ニ己ニ賢リ勝ンヤ、子貢ヲ呼テ子ト爲、

【經】子貢曰、君子一言以爲智、一言以爲不智、

子貢カ曰ク、君子ハ一言以テ智ト爲、一言以テ不智ト爲、

【疏】

子貢聞子禽之言、故方便答拒之也、言智與不智、由於一言耳、今汝出此言、是不知也、

子貢子禽カ言ヲ聞ク、故二方便シテ（方便）答テ之ヲ拒ク、言ハ智ト不智與、一言ニ由ルラク耳、今汝此ノ言ヲ出ス、是レ不_レ知ナリ、

【經】

言不可不慎也、

言ヲハ（言）慎マ不_レンハアル可_レラス、

【疏】

智否、既寄由一言、故宜慎之耳、

智ト否ト、既二_一言ニ寄リ由ル、故二宜ク之ヲ慎ム宜キ耳、

【經】

夫子之不可及也、猶天之不可階而升也、

夫_レ子ノ及フ可_レラ不_レルコトハ、猶_レ天ノ階_ニタテテモ升_レル可_レラ不_レルカ猶_レシ、

【疏】

此出子禽不知之事也、夫物之高者、莫峻嵩嶽、嵩嶽雖峻、而人猶得爲階梯、以升上之也、今孔子聖德其高如天、天之懸絶、既非人可得階升、而孔子聖德、豈可謂我之賢勝之乎、汝謂不勝爲勝、即是一言爲不智、故不可不慎也、

此レハ子禽カ不_レ知ノ事ヲ出ス、夫レ物ノ高キ者ハ、嵩嶽ヨリ峻キハ莫_レ、嵩嶽峻シト雖モ、而トモ人猶_レ階梯ヲ爲シテ、升リ上ルコトヲ得_レン、今孔子ノ聖德其ノ高キコト天ノ如シ、天ノ懸カニ絶スルコト、既二人ノ階ヲ得テモ升ル可_レキニ非ス、而ルヲ孔子ノ聖德、豈ニ我ヲ之ニ賢リ勝ルト謂フ可_レンヤ、汝勝_レラ不_レルヲ謂テ勝レリト爲_レ、即チ是レ一言ニシテ不_レ智ト爲_レ、故二慎マ不_レンハアル可_レラス、

【經】

夫子之得邦家者、

夫_レ子邦_一家ヲ得_レテンハ、

【疏】

子禽當是見孔子栖遑、不被時用、故發此不智之言、子貢抑之既竟、故此更廣爲陳孔子聖德不與世人同也、邦謂作諸侯也、家謂作卿大夫也、言孔子若爲時所用、得爲諸侯及卿大夫之日、其風化與堯舜無殊、故先張本、云夫子之得邦家者也、

子禽當二是レ孔子栖遑トシテ、時ニ用イ被レ不ルヲ見ル、故ニ此ノ不智ノ言ヲ發ス、子貢之ヲ抑ルコト既ニ竟ル、故ニ此ニ更ニ廣ク爲ニ孔子ノ聖德ノ世人與同カラ不ルコトヲ陳フ、邦トハ諸侯ト作ルヲ謂フ、家トハ卿大夫ト作ルヲ謂フ、言ハ孔子若シ時ノ爲ニ用ヒ所レテ、諸侯及ヒ卿大夫爲ルノ日ヲ得ハ、其ノ風化堯舜與殊ナルコト無シ、故ニ先ツ本ヲ張テ、夫子ノ邦家ヲ得テンバト云フ者ナリ、

【注】

孔安國曰、謂爲諸侯若卿大夫、

孔安國カ曰ク、諸侯若シクハ卿大夫爲ルヲ謂フ、

【經】

所謂立之斯立、

謂ハ所ル立ツルトキハ斯ニ立ツ、

【疏】

言夫子若得爲政則、立教無不立、故云、所謂立之斯立也、

言ハ夫子若シ政ヲ爲ルコトヲ得ル則ハ、教ヲ立ルト立テ不トイフコト無シ、故ニ云ク、謂ハ所ル立ルトキハ斯ニ立ツト、

【經】

導之斯行、

導トキハ斯ニ行ハル、

【疏】

又若導民、以德則、民莫不興行也、故云、導之斯行也、

又若シ民ヲ導クニ、德ヲ以テスル則ハ、民興シ行ハレ不トイフコト莫シ、故ニ云ク、之導クトキハ斯ニ行ント、

【經】
綏之斯來、

綏ヤスンスルトキハ斯ニ來ル、

【疏】

綏安也、遠人不服、修文德安之、遠者莫不繯負而來也、

綏スイハ安、遠一人服セ不ルトキハ、文德ヲ修メテ之ヲ安ヤスス
ルトキハ、遠者ハ繯負シテ來ラ不トイフコト莫ケン、

【經】

動之斯和、

動カストキハ斯ニ和ス、

【疏】

動謂勞役之也、悅以使民忘其勞、故役使之莫不和穆也、

動トハ勞役ヲ謂フ、悅コレをヒ以テ民ヲ使フトキハ民其ノ
勞ヲ忘ル、故ニ之ヲ役使スルニ和穆セ不トイフコト莫
シ、

【經】
其生也榮也、

其レ生イダルトキハ榮サカへ、

【疏】

孔子生時、則物皆賴之、得性尊崇於孔子、是其生也、榮
也、

孔子生イダル時ハ、物皆之ニ賴ヨツ（賴）テ、性ヲ得テ孔子ヲ
尊タノム崇ス、是レ其レ生トキハ、榮ナリ、

【經】

其死也哀、如之何其可及也、

其レ死スルトキハ哀ム、如いか之か何ソ其レ及フ可ケン、

【疏】

孔子之死、則四海遏密、如喪考妣、是其死也哀也、袁氏
云、生則、時物皆榮、死則時物哀感也、

孔子ノ死スル、則ハ四とく海遏密シテ、考と妣ニ喪スルカ如

シ、是レ其レ死スルトキハ哀ムナリ、袁氏カ云ク、生ケル
則ハ、時ノ物皆榮へ、死スル則ハ時ノ物哀ミ感ス、

【注】

孔安國曰、緩安也、言孔子爲政、其立教則無不立、導之則
莫不興行、安之則遠者來至、動之則莫不和穆、故能生則見
榮顯、死則見哀痛也、

孔安國カ曰ク、緩ハ安、言ハ孔子政ヲ爲シニ、其レ教
ヲ立ツル則ハ立セ不トイフコト無シ、導クトキハ興シ行
ハレ不トイフコト莫シ、安スルトキハ遠キ者ハ來リ至
リ、動ストキハ和穆セ不ストイフコト莫シ、故ニ能ク生
ル則ハ榮顯セ見レ、死スル則ハ哀痛セ見ル、

- (一) 「忽」、武内本作「每」。
- (二) 「己」、武内本作「汝」。
- (三) 「拒」、武内本作「距」。
- (四) 「其」上、武内本有「則」字。
- (五) 「之」、武内本無此字。
- (六) 「哀感」、武内本作「戚哀」。

(子張篇担当 相原健右)

堯曰第二十 何晏集解凡三章

疏

(一) 「堯」上、武内本有「論語」二字。

(二) 「凡三章」(小字雙行)、武内本小字單行。

(三) 「疏」、武内本跳格。

【疏】

堯曰者、古聖天子所言也、其言天下太平、禪位與舜之事也、所以次前者、事君之道、若宜去者拂衣、宜留者致命、去留當理、事迹無虧、則太平可觀、揖讓如堯、故堯曰最後次子張也、

堯曰ハ、古ノ聖天子ノ言フ所ナリ、其ノ言ハ天下太平ニシテ、位ヲ禪テ舜ニ與ルノ事ナリ、前二次ル所以ハ、君ニ事ルノ道、若シ宜ク去ル宜キ者ハ衣ヲ拂フ、宜ク留マル宜キ者ハ命ヲ致ス、去留理ニ當ル、事迹虧クルコト無シ、則チ太平ニシテ觀ツ可シ、揖讓堯ノ如シ、故ニ堯曰ヲ最モ後ニ子張ニ次ツ、

【經】

堯曰、

堯ノ曰ク、

【疏】

云堯曰者、稱堯之言教也、此篇凡有三章、雖初稱堯曰、而寬通衆聖、故其章內、并陳二帝三王之道也、就此一章中、凡有五重、自篇首、至天祿永終、爲第一、是堯命授舜之辭、又下云、舜亦以命禹爲第二、是記者序舜之命禹、亦同堯命舜之辭也、又自予小子履、至萬方有罪在朕躬、爲第三、是湯伐桀告天之辭、又自周有大賚、至在予一人、爲第四、是明周武伐紂之文也、又自謹權量、至章末、爲第五、明二帝三王、雖有揖讓與干戈之異、而安民取治之同法則也、又下次子張問孔子章、明孔子之德、同於堯舜諸聖也、上章諸聖所以能安民者、不出尊五美屏四惡、而孔子非不能爲之、而時不值耳、故師資殷勤往反論之也、下又一章、不知命無以爲君子也、此章以明孔子非不能爲、而不爲者、知天命故也、

堯曰ト云フコトハ、堯ノ言教ヲ稱スレハナリ、此ノ篇ハ凡ソ三章有リ、初メニ堯曰ト稱スト雖モ、而トモ衆聖ニ寬ト通ス、故ニ其ノ章ノ内ニ、并ニ二帝三王ノ道ヲ陳フ、此ノ一章ノ中ニ就テ、凡ソ五重有リ、篇ノ首自リ、天ノ祿永ク終ヘントイフニ至マテ、第一ト爲、是レ堯

命シテ舜ニ授ルノ辭ナリ、又下ニ云ク、舜亦禹ニ命ストイ
 フヲ第二ト爲、是レハ記ノ者舜ノ禹ニ命コトヲ序ツ、亦
 堯ノ舜ニ命スルノ辭ニ同シ、又予小子履トイフ自リ、萬
 方罪有ラハ朕カ躬ニ在ントイフニ至マテ、第三ト爲、
 是レハ湯桀ヲ伐テ天ニ告ルノ辭ナリ、又周二大ナル資
 有リトイフ自リ、予一人ニ在ントイフニ至ルマテ、第
 四ト爲、是レハ周ノ武紂ヲ伐ツノ文ヲ明ス、又權量ヲ謹
 ムトイフ自リ、章ノ末ニ至マテ、第五ト爲、明ケシニ
 帝三王、揖讓ト干戈與ノ異有リト雖モ、民ヲ安シ治ヲ
 取ルコトノ法則ヲ同スルコトヲ、又下ニ子張孔子ニ問フ
 ノ章ヲ次ツ、明ケシ孔子ノ德、堯舜ノ諸聖ニ同コトヲ、
 上ノ章ノ諸聖能ク民ヲ安スル所以ノ者、五美ヲ尊ヒ四
 惡ヲ屏クルニ出テ不、而レハ孔子之ヲ爲ルコト能ハ不
 ニハ非ス、而ルヲ時ニ値ハ不耳、故ニ師資殷勤ニ往
 反シテ之ヲ論ス、下ノ又一章ニハ、命ヲ知ラ不ルトキハ
 君ト爲ルコト無シトイフ、此ノ章ハ孔子ノ爲ルコト能
 ハ不ルニ非ス、爲不ルコトハ、天命ヲ知ルコトヲ明ス故
 ナリ、

【經】

咨爾舜

咨爾舜

【疏】

自此以下、堯命舜以天位之辭也、咨咨嗟也、爾汝也、汝汝
 於舜也、舜者諡也、堯名放勳、諡云堯也、舜名重華、諡云
 舜也、諡法云、翼善傳聖曰堯、仁盛聖明曰舜也、堯將命
 舜、故先咨嗟歎而命之、故云、咨汝舜也、所以歎而命之
 者、言舜之德美兼合用我命也、

此レ自リ以下ハ、堯舜ニ命スルニ天位ヲ以テスルノ辭ナ
 リ、咨ハ咨嗟ナリ、爾ハ汝ナリ、汝トハ舜ニ汝ソ、舜ハ
 諡ナリ、堯ノ名ハ放（放）勳、諡シテ堯ト云フ、舜ノ名
 ハ重華、諡シテ舜ト云フ、諡ノ法ニ云ク、善ヲ翼ケテ聖ニ
 傳ルヲ堯ト曰フ、仁盛聖明ナルヲ舜ト曰フ。堯將ニ舜
 ニ命セント將、故ニ先ツ咨嗟シテ歎シテ之ニ命ス、故ニ
 云ク、咨汝舜ト、歎シテ之ニ命スル所以ハ、舜ノ德
 美兼ネ合ツテ我カ命ヲ用コトヲ言フ、

【經】

天之歷數在爾躬、

天ノ歴^レ數^レ爾カ^レ躬^ニ在^リ、

【疏】

天天位也、歴數謂天位列次也、爾汝也、躬身也、堯命舜云、天位列次在汝身、故我今命授與汝也、

天ハ天^ノ位ナリ、歴數トハ天^ノ位^ノ列^レ次ヲ謂フ、爾ハ汝ナリ、躬ハ身ナリ、堯舜ニ命シテ云ク、天^ノ位^ノ列^レ次ノ次汝カ^レ身^ニ在^リ、故ニ我^ハ今^ニ命^{シテ}汝^ニ授^ケ與^フ、

【注】

歴數、謂列次也、

歴^レ數^トハ、列^レ次ヲ謂フ、

【疏】

列次者、謂五行金、木、水、火、土、更王之次也、

列^レ次^トハ、五^ノ行^ノ金、木、水、火、土^ノ、更^ハ王^ノ次ヲ謂フ、

【經】

允執其中、

允^ニ其^ノ中^ヲ執^ラハ、

【疏】

允信也、執持也、中謂中正之道也、言天位運次、既在汝身則、汝宜信執持中正之道也、

允ハ信ナリ、執ハ持ナリ、中トハ中^ノ正^ノ道ヲ謂フ、言^ハ天^ノ位^ノ運^レ次、既^ニ汝^カ身^ニ在^ル則^ハ、汝^ハ宜^ク信^ニ中^ノ正^ノ道^ヲ執^リ持^ル宜^クンハ、

【經】

四海困窮、

四^ノ海^ハ困^ニ窮^{シテ}、

【疏】

四海、謂四方蠻夷戎狄之國也、困極也、窮盡也、若内執中正之道則、德教外被四海、一切服化、莫不極盡也、

四、海トハ、四、方蠻夷戎狄ノ國ヲ謂フ、困ハ極ナリ、窮ハ盡ナリ、若シ内中、正ノ道ヲ執ル則ハ、徳ノ教外、四海ニ被ラシメテ、一切化ニ服シテ、極メ盡サ不トイフコト莫シ、

【經】

天祿永終、

天ノ祿永ク終ヘン、

【疏】

永長也、終猶卒竟也、若内正中國、外被四海則、天祿祿位長卒竟汝身也、執其中則、能窮極四海、天祿所以長終也、

永ハ長ナリ、終ハ卒一竟ノ猶シ、若シ内中一國ヲ正フシテ、外四一海ニ被ラシムル則ハ、天祿（祿）ノ祿位長ク汝カ身ニ卒ヘ一竟ヘン、其ノ中ヲ執ラハ、能ク四海ヲ窮メ一極メテ、天一祿長ク終ル所以ナリ（所以ナラン）、

【注】

苞氏曰、允信也、困極也、永長也、言爲政信執其中則、能窮極四海、天祿所以長終也、

苞氏カ曰ク、允ハ信、困ハ極、永ハ長、言ハ政ヲ爲ルコト信ニ其ノ中ヲ執ラハ、能ク四海ヲ窮メ一極メテ、天ノ祿長ク終ル所以ナリ、

【經】

舜亦以命禹

舜亦以テ禹ニ命ス

【疏】

此第二重、明舜讓禹也、舜受堯禪在位、年老而讓與禹、亦用堯命已辭、以命於禹也、故云、舜亦以命禹也、所以不別爲辭者、明同是揖讓而授也、當云舜曰、咨爾禹、天之歷數以下之言之、

此レハ第一一重ナリ、舜ノ禹ニ讓ルコトヲ明ス、舜堯ノ禪ヲ受テ位ニ在リ、年老テ讓テ禹ニ與フルニ、亦堯ノ己ニ命スルノ辭ヲ用テ、禹ニ命ス、故ニ云ク、舜亦以禹ニ命スト、別ニ辭爲ラ不ル所以ハ、同ク是レ揖讓シテ授コトヲ明ク、當ニ舜ノ曰ク、咨爾禹、天ノ歷數トイフヨリ以下ノ言ヲ云フ當シ、

【注】

孔安國曰、舜亦以堯命己之辭、命禹也、

孔安國カ曰ク、舜亦タ堯ノ己ニ命スルノ辭ヲ以テ、禹ニ命ス、

【經】

曰予小子履

ノ名は
曰ク予小一子履

【疏】

此第三重、明湯伐桀也、伐與授異、故不因前揖讓之辭也、澆淳既異、揖讓之道不行、禹受人禪、而不禪人、乃傳位與其子孫、至末孫桀、無道爲天下苦患、湯有聖德、應天從民、告天而伐之、此以下是其辭也、予我也、小子湯自稱謙也、履湯名也、將告天、故自稱我小子、而又稱名也、

此レハ第三一重ナリ、湯ノ桀ヲ伐コトヲ明ス、伐授與異ナリ、故ニ前ノ揖讓ノ辭ニ因ラ不、澆淳既ニ異ナリ、揖讓ノ道行ハレ不、禹ハ人ノ禪ヲ受テ、人ニ禪ラ不、乃チ位ヲ傳テ其ノ子孫ニ與フ、末孫桀ニ至テ、無道ニシテ

天一下ノ苦患ヲ爲ス、湯聖德有テ、天ニ應シ民ニ從テ、天ニ告テ之ヲ伐ツ、此ヨリ以下ハ是レ其ノ辭ナリ、予ハ我ナリ、小一子ハ湯自稱シテ謙ス、履ハ湯ノ名ナリ、將ニ天ニ告ケント將、故ニ自我小一子ト稱シテ、又タ名ヲ稱ス、

【經】

敢用玄牡

敢テ玄牡ヲ用イテ

【疏】

敢果也、玄黒也、牡雄也、夏尚黒、爾時湯猶未改夏色、故猶用黒牡、以告天、故云果敢、用於玄牡也、敢ハ果ナリ、玄ハ黒ナリ、牡ハ雄ナリ、夏ハ黒ヲ尚フ、爾ノ時ニ湯猶ヲ未タ夏ノ色ヲ改メ未、故ニ猶ヲ黒牡ヲ用テ、天ニ告ク、故ニ云ク果敢ニシテ、玄牡ヲ用フ、

【經】

敢昭告于皇皇后帝、

敢テ昭^{アキ}ラカニ皇^一皇后^一帝^二告ス、

【疏】

昭明也、皇大也、后君也、帝天帝也、用玄牡告天、而云、敢明告于大大君天帝、

昭ハ明ナリ、皇ハ大ナリ、后ハ君ナリ、帝ハ天^一帝ナリ、玄^一牡ヲ用テ天^二告テ、而シテ云ク、敢テ明^{あきか}ニ大^一大^一君^一天^一帝^二告ス、

【注】

孔安國曰、履殷湯名也、此伐桀告天也文、殷家尚白、未變夏禮、故用玄牡也、皇大也、后君也、大大君帝謂天帝也、墨子引湯誓、其辭若此也、

孔安國カ曰ク、履ハ殷ノ湯ノ名ソ、此ハ桀ヲ伐テ天^二告スノ文ナリ、殷家ハ白ヲ尚^タフ、未タ夏ノ禮ヲ變セ未、故ニ玄^一牡^ホヲ用フ、皇ハ大、后ハ君、大^一大^一君^一帝トハ天^一帝ヲ謂フ、墨子ニ湯誓ヲ引クコト、其ノ辭^{コトハ}此ノ若シ、

【疏】

此伐桀告天辭、是墨子之書所言也、然易說云、湯名乙、而

此言名履者、白虎通云、本湯名履、尅夏以復^〇欲從殷家生子、以日爲名、故改履名乙、乙^〇以爲殷家法也、

此レハ桀ヲ伐テ天^二告ルノ辭ナリ、是レ墨子カ書ニ言フ所ナリ、然ルニ易ノ說ニ云ク、湯ノ名ハ乙、而ルヲ此ニ名ハ履ト言^{いふ}コトハ、白虎通ニ云ク、本湯ノ名ハ履、夏ニ尅^カツテ以テ復タ殷家ニ子ヲ生ムニ、日ヲ以名ト爲ルニ從^スハント欲ス、故ニ履ヲ改テ乙ト名ク、乙ハ殷家ノ法ト爲^ス、

【經】

有罪不敢赦、

罪有^{ツミ}ラハ敢テ^{ユル}赦サ不^シ、

【疏】

湯既應天、天不赦罪、故凡有罪者、則湯亦不敢擅赦也、

湯既ニ天ニ應^ス、天ハ罪ヲ赦サ不^ス、故ニ凡ソ罪有^{ツミ}ル者ヲハ、則チ湯モ亦敢テ^{また}擅^{ホシイマ}ニ^一赦サ不^シ、

【注】

苞氏曰、順^〇天奉法、有罪者不敢擅赦也、

苞氏カ曰ク、天ニ順テ法ヲ奉ク、罪有ラン者ヲハ敢テ擅ニ
「赦サ不、

【經】

帝臣不蔽、簡在帝心、

帝「臣蔽サ不、簡フコト帝ノ「心ニ在リ、

【疏】

此明有罪之人也、帝臣謂桀也、桀是天子、天子事天、猶臣
事君、故謂桀爲帝臣也、不蔽者、言桀罪顯著、天地共知、
不可陰蔽也、

此レハ罪有ルノ人ヲ明ス、帝「臣トハ桀ヲ謂フ、桀ハ是レ
天「子ナリ、天「子ノ天ニ「事ルコト、臣ノ君ニ事ルカ猶
シ、故ニ桀ヲ謂テ帝「臣ト爲、蔽サ不トハ、言ハ桀カ罪
顯著ニシテ、天「地共ニ知テ、陰「蔽ス可ラ不、

【注】

言桀居帝臣之位也、有罪過、不可隱蔽、以其已簡在天心
故也、

「言ハ桀帝「臣ノ位ニ居ル、罪「過有リ、隱シ「蔽フ可不、
其ノ簡フコト天「心ニ在ルヲ以テノ故ナリ、

【經】

朕躬有罪、無以萬方、

朕カ躬ニ罪有ラハ、萬「方ヲ以テスルコト無ケン、

【疏】

朕我也、萬方猶天下也、湯言我身若自有罪、則我自當
之、不敢關預天下萬方也、

朕ハ我ナリ、萬「方トハ天「下ノ猶シ、湯ノ言ク我カ「身
若シ「自罪有ラハ、我「自之ニ當ルコト有ラン、敢テ天「
下萬「方ニ關リ「預ラ不、

【經】

萬方有罪、在朕躬、

萬「方ニ罪有ラハ、朕カ「躬ニ在ラン、

【疏】

若萬方百姓有罪、則由我身也、我爲民主、我欲善、而民善、故有罪、則歸責於我也、

若シ萬一方ノ百姓罪有ラハ、我カ身ニ由ラン、我民主爲リ、我善ヲ欲セハ、民善ケン、故ニ罪有ラハ、責ヲ我ニ歸セン、

【注】

孔安國曰、無以萬方、萬方不預也、萬方有罪、我身過也、

孔安國カ曰ク、萬一方ヲ以テスルコト無ケントハ、萬方預カラ不ルソ、萬一方罪有ラハ、我カ身ノ過ナリ、

【經】

周有大賚、善人是富、

周大ナル賚有リ、善人は是レ富メリ、

【疏】

此第四重、明周家法也、此以下、是周伐紂誓民之辭也、舜

與堯同是揖讓、謙共用一辭、武與湯同是干戈、故不爲別告天之文、而即用湯之告天文也、而此述周誓民之文之、不述湯誓民文者、尚書亦有湯誓也、今記者、欲互以相明、故下舉周誓則、湯其可知也、周周家也、賚賜也、言周家受天大賜、故富足於善人也、或云、周家大賜財帛於天下之善人、善人故是富也、

此レハ第四重ナリ、周一家ノ法ヲ明ス、此ヨリ以下ハ、是レ周紂ヲ伐テ民ニ誓フノ辭ナリ、舜ト堯與ハ同ク是レ揖讓ス、謙シテ共ニ一辭ヲ用ユ、武ト湯與ハ同ク是レ干戈ナリ、故ニ別ニ二天ニ告ルノ文ヲ爲サズ、即チ湯ノ天ニ告ルノ文ヲ用イン、而シテ此レハ周ノ民ニ誓フノ文ヲ述テ、湯ノ民ニ誓フノ文ヲ述ヘ不ルコトハ、尚書ニ亦湯誓有リ、今記者、互ヘテ相ヒ明サント欲ス、故ニ下ニ周ノ誓ヲ舉ル則ハ、湯ハ其レ知ヌ可シ、周ハ周家ナリ、賚ハ賜ナリ、言ハ周家天ノ大ナル賜ヲ受ク、故ニ善人ニ富ミ足レリ、或ハ云ク、周家大ニ財帛ヲ天下ノ善人ニ賜ス、善人故ニ是レ富メリ、

【注】

周周家也、賚賜也、言周家受天大賜、富於善人也、有亂臣十人是也、

周トハ周一家ノ、賚ハ賜、言ハ周一家天ノ大ナル賜ヲ受テ、善一人ニ富メリ、亂臣一人有ル是ナリ、

【疏】

此如前通也、

此ハ前ノ通ノ如シ、

【經】

雖有周親、不如仁人、

周親有リト雖、仁人ニ如カ不、

【疏】

已上尚書第六泰誓中文、言雖與周有親、而不爲善則、被

罪黜、不如雖無親而仁者、必有祿爵也、

已上ハ尚書ノ第十六泰誓ノ中ノ文ナリ、言ハ周與親有リト雖モ、善ヲ爲サ不ル則ハ、罪黜セ被ル、親無シト雖仁者ニ如不、必ス祿爵有リ、

【注】

孔安國曰、親而不賢不忠則、誅之、管蔡是也、仁人謂箕子微子來則用之也、

孔安國カ曰ク、親ケレトモ不賢不忠ナル則ハ、誅セラル、管蔡是ナリ、仁人トハ箕子微子來ル則ハ之ヲ用ルヲ謂フ、

【疏】

管蔡謂周公之弟管叔蔡叔也、流言作亂。周公誅之、是有親而不仁、所以被誅也、箕子是紂叔父、爲紂囚奴、武王誅紂、而釋箕子囚、用爲官爵、使之行商容、微子是紂庶兄也、見紂惡、而先投周、武王用之、爲殷後於宋、竝是仁人、於周無親、而周用之也、

管蔡トハ周公ノ弟管叔蔡叔ヲ謂フ、流言シテ亂ヲ作ス。周公之ヲ誅ス、是レ親ケレトモ不仁ナルコト有レハ、誅セ被ルル所以ナリ、箕子ハ是レ紂カ叔父、紂カ囚奴ト爲ル、武王紂ヲ誅シテ、箕子カ囚ヲ釋シテ、用テ官爵ヲ爲シテ、之ヲ使テ商容ヲ行ハ（行カ）使ム、微子ハ是レ紂カ庶兄ナリ、紂カ惡ヲ見テ、先ツ周二投ス、武王之ヲ用テ、殷ノ後ヲ宋ニ爲ツ、竝ニ是レ仁人ナリ、周二於テ

親無シ、而ルヲ周之ヲ用ユ、

【經】

百姓有過、在予一人、

百_一姓過_{トカ}(過)有_アラハ、予_ア一人_{マデ}ニ在_ララン、

【疏】

此武王引咎自責辭也、江熙云、自此以上、至大賚、周告天之文也、自此以下、所修之政也、禪者有命無告、舜之命禹一準於堯、周告天文少、其略如殷、所異者如此、存其體不錄_(五)修也、侃案湯伐桀辭、皆云天、故知是告天也、周伐紂文、句句稱人、故知是誓人也、

此レハ武王_{トカ}咎_{トカ}ヲ引_{トカ}テ自_{トカ}責_{トカ}ムルノ辭ナリ、江熙カ云ク、此自_{トカ}リ以_{トカ}上_{トカ}、大ナル賚_{トカ}ニ至_{トカ}ルマテ、周ノ天ニ告_{トカ}ルノ文ナリ、此レ自_{トカ}リ以_{トカ}下_{トカ}ハ、修_{トカ}ル所ノ政ナリ、禪_{トカ}リハ命有_{トカ}テ告_{トカ}ルコト無_{トカ}シ、舜ノ禹ニ命_{トカ}スルコト一ヘニ堯ニ準_{トカ}ウ、周ノ天ニ告_{トカ}ルノ文少_{トカ}シ、其レ略_{トカ}殷ノ如クニシテ、異ナル所ノ者此ノ如_{トカ}シ、其ノ體_{トカ}ヲ存_{トカ}シテ録_{トカ}シ修_{トカ}メ不_{トカ}ス、侃湯桀ヲ伐_{トカ}ツノ辭_{トカ}ヲ案_{トカ}スルニ、皆_{トカ}天ト云_{トカ}フ、故_{トカ}ニ知_{トカ}又_{トカ}是_{トカ}レ天ニ告_{トカ}コトヲ、周紂ヲ伐_{トカ}ツノ文ハ、句_{トカ}句_{トカ}人ト稱_{トカ}ス、故_{トカ}ニ知_{トカ}又_{トカ}是_{トカ}レ人ニ誓_{トカ}

コトヲ、

【經】

謹權量、

權_{トカ}量_{トカ}ヲ謹_{トカ}ミ、

【疏】

此以下第五重、明二帝三王所修之政同也、不爲國則已、既爲便當然也、謹猶慎也、權稱也、量斗斛也、當謹慎於稱尺斗斛也、

此ヨリ以_{トカ}下_{トカ}ハ第五重ナリ、二_{トカ}帝三_{トカ}王ノ修_{トカ}ムル所ノ政_{トカ}ノ同_{トカ}コトヲ明_{トカ}ス、國_{トカ}ヲ爲_{トカ}メ不_{トカ}ル則_{トカ}ハ已_{トカ}ム、既_{トカ}ニ爲_{トカ}メハ便_{トカ}チ當_{トカ}ニ然_{トカ}ル當_{トカ}シ、謹_{トカ}ハ慎_{トカ}ノ猶_{トカ}シ、權_{トカ}ハ稱_{トカ}ナリ、量_{トカ}ハ斗_{トカ}斛_{トカ}ナリ、當_{トカ}ニ稱_{トカ}尺_{トカ}斗_{トカ}斛_{トカ}ヲ謹_{トカ}ミ慎_{トカ}ム當_{トカ}シ、

【經】

審法度、

法_{トカ}度_{トカ}ヲ審_{トカ}カニシ、

【疏】

審猶諦也、法度謂可治國之制典也、宜審諦分明之也、

審ハ諦ノ猶シ、法度トハ國ヲ治ム可キノ制典ヲ謂フ、宜ク審諦ニシテ之ヲ分明ニス宜シ、

【經】

修廢官、

廢スレタル官ヲ修メテ、

【疏】

治故曰修、若舊官有廢者、則更修立之也、

故フルキヲ治ムルヲ修ト曰フ、若シ舊官廢スル者有ラハ、則チ更ニ修メテ之ヲ立ツ、

【經】

四方之政行矣、

四一方ノ政行ハル、

【疏】

自謹權、若皆得法則、四方風政、竝服行也、

權ヲ謹ム自リ、若シ皆法ヲ得ハ、四一方ノ風政、竝ニ服シ行ハル、

【注】

荀氏曰、權稱也、量斗斛也、

荀氏カ曰ク、權ハ稱、量斗斛ソ、

【經】

興滅國、

滅ホヒタル國ヲ興シ、

【疏】

若有國爲前人非理而滅之者、新王當更爲興起之也、

若シ國前人非理ヲ爲シテ之ヲ滅ス者有ラハ、新王當ニ更ニ爲ニ之ヲ興シ起ス當シ、

【經】
繼絕世、

絶タル世ヲ繼ツキ、

【疏】
若賢人之世、被絶、不祀者、當爲立後係之、使得仍享祀也、

若シ賢人ノ世、絶サ被テ、祀ラ不ル者ヲハ、當ニ爲ニ後ヲ立テテ、之ヲ係イテ、仍チ享祀スルコトヲ得セ使ム當シ、

【經】
舉逸民、

逸民ヲ舉シテ、

【疏】
若民中有才行超逸、不仕者、則躬舉之於朝廷、爲官爵也、

若シ民中ニ才一行超逸ニシテ、仕ヘ不ル者有レハ、躬ラ

之ヲ朝廷ニ舉テ、官爵ヲ爲ス、

【經】
天下之民歸心焉、

天下ノ民心ヲ歸ス、

【疏】
既能興、繼舉逸、故爲天下之民皆歸心、縻負而至也、

既ニ能ク興シ、繼テ逸ヲ舉ク、故ニ天下ノ民皆心ヲ歸シテ、縻負シテ至ルコトヲ爲ス、

【經】
所重民、食、喪、祭、

重ンスル所ハ民、食、喪、祭、

【疏】
此四事、竝又治天下所、宜重者也、國以民爲本、故重民爲先也、民以食爲活、故次重食也、有生必有死、故次重於喪也、喪畢爲之宗廟、以鬼享之、故次重祭也、

此ノ四事ハ、竝ニ又天^{また}下ヲ治ムルニ、宜ク重ンス宜キ所ノ者ナリ、國ハ民ヲ以テ本ト爲^ス、故ニ民ヲ重スルヲ先ト爲^ス、民ハ食ヲ以テ活ルコトヲ爲^ス、故ニ次ニ食ヲ重ンス、生有レハ必ス死有リ、故ニ次ニ喪ヲ重ンス、喪^レ畢テ之カ宗^ノ廟ヲ爲シテ、鬼ヲ以テ之ヲ享ス、故ニ次ニ祭ヲ重ンス、

【注】

孔安國曰、重民國之本也、重食民之命也、重喪所以盡其^(二六)哀、重祭所以致敬也、

孔安國カ曰ク、民ヲ重ンスルコトハ國ノ本ナレハナリ、食ヲ重スルコトハ民ノ命ナレハナリ、喪ヲ重ンスルコトハ其ノ哀ヲ盡ス所以ナリ、祭ヲ重ンスルコトハ敬ヲ致ス所以ナリ、

【經】

寬則得衆、

寬ナル則ハ衆ヲ得、

【疏】

爲君上、若能寬則、衆所共歸、故云得衆也、

君^一上^二爲^シテ、若シ能ク寬ナル則ハ、衆ノ共ニ歸スル所ナリ、故ニ云ク衆ヲ得、

【經】

敏則有功、

敏ナル則ハ功有リ、

【疏】

君行事、若儀用敏疾則、功大易成、故云有功也、

君事ヲ行フ、若シ儀^一用敏^一疾ナル則ハ、功^レ大ニ成リ易シ、故ニ功有ト云フ、

【經】

公則民悅、

公ナル則ハ民悦フ、

【疏】

君若爲事、公平則、百姓皆歡悅也、

君「若シ事ヲ爲スコト、公平ナル則ハ、百姓皆歡悅ス、

【注】

孔安國曰、言政教公平則、民悅矣、凡此二帝三王所以治也、故傳以示後世也、

孔安國カ曰ク、言ハ政教公平ナル則ハ、民悦フ、凡ソ此レハ二帝三王ノ治トスル所以ナリ、故ニ傳ヘテ以テ後世ニ示ス、

- (一) 「同法則」、武内本作「法則同」。
- (二) 「汝汝」、武内本作「汝」。
- (三) 「也」、武内本無此字。
- (四) 「第」、武内本無此字。
- (五) 「己」下、武内本有「之」字。
- (六) 「之」、武内本作「也」。
- (七) 「也」、武内本無此字。
- (八) 「帝」下、武内本有「也」字。
- (九) 「也文」、武内本作「文也」。

- (一〇) 「復」、武内本作「後」。
- (一一) 「乙」、武内本無此字。
- (一二) 「順」、武内本作「從」。
- (一三) 「箸」、武内本作「著」。
- (一四) 「以其」、武内本無此二字。
- (一五) 「故」、武内本無此字。
- (一六) 「身若」、武内本無此二字。
- (一七) 「有」、武内本作「在」。
- (一八) 「不預」、武内本作「不預」。
- (一九) 「身」、武内本無此字。
- (二〇) 「而」、武内本無此字。
- (二一) 「之」、武内本作「而」。
- (二二) 「已上尚書第六泰誓中文」、武内本無此十字。
- (二三) 「謂」、武内本無此字。
- (二四) 「其略如」、武内本作「異於」。
- (二五) 「修」、武内本作「備」。
- (二六) 「其」、武内本無此字。

【經】

子張問政於孔子曰、何如斯可以從政矣、

子張政ヲ孔子ニ問テ曰ク、何如ナルスレヲカ以テ政ニ從

ハシム可^レキ、

四^一惡ヲ屏^クク、

【疏】

此章第二、明孔子同於堯舜諸聖之事也、子張問於孔子、求爲政之法也、

【疏】
屏除也、又除於四事之惡者也、

此ノ章ハ第一ナリ、孔子堯舜ノ諸^一聖ト同キノ事ヲ明ス、子張孔子ニ問テ、政ヲ爲ルノ法ヲ求ム、

屏ハ除ナリ、又^一四^一事ノ惡ヲ除ク者ナリ、

【經】

子曰尊五美、

【經】
斯可以從政矣、

子ノ曰^{ノたまは}ク五^一美ヲ尊ヒ、

斯レ政ニ從ハシム可^レシ、

【疏】

尊崇重也、孔子答曰、若欲從政、當尊崇於五事之美者也、

【疏】
若尊五、除四則、此可以從政也、

尊ハ崇^一重ナリ、孔子答テ曰^{ノたまは}ク、若シ政ニ從ハシメント欲セハ、當ニ五^一事ノ美ヲ尊^一崇ス當キ者ナリ、

若シ五ヲ尊ヒ、四ヲ除カハ、此レ政ニ從ハシム可^レシ、

【注】

孔安國曰、屏除也、

孔安國カ曰ク、屏ハ除、

【經】

屏四惡、

【經】

子張曰、何謂五美也、

子張カ曰ク、何ヲカ五美ト謂フ、

【疏】

子張并(三)曰、何謂五美也、子張并(三)不曉五美四惡、未敢并問、
今且分諡五美、故云何謂五美也、

子張并二曰ク、何ヲカ五美ト謂フ、子張并二五美四惡
ヲ曉ラ不ス、未タ敢テ并二問ハ未、今且ツ分テ五美ヲ諡
フ、故ニ云ク何ヲカ五美ト謂フ、

【經】

子曰、君子惠而不費、

子ノ曰ク、君一子ハ惠レスレトモ費エ不ス、

【疏】

歷答於五、此其一也、言爲政之道、能令民下荷於潤惠、而
我無所費損、故云惠而不費也、

五ヲ歷ハ答フ、此レ其ノ一ナリ、言ハ政ヲ爲ルノ道、能
ク民ト下ヲ令テ潤レ惠ヲ荷ハ令ム、而レトモ我費レ損スル所
無シ、故ニ云ク惠スレトモ費ヘ不ト、

【經】

勞而不怨、

勞スレトモ怨ミ不ス、

【疏】

二也、君使民勞苦、而民其心無怨、故云勞而不怨也、
二ナリ、君民使テ勞レ苦セ使ムレトモ、而トモ民其ノ心怨
ルコト無シ、故ニ云ク勞スレトモ怨ミ不ト、

【經】

欲而不貪、

欲ホツサレトモ貪ラ不ス、

【疏】

三也、君能遂己所欲、而非貪吝也、

三ナリ、君能ク己カ欲スル所ヲ遂レトモ、貪吝（吝）
スルニ非ス、

【經】
泰而不驕、

泰ナレトモ驕ラ不、

【疏】
四也、君能恆寬泰、而不驕傲也、

四ナリ、君能ク恆ニ寬泰ナレトモ、驕傲（傲）セ不、

【經】
威而不猛、

威アツテ猛カラ不、

【疏】
五也、君能有威嚴、而不猛厲傷物也、

五ナリ、君能ク威嚴有トモ、猛厲ニシテ物ヲ傷ラ不、

【經】
子張曰、何謂惠而不費、

子張カ曰ク、何ヲカ惠スレトモ費ヘ不ト謂フ、

【疏】
子張亦并未曉五事、故且先從第二而更諮也、

子張亦并ニ未タ五事ヲ曉ラ未、故ニ且ツ先ツ第一從リシ
テ更ニ諮フ、

【經】
子曰、因民之所利而利之、斯不亦惠而不費乎、

子曰ク、民ノ利トスル所ニ因テ利ス、斯レ亦惠スレトモ
費ヘ不ルニ不スヤ、

【疏】
答之也、因民所利而利之、謂民水居者、利在魚鹽蟹蛤。山
居者、利於菓實財木、明君爲政、即而安之、不使水者居
山、渚者居中原、是因民所利而利之、而於君無所損費也、

之ニ答フ、民ノ利トスル所ニ因テ之ヲ利ストハ、謂ル民水居スル者ハ、利魚ノ鹽蟹蛤(蟹蛤)ニ在リ。山居スル者ハ、利菓ノ實財ノ木ニ於テス、明ケシ君政ヲ爲ルコト、即イテ之ヲ安スルコトヲ、水者ヲ使テ山ニ居リ、渚者ヲシテ中原ニ居ラ使メ不、是レ民ノ利トスル所ニ因テ之ヲ利シテ、而シテ君ニ於テ損費スル所無シ、

【注】

王肅曰、利民在政、無費於財也、擇其可勞、而勞、之又誰怨、

王肅カ曰ク、民ヲ利スルコト政ニ在リ、財ヲ費スルコト無シ、其ノ勞ス可キヲ擇テ、勞ス、又誰ヲカ怨ミン、

【疏】

孔子知子張竝疑、故竝歴答也、言凡使民之法、各有等差擇其可應勞役者、而勞役之則、民各服其勞、而不敢怨也、

孔子子張カ竝ニ疑ハシキコトヲ知ル、故ニ竝ニ歴答フ、言ハ凡ソ民ヲ使ノ法、各等差(差)有リ、其ノ勞役ニ應ス可キ者ヲ擇テ、之ヲ勞役スル則ハ、民各其ノ

勞ニ服シテ、敢テ怨ミ不、

【經】

欲仁而得仁、又焉貪、

仁ヲ欲シテ仁ヲ得タリ、又焉ソ貪ラン、

【疏】

欲有多塗、有欲財色之欲、有欲仁義之欲、欲仁義者爲廉、欲財色者爲貪、言人君當欲於仁義、使仁義事顯、不爲欲財色之貪、故云欲仁而得仁、又焉貪也、江熙云、我欲仁則、仁至、非貪也、

欲ニ多一塗有リ、財一色ヲ欲スルノ欲有リ、仁一義ヲ欲スルノ欲有リ、仁義ヲ欲スル者ハ廉ヲ爲、財一色ヲ欲スル者ハ貪ヲ爲、言ハ人君仁義ヲ欲スルニ當テハ、仁一義ノ事ヲ使テ顯サ使、財一色ノ貪ヲ欲スルコトヲ爲サ不、故ニ云ク仁ヲ欲シテ仁ヲ得タリ、又焉ソ貪ラン、江熙カ云ク、我仁ヲ欲スル則ハ、仁一至ル、貪ニ非ス、

【經】

君子無衆寡、

君一子ハ衆一寡ト無ク、

【疏】

言不以我富財之衆、而陵彼之寡少也、

言ハ我財富ムノ衆ヲ以テ、彼カ寡一少ヲ陵カ不、

【經】

無小大、

小一一大ト無ク、

【疏】

又不得以我貴勢之大、加彼之小也、

又我カ貴一勢ノ大ナルヲ以テ、彼カ小ヲ加コトヲ得不、

【經】

無傲慢、

敢テ慢ルコト無シ、

【疏】

我雖衆大、而愈我敬寡小、故無所敢慢也、

我衆一大ナリト雖、愈我寡一小ヲ敬ス、故ニ敢テ慢ル所無シ、

【注】

孔安國曰、言君子不以寡小而慢之也、

孔安國カ曰ク、言ハ君子寡一小ヲ以慢ラ不、

【經】

斯不亦泰而不驕乎、

斯レ亦泰ナレトモ驕ラ不ルニ不スヤ、

【疏】

能衆、能大、是我之泰、不敢慢於寡小、是不驕也、故云、泰而不驕也、殷仲湛云、君子處心以虛、接物以爲敬、不以衆寡異情、大小改意、無所敢慢。斯不驕也、

能ク衆ニ、能ク大ナリ、是レ我カ泰ナルナリ、敢テ寡一

小ヲ慢ラ不、是レ驕ラ不ルナリ、故ニ云ク、泰ナレトモ驕
ラ不、殷仲湛カ云ク、君一子ノ心ヲ處スルコト虚ヲ以テス、
物ニ接ルコト敬ヲ爲、衆一寡ヲ以テ情ヲ異ニシ、大一小ヲ
モテ意ヲ改メ不、敢テ一慢ル所無シ。斯レ驕ラ不ルナリ、

【經】
君子正其衣冠、

君一子ハ其ノ衣一冠ヲ正シテ、

【疏】
衣無撥、冠無免也、

衣撥スルコト無ク、冠免グコト無シ、

【經】
尊其瞻視、

其ノ瞻一視ルコトヲ尊テ、

【疏】
視瞻無回邪也、

視一瞻スルコト回一邪無シ、

【經】
儼然

儼然タリ

【疏】
若思以若容也、

モノヲモ
思フカ若ク 容フカ若シ、

【經】

人望而畏之、

人一望テ之ヲ畏ル、

【疏】

望之儼然、即之也温、聽其言也厲、故服而畏之也、

之ヲ望ムニ儼然タリ、之ニ即クニ温ナリ、其ノ言ヲ聽ク
ニ厲ナリ(厲シ)、故ニ服シテ之ヲ畏ル、

【經】

斯不亦威而不猛乎、

斯レ亦夕威アレトモ猛カラ不ルニ不ス、

【疏】

望而畏之、是其威也、即之也温、是不猛乎、

望テ之ヲ畏ル、是レ其レ威ナリ、之ニ即クニ温ナリ、是レ
猛カラ不ルナリ、

【經】

子張曰、何謂四惡、

子張カ曰ク、何ヲカ四惡ト謂フ、

【疏】

已聞五美、故次更證四惡也、

已ニ五美ヲ聞ク、故ニ次ニ更ニ四惡ヲ證フ、

【經】

子曰、不教而殺、謂之虐、

子ノ曰ク、教ヘ不シテ殺ス、虐ト謂フ、

【疏】

一惡也、爲政之道、必先施教、教若不從、然後乃殺、若不
先行教、而即用殺則、是酷虐之君也、

一ノ惡ナリ、政ヲ爲ルノ道、必ス先ツ教ヲ施ス、教若シ
從ハ不ルトキハ、然シテ後ニ乃チ殺ス、若シ先ツ教ヲ行
ハ不シテ、即チ殺コトヲ用ル則ハ、是酷（酷）虐ノ
君ナリ、

【經】

不戒視成、謂之暴、

戒メ不シテ成ルヲ視ル、之ヲ暴ト謂フ、

【疏】

二惡也、爲君上、見民不善、當宿戒語之、戒若不從、然後
可責、若不先戒勗、而急卒就責、目前視之取成、此是風化

無漸、故爲暴卒之君也、暴淺於虐也、

二ノ惡ナリ、君一上ト爲^シテ、民ノ不^レ善ヲ見テハ、當ニ宿^{アラカシ}メ戒メテ之ニ語ル當シ、戒メ若シ從ハ不^レンハ、然シテ^レ後ニ責ム可^ヘシ、若シ先ツ戒メ^{ツト}勗メ不^レシテ、急^レ卒ニ就テ^レ責メテ、目^レ前ニ之ヲ視テ成ルコトヲ取ル、此レハ是レ風^レ化漸無キナリ、故ニ暴^レ卒ノ君ト爲^ス、暴虐ヨリ淺シ、

【注】

馬融曰、不宿戒、而責目前成、爲視成也、

馬融カ曰ク、宿^{アラカシ}メ^レ戒メ不^レシテ、目^レ前ニ成ルヲ責ムルヲ、成ルヲ視ルト爲^ス、

【疏】

責目前之成、故謂之視成也、

目^レ前ニ成ルコトヲ責ム、故ニ之ヲ成ルヲ視ルト謂フ、

【經】

慢令致期謂之賊、

令ヲ慢^{アズ}リテ期ヲ致ス賊ト謂フ、

【疏】

三惡也、與民無信而虛期、期不申^(二四)勗^(二五)丁寧、是慢令致期也、期若不至而行誅罰、此是賊害之君也、袁氏云、令之不明、而急期之也、

三ノ惡ナリ、民與^ト信無^クシテ期ヲ虛^ムス、期申^ベ勗^ムルコト丁寧ナラ不^ス、是レ令ヲ慢^テ期ヲ致スナリ、期若シ至ラ不^トシテ誅^レ罰ヲ行フ、此レハ是レ賊^レ害ノ君ナリ、袁氏カ云ク、之ヲ令スルコト明ナラ不^スシテ、急ニ之ヲ期ス、

【注】

孔安國曰、與民無信、而虛^(二五)刻期也、

孔安國カ曰ク、民與^ト信無^クシテ、虛^クシク期ヲ刻ムソ、

【經】

猶之與人也、

猶ヲ人ニ與^ルカ、

【疏】

四惡也、猶之與人、謂以物獻與彼人、必不得止者也、

四ノ惡ナリ、猶シ人ニ與ルカ猶シトハ、物ヲ以テ彼ノ人ニ獻シ與ルカ、必ス止コトヲ得_{コト}不_レル者ヲ謂フ、

【經】

出内之吝、

出_イタシ内_イルルニ吝_{ヤサカ}ナルカ猶_{コト}キ、

【疏】

吝難惜之也、猶會應與人、而其吝惜於出入屬、故云出内之吝也、

吝ナリトハ之ヲ難_ハミ惜ムソ、猶_{タマ}會_マ人ニ與フ應シ、而ルヲ其レ吝_ハ惜シテ出_イ入_イニ於テスルノ屬ナリ、故ニ出_イ内_イスルニ吝_{ヤサカ}ナリ(吝ム)ト云フ、

【經】

謂之有司、

有司ト謂フ、

【疏】

有司謂主典物者也、猶庫吏之屬也、庫吏雖有官物、而不得自由、故物應出入者、必有所諮問、不敢擅易、人君若物與人、而不_レ即與、庫吏無異、故云謂之有司也、

有_イ司_ハ主_トシテ物ヲ典_{ツカサ}ル者ヲ謂フ、庫_イ吏_トノ屬ノ猶シ、庫_イ吏_ト官_ト物_ト有_リト雖_モ、自_レ由_ナルコトヲ得_ス不_レ、故_ニ物_ノ出_イ入_イス應_キトキハ、必_ス諮_ヒ問_フ所_有リ、敢_テ擅_ニ易_ヘ不_レ、人_ノ君_若シ物ヲ人ニ與_テ、而_シテ即_チ與_ヘ不_ルハ、庫_イ吏_ト異_ルコト無_シ、故_ニ云_ク之_ヲ有_司ト謂_フ、

【注】

孔安國曰、謂財物也、俱當與人、而吝嗇於出内、惜難之、此有司之任耳、非人君之道也、

孔安國カ曰ク、財_ト物_ヲ謂_フソ、俱_ニ當_ニ人_ニ與_フ當_、而_ルヲ吝_シ嗇_シテ出_イ内_イルルニ、惜_ミ難_ルハ、此_レ有_司ト任_ナラク耳、人_ノ君_ノ道_ニ非_ス、

(一) 「事」、武内本作「尊」。

- (二) 「尊崇」、武内本作「崇尊」。
- (三) 「并」、武内本無此字。
- (四) 「其」、武内本作「甘」。
- (五) 「菓」、武内本作「果」。
- (六) 「財」、武内本作「材」。
- (七) 「竝」、武内本作「并」。
- (八) 「我」、武内本無此字。
- (九) 「寡小」、武内本作「寡少」。下同。
- (一〇) 「湛」、武内本作「堪」。
- (一一) 「邪」、武内本無此字。
- (一二) 「若」、武内本作「爲」。
- (一三) 「乎」、武内本作「也」。
- (一四) 「勗」、武内本作「勅」。
- (一五) 「是」、武内本無此字。
- (一六) 「刻」、武内本作「尅」。
- (一七) 「屬」、武内本作「也」。
- (一八) 「不」、武内本作「吝」。

【經】

孔子曰、不知命、無以爲君子也、

孔子ノ曰ク、命ヲ知ラ不ルトキハ、以テ君子ト爲ルコト

無シ、

【疏】

此章第三、明若不知命、無以爲君子、所以更明孔子知命、故不爲政也、命謂窮通天壽也、人生而有命、受之由天、故不可不知也、若不知而強求則、不成爲君子之德、故云、無以爲君子也、

此ノ章ハ第三ナリ、明ケシ若シ命ヲ知ラ不ルトキハ、君子ト爲ルコト無ケン、更ニ孔子命ヲ知ル、故ニ政ヲ爲不ルコトヲ明ス所以ナリ、命トハ窮ト通天ト壽ヲ謂フ、人生シテ命有リ、之ヲ受コトハ天ニ由ル、故ニ知ラ不ンハアル可^ヘ不^ス、若シ知ラ不シテ強テ求ル則ハ、君子爲ルノ徳ヲ成サ^ス不^ス、故ニ云ク、以テ君子ト爲ルコト無ケン、

【注】

孔安國曰、命謂窮達之分也、

孔安國カ曰ク、命トハ窮達ノ分ヲ謂フ、

【疏】

窮謂貧賤、達謂富貴、竝稟之於天、如天之見命爲之者也、

窮トハ貧賤ヲ謂フ、達トハ富貴ヲ謂フ、竝ニ之ヲ天ニ稟ルコト、天ノ命セ見レテ之ヲ爲ルカ如キ者ナリ、

【經】

不知禮、無以立也、

禮ヲ知ラ不ルトキハ、以テ立ツコト無シ、

【疏】

禮主恭儉莊敬、爲立身之本、人若不知禮者、無以得立其身於世之、故禮運云、得之者生、失之者死、詩云、人而無禮、不死何俟、是也、

禮ハ恭儉莊敬ヲ主トス、身ヲ立ルノ本爲リ、人若シ禮ヲ知ラ不ルトキハ、其ノ身ヲ世ニ立コトヲ得ルコト無シ、故ニ禮運ニ云ク、之ヲ得ル者ハ生シ、之ヲ失スル者ハ死ス、詩ニ云ク、人トシテ禮無シハ、死セ不シテ何ヲカ俟タントイヘル。是ナリ、

【經】

不知言、無以知人也、

言ヲ知ラ不ルトキハ、人ヲ知ルコト無シ、

【疏】

江熙云、不知言則、不能賞言、不能賞言則、不能量彼、猶短綆不可測於深井、故無以知人也、

江熙カ云ク、言ヲ知ラ不ル則ハ、言ヲ賞スルコト能ハ不、言ヲ賞スルコト能ハ不ル則ハ、彼ヲ量コト能ハ不、短綆ノ深井ヲ測ル可不ルカ猶シ、故ニ以テ人ヲ知ルコト無ケン、

【注】

馬融曰、聽言則、別其是非也、

馬融カ曰ク、言ヲ聽ク則ハ、其ノ是非ヲ別ツ、

(一) 「之」、武内本作「也」。

(二) 「也」、武内本無此字。

論語義疏卷第十終

(一) 「卷第十終」、武内本作「第十」、「第十」下有「經

一千二百二十三字／注一千一百七十五字「十八字
（小字雙行）。

（堯曰篇担当 洲脇武志）